

所沢市
子ども・子育て支援に関する
アンケート調査
報告書

平成31年3月

所沢市

目 次

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的	3
2. 調査の実施	3
(1) 調査地域	3
(2) 調査対象	3
(3) 調査方法	3
(4) 調査期間	3
(5) 調査項目	3
3. 調査票の配布・回収状況	3
4. 調査結果を見る上での注意事項	4
(1) 図表の見方	4
(2) 年齢・学年の定義	4

第2章 調査結果

I. 就学前児童調査結果

1. 子どもと家族の状況	9
(1) 居住地区	9
(2) 子どもの年齢・性別	10
(3) きょうだいの状況	11
(4) 世帯の人数	13
(5) 父母の同居の状況	14
(6) 子育てを主に行っている人	15
(7) 子どもをみてもらえる親族・知人	16
(8) 子育ての相談ができる人・場所	18
2. 保護者の就労状況	20
(1) 保護者の就労状況	20
(2) 就労日数・就労時間	21
(3) 家を出る時刻、帰宅時刻	23
(4) フルタイム等への転換希望	25
(5) 就労希望	26
3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	30
(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無	30
(2) 利用している教育・保育事業	31
(3) 利用している教育・保育事業の実施場所	40
(4) 平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由	40
(5) 現在利用している教育・保育事業の施設を選んだ理由	41
(6) 定期的に教育・保育事業を利用していない理由	42

(7) 定期的に利用したい教育・保育事業	43
(8) 定期的な教育・保育事業を利用したい場所	44
(9) 幼稚園の利用の強い希望の有無	45
(10) 幼稚園の利用希望	45
(11) 幼稚園を利用するために必要な環境	46
(12) 幼児教育・保育の無償化が実現した場合に利用を希望する教育・保育事業	47
4. 地域の子育て支援事業の利用状況	48
(1) 地域の子育て支援事業の利用状況	48
(2) 地域の子育て支援事業の今後の利用希望	51
(3) 各種支援事業の認知度、利用状況、利用希望	54
5. 土日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	62
(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望	62
(2) 土曜日または日曜日・祝日で、たまに利用したい理由	64
(3) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望	64
(4) 幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育事業を週に数日利用したい理由	65
6. 子どもの病気の際の対応	66
(1) 子どもの病気やケガで事業が利用できなかったことの有無	66
(2) 子どもの病気やケガで事業が利用できなかった時の対処方法	67
(3) 病児・病後児保育の利用希望	68
(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態	69
(5) 病児・病後児保育を利用したいと思わなかった理由	69
(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか	70
(7) 仕事を休んで看ることが難しかった理由	71
7. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用状況	72
(1) 不定期の教育・保育事業の利用状況	72
(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由	73
(3) 不定期の教育・保育事業の利用希望	74
(4) 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態	75
(5) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならない場合の対処	76
(6) 親族・知人の負担の大きさ、子どもの不安感などの困難度	77
8. 小学校就学後の放課後の過ごし方	78
(1) 来年度通う予定の小学校	78
(2) 放課後過ごさせたい場所	79
(3) 土曜日、日曜日・祝日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望	82
(4) 長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望	85
(5) 子どもが通う予定の小学校の「ほうかごところ等」の実施状況	87
(6) 「ほうかごところ等」の利用希望	87
(7) 「ほうかごところ等」が実施された場合の利用希望の有無	93
9. 子育てと職場の両立支援制度	94
(1) 育児休業の取得状況	94

(2) 育児休業給付、保険料免除の認知度	97
(3) 育児休業取得後の職場復帰	98
(4) 職場復帰と保育所入所のタイミング	99
(5) 育児休業からの復帰時期	100
(6) 3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の希望	102
(7) 希望時期に職場復帰しなかった理由	103
(8) 短時間勤務制度の利用状況	105
(9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由	106
(10) 現在、育児休業中の場合の1歳までの職場復帰意向	108
10. 生活や家庭のことについて	109
(1) 朝食の摂取状況	109
(2) 子どもとのかかわりの状況	110
(3) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無	110
(4) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無	111
(5) 平成29(2017)年の可処分所得金額	112
(6) 公的年金、社会保障給付金の受給状況	113
(7) 現在の暮らしの状況	114
11. 子ども・子育て全般について	115
(1) 地域の子育て環境や支援への満足度	115
(2) 子育て支援で充実を希望すること	116
(3) 教育・保育の充実など子育ての環境や支援に関する意見	117

II. 小学生調査結果

1. 子どもと家族の状況	125
(1) 居住地区	125
(2) 通学小学校	126
(3) 子どもの学年・性別	127
(4) きょうだいの状況	128
(5) 世帯の人数	130
(6) 父母の同居の状況	131
(7) 子どもをみてもらえる親族・知人	132
(8) 子育ての相談ができる人・場所	134
2. 保護者の就労状況	136
(1) 保護者の就労状況	136
(2) 就労日数・就労時間	137
(3) 家を出る時刻、帰宅時刻	139
(4) フルタイム等への転換希望	141
(5) 就労希望	142
3. 放課後や土日の過ごし方	146
(1) 現在の放課後の過ごし方	146

(2) 希望する放課後の過ごし方	149
(3) 「放課後児童クラブ（学童保育）」を利用していない（希望しない）理由	152
(4) 低学年の子どもが高学年になったときに希望する放課後の過ごし方	153
(5) 土曜日、日曜日・祝日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望	156
(6) 長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望	159
(7) 子どもが通っている小学校の「ほうかごところ等」の実施状況	161
(8) 「ほうかごところ等」の利用状況	161
(9) 「ほうかごところ等」の感想・評価	167
(10) 「ほうかごところ等」が実施された場合の利用希望の有無	168
(11) 「ほうかごところ等」を利用していない・利用を希望しない理由	169
4. 生活や家庭のことについて	170
(1) 朝食の摂取状況	170
(2) 子どもとのかかわりの状況	171
(3) 子どもが落ち着いて勉強できる環境の有無	172
(4) 今後の子どもの教育の段階	172
(5) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無	173
(6) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無	174
(7) 平成29(2017)年の可処分所得金額	175
(8) 公的年金、社会保障給付金の受給状況	176
(9) 現在の暮らしの状況	177
5. 子ども・子育て全般について	178
(1) 地域の子育ての環境や支援への満足度	178
(2) 子育て支援で充実を希望すること	179
(3) 教育・保育の充実など子育ての環境や支援に関する意見	180

第3章 資料

1. 就学前児童調査票	185
2. 小学生調査票	206

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

所沢市では、子育て支援の充実を図るため「所沢市子ども・子育て支援事業計画（平成27～31年度）」に基づき、計画的に各種事業に取り組んでいます。この度、次期計画を策定するにあたり、子育て支援に関するご意見を伺うため、本調査を実施いたしました。

2. 調査の実施

（1）調査地域

所沢市内全域

（2）調査対象

就学前児童及び小学生

（3）調査方法

郵送配布 ー 郵送回収

（4）調査期間

就学前児童 平成30年11月9日（金）～12月17日（月）

小学生 平成30年11月29日（木）～12月28日（金）

（5）調査項目

巻末の「就学前児童調査票」と「小学生調査票」のとおり。

3. 調査票の配布・回収状況

対象者を無作為で抽出し、郵送によって調査票を配布しました。

配布・回収状況は下表のとおりです。

調査対象者	配布数（人）	回収数（票）	回収率（％）
就学前児童	2,500	1,408	56.3%
小学生	1,500	840	56.0%
合計	4,000	2,248	56.2%

4. 調査結果を見る上での注意事項

(1) 図表の見方

- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。
- ・グラフの中で回答者が0人であった選択肢の割合は、「-」と表しています。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位までを表示しているため、単数回答（1つだけ選ぶ設問）においても、四捨五入の影響で、合計が100%にならない場合があります。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい設問）においては、合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答者数が20未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、またクロス集計の結果を出していない場合があります。

(2) 年齢・学年の定義

- ・就学前児童の調査結果における子どもの年齢は「学齢」で換算し、対象児童の生年月日から以下のように区分しています。

【学齢区分】

年齢（学齢）表記	調査時実年齢	生年月
0歳	0歳	平成30年4月以降生まれ
1歳	0～1歳	平成29年4月～平成30年3月
2歳	1～2歳	平成28年4月～平成29年3月
3歳	2～3歳	平成27年4月～平成28年3月
4歳	3～4歳	平成26年4月～平成27年3月
5歳	4～5歳	平成25年4月～平成26年3月
6歳	5～6歳	平成24年4月～平成25年3月

学年表記	調査時実年齢	生年月
小学1年生	6～7歳	平成23年4月～平成24年3月
小学2年生	7～8歳	平成22年4月～平成23年3月
小学3年生	8～9歳	平成21年4月～平成22年3月
小学4年生	9～10歳	平成20年4月～平成21年3月
小学5年生	10～11歳	平成19年4月～平成20年3月
小学6年生	11～12歳	平成18年4月～平成19年3月

第 2 章 調査結果

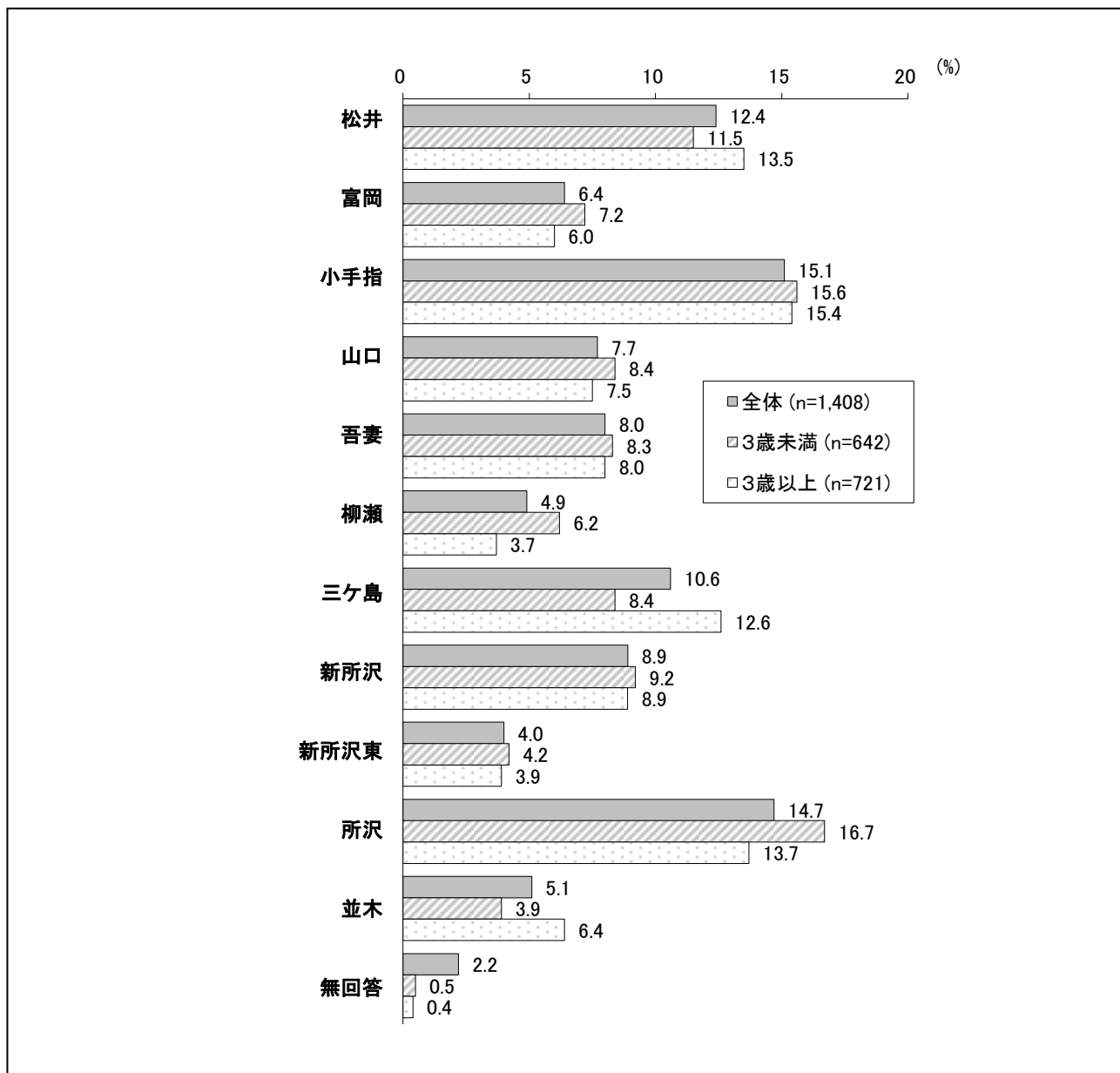
I . 就学前兒童調查結果

1. 子どもと家族の状況

(1) 居住地区

問1 宛名のお子さんのお住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

居住地区は、「小手指」が15.1%で最も高く、次いで「所沢」が14.7%となっている。



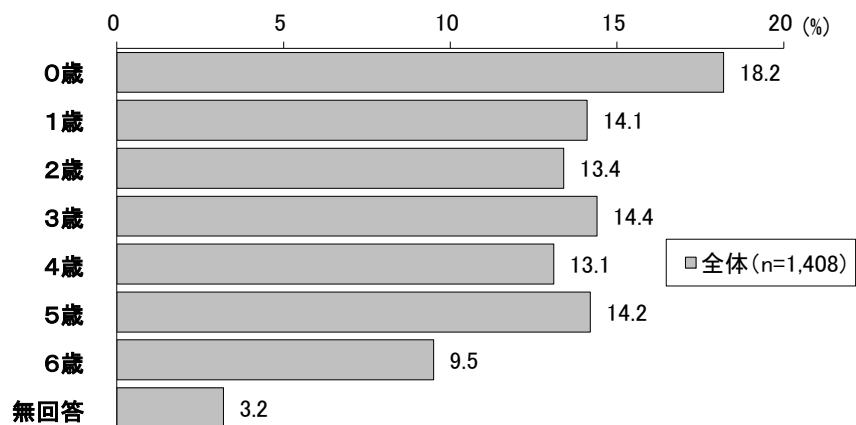
第2章 調査結果

(2) 子どもの年齢・性別

問2 宛名のお子さんの生年月を数字でご記入いただき、性別について○をつけてください。

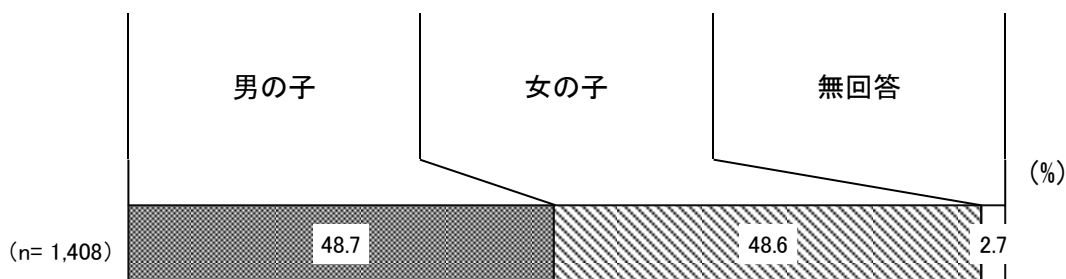
①年齢

子どもの年齢は、「0歳」が18.2%で最も高く、以下「3歳」が14.4%、「5歳」が14.2%、「1歳」が14.1%の順となっている。



②性別

性別は、「男の子」が48.7%、「女の子」が48.6%。



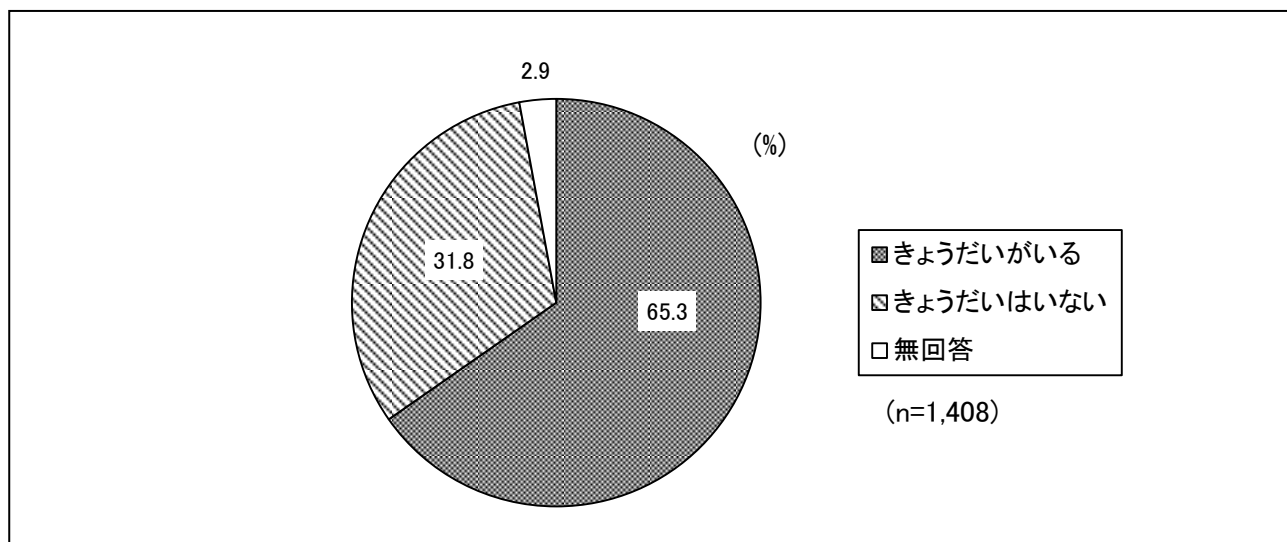
(3) きょうだいの状況

問3 宛名のお子さんにきょうだいはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

きょうだいがいらっしゃる場合、宛名のお子さんが何人きょうだいの何番目か数字でご記入ください。また下のきょうだいがいる場合、一番下のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

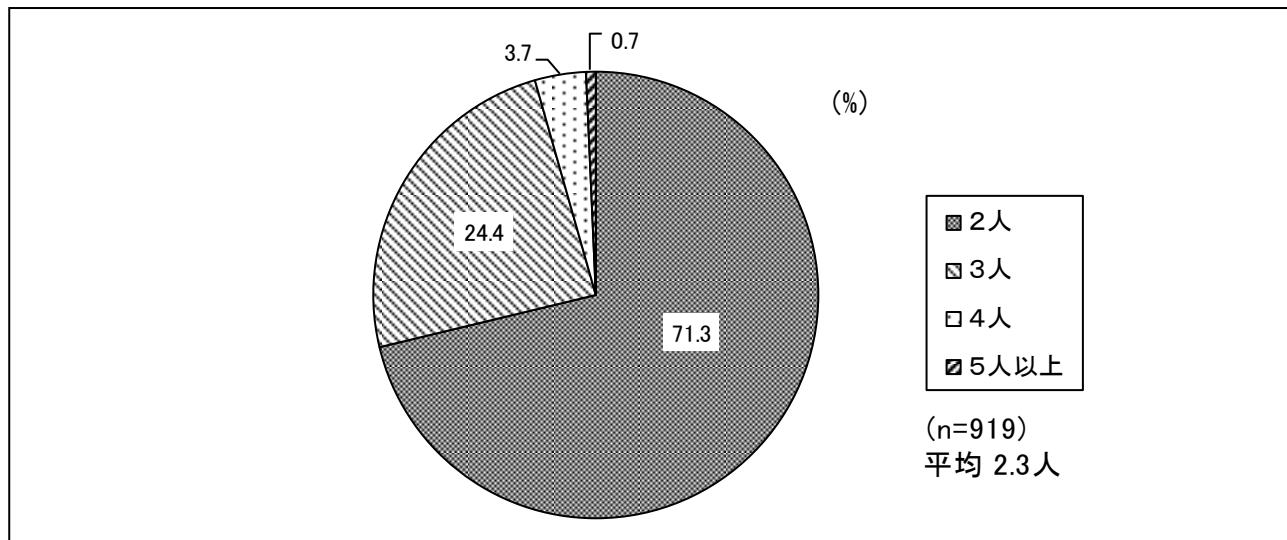
①きょうだいの有無

きょうだいについては、「いる」が65.3%、「いない」が31.8%となっている。



②きょうだいの人数

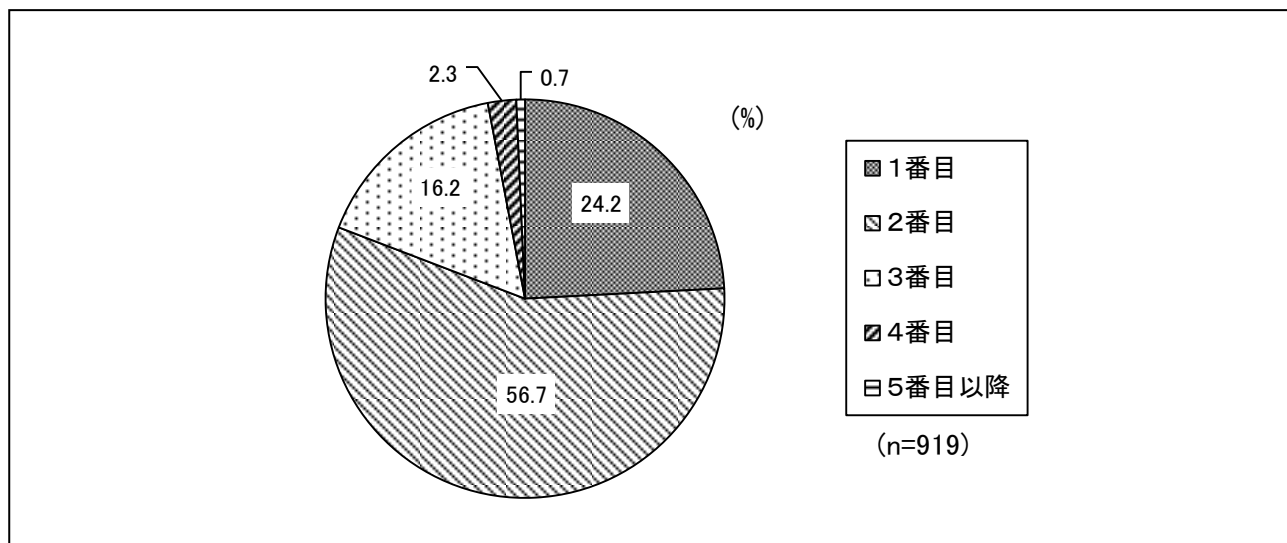
「きょうだいがいる」場合のきょうだいの人数は、「2人」が71.3%、「3人」が24.4%と続き、平均2.3人となっている。



第2章 調査結果

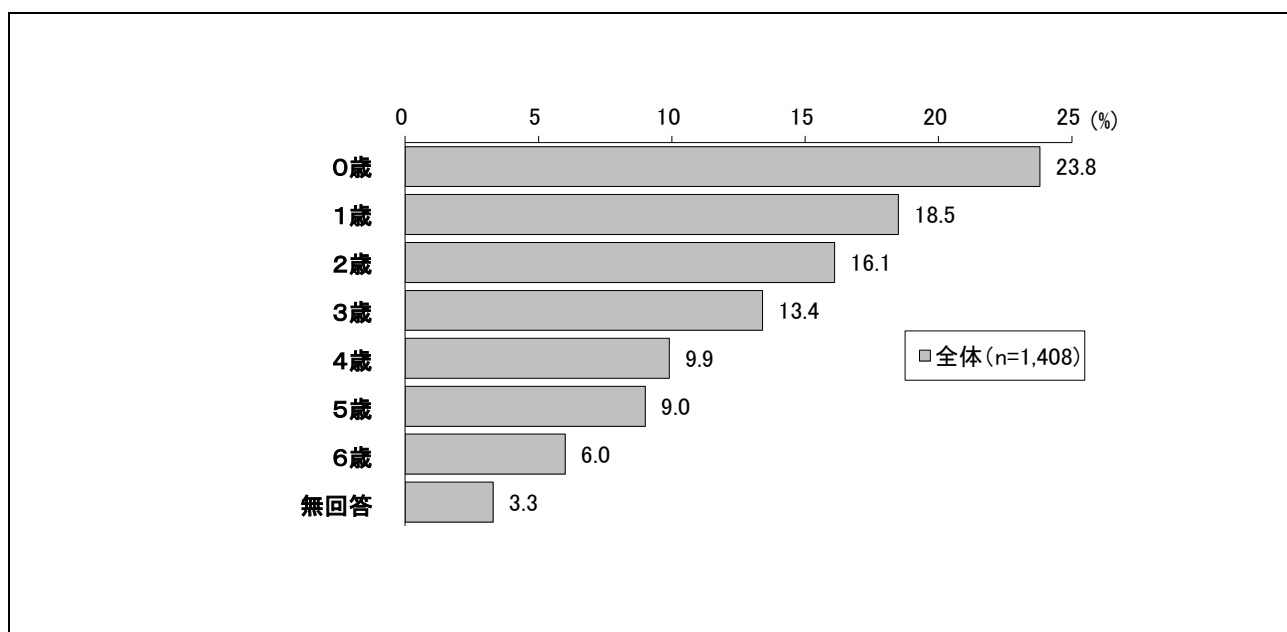
③きょうだいの中での出生順位

宛名の子どものきょうだいの中での出生順位は、「2番目」が56.7%で最も高く、これに「1番目」が24.2%で続いている。



④末子の年齢

末子の年齢は、「0歳」が23.8%で最も高くなっている。

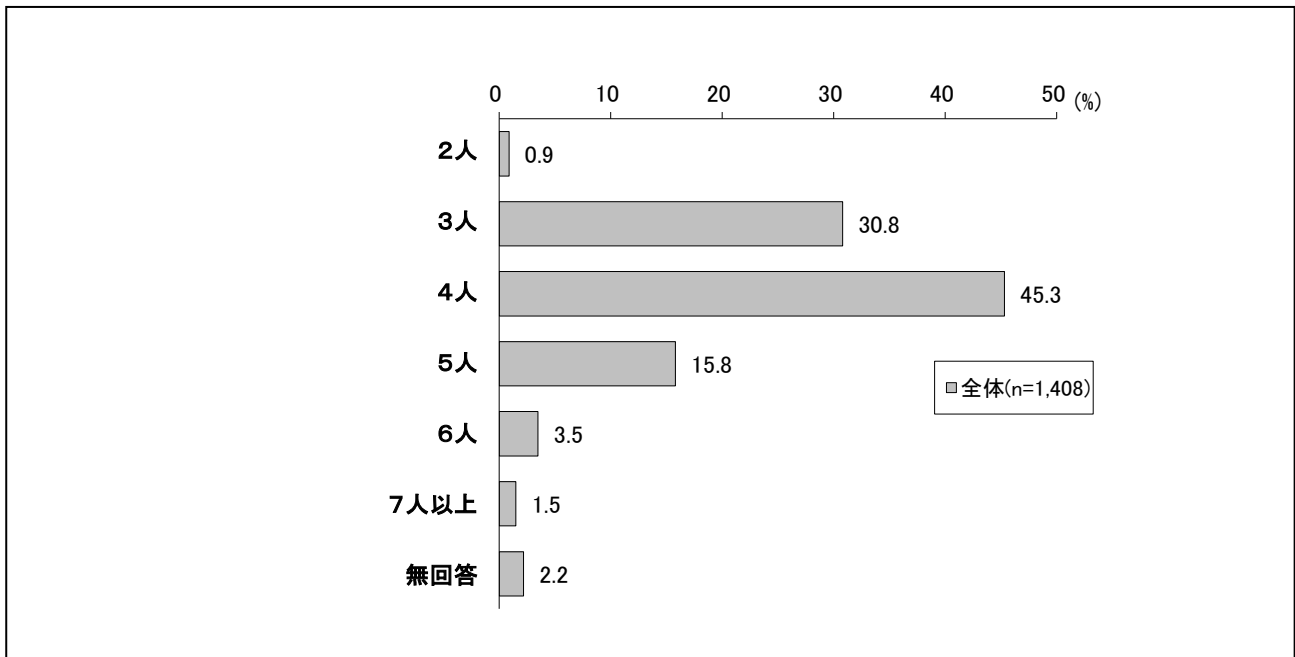


(4) 世帯の人数

問4 宛名のお子さんを含めた世帯の人数は何人ですか。また、そのうち、18歳未満の子どもの人数は何人ですか。数字でご記入ください。(単身赴任や一人暮らしのお子さんなど別居している方も含みます)

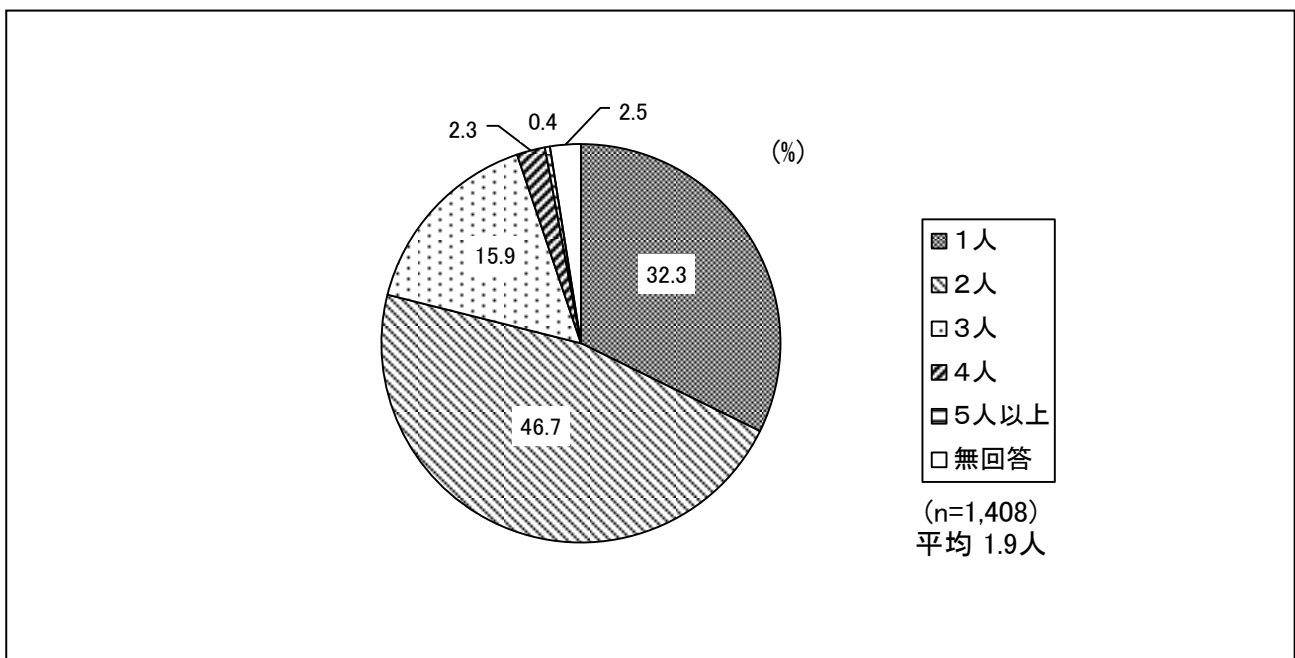
①世帯の人数

世帯の人数は、「4人」が45.3%、「3人」が30.8%と高く、平均3.9人となっている。



②子どもの人数

子どもの人数は、「2人」が46.7%、「1人」が32.3%と高く、平均1.9人となっている。



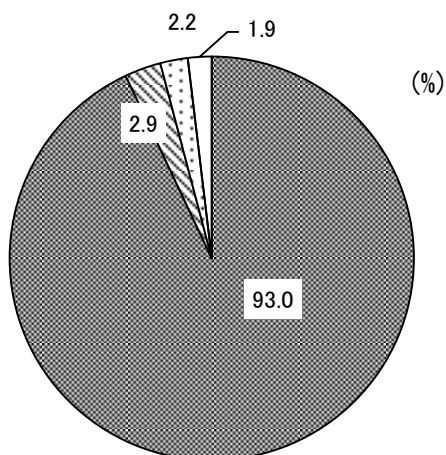
第2章 調査結果

(5) 父母の同居の状況

問4-1 宛名のお子さんからみたご父母についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

父母の同居の状況を見ると、「同居している」は父親93.0%、母親97.2%、「別居している(単身赴任等)」は父親2.9%、母親0.5%、「不在(離死別等)」は父親2.2%、母親0.3%となっている。

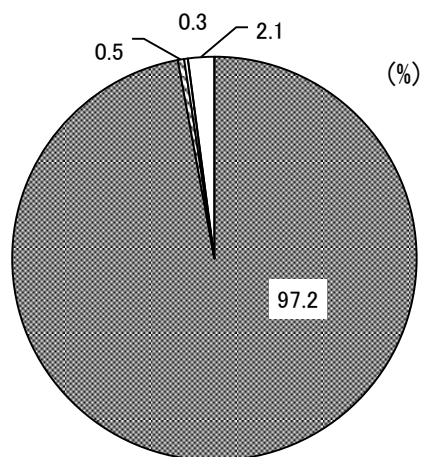
【父親】



- 同居している
- ▨ 別居している(単身赴任等)
- 不在(離死別等)
- 無回答

(n=1,408)

【母親】



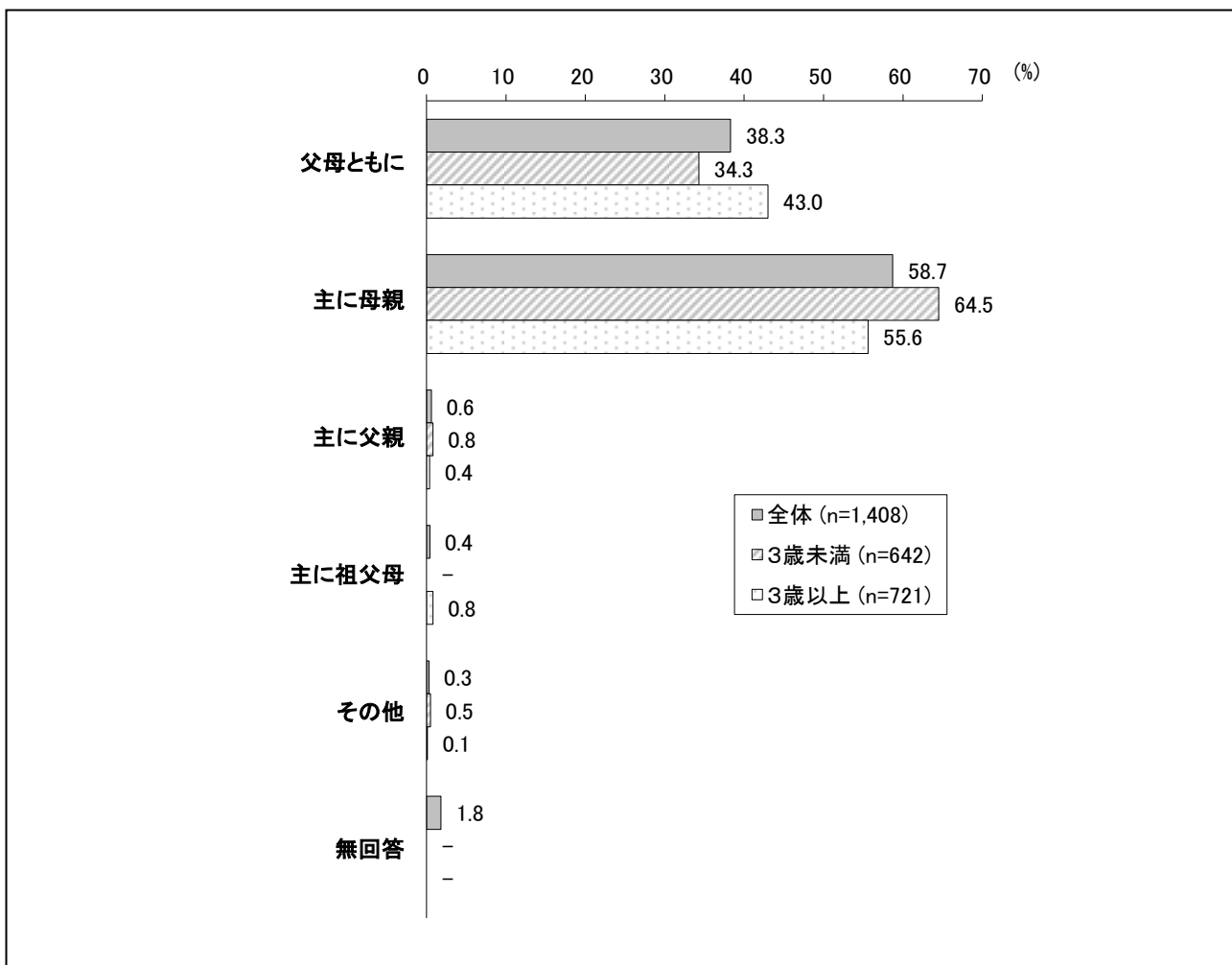
- 同居している
- ▨ 別居している(単身赴任等)
- 不在(離死別等)
- 無回答

(n=1,408)

(6) 子育てを主に行っている人

問5 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)

子育てを主に行っている人は、「主に母親」が58.7%で最も高く、これに「父母ともに」が38.3%で続いている。



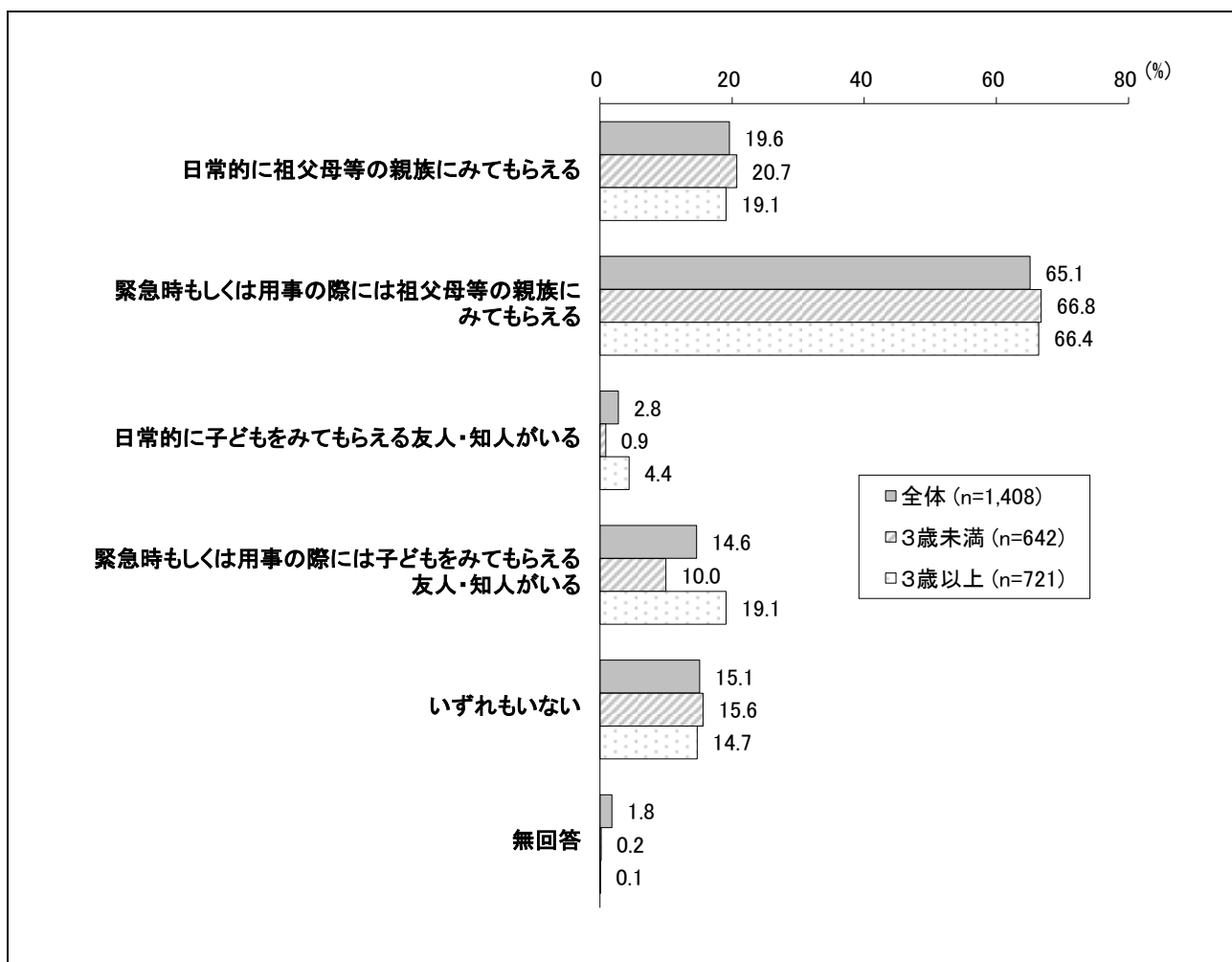
第2章 調査結果

(7) 子どもをみてもらえる親族・知人

①子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

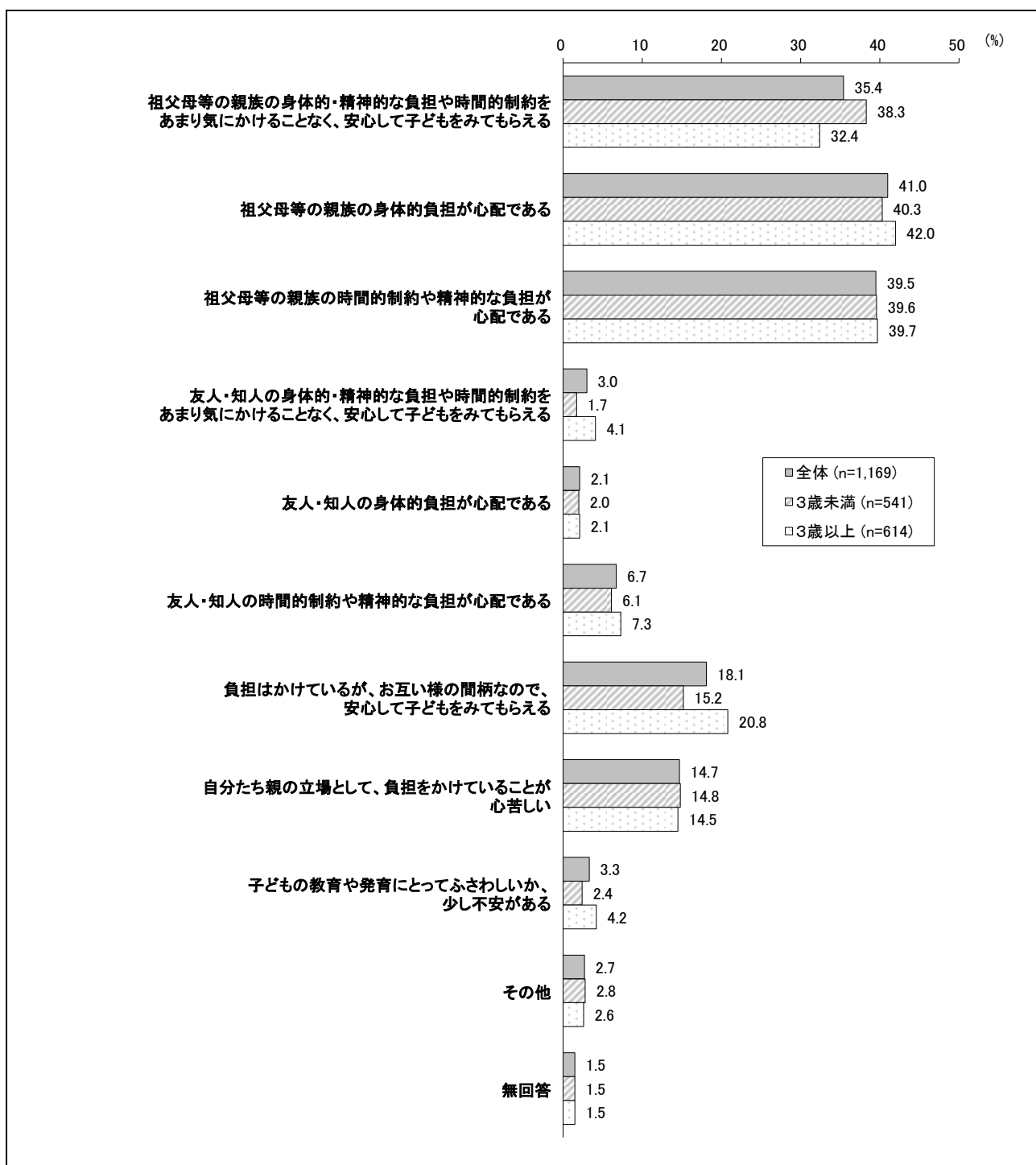
日頃子どもをみてもらえる親族や友人・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が65.1%で最も高く、これに「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が19.6%で続いている。



②親族・知人にみてもらっている状況

問6-1 親族または友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(当てはまるものすべてに○)

日頃子どもをみてもらえる親族や友人・知人については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる」が35.4%と高くなっている一方で、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」が41.0%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」が39.5%と祖父母等の負担を心配する意識も4割前後と高くなっている。



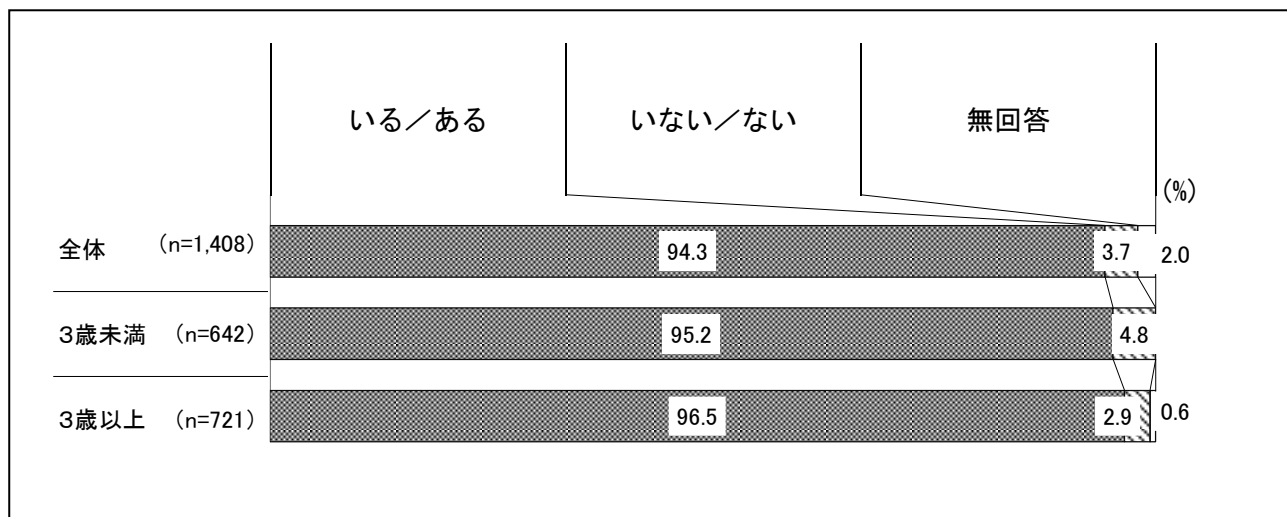
第2章 調査結果

(8) 子育ての相談ができる人・場所

① 子育ての相談ができる人・場所の有無

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

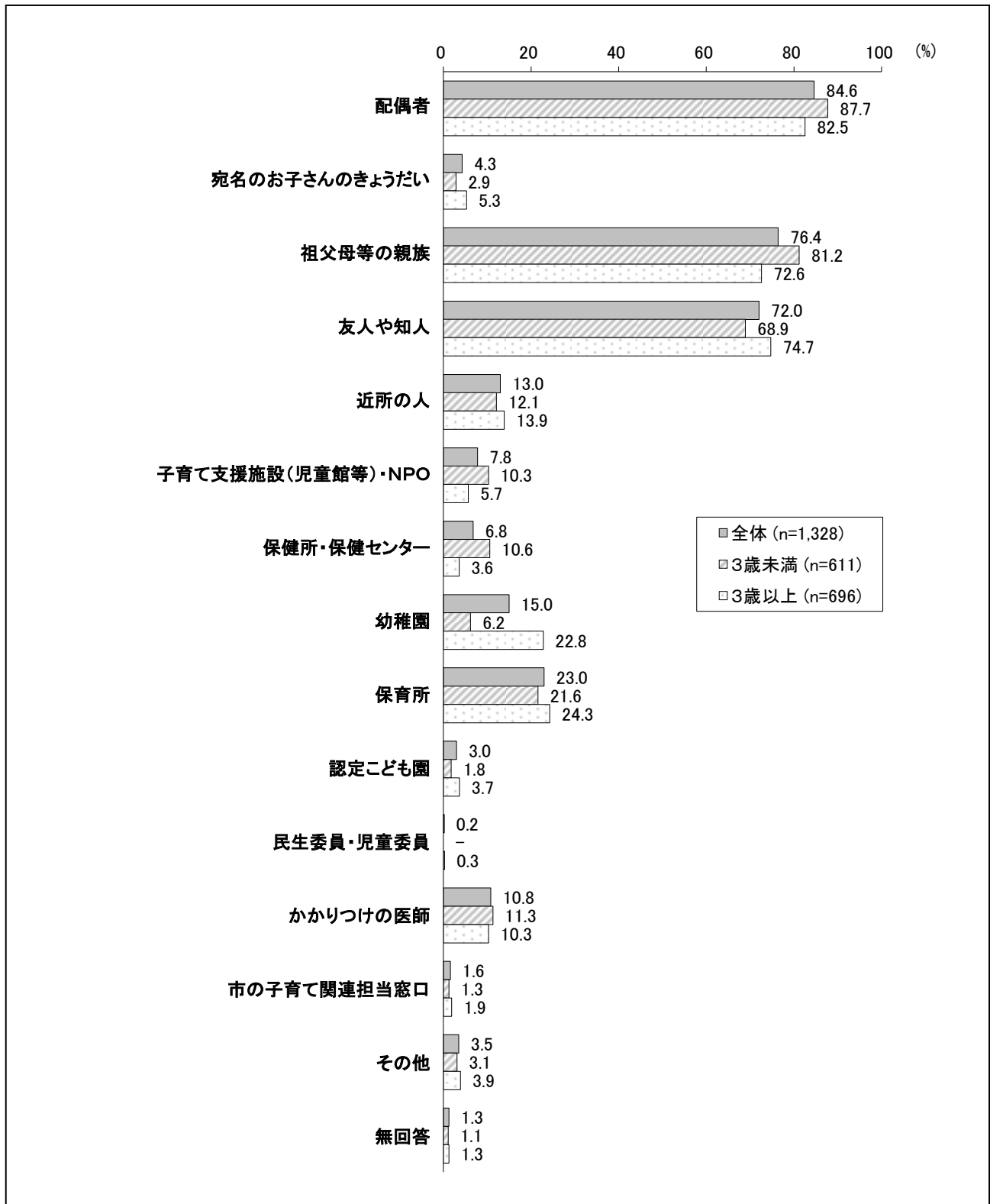
子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所については、「いる／ある」が94.3%で、「いない／ない」が3.7%となっている。



②子育ての相談ができる人・場所

問7-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

子育てに関して、気軽に相談できる先は、「配偶者」が84.6%で最も高く、これに「祖父母等の親族」が76.4%、「友人や知人」が72.0%で続いている。



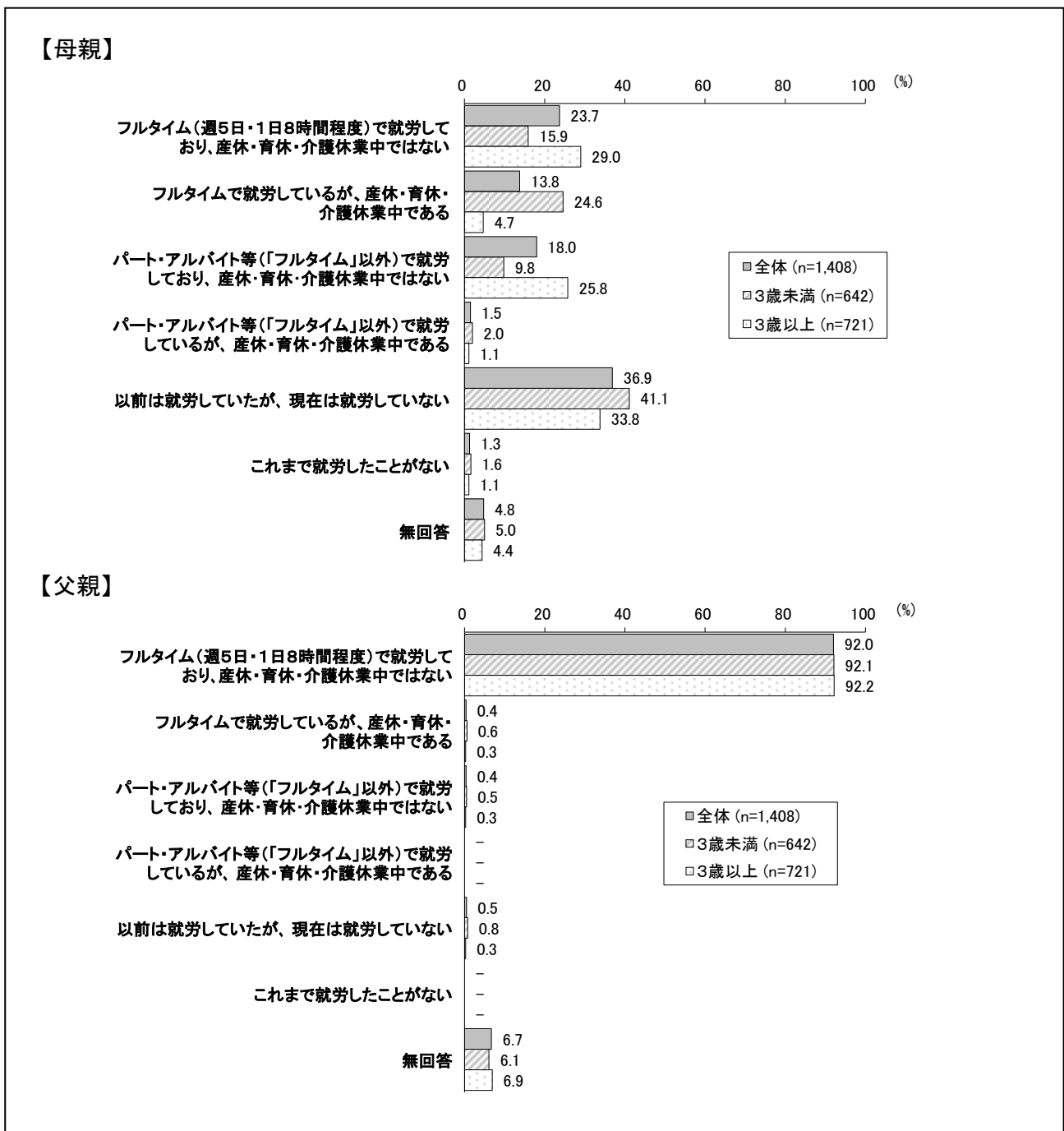
2. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。父母共に該当する番号をそれぞれ1つずつご記入ください。

母親の就労状況は、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が36.9%で最も高く、これに「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.7%、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が18.0%で続いている。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が92.0%を占めている。



(2) 就労日数・就労時間

問8-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間・残業時間等を含む拘束時間）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

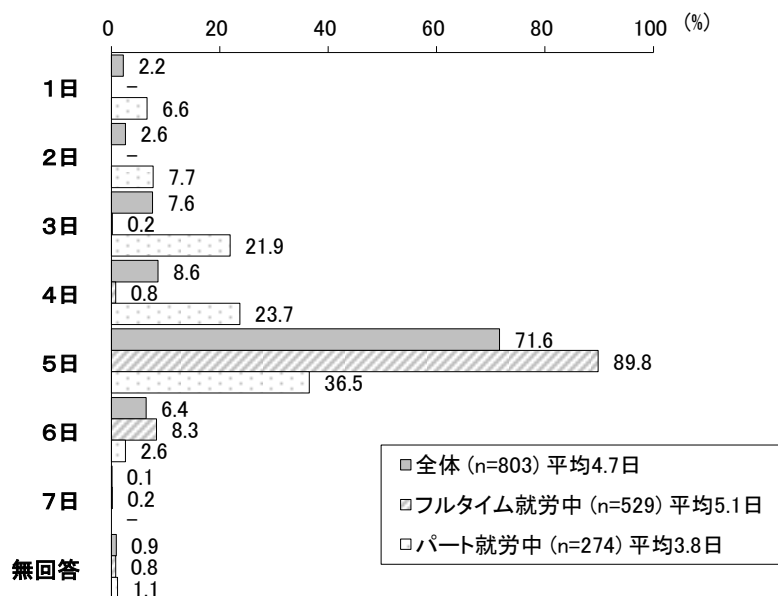
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

① 1週当たりの就労日数

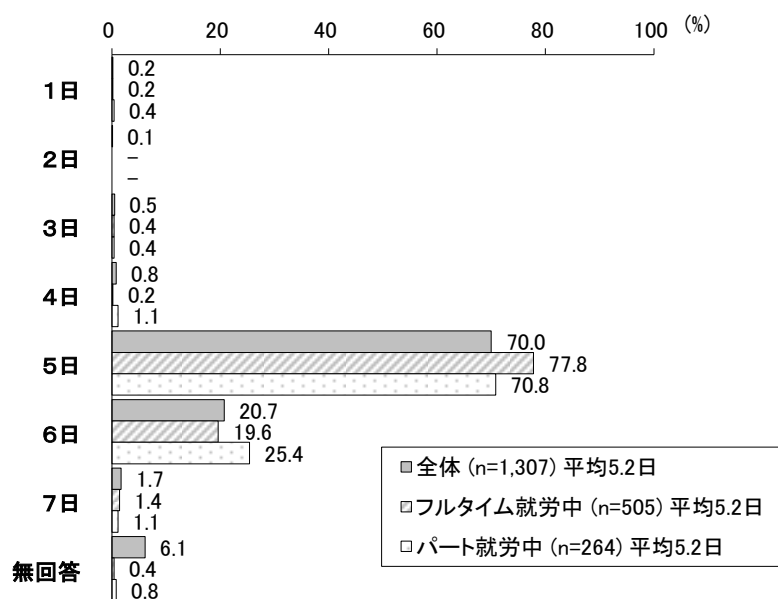
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が71.6%で高くなっている。

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が70.0%で高くなっている。

【母親】



【父親】



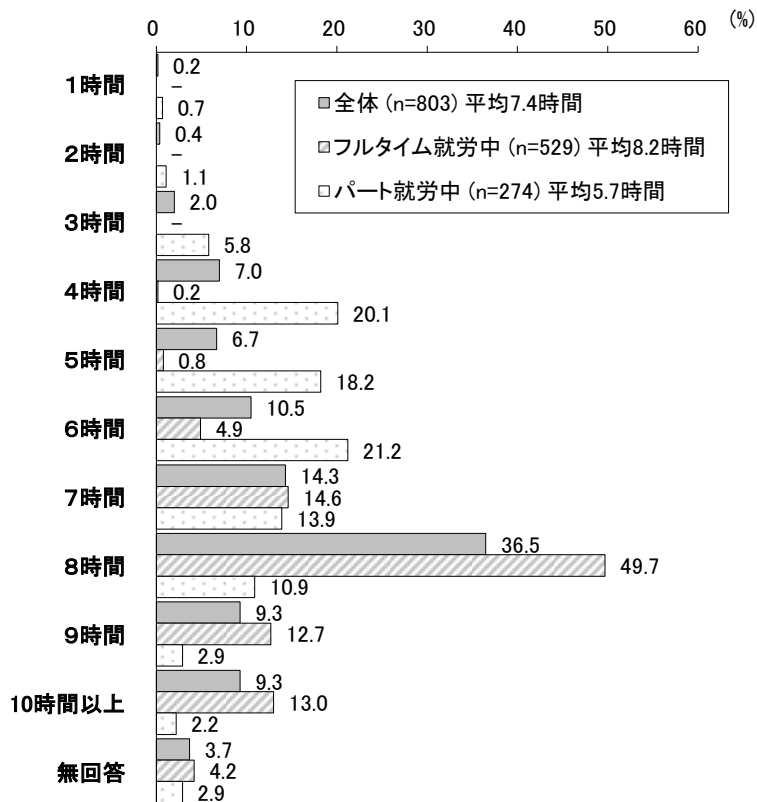
第2章 調査結果

② 1日当たりの就労時間

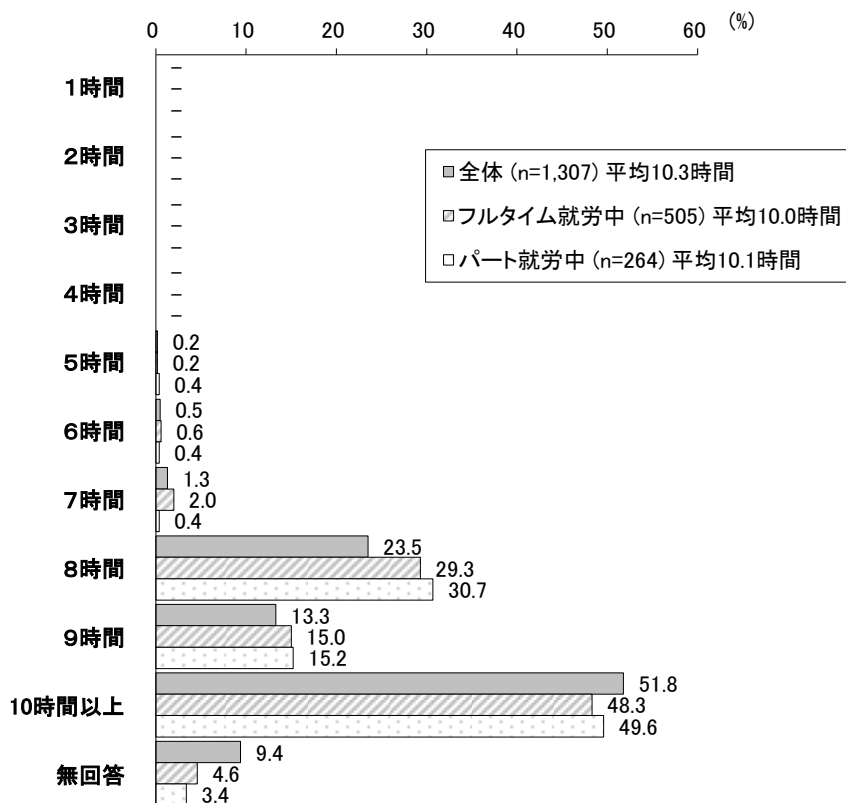
母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が36.5%で最も高く、平均7.4時間となっている。

父親の1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が51.8%で最も高く、平均10.3時間となっている。

【母親】



【父親】



(3) 家を出る時刻、帰宅時刻

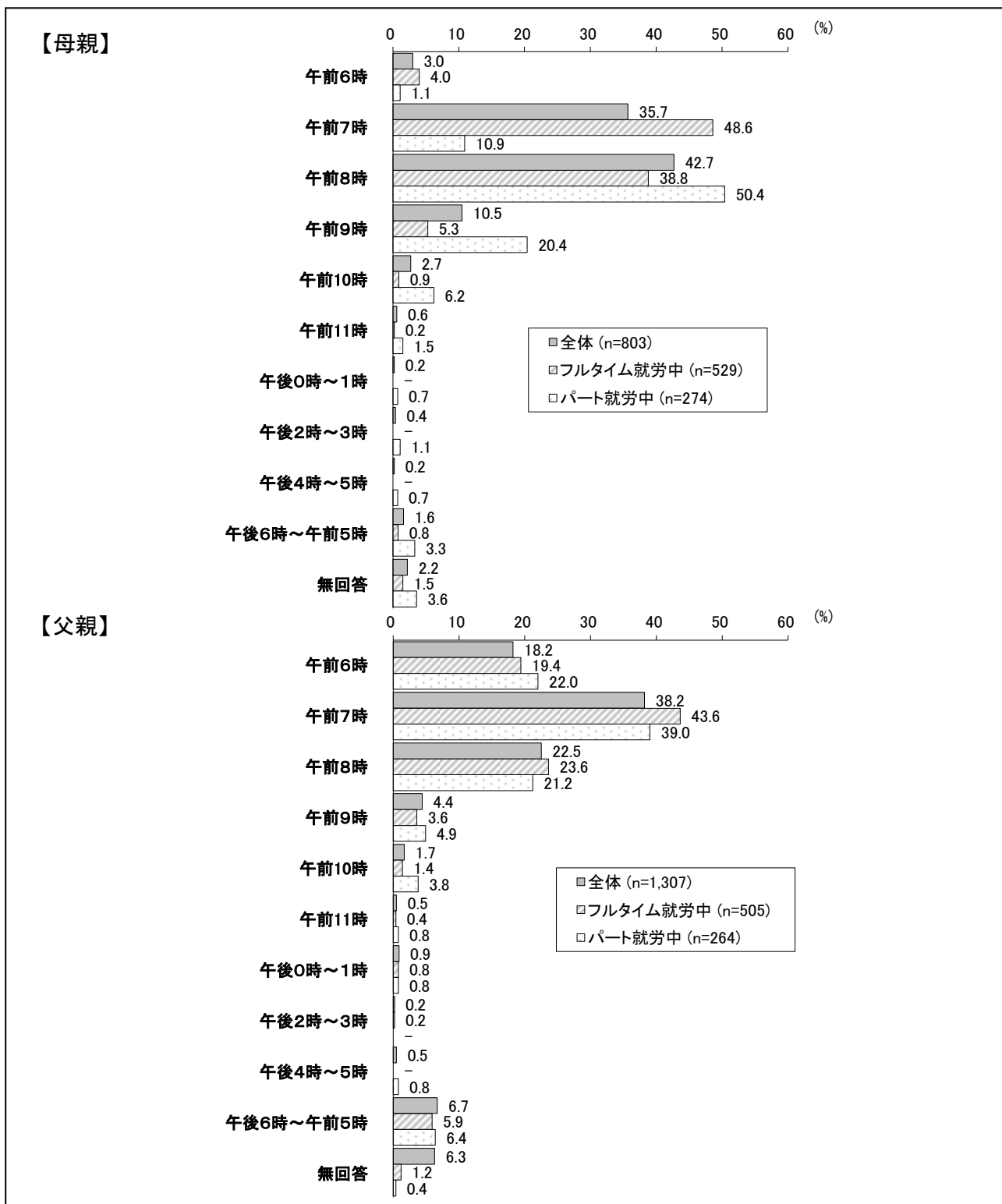
問8-2 家を出る時刻と帰宅時刻を24時間制でお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

①家を出る時刻

母親が家を出る時刻は、「午前8時」が42.7%、「午前7時」が35.7%と高くなっている。

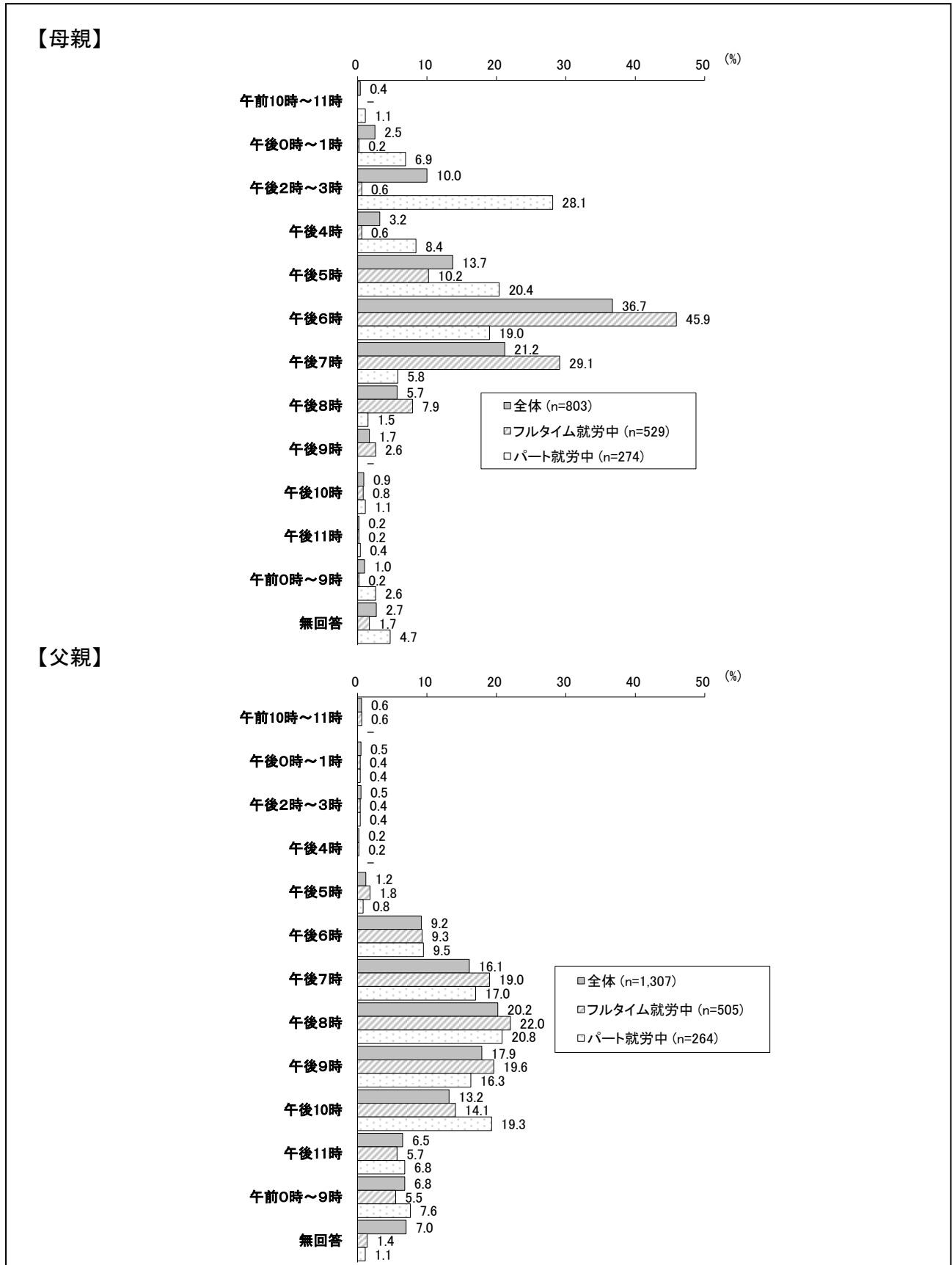
父親が家を出る時刻は、「午前7時」が38.2%で最も高くなっている。



第2章 調査結果

②帰宅時刻

母親の帰宅時刻は、「午後6時」が36.7%で最も高く、これに「午後7時」が21.2%が続いている。
 父親の帰宅時刻は、「午後8時」が20.2%で最も高く、これに「午後9時」が17.9%、「午後7時」が16.1%が続いている。



(4) フルタイム等への転換希望

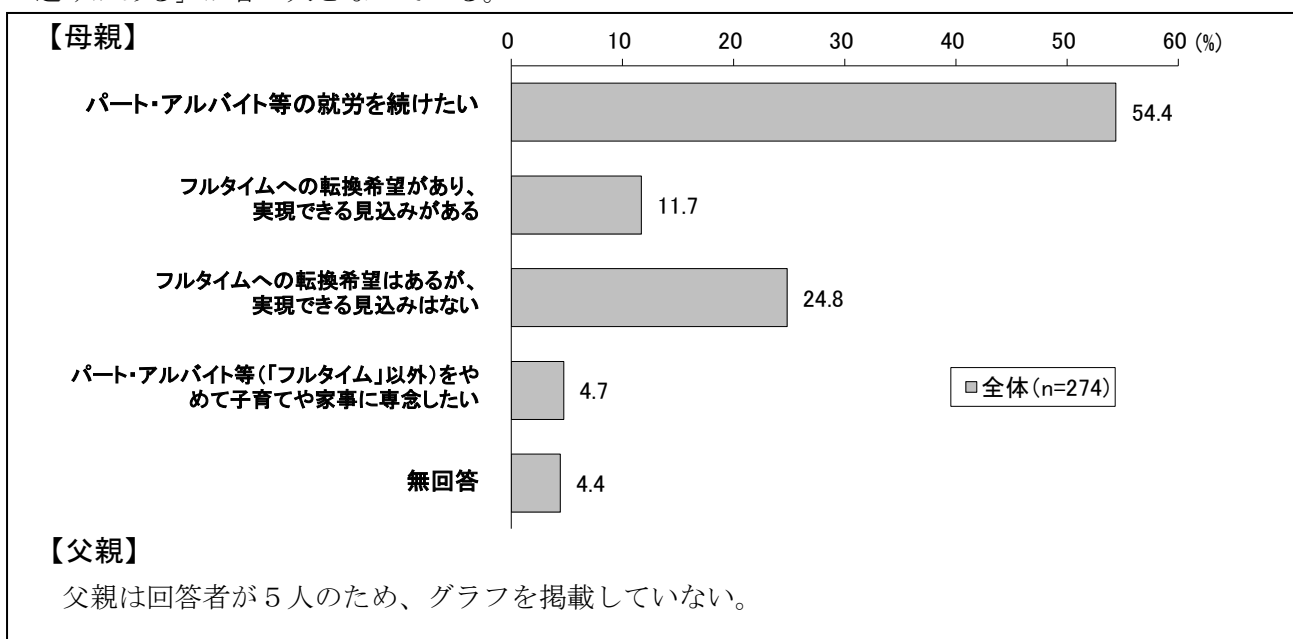
問8の母親または父親で、「3. 4. (パート・アルバイト等で就労している)」を選択した方にかがいます。

問9 フルタイム等への転換希望はありますか。父母それぞれ該当する番号を1つ記入し、「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期どちらかに○をつけてください。

①フルタイム等への転換希望

現在パート・アルバイト等で就労している母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が54.4%と特に高く、これに「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が24.8%、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が11.7%で続いている。

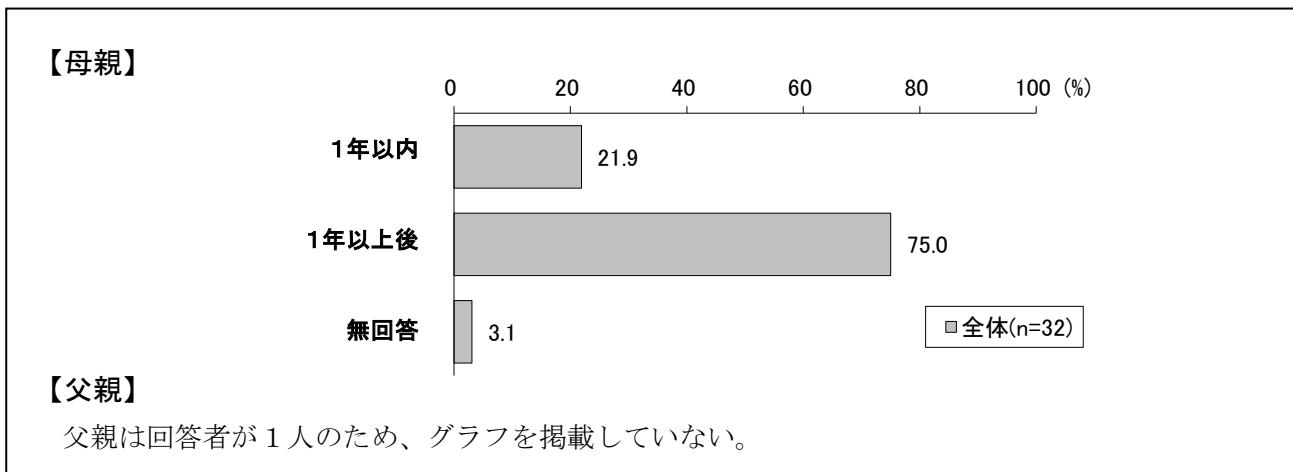
父親は、5人のうち3人が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答し、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が各1人となっている。



②フルタイムへの転換の見込み

「フルタイムへの転換見込みがある」と回答した母親の転換見込み時期は、「1年以上後」が75.0%、「1年以内」が21.9%となっている。

父親の回答者は1人(3歳以上)で、転換見込み時期は「1年以内」と回答している。



第2章 調査結果

(5) 就労希望

問8の母親または父親で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」を選択した方にうかがいます。

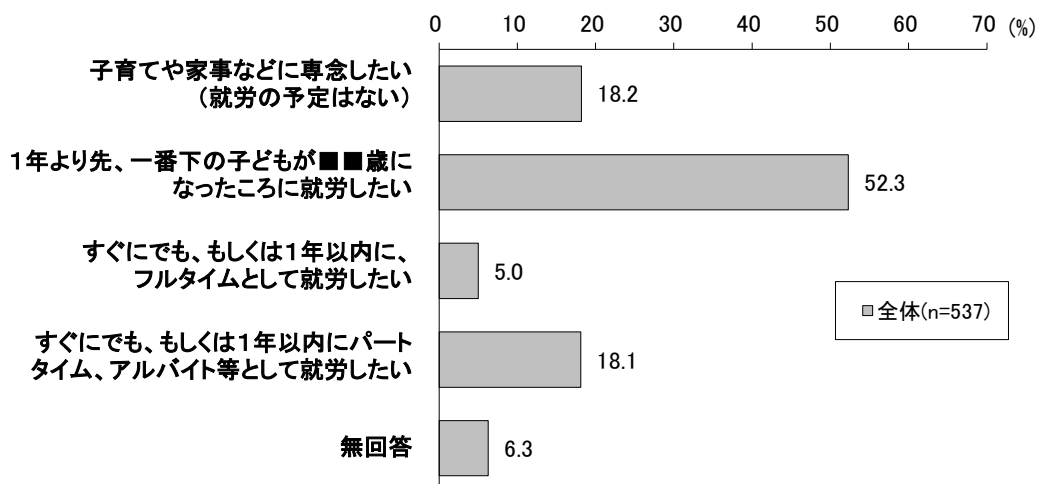
問10 就労したいという希望はありますか。該当する場合は、父母それぞれ回答欄に該当する番号を1つ記入し、該当する口内には数字をご記入ください。

①就労希望

現在就労していない母親の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが■■歳になったころに就労したい」が52.3%で最も高くなっている。

現在就労していない父親は、7人のうち3人が「1年より先、一番下の子どもが■■歳になったころに就労したい」と回答している。そのほか、「すぐにでも、もしくは1年以内に、フルタイムとして就労したい」が2人、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」「すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい」が各1人となっている。

【母親】



【父親】

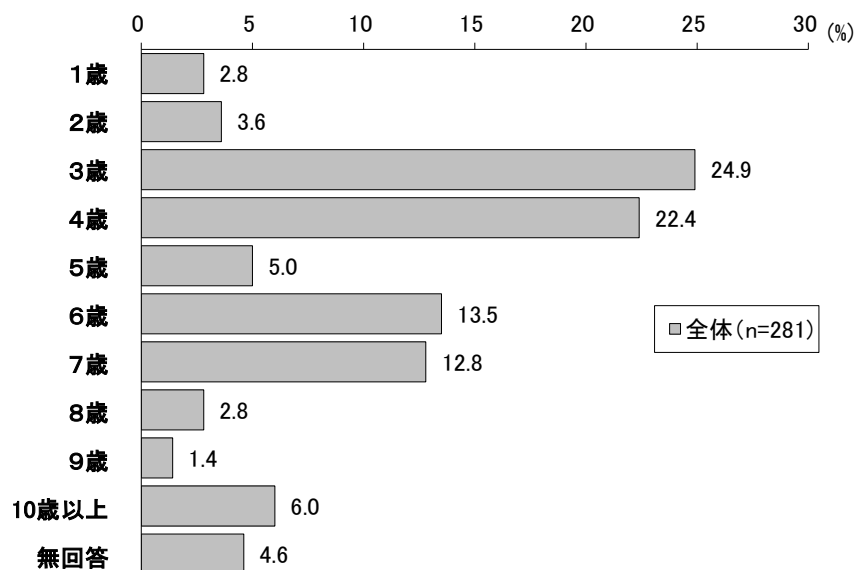
父親は回答者が7人のため、グラフを掲載していない。

②一番下の子どもが何歳になったら就労したいか

母親の就労意向は、一番下の子どもの年齢が「3歳」が24.9%、「4歳」が22.4%で比較的高く、平均4.9歳となっている。

父親の回答者は3人で、「3歳」「4歳」「6歳」が各1人となっている。

【母親】



【父親】

父親は回答者が3人のため、グラフを掲載していない。

第2章 調査結果

③ すぐにも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい方の希望する就労日数及び時間

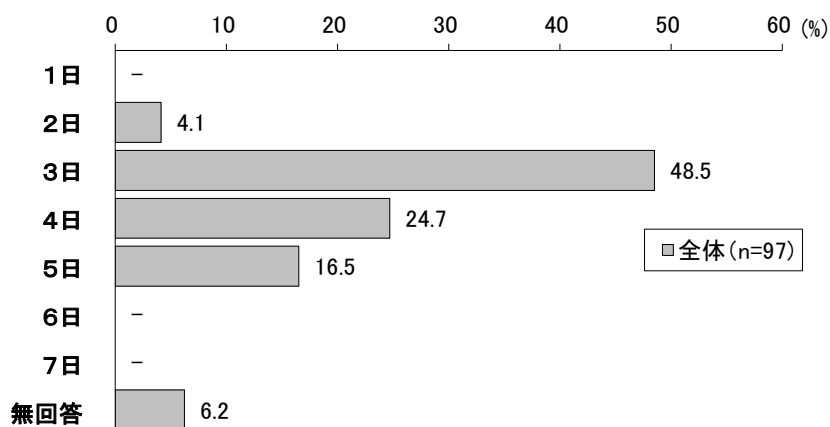
母親が希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が48.5%、「4日」が24.7%、「5日」が16.5%で、平均3.6日となっている。

母親が希望する1日当たりの就労時間は、「5時間」が36.1%、「4時間」が29.9%で、平均4.9時間となっている。

父親は、希望する就労日数及び時間の回答がなかった。

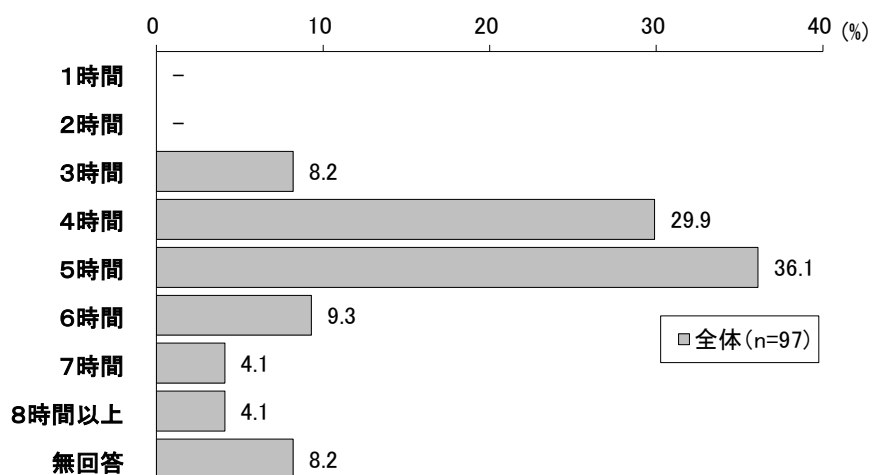
<就労日数>

【母親】



<就労時間>

【母親】



④就労希望があるのに働いていない理由

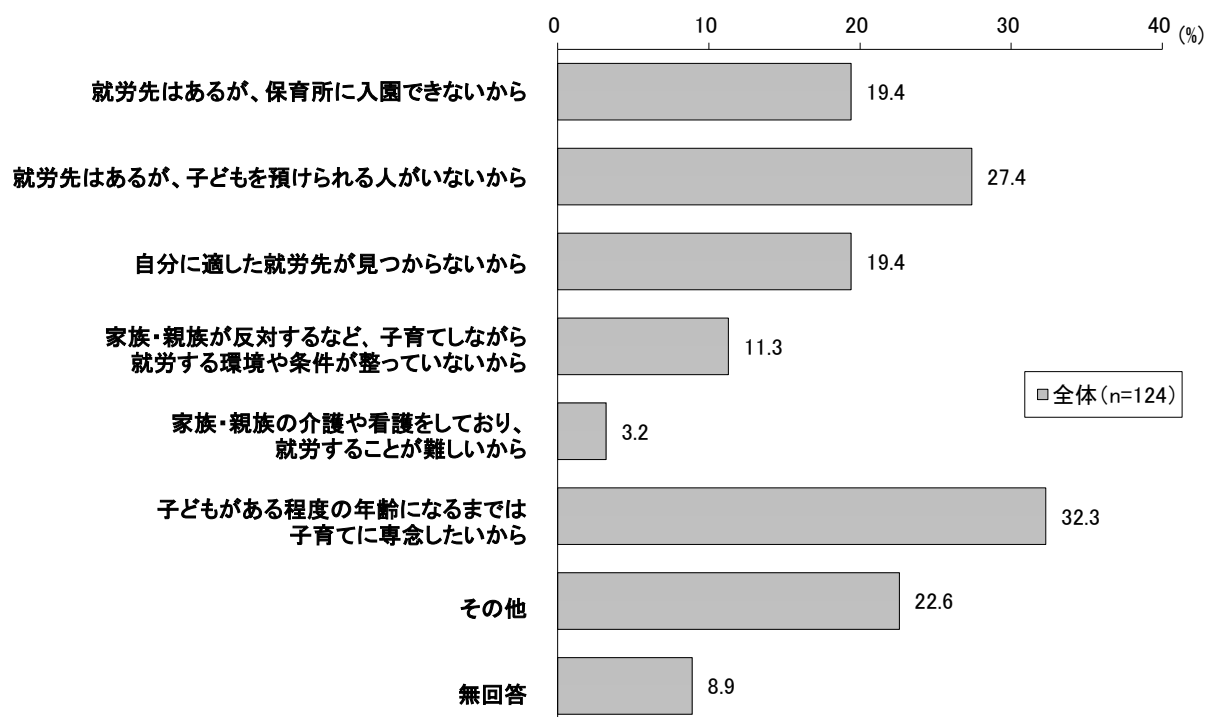
問10の母親または父親で、「3. 4. (すぐにでも就労したい)」を選択した方にうかがいます。

問10-1 就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。(回答欄に、父母それぞれ当てはまるものすべてに○)

母親の就労希望があるのに働いていない理由は、「子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したいから」が32.3%で最も高く、これに「就労先はあるが、子どもを預けられる人がいないから」が27.4%で続いている。その他の理由として、「求職中で保育所に入所できない」「妊娠中」「子どもがもう少し大きくなってから就労したいと思っている」などが挙げられている。

父親の就労希望があるのに働いていない理由は、3人のうち2人が「自分に適した就労先が見つからないから」と回答している。

【母親】



【父親】

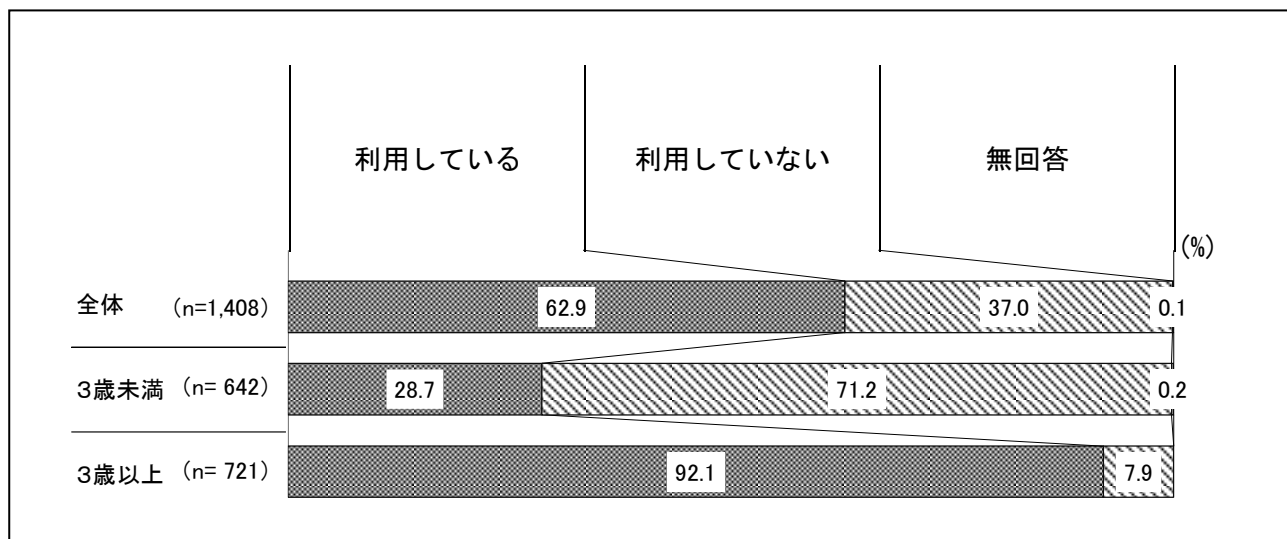
父親は回答者が3人のため、グラフを掲載していない。

3. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

(1) 定期的な教育・保育事業の利用の有無

問11 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(〇は1つ)

平日の定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が62.9%、「利用していない」が37.0%となっている。

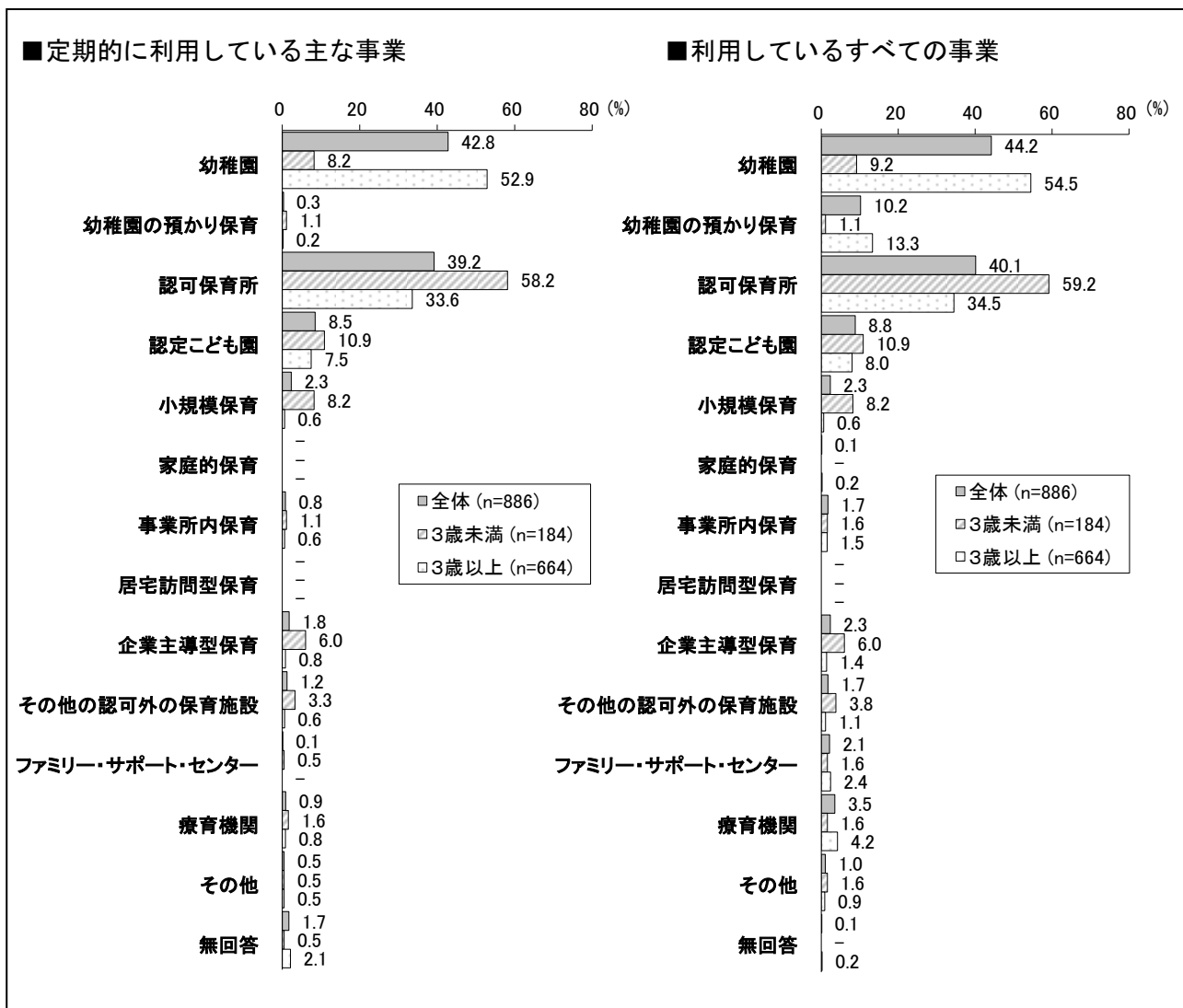


(2) 利用している教育・保育事業

問11-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している主な事業1つに◎(二重丸)、その他、利用している事業すべてに○をつけてください。また、利用している事業の利用日数・時間をお答えください。

平日に定期的に利用している主な教育・保育事業は、「幼稚園」が42.8%で最も高く、次いで「認可保育所」が39.2%となっている。

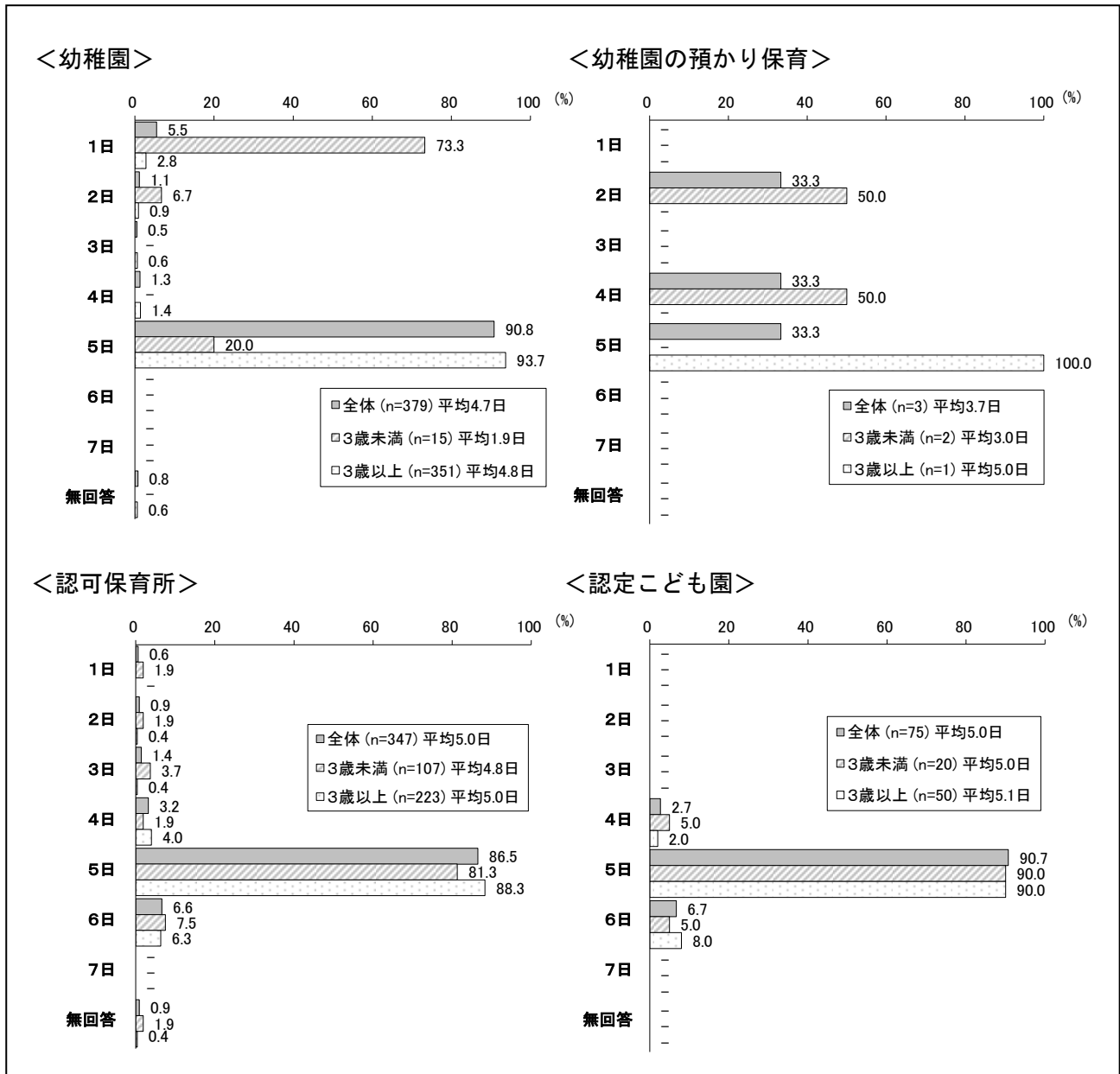
また、「その他」の具体的な回答としては、サークル、習い事などがあつた。



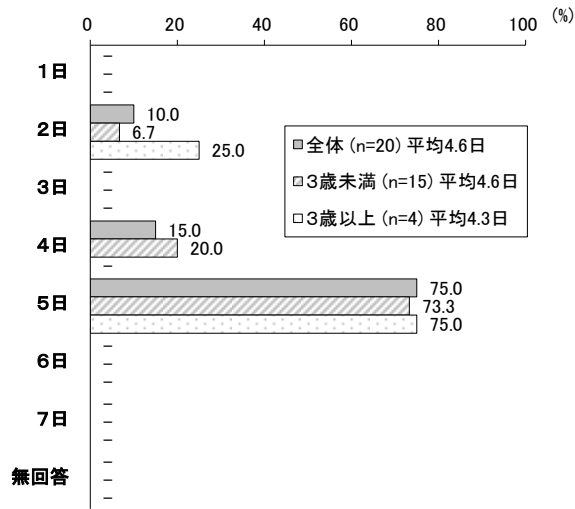
第2章 調査結果

① 1週当たりの利用日数

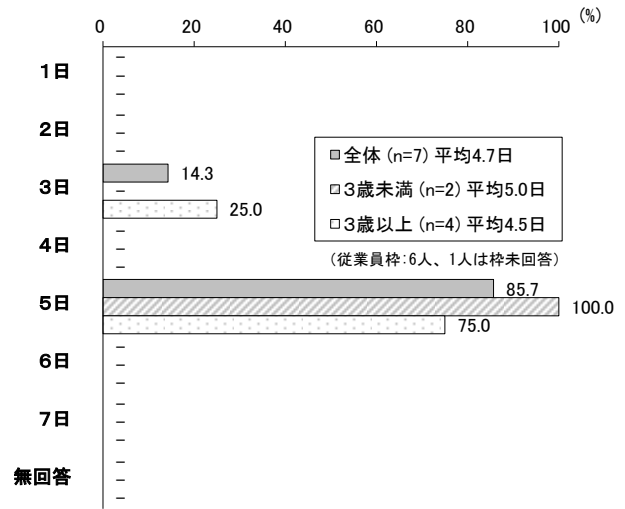
主な教育・保育事業の1週当たり平均利用日数は、「認可保育所」が5.0日、「認定こども園」が5.0日、「幼稚園」が4.7日となっている。なお、「家庭的保育」「居宅訪問型保育」「ファミリー・サポート・センター」は、1週当たりの利用日数の回答がなかった。



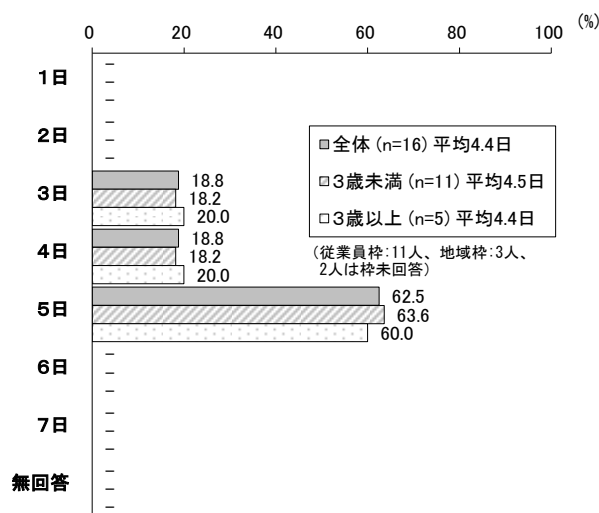
<小規模保育>



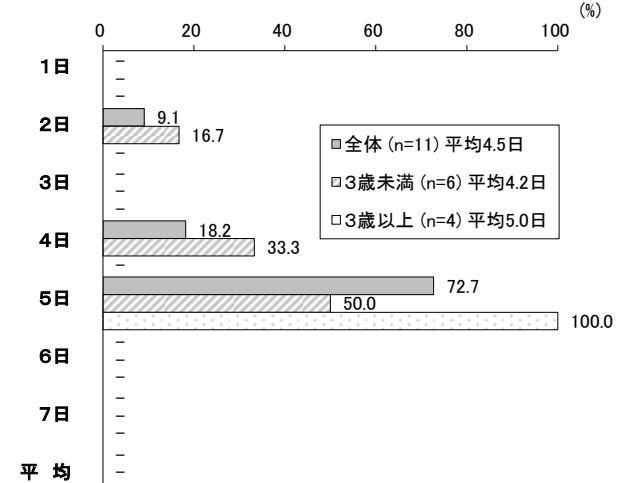
<事業所内保育>



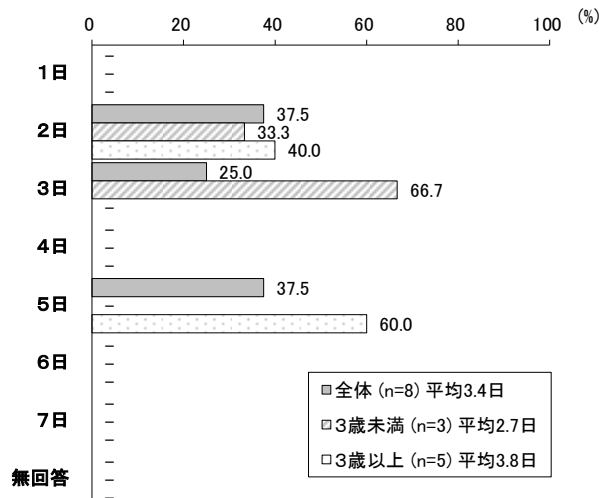
<企業主導型保育>



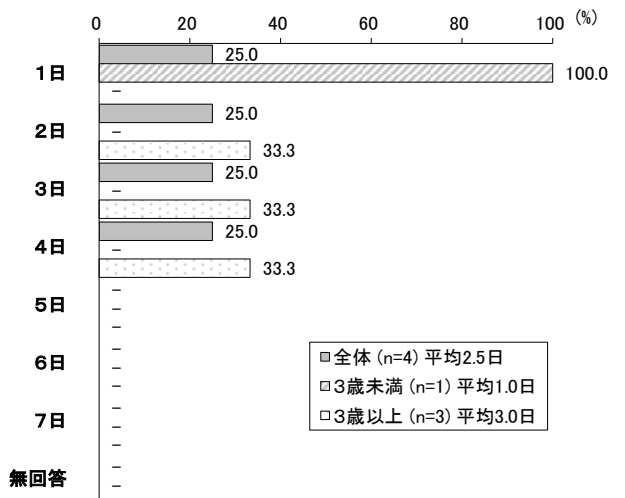
<その他の認可外の保育施設>



<療育機関>



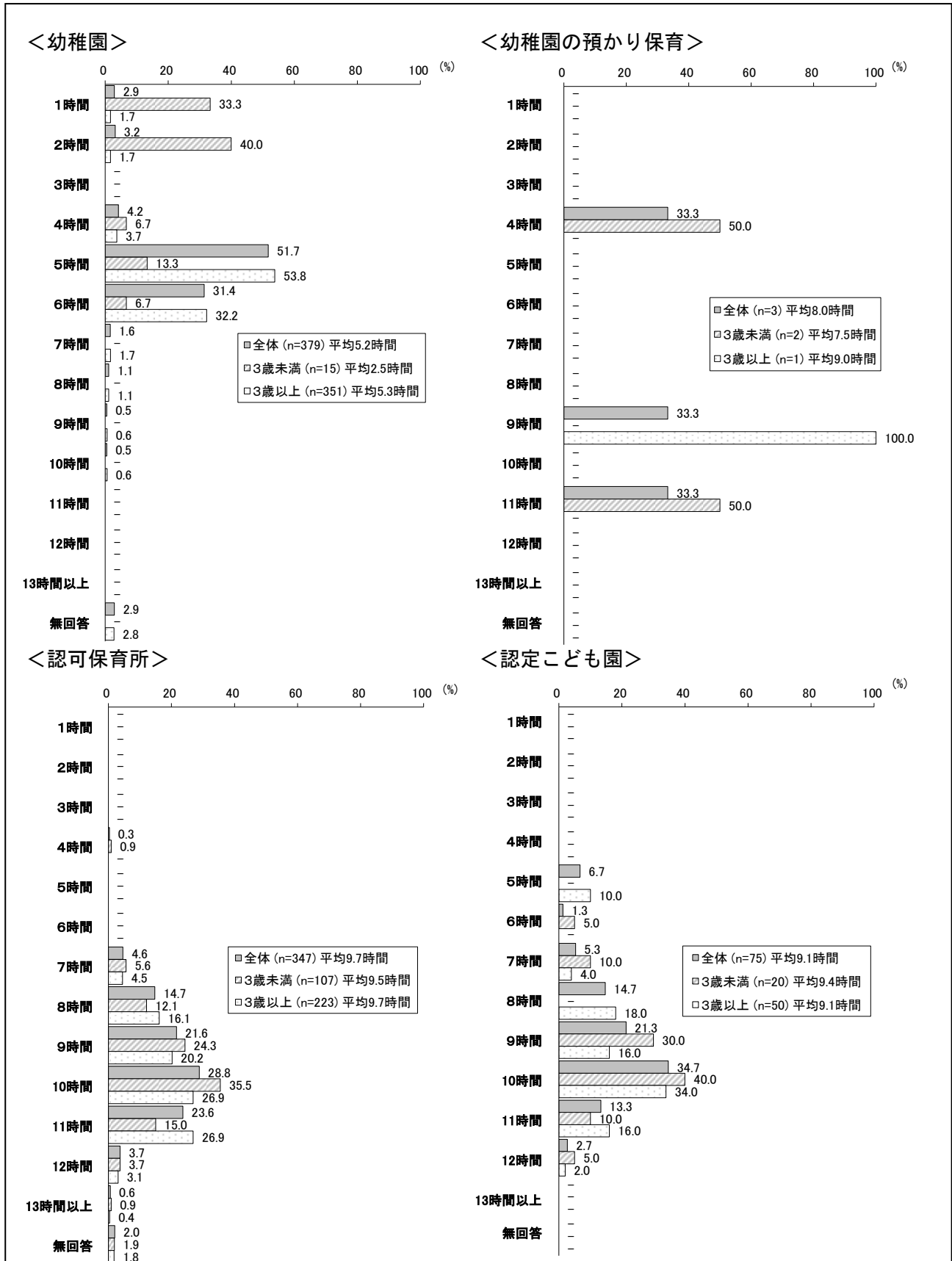
<その他>



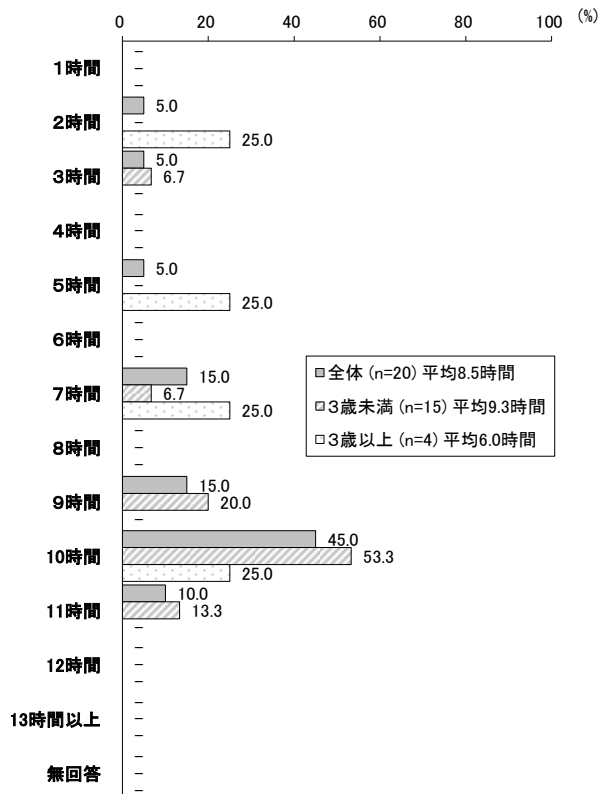
第2章 調査結果

② 1日当たりの平均利用時間

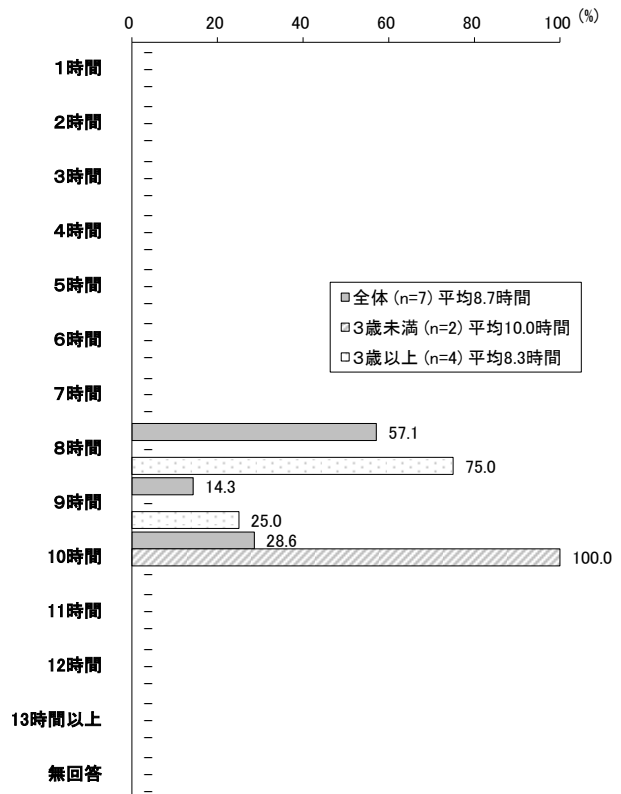
主な教育・保育事業の1日当たりの平均利用時間は、「認可保育所」が9.7時間、「認定こども園」が9.1時間、「幼稚園」が5.2時間となっている。なお、「家庭的保育」と「居宅訪問型保育」は、1日当たりの利用時間の回答がなかった。



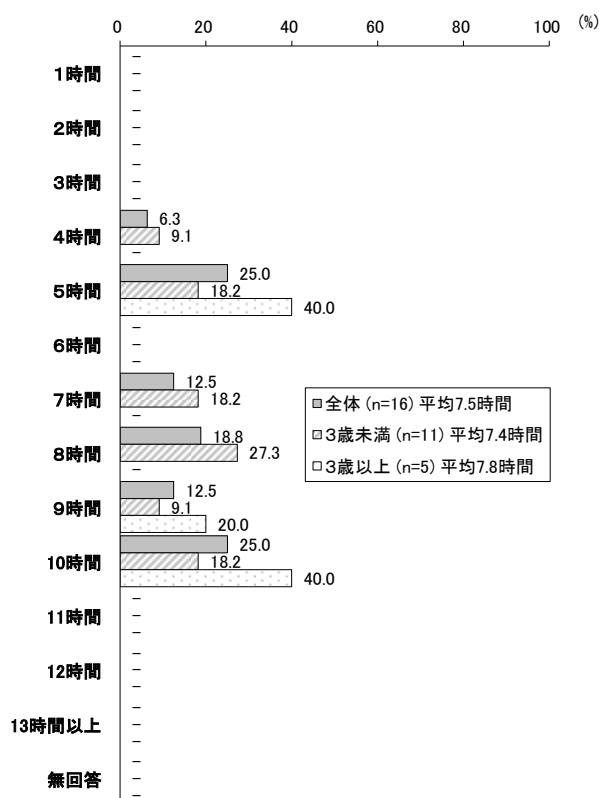
<小規模保育>



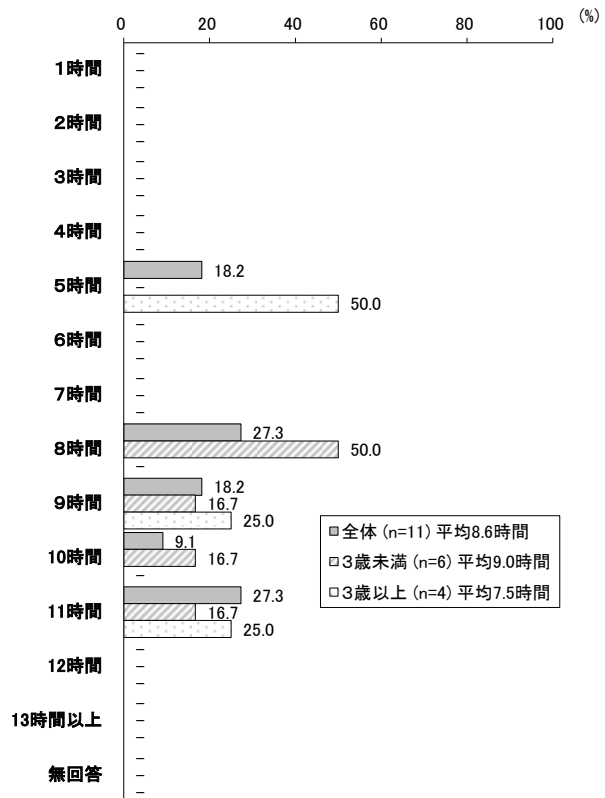
<事業所内保育>



<企業主導型保育>

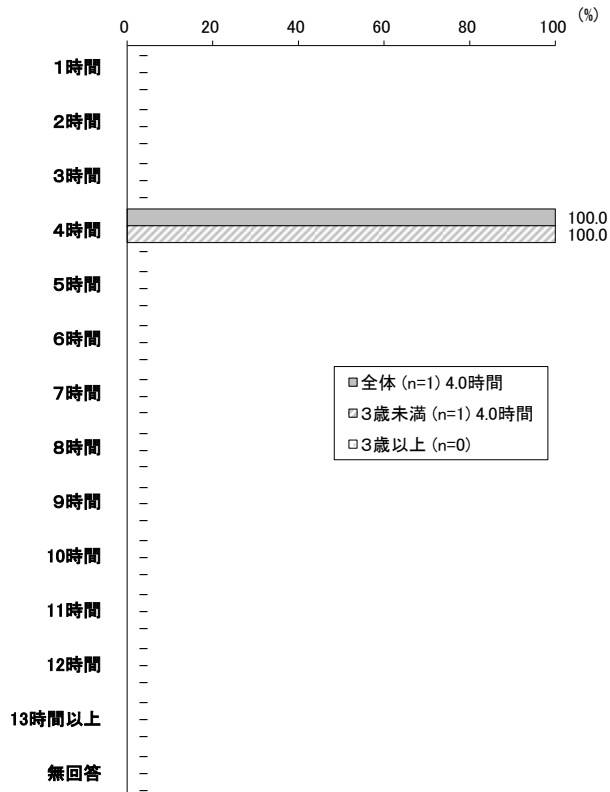


<その他の認可外の保育施設>

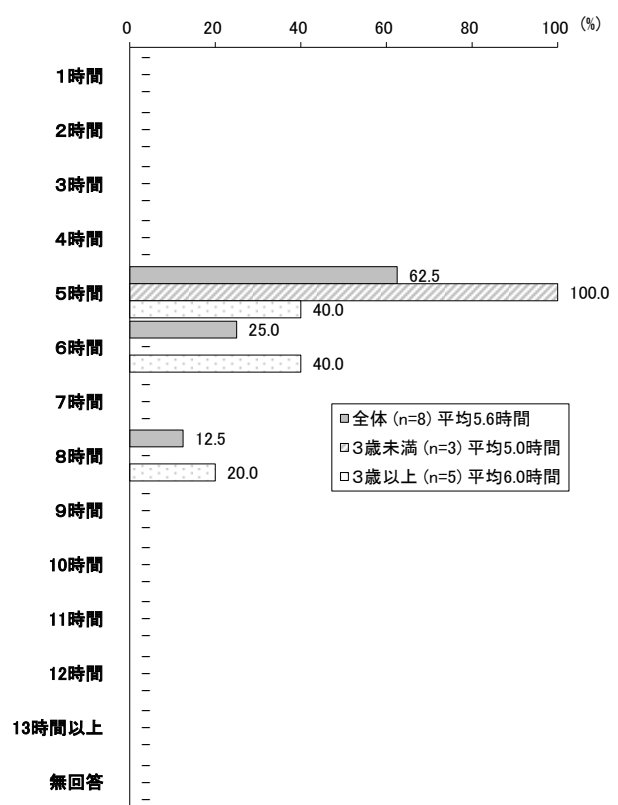


第2章 調査結果

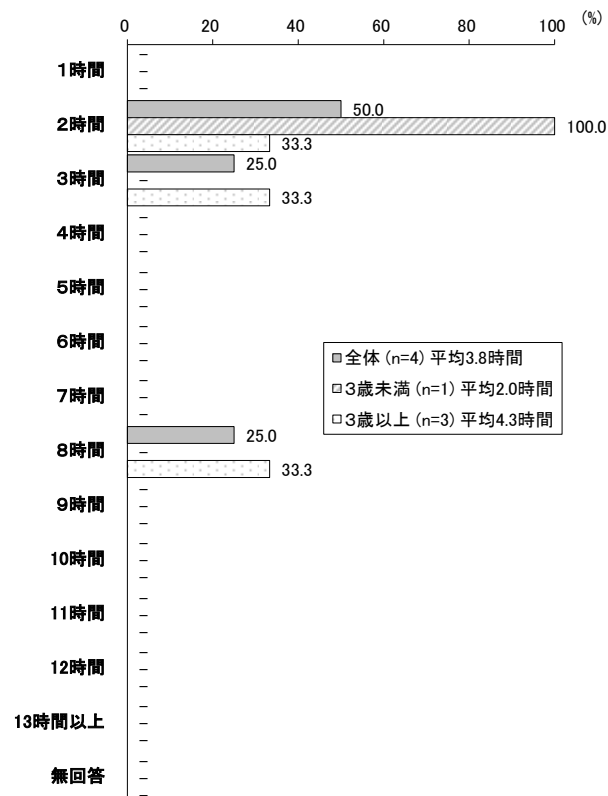
<ファミリー・サポート・センター>



<療育機関>



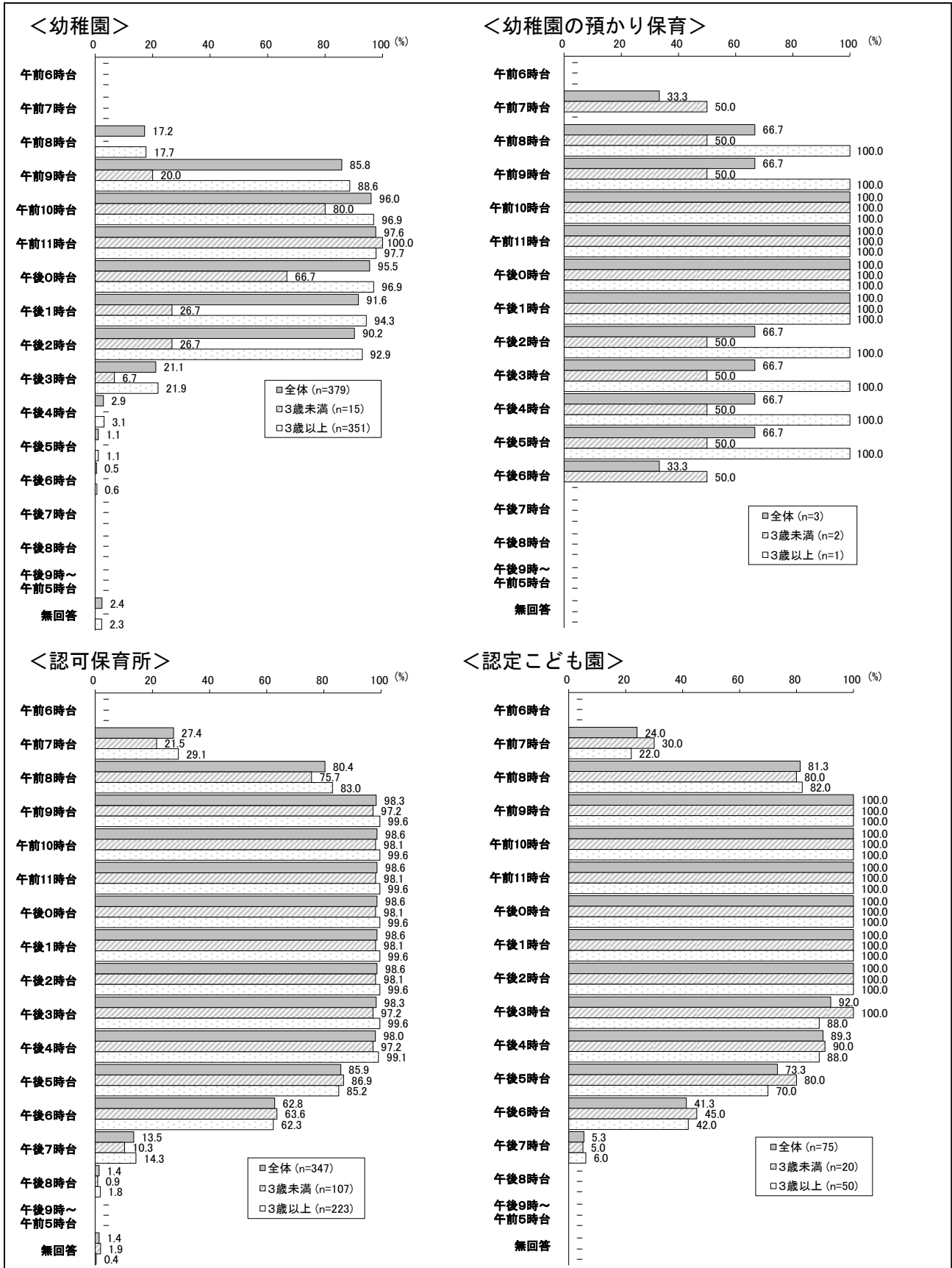
<その他>



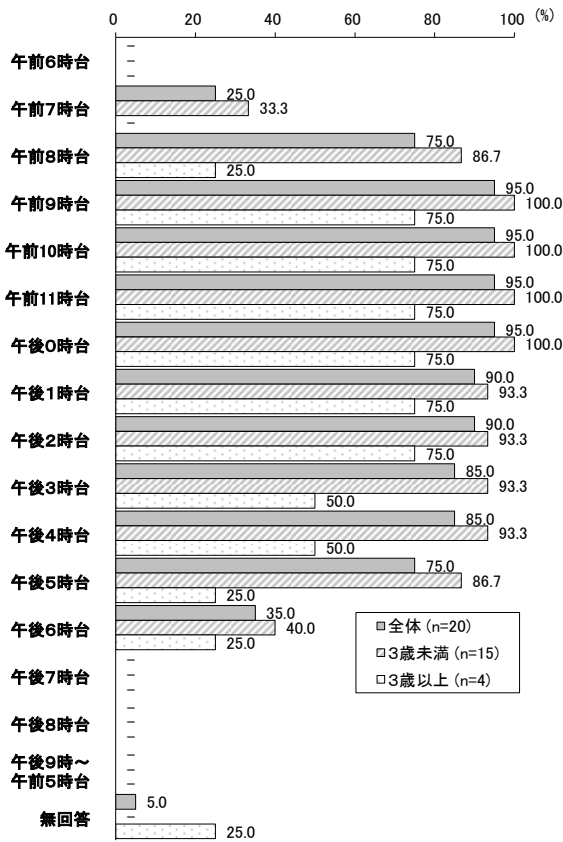
③ 1日の利用時間帯

主な教育・保育事業の種類別の1日の利用時間帯は、「幼稚園」は「午後1時台」には26.7%へ減少しているのに対して、「認可保育所」は「午後6時台」にも62.8%の利用となっている。

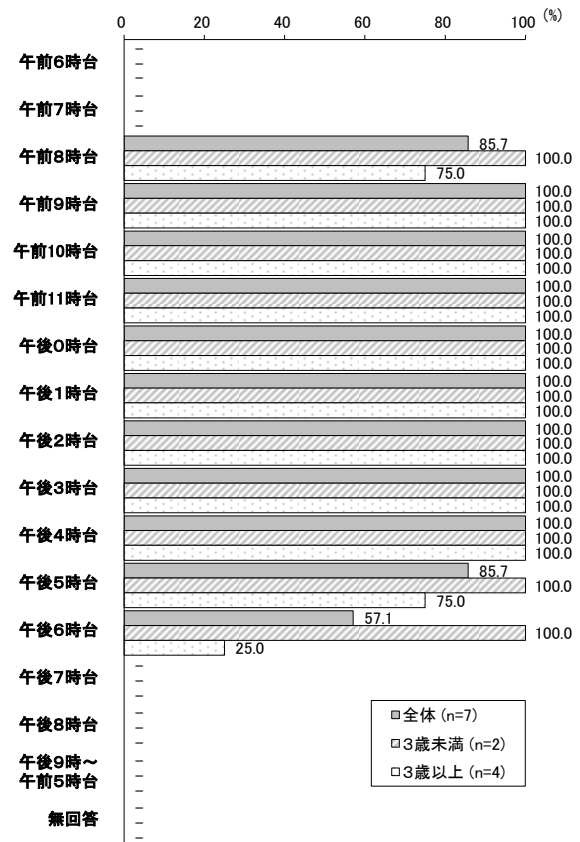
「家庭的保育」と「居宅訪問型保育」の1日の利用時間帯については、回答がなかった。



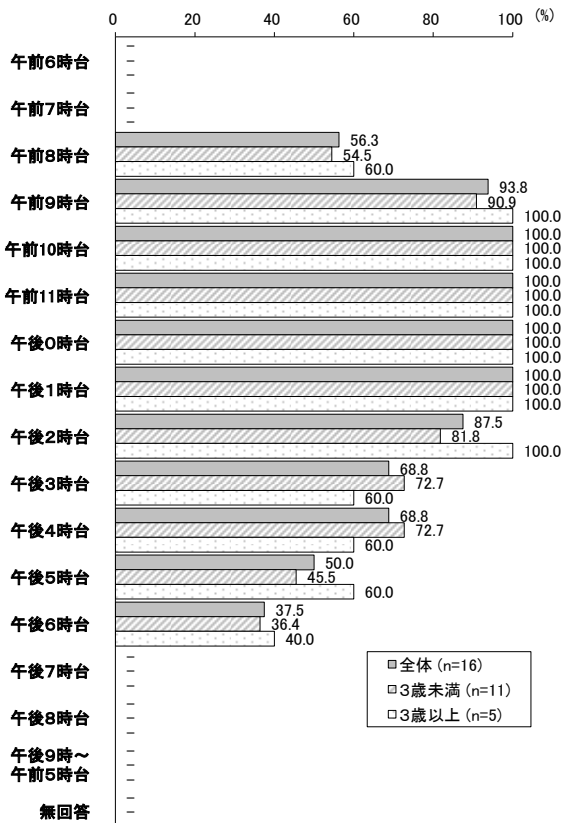
<小規模保育>



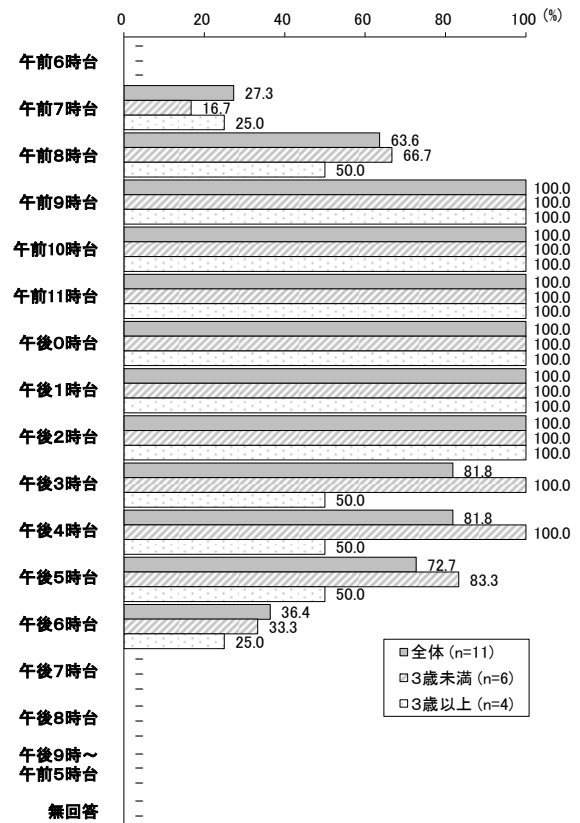
<事業所内保育>



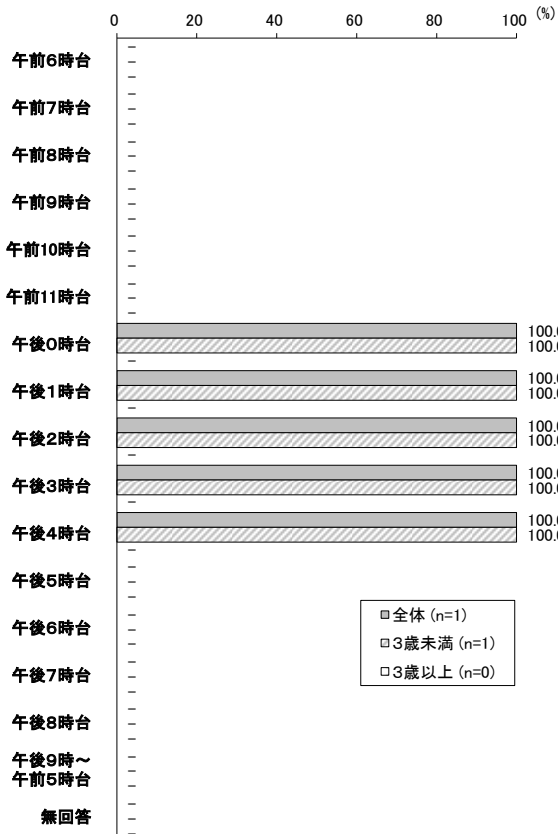
<企業主導型保育>



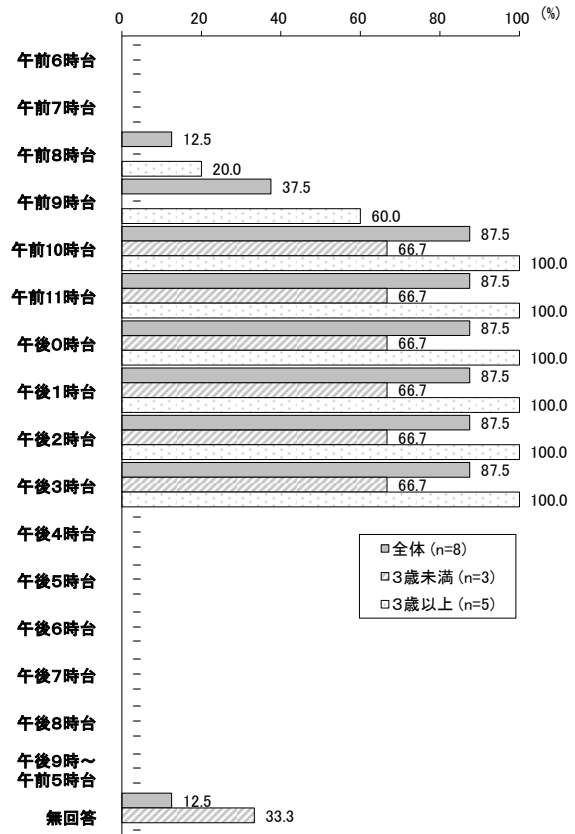
<その他の認可外の保育施設>



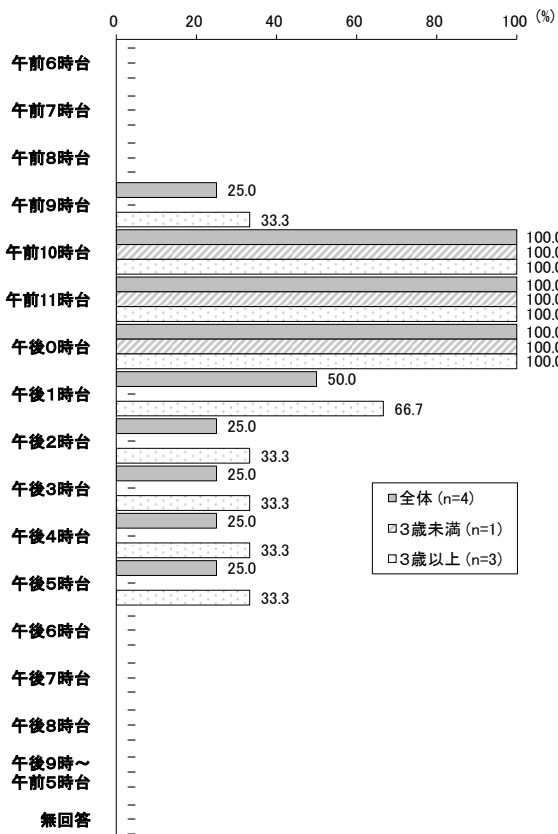
<ファミリー・サポート・センター>



<療育機関>



<その他>

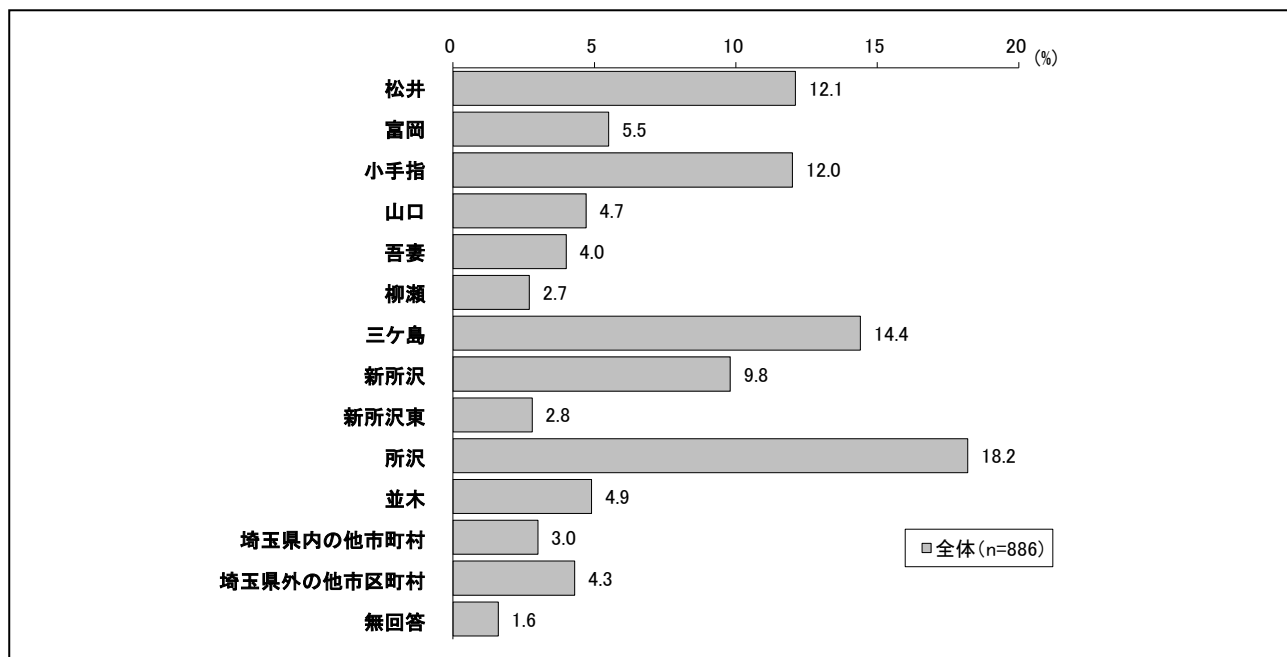


第2章 調査結果

(3) 利用している教育・保育事業の実施場所

問11-2 宛名のお子さんが現在、利用している主な教育・保育の事業（問11-1で◎をつけた事業）の実施場所はどの地区ですか。（〇は1つ）

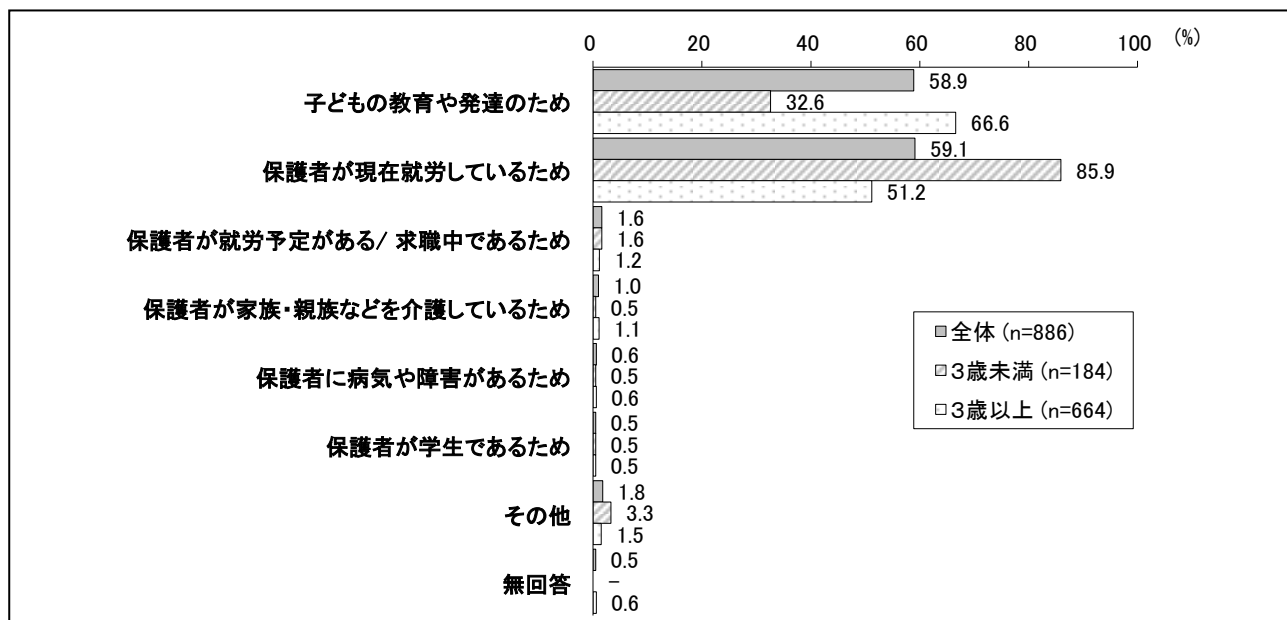
現在、利用している教育・保育事業の実施場所は、「所沢」が18.2%で最も高く、これに「三ヶ島」が14.4%、「松井」が12.1%、「小手指」が12.0%が続いている。市外での利用としては、県内では入間市、狭山市、県外では東村山市、清瀬市などの回答があった。



(4) 平日に定期的な教育・保育事業を利用している理由

問11-3 宛名のお子さんが平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。（当てはまるものすべてに〇）

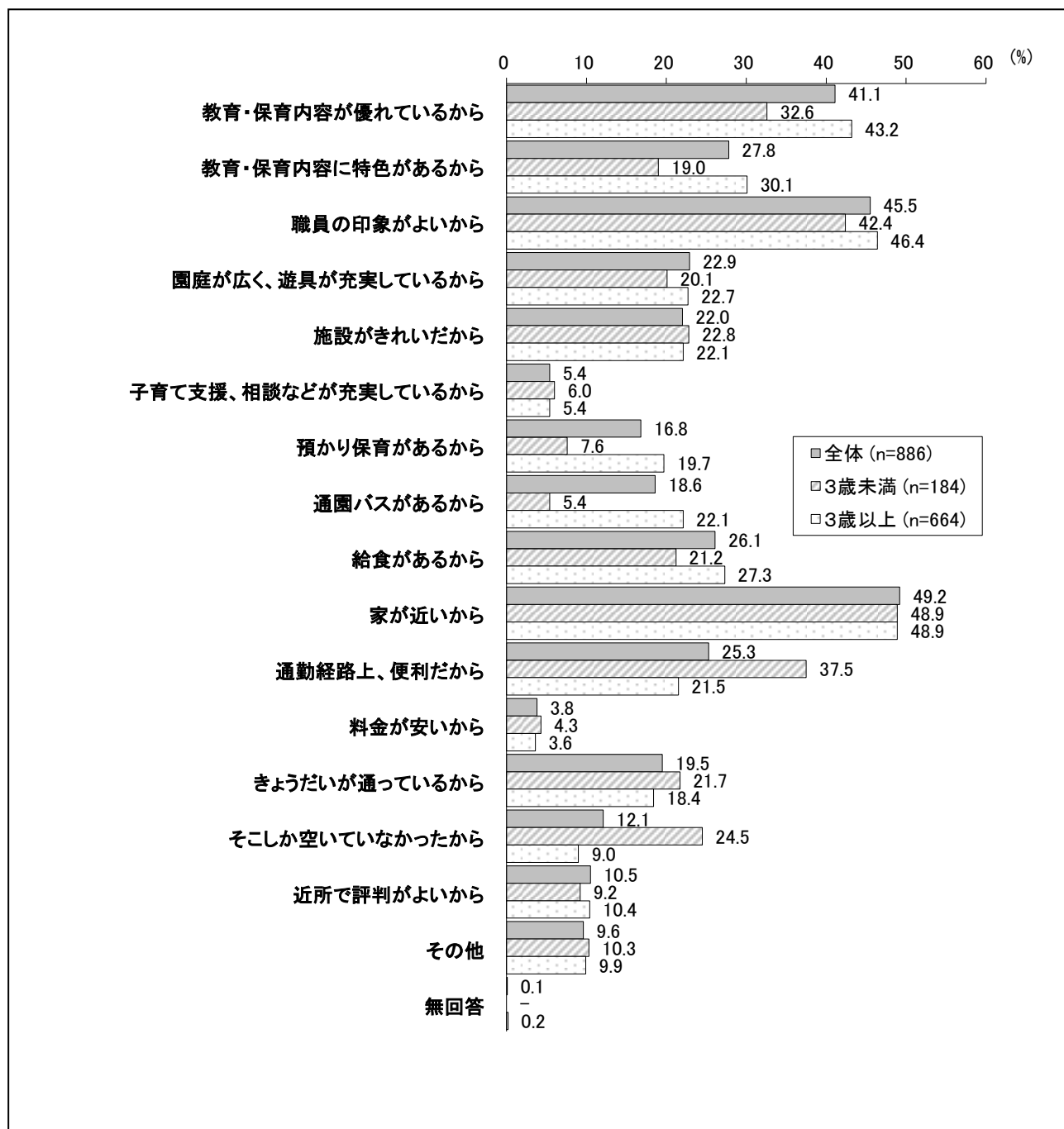
平日に定期的な教育・保育の事業を利用している理由は、「保護者が現在就労しているため」が59.1%、「子どもの教育や発達のため」が58.9%で6割弱と特に高くなっている。



(5) 現在利用している教育・保育事業の施設を選んだ理由

問11-4 宛名のお子さんが現在の教育・保育事業の施設を選んだ理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

現在利用している教育・保育事業の施設を選んだ理由は、「家が近いから」が49.2%、「職員の印象がよいから」が45.5%、「教育・保育内容が優れているから」が41.1%で4～5割と上位を占めている。



第2章 調査結果

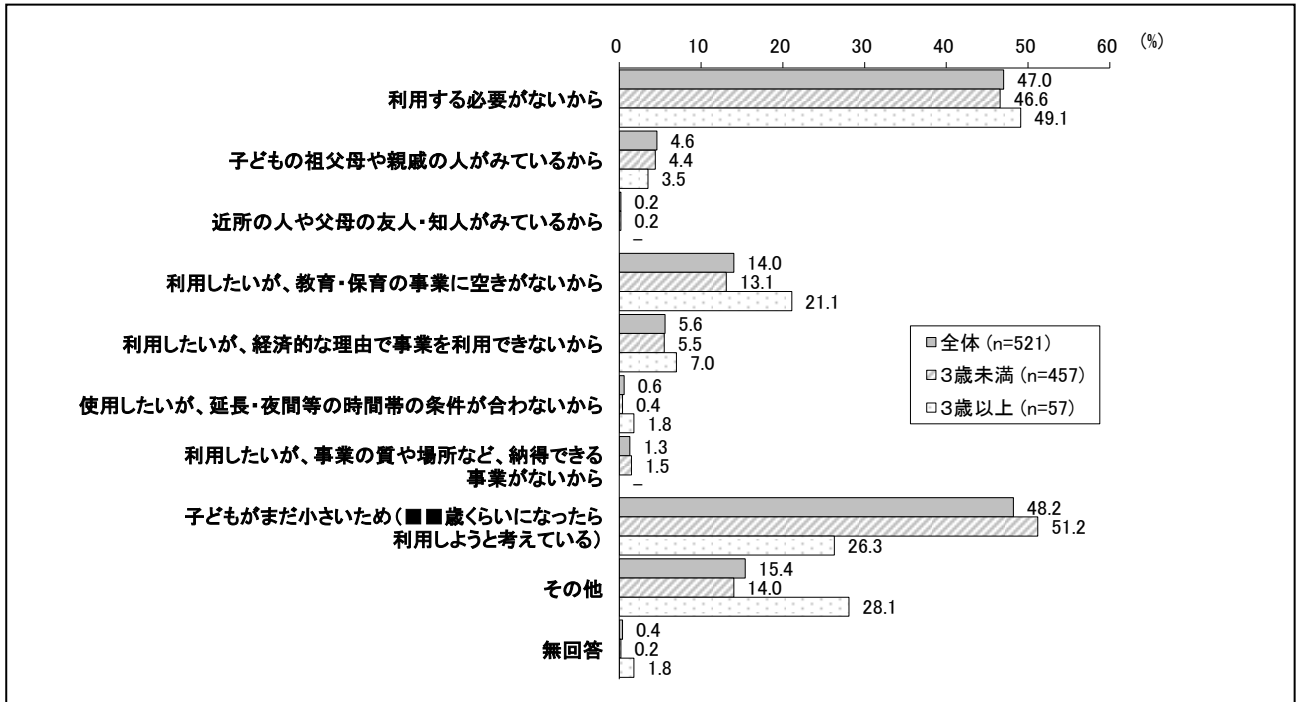
(6) 定期的に教育・保育事業を利用していない理由

問11で、「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

問11-5 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○) 8に○をつけた方は、該当する口内に数字をご記入ください。

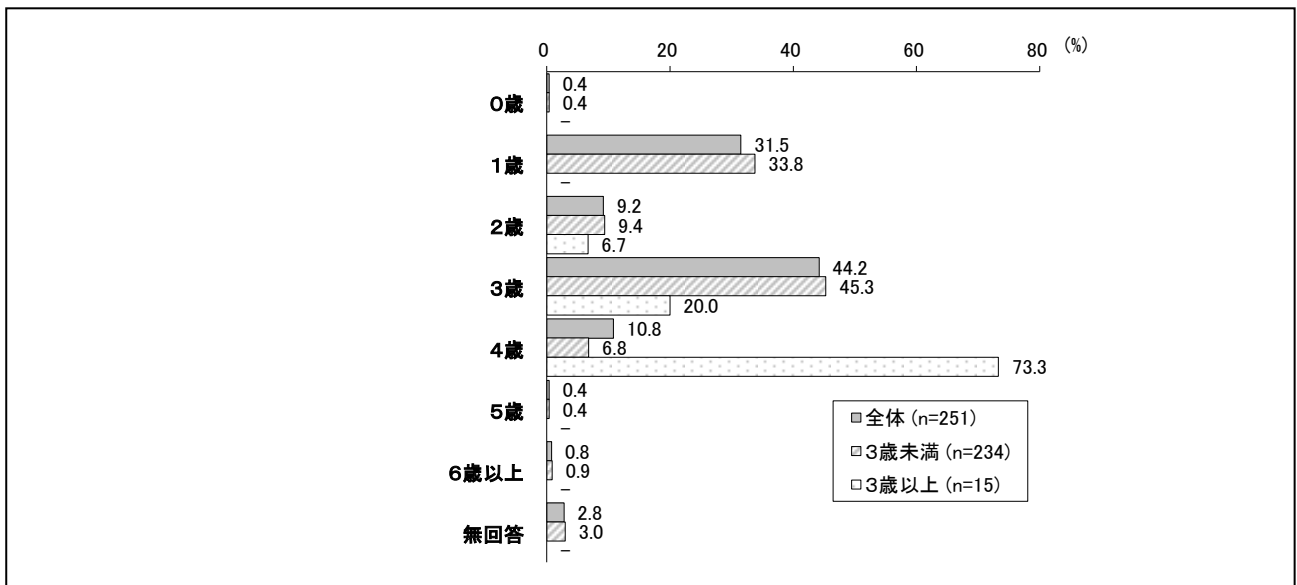
①教育・保育事業を利用していない理由

教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため」が48.2%で最も高く、これに「利用する必要がないから」が47.0%で続いている。



②子どもがまだ小さいため教育・保育事業を利用していない方が、何歳になったら利用しようと考えているか

「子どもがまだ小さいため」と回答した人の定期的な教育・保育事業の利用開始年齢は、「3歳」が44.2%、「1歳」が31.5%と特に高くなっている。



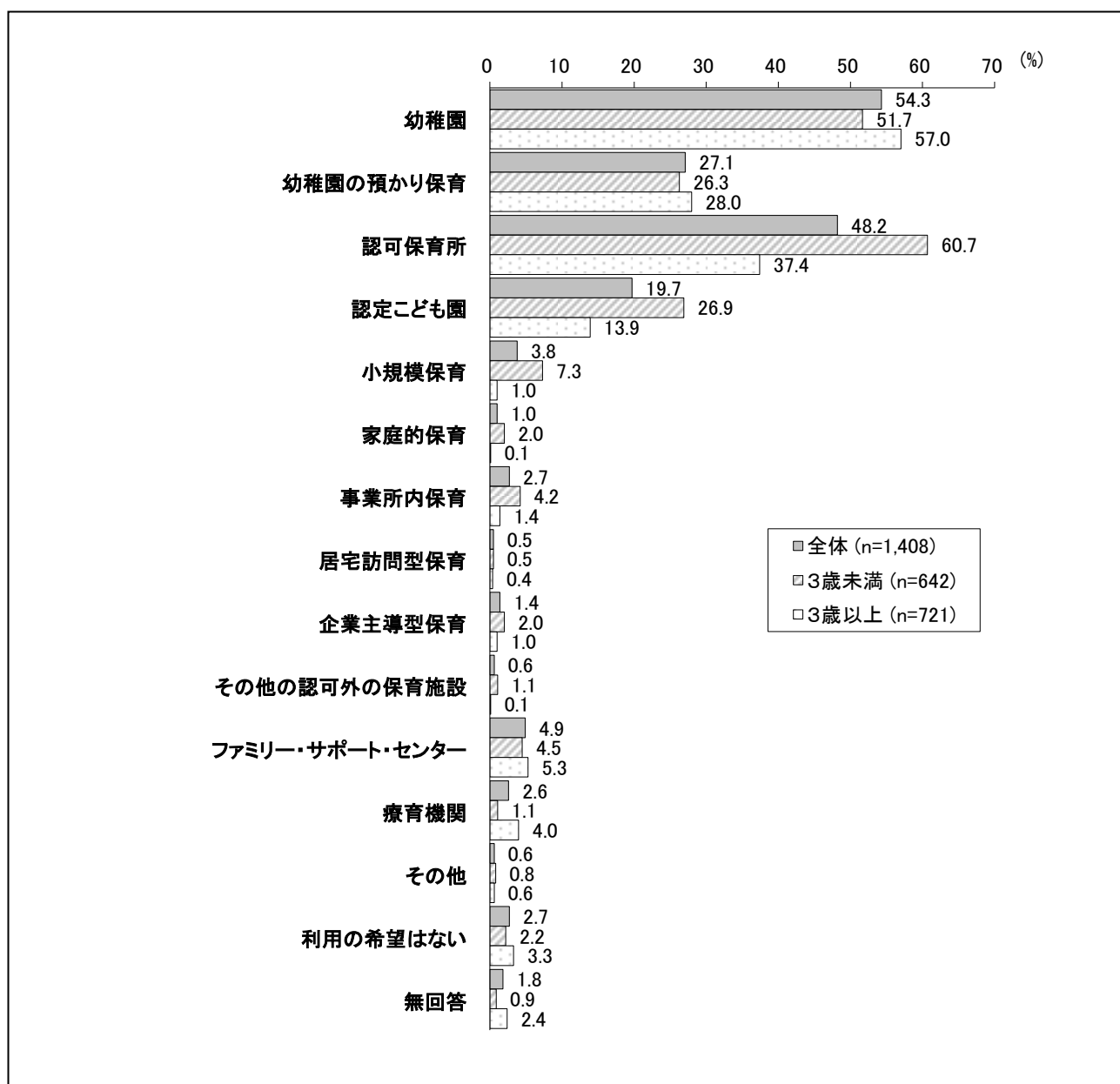
(7) 定期的に利用したい教育・保育事業

問12 宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。(〇はそれぞれ当てはまるものすべて)

※選択肢7または9を選んだ方は、従業員枠・地域枠のどちらかに〇をつけてください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。別紙②「教育・保育事業一覧」で事業の詳細を確認してください。

平日の教育・保育事業で定期的に利用したい事業は、「幼稚園」が54.3%、「認可保育所」が48.2%と高く、これらに「幼稚園の預かり保育」が27.1%と続いている。「事業所内保育」の利用意向は2.7%で、その利用枠は「従業員枠」が65.8%、「地域枠」が18.4%となっている。また、「企業主導型保育」の利用意向は1.4%で、その利用枠は「従業員枠」が40.0%、「地域枠」が50.0%となっている。



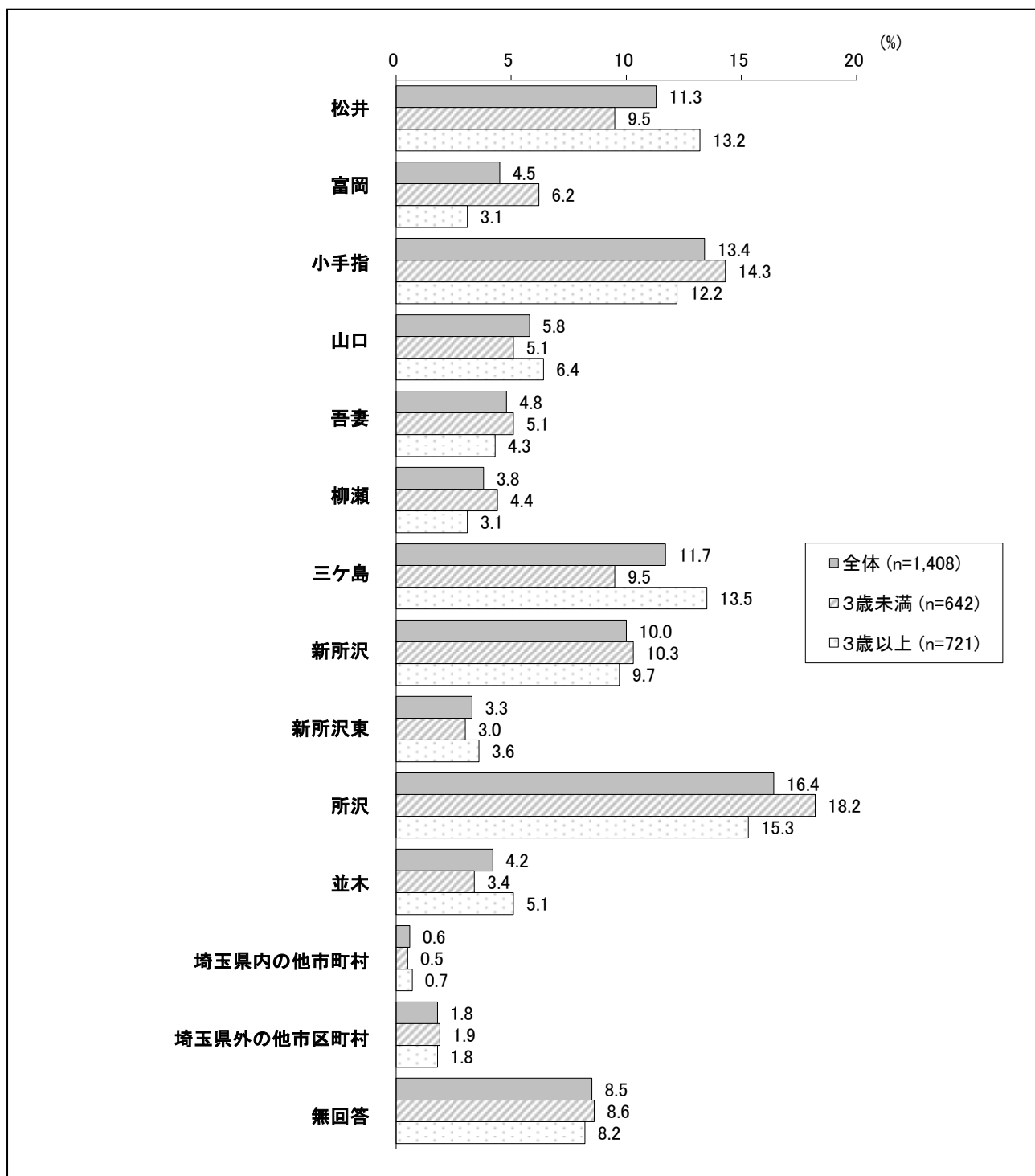
第2章 調査結果

(8) 定期的な教育・保育事業を利用したい場所

問12-1 教育・保育事業を主に利用したい場所はどこですか。(〇は1つ)

※市内の場合どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

主に利用したい教育・保育事業の実施場所は、「所沢」が16.4%で最も高く、これに「小手指」が13.4%が続いている。市外での利用希望としては、県内では入間市、三芳町、県外では東村山市、清瀬市などの回答があった。

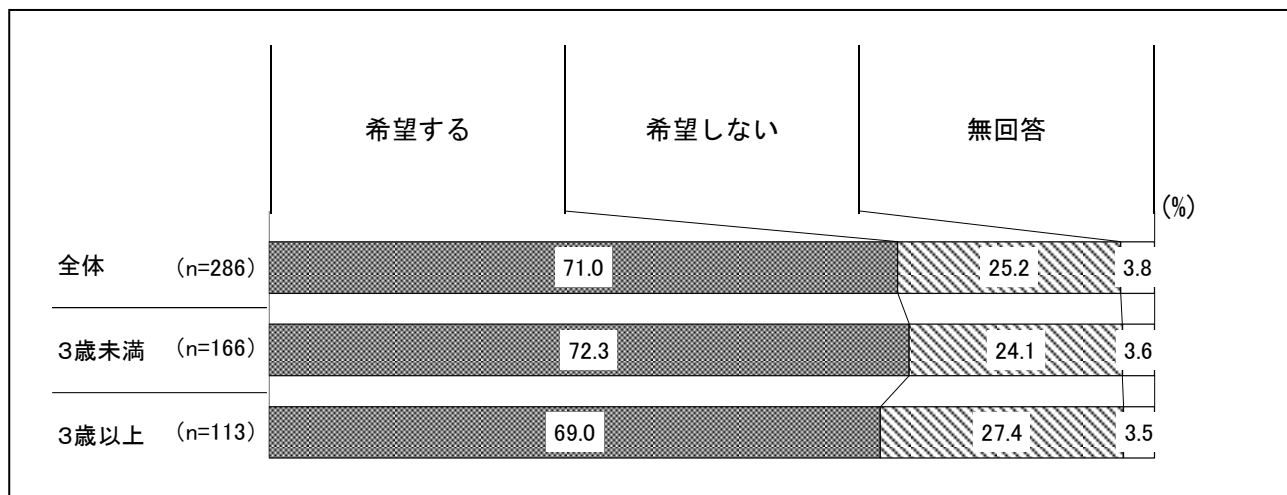


(9) 幼稚園の利用の強い希望の有無

問12で「1.幼稚園」または「2.幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3~13」にも○をつけた方
にうかがいます。

問12-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望します
か。（○は1つ）

「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」の希望者は、平日の教育・保育事業の中で、「特に幼稚園
を希望する」割合が71.0%と高くなっている。

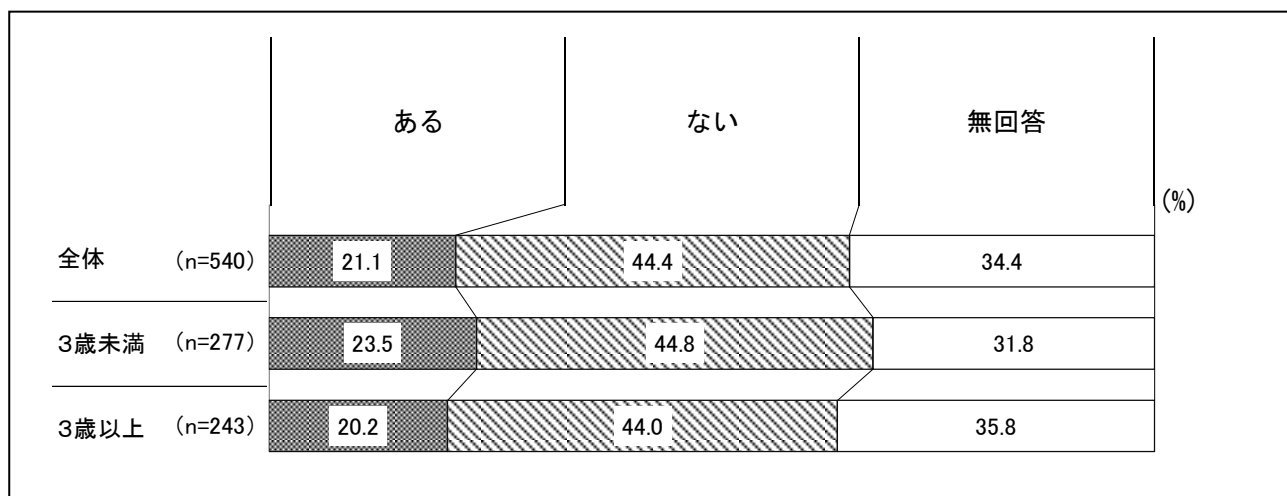


(10) 幼稚園の利用希望

問12で「1.幼稚園」「2.幼稚園の預かり保育」以外に○をつけた方にうかがいます。

問12-3 幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を考えたことがあります
か。（○は1つ）

「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」以外の希望者のうち、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」の利用を
「考えたことがある」人は21.1%となっている。



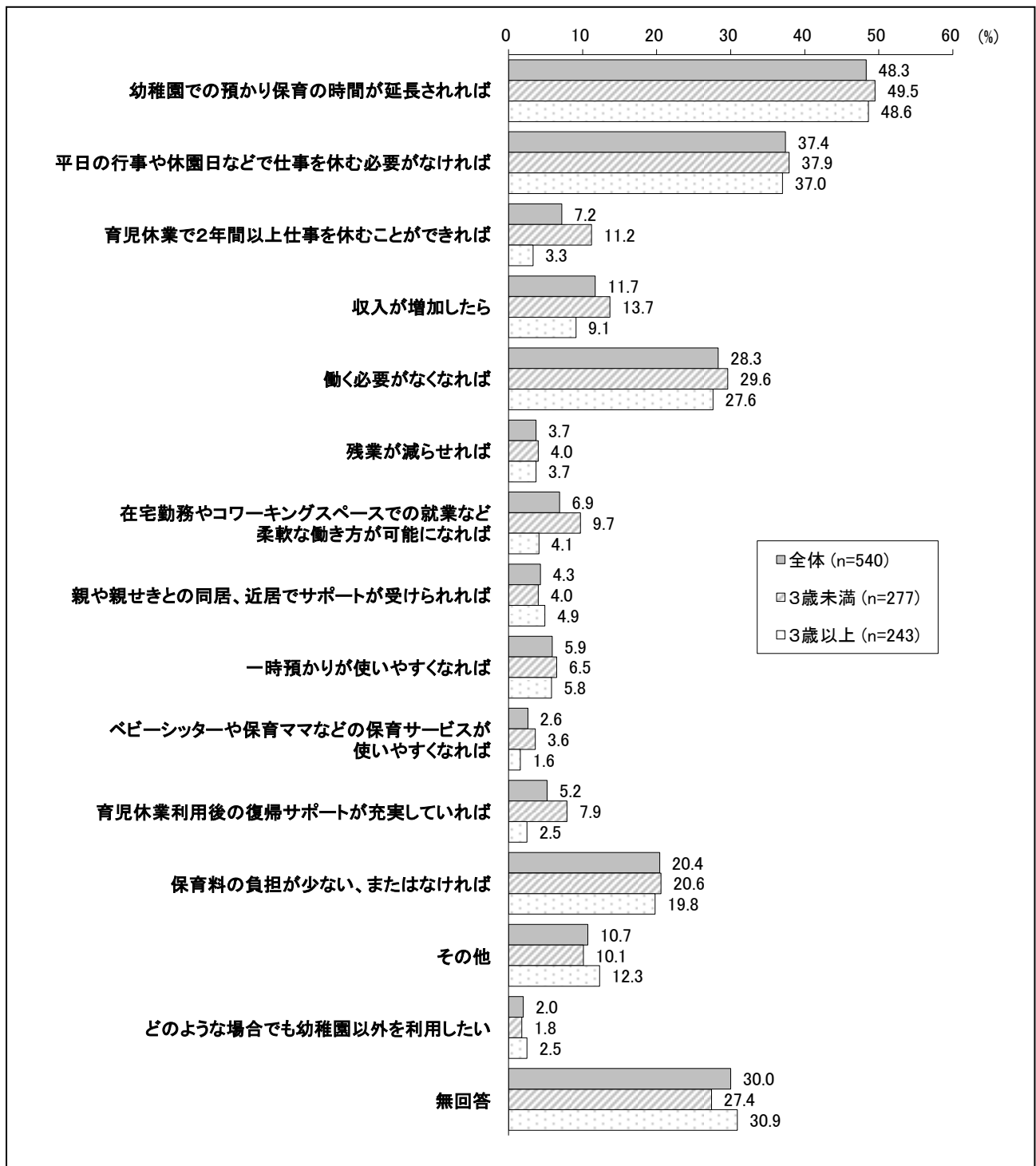
第2章 調査結果

(11) 幼稚園を利用するために必要な環境

問12で「1.幼稚園」「2.幼稚園の預かり保育」以外に○をつけた方にうかがいます。

問12-4 どのような環境であれば、幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）を利用できるとお考えですか。（当てはまるものすべてに○）

「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」以外の希望者が幼稚園を利用するために必要な環境としては、「幼稚園での預かり保育の時間が延長されれば」が48.3%、「平日の行事や休園日などで仕事を休む必要がなければ」が37.4%と特に高くなっている。

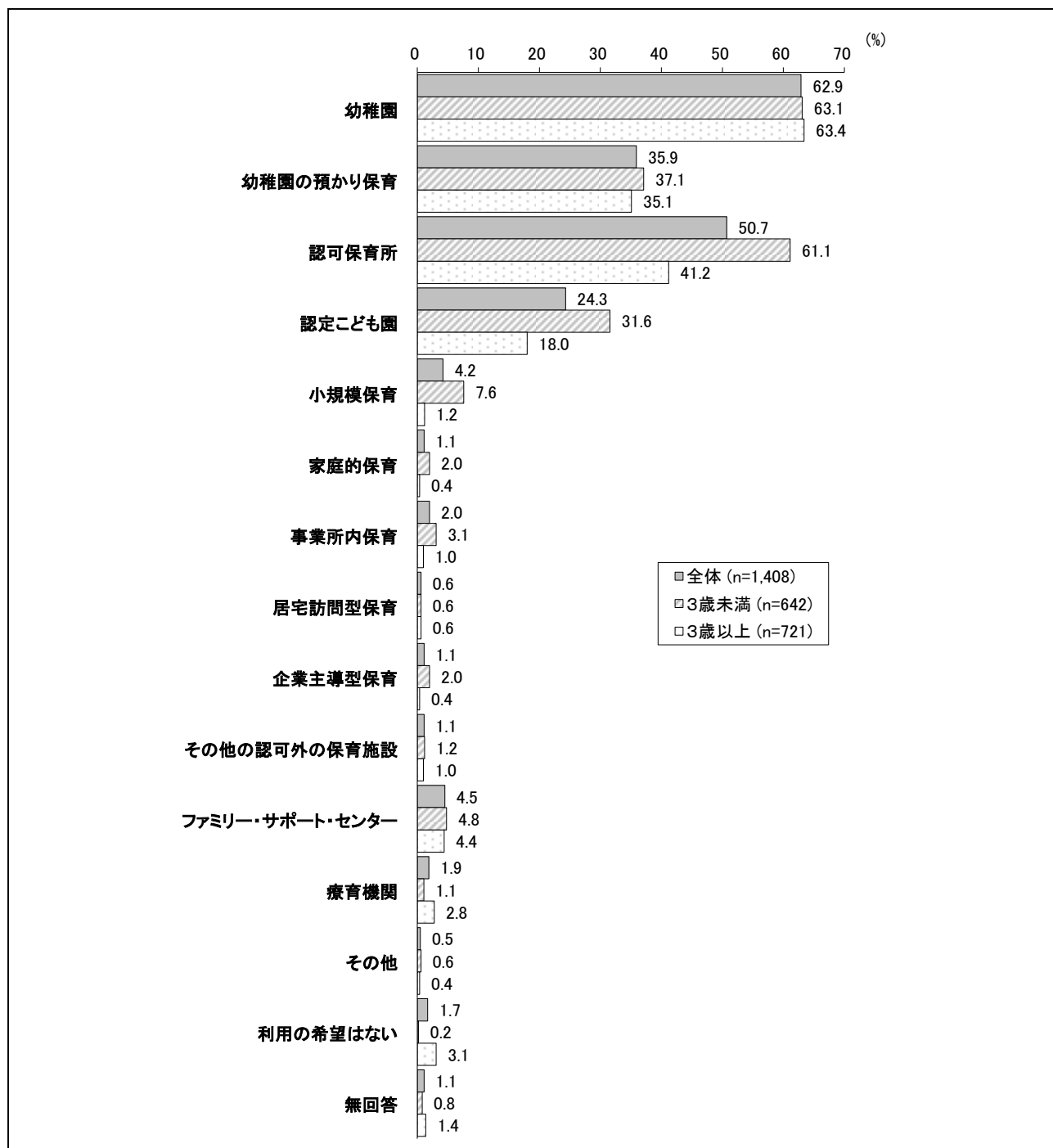


(12) 幼児教育・保育の無償化が実現した場合に利用を希望する教育・保育事業

問13 幼児教育・保育の無償化が実現した場合に、利用を希望する事業をお答えください。(当てはまるものすべてに○)

※選択肢7または9を選んだ方は、従業員枠・地域枠のどちらかに○をつけてください。

幼児教育・保育の無償化が実現した場合に利用を希望する教育・保育事業は、「幼稚園」が62.9%で最も高く、これに「認可保育所」が50.7%、「幼稚園の預かり保育」が35.9%と続いている。「事業所内保育」の利用意向は2.0%で、その内訳は「従業員枠」が67.9%、「地域枠」が25.0%、無回答が7.1%となっている。また、「企業主導型保育」の利用意向は1.1%で、その内訳は「従業員枠」「地域枠」いずれも43.8%、無回答が12.5%となっている。



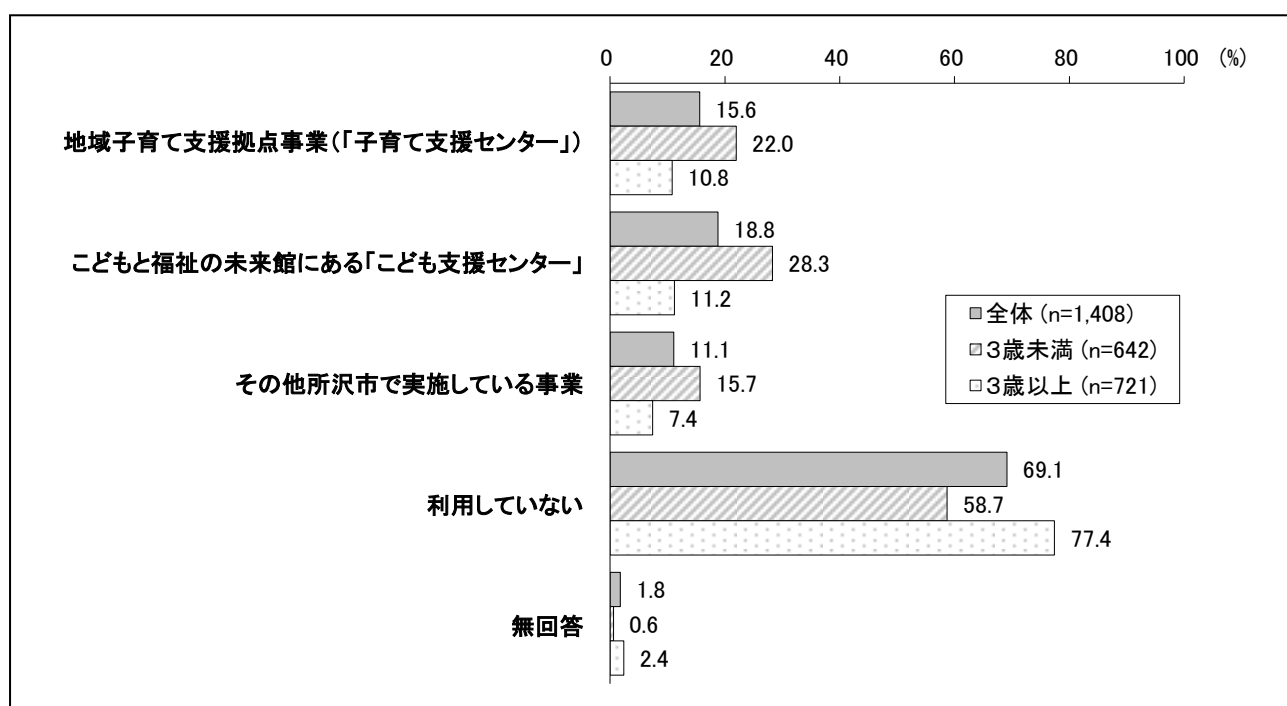
4. 地域の子育て支援事業の利用状況

(1) 地域の子育て支援事業の利用状況

問14 宛名のお子さんは、「子育て支援センター」やその他の地域の子育て支援事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

①利用有無

地域子育て支援事業の利用状況をみると、「こどもと福祉の未来館にある『こども支援センター』」が18.8%、「地域子育て支援拠点事業（『子育て支援センター』）」が15.6%、「その他所沢市で実施している事業」が11.1%となっている。「その他所沢市で実施している事業」としては、図書館のおはなし会、あそぼう会、児童館等の講座などの回答があった。



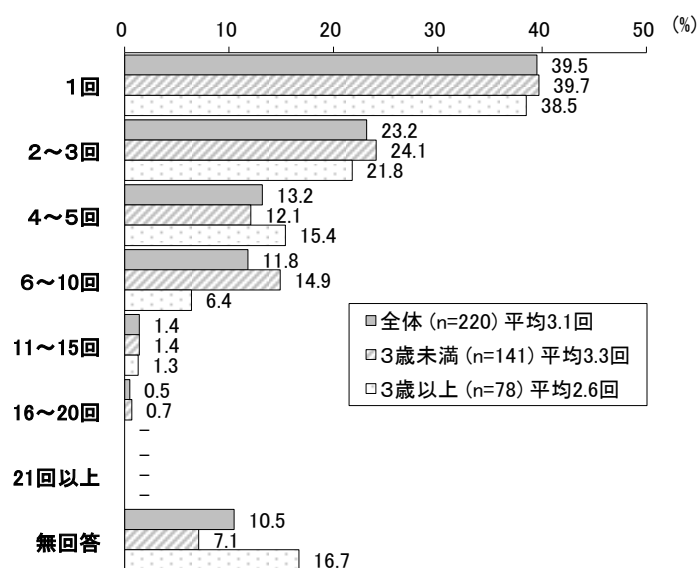
② 1ヶ月当たりの利用回数

「地域子育て支援拠点事業（『子育て支援センター』）」の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が39.5%、「2～3回」が23.2%と高く、平均3.1回となっている。

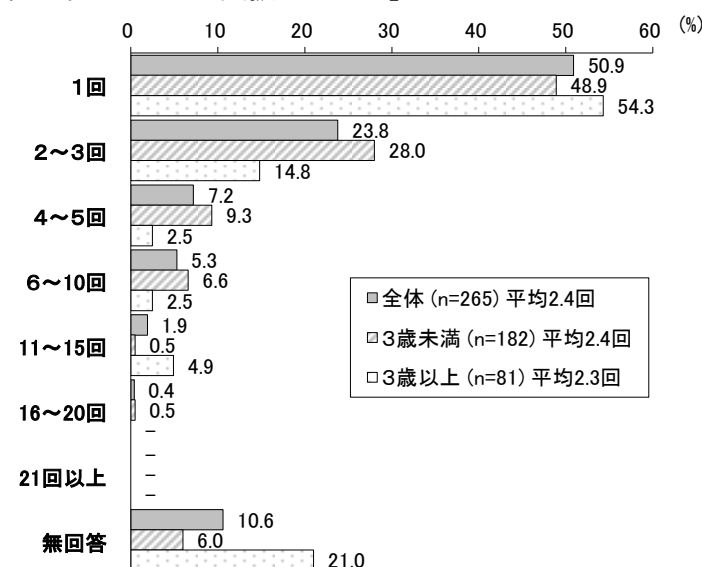
「こどもと福祉の未来館にある『こども支援センター』」の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が50.9%、「2～3回」が23.8%と高く、平均2.4回となっている。

「他所沢市で実施している事業」の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」が50.6%、「2～3回」が16.7%で、平均2.2回となっている。

■ 地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」）

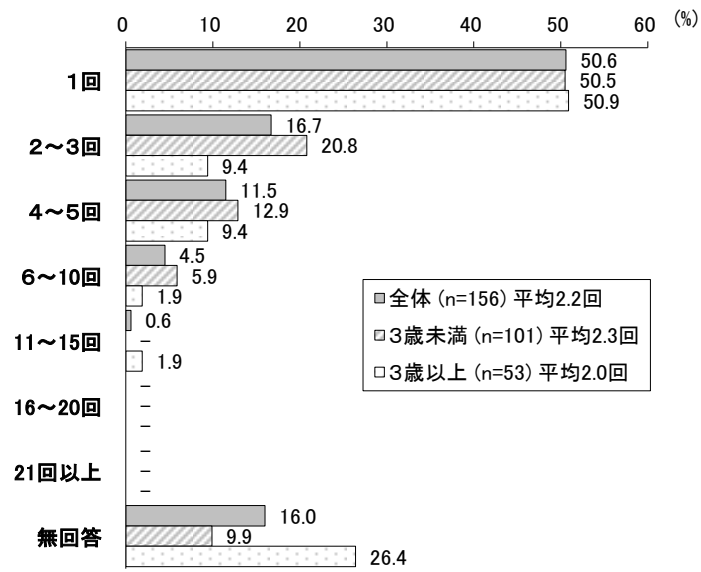


■ こどもと福祉の未来館にある「こども支援センター」



第2章 調査結果

■ 他所沢市で実施している事業



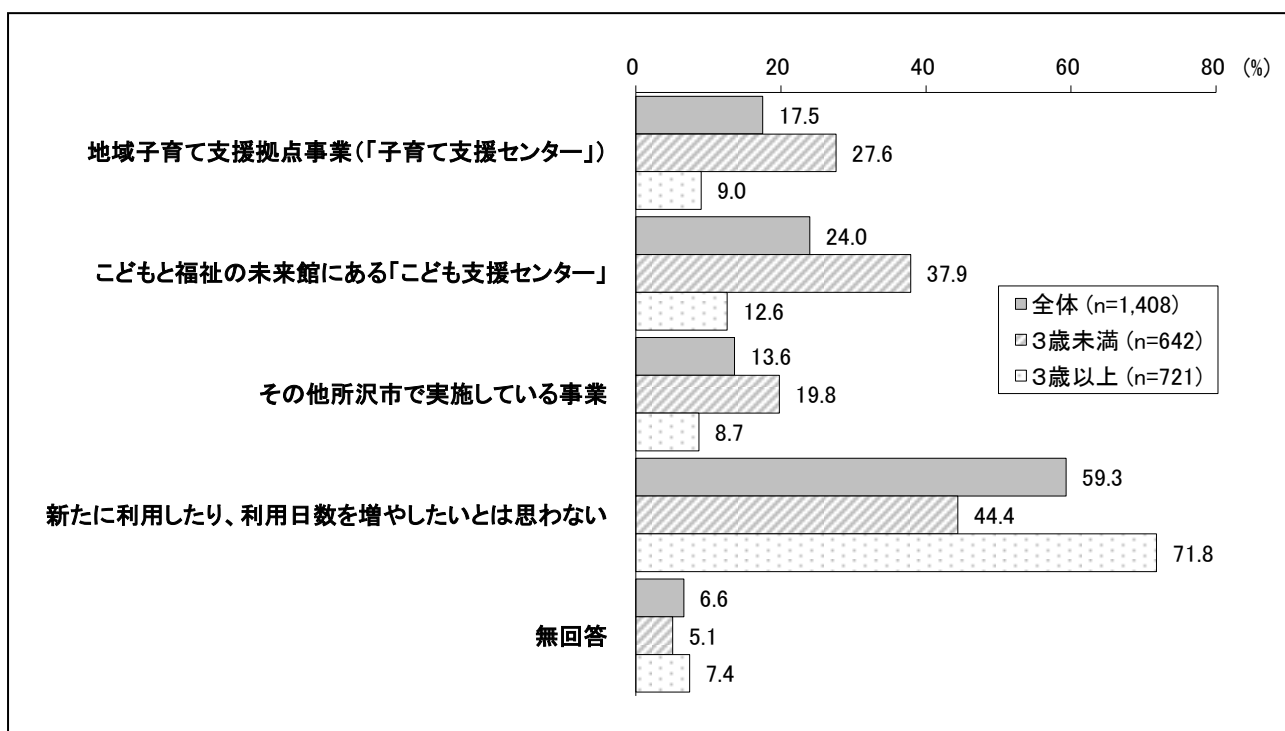
(2) 地域の子育て支援事業の今後の利用希望

①利用希望

問15 地域子育て支援拠点事業等について、今は利用していないができれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号すべてに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

※なお、これらの事業は、原則無料ですが、一部の事業では実費負担が発生する場合があります。

地域の子育て支援事業の利用希望は、「こどもと福祉の未来館にある『こども支援センター』」が24.0%、「地域子育て支援拠点事業（『子育て支援センター』）」が17.5%、「他所沢市で実施している事業」が13.6%と続いている。「他所沢市で実施している事業」としては、図書館のおはなし会、あそぼう会、子育てサロン、児童館等の講座などの回答があった。



第2章 調査結果

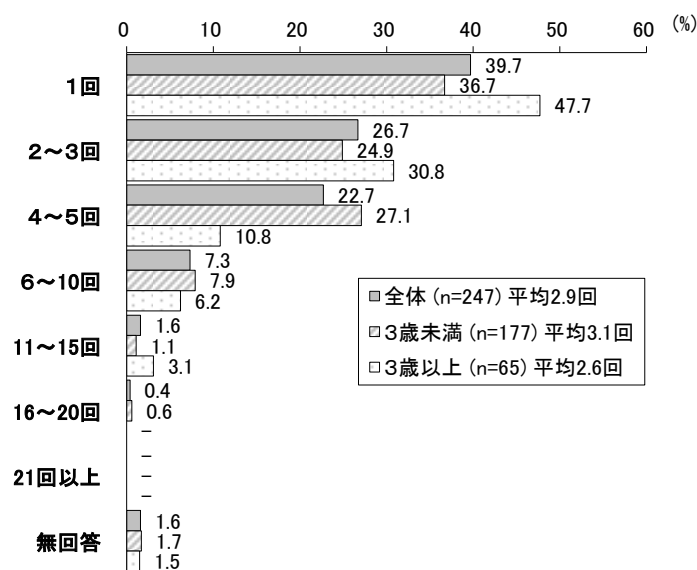
② 1ヶ月当たりの利用希望回数

「地域子育て支援拠点事業（『子育て支援センター』）」の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が39.7%、「2～3回」が26.7%、「4～5回」が22.7%と高く、平均2.9回となっている。

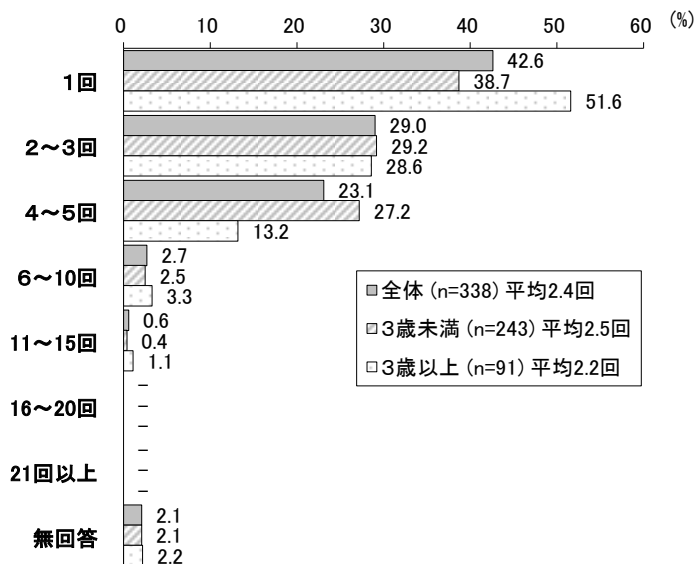
「こどもと福祉の未来館にある『こども支援センター』」の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が42.6%、「2～3回」が29.0%、「4～5回」が23.1%と高く、平均2.4回となっている。

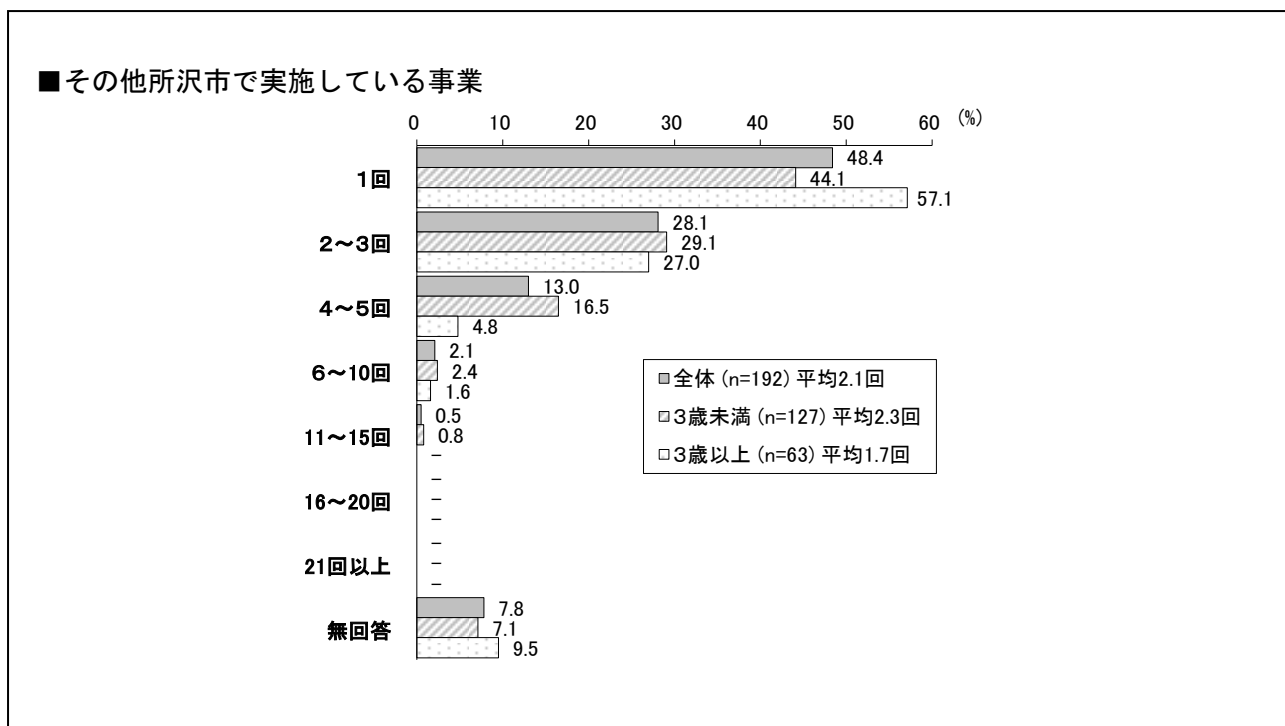
「他所沢市で実施している事業」の1ヶ月当たりの利用希望回数は、「1回」が48.4%、「2～3回」が28.1%と高く、平均2.1回となっている。

■地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」）



■こどもと福祉の未来館にある「こども支援センター」





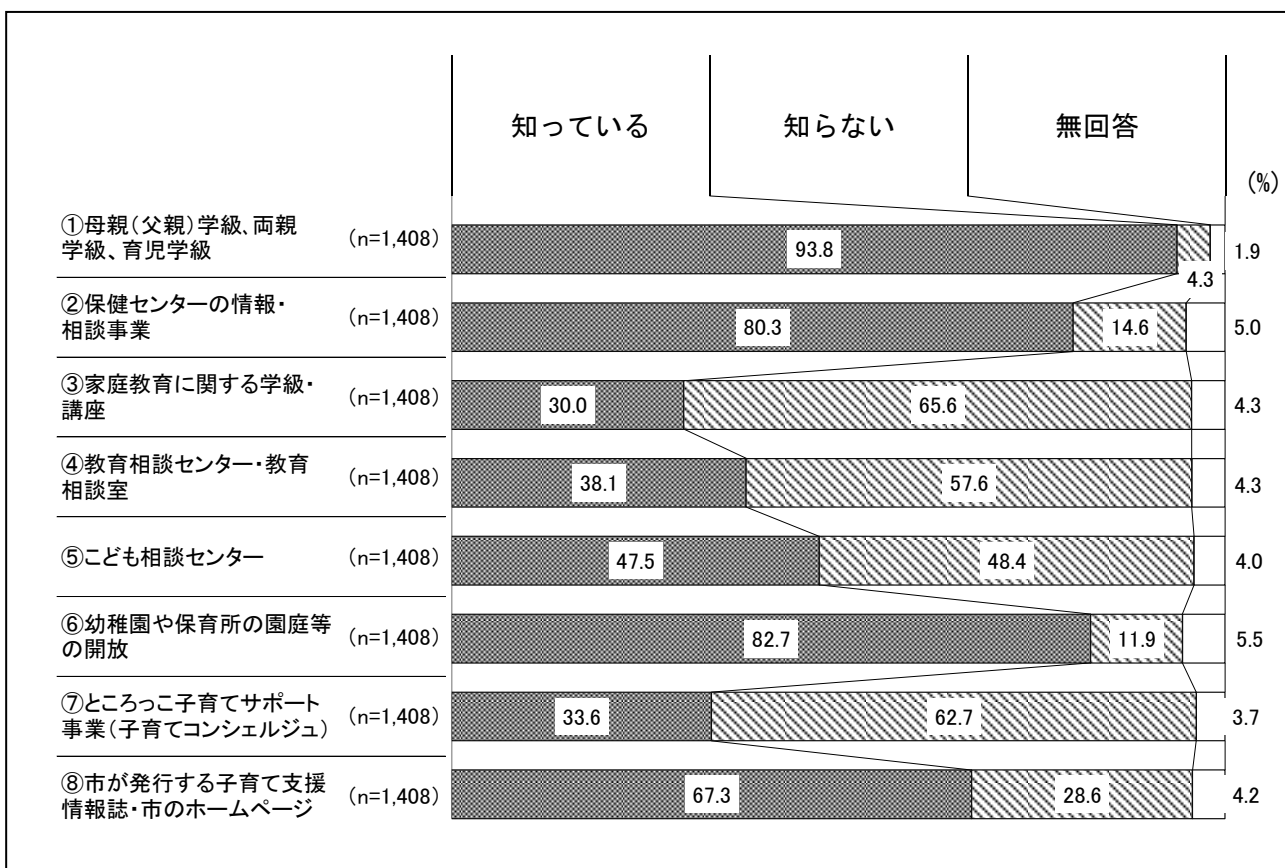
第2章 調査結果

(3) 各種支援事業の認知度、利用状況、利用希望

問16 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。また、①～⑧に該当しない地域の子育て支援事業が他に何かありましたら、⑨と⑩の「その他」に事業名をご記入の上、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

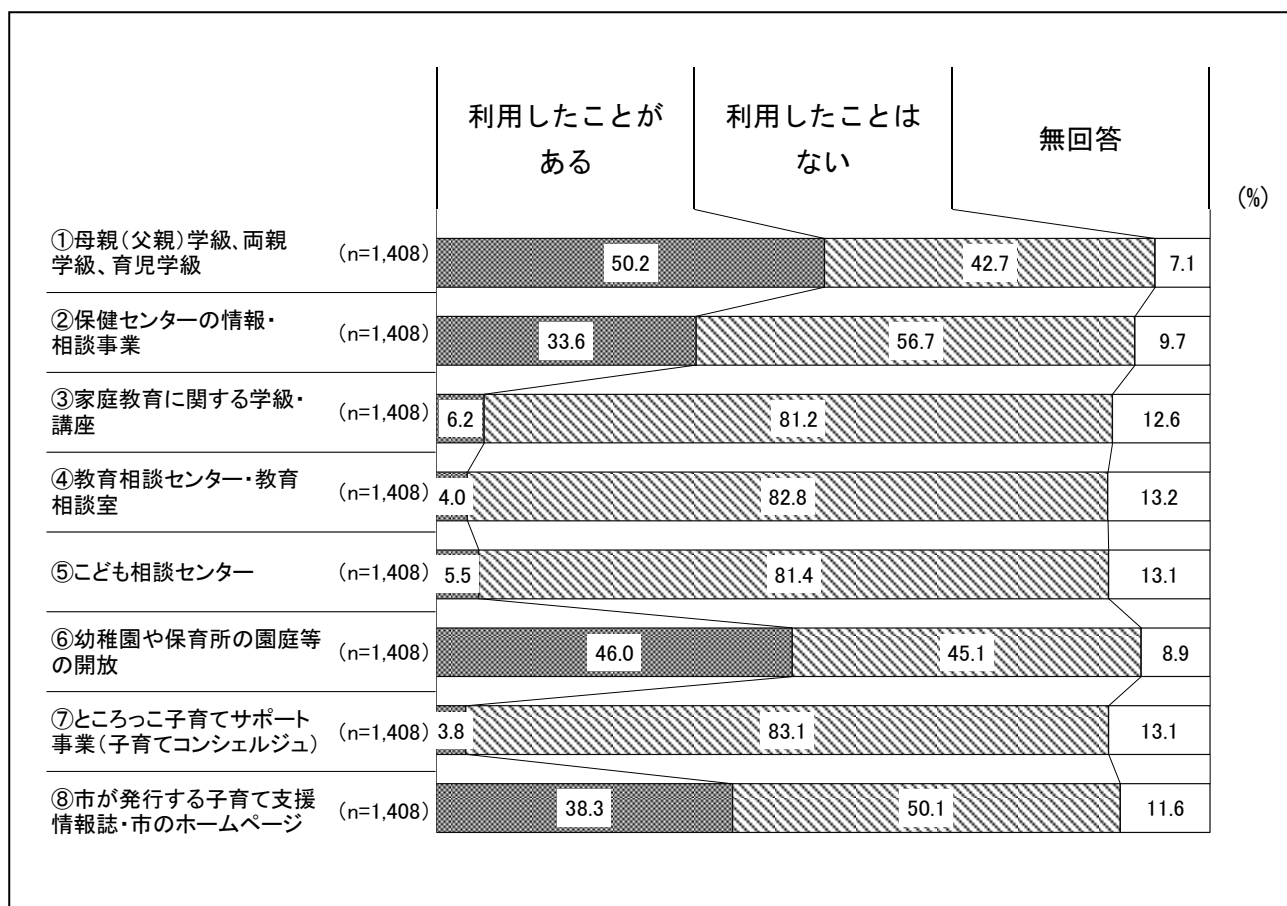
①認知度

子育て支援事業の認知は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が93.8%で最も高く、これに、「幼稚園や保育所の園庭等の開放」が82.7%、「保健センターの情報・相談事業」が80.3%、「市が発行する子育て支援情報誌・市のホームページ」が67.3%、「こども相談センター」が47.5%と続いている。その他の事業としては、児童館、公民館、こどもと福祉の未来館、育児教室や発達支援などの回答があった。



②利用状況

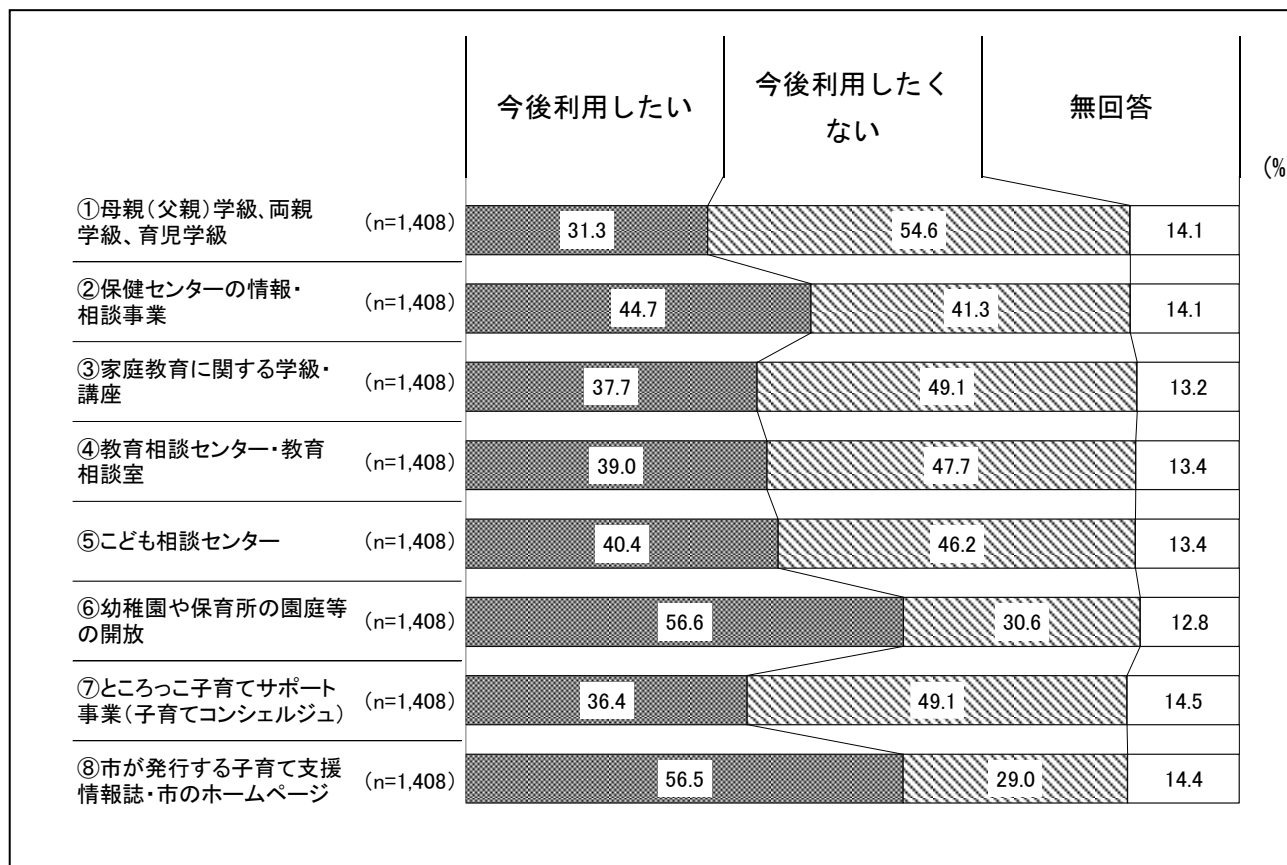
子育て支援事業の利用状況は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」が50.2%、「幼稚園や保育所の園庭等の開放」が46.0%と5割前後で上位を占め、これらに「市が発行する子育て支援情報誌・市のホームページ」が38.3%、「保健センターの情報・相談事業」が33.6%と3～4割で続いている。



第2章 調査結果

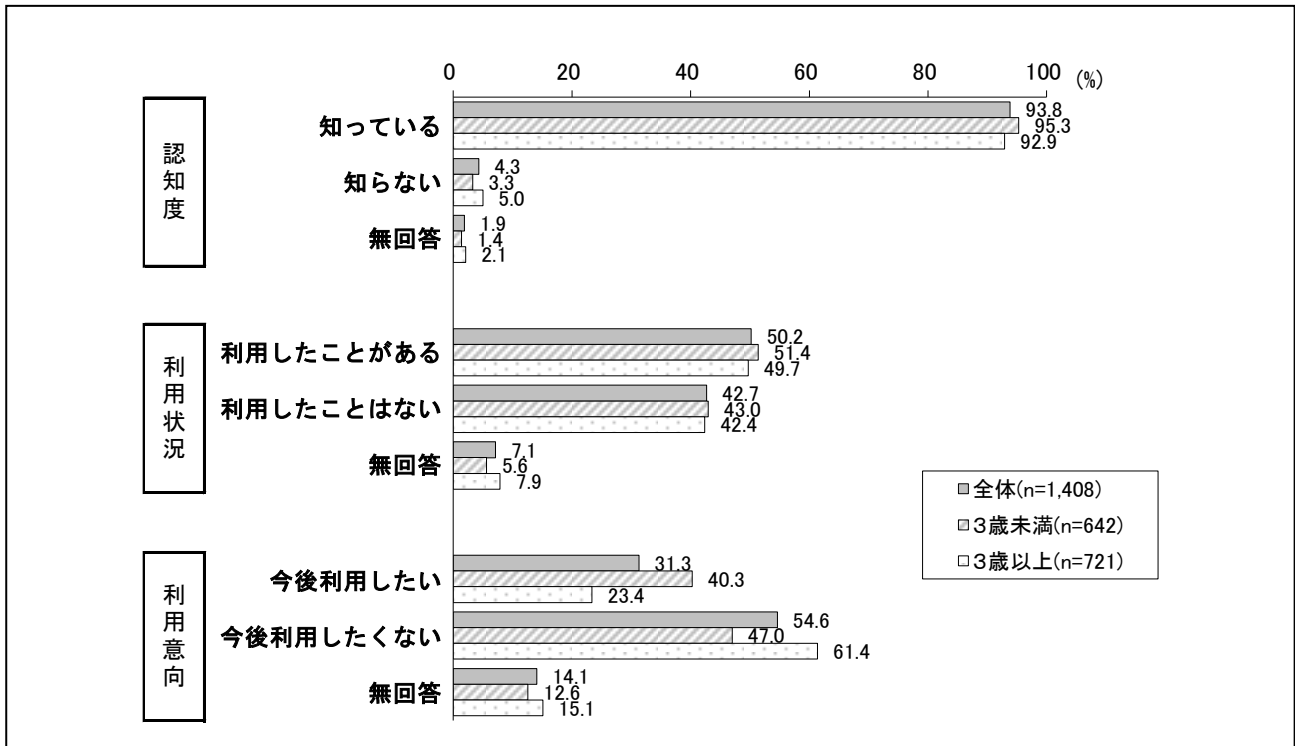
③今後の利用希望

子育て支援事業の利用希望は、「幼稚園や保育所の園庭等の開放」が56.6%、「市が発行する子育て支援情報誌・市のホームページ」が56.5%と各6割弱で上位となり、これらに「保健センターの情報・相談事業」が44.7%、「こども相談センター」が40.4%、「教育相談センター・教育相談室」が39.0%と4割弱で続いている。

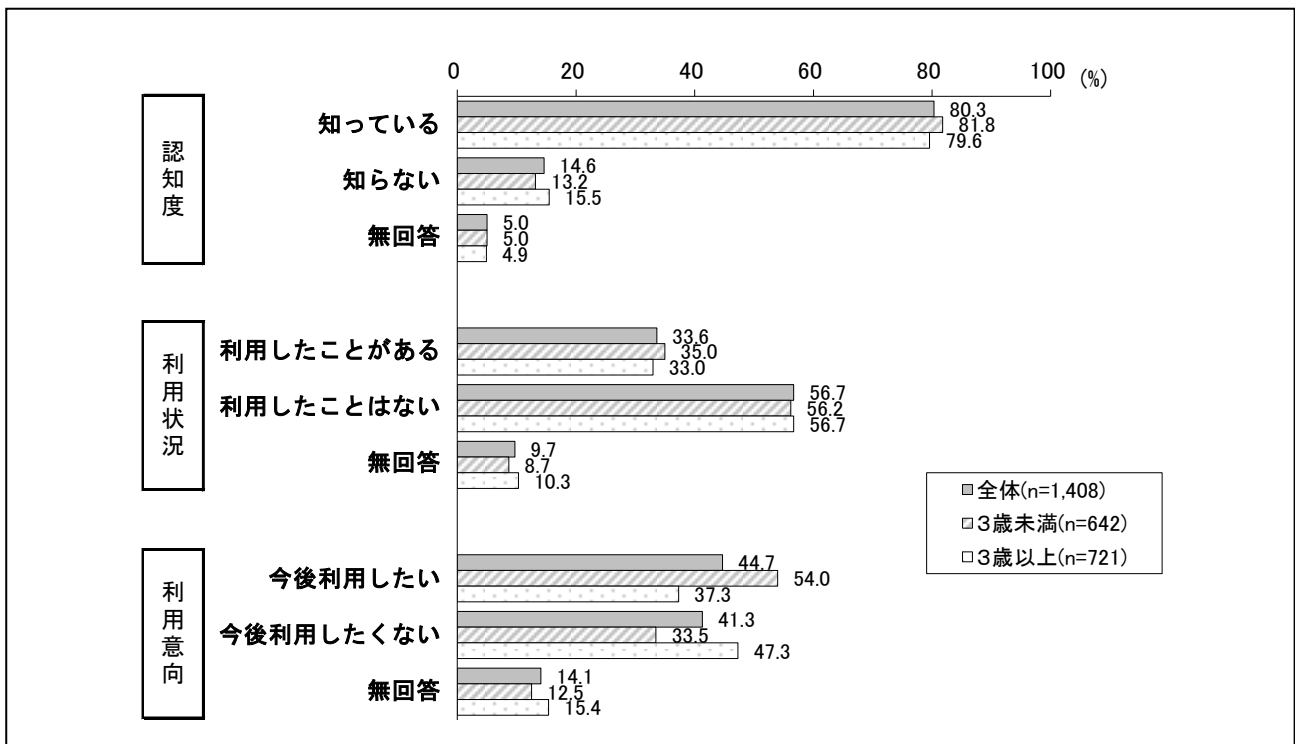


■地域の子育て支援事業の認知度・利用状況・今後の利用意向

<①母親（父親）学級、両親学級、育児学級>

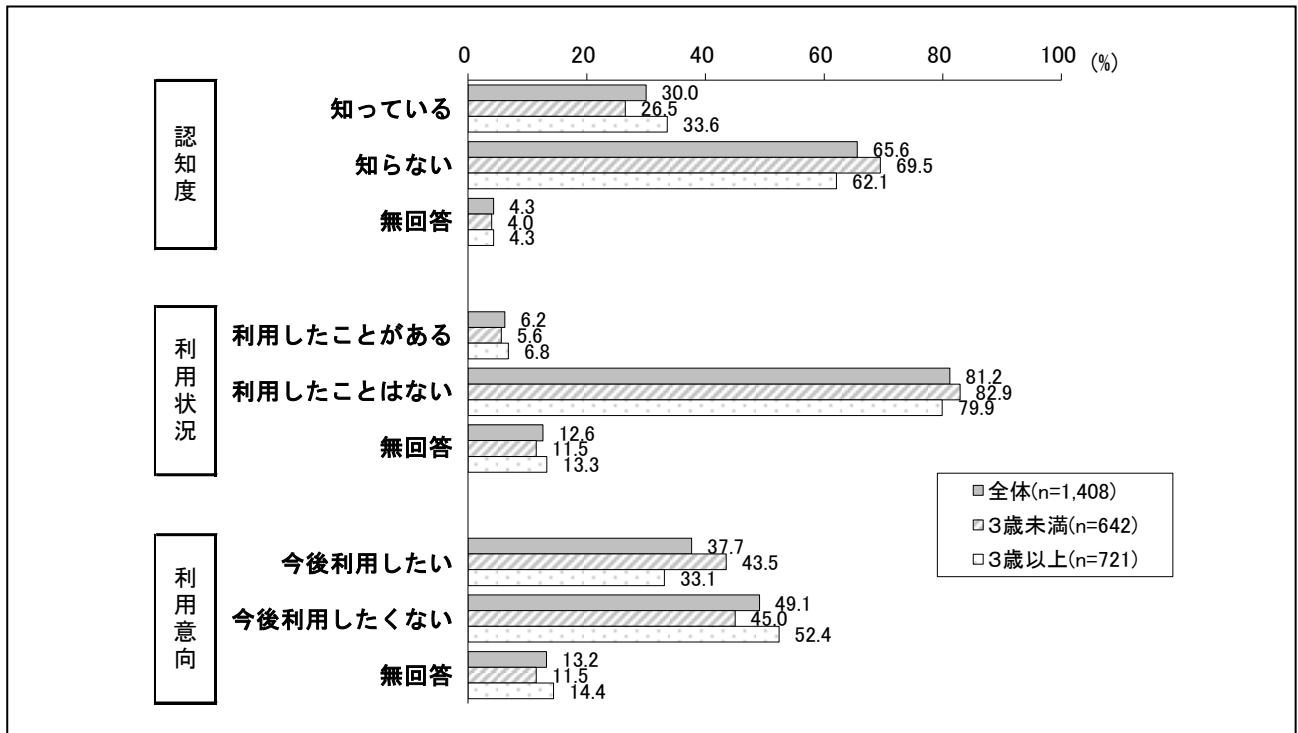


<②保健センターの情報・相談事業>

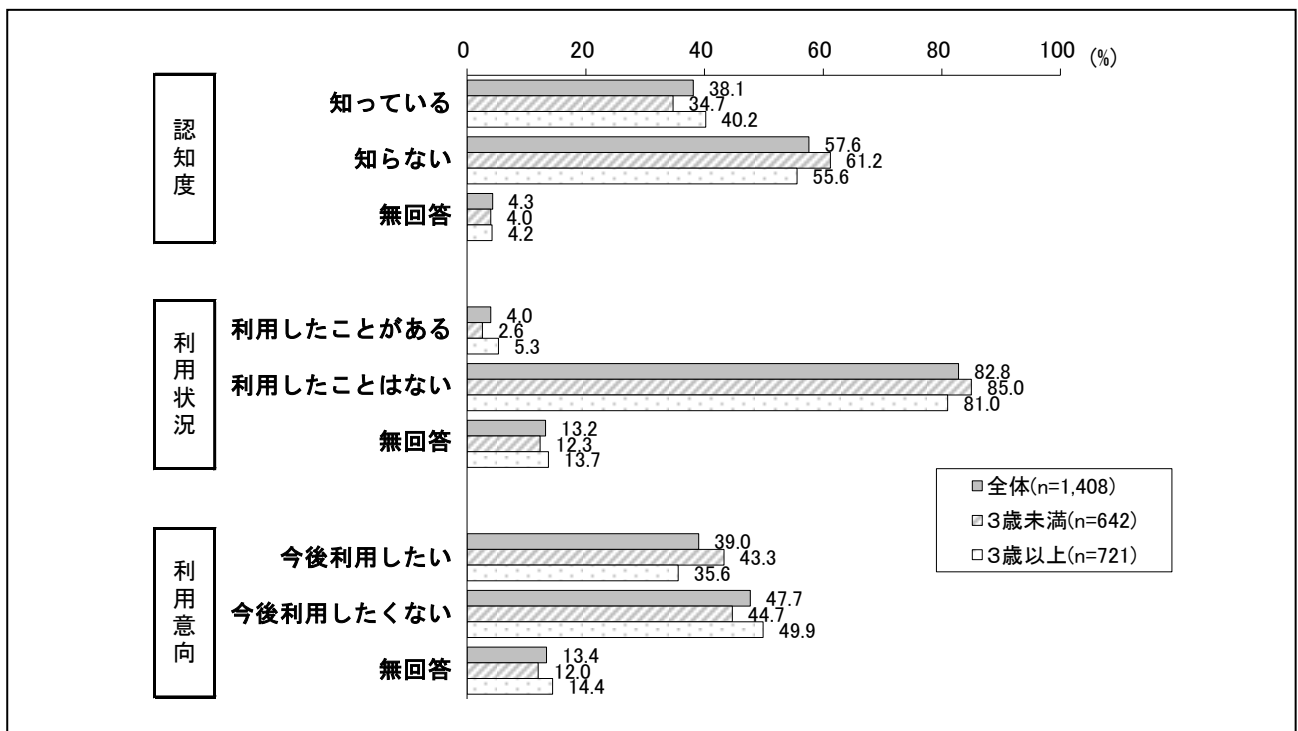


第2章 調査結果

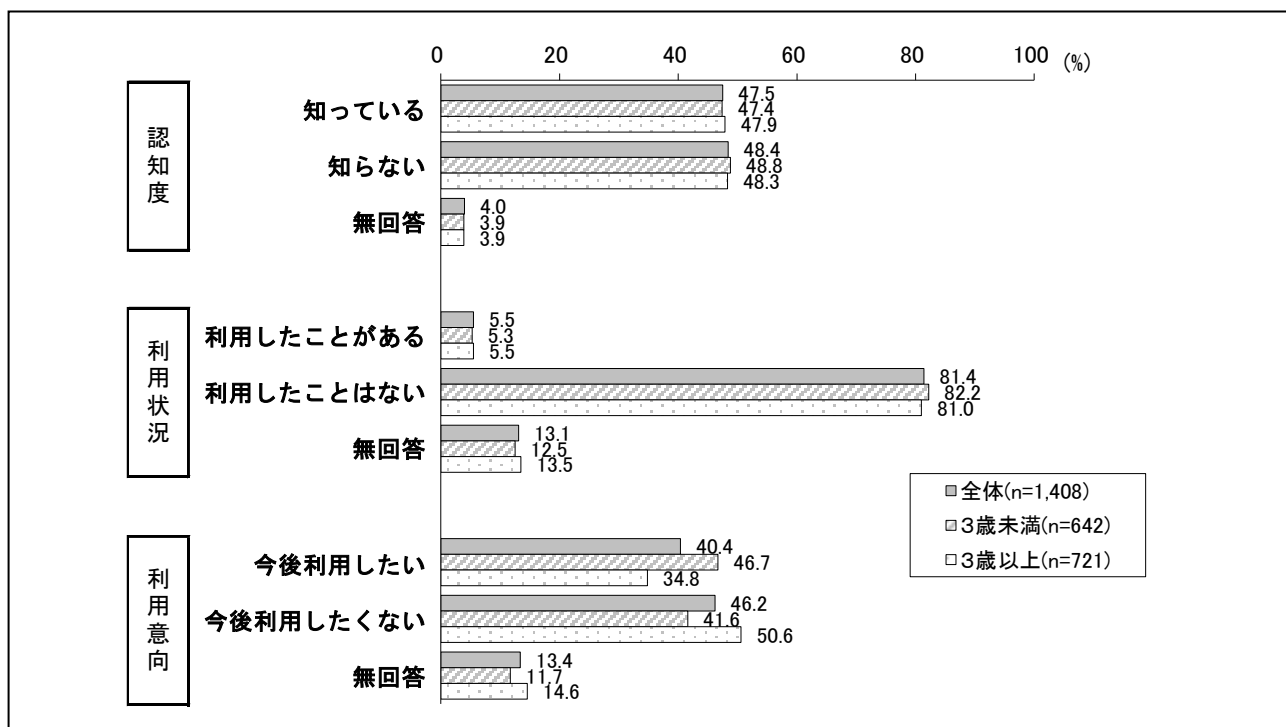
<③家庭教育に関する学級・講座>



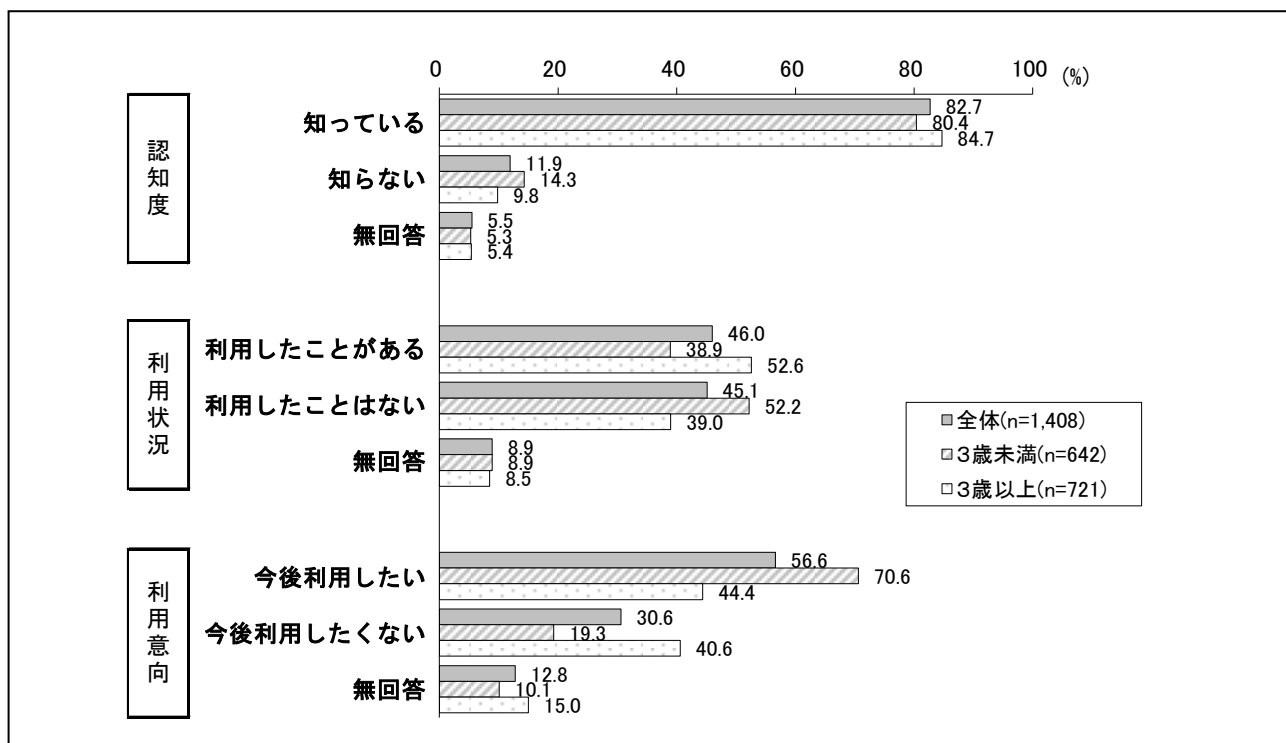
<④教育相談センター・教育相談室>



<⑤こども相談センター>

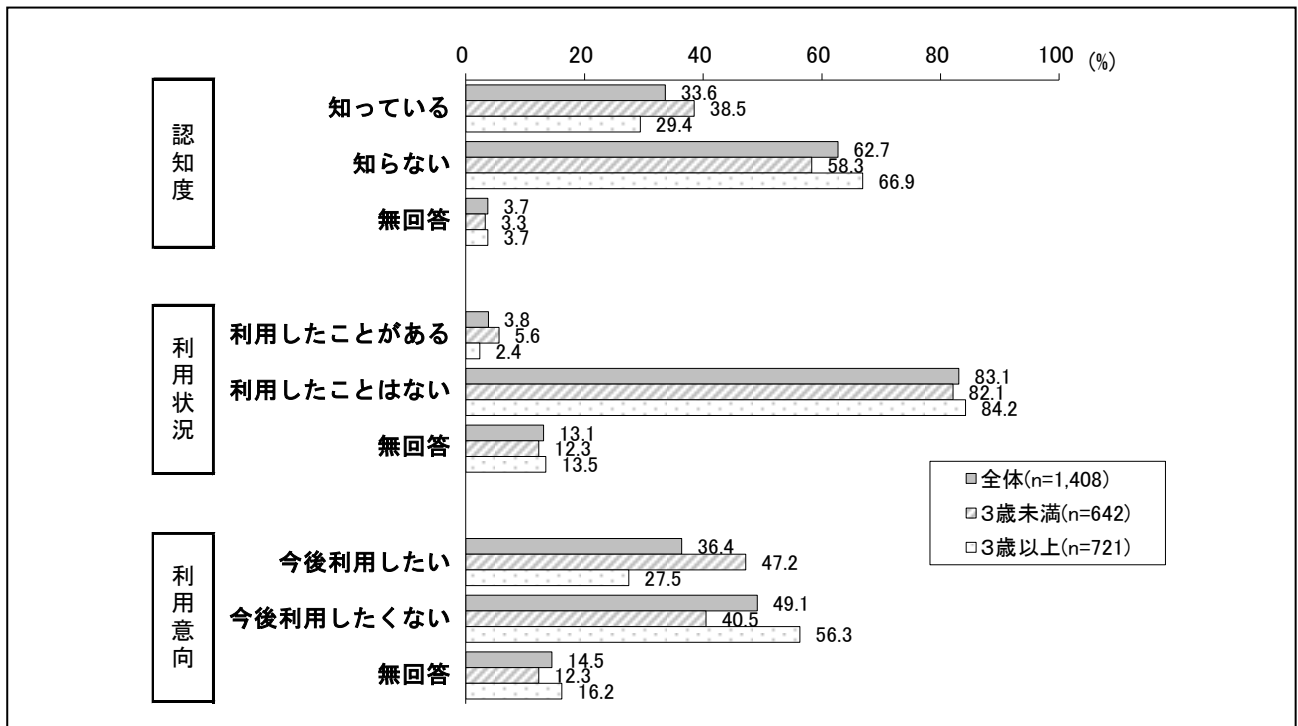


<⑥幼稚園や保育所の園庭等の開放>

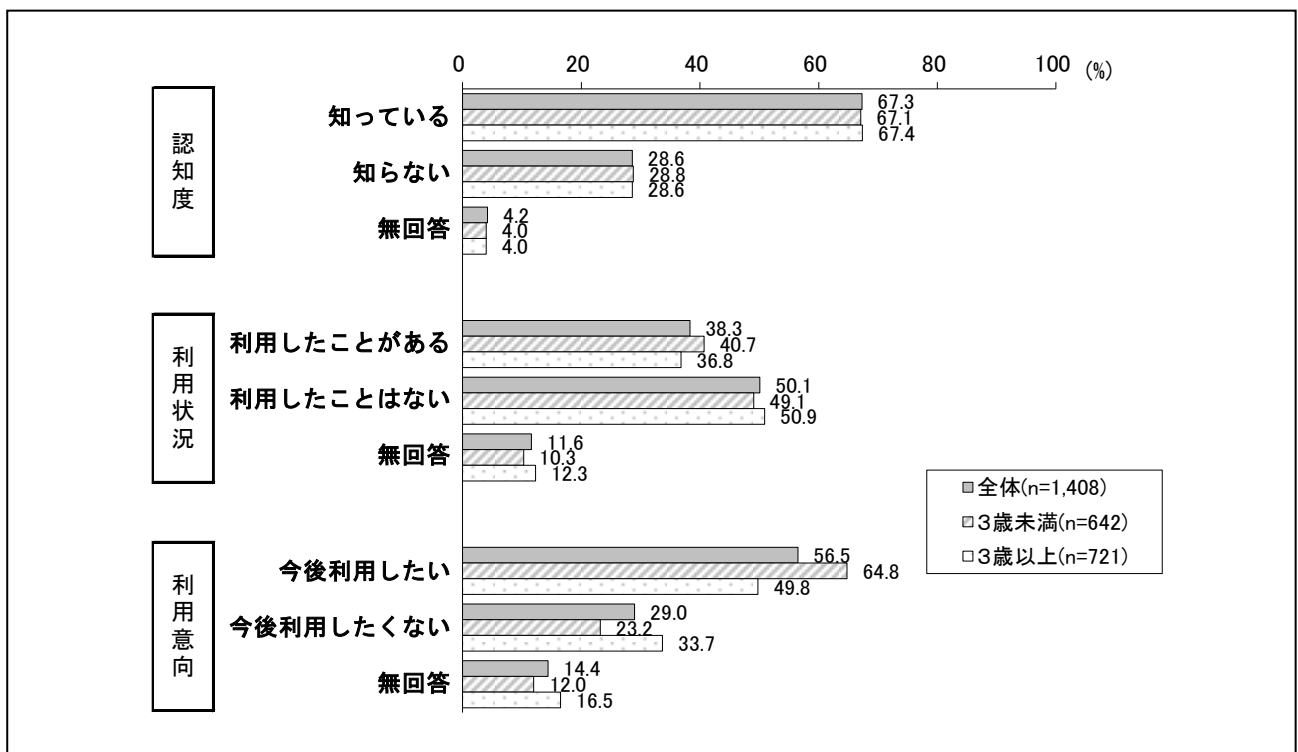


第2章 調査結果

<⑦ところっこ子育てサポート事業（子育てコンシェルジュ）>



<⑧市が発行する子育て支援情報誌・市のホームページ>



<⑨その他>

その他の事業としては、下表に示す事業の回答があった。

※1人で2件の回答がある場合は、それぞれ1件としている。

その他記入内容	件数
児童館の事業	3
こどもと福祉の未来館	2
発達障害等の支援	2
公民館の事業	2
小規模保育	1
幼稚園未就園児グループ	1
民間医療機関	1

5. 土日・長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日、日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

問17 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。回答欄に該当する番号を1つずつご記入ください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯を、回答欄にご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

①土曜日

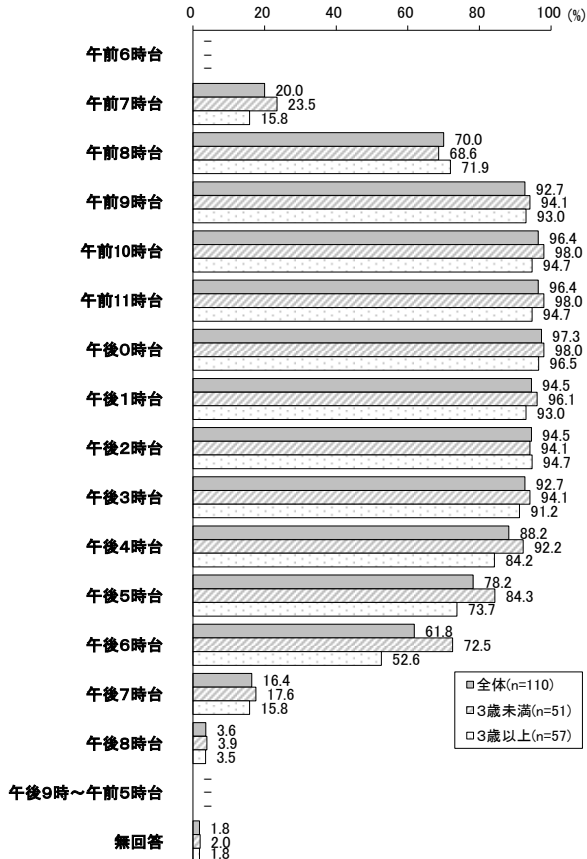
土曜日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」18.9%と「ほぼ毎週利用したい」7.8%の合計で26.7%となっている。

■利用希望

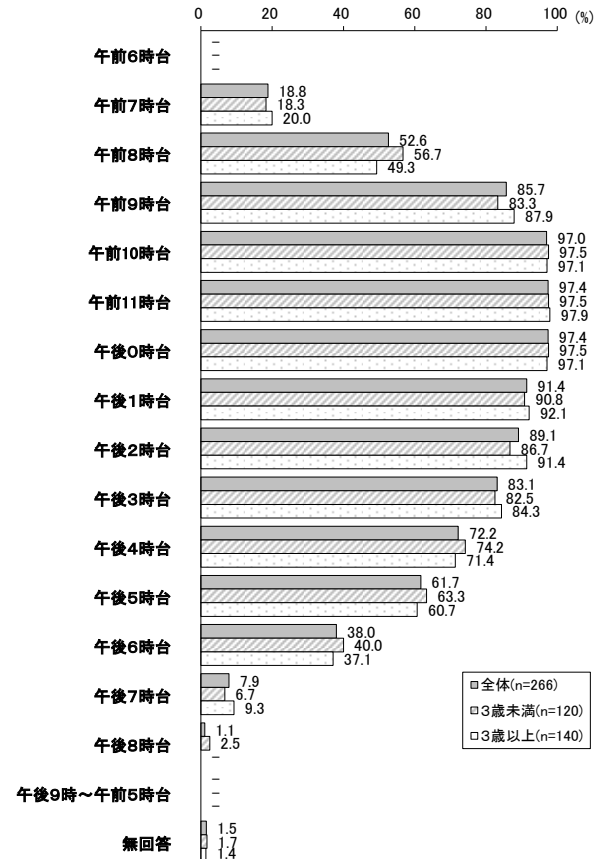
	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答	(%)
全体 (n=1,480)	19.7	7.8	18.9	53.6	
3歳未満 (n=642)	20.4	7.9	18.7	53.0	
3歳以上 (n=721)	19.6	7.9	19.4	53.1	

■希望利用時間帯

<ほぼ毎週利用したい>

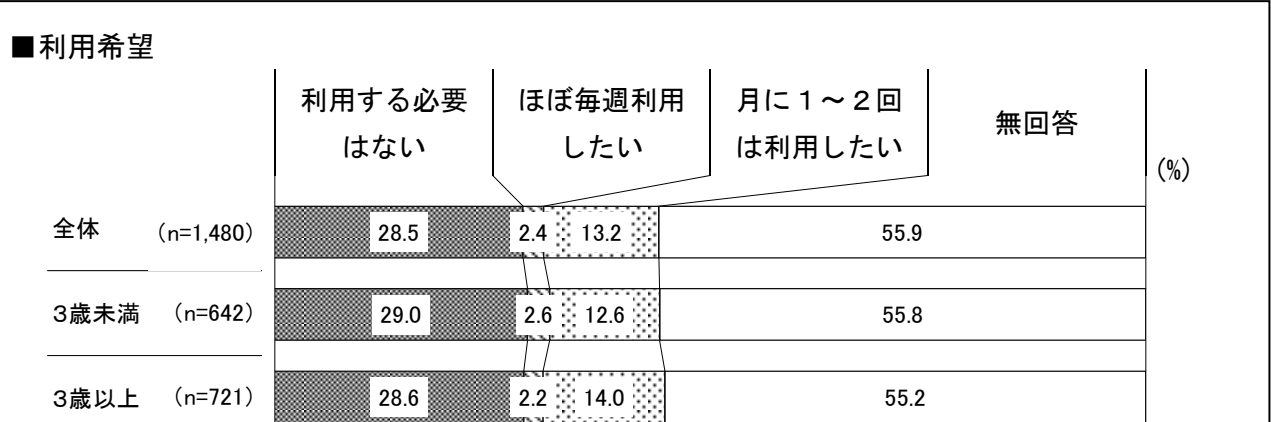


<月に1～2回は利用したい>



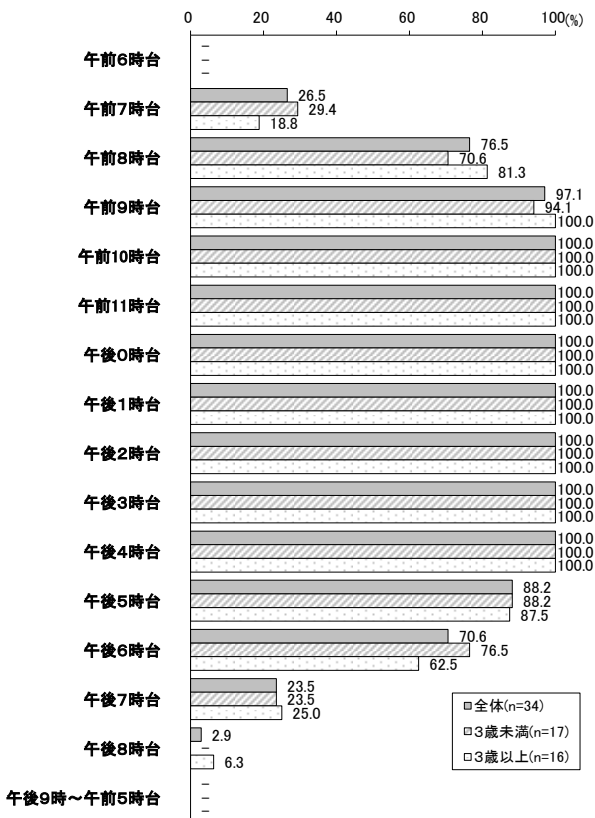
②日曜日・祝日

日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望は、「月に1～2回は利用したい」13.2%と「ほぼ毎週利用したい」2.4%の合計で15.6%となっている。

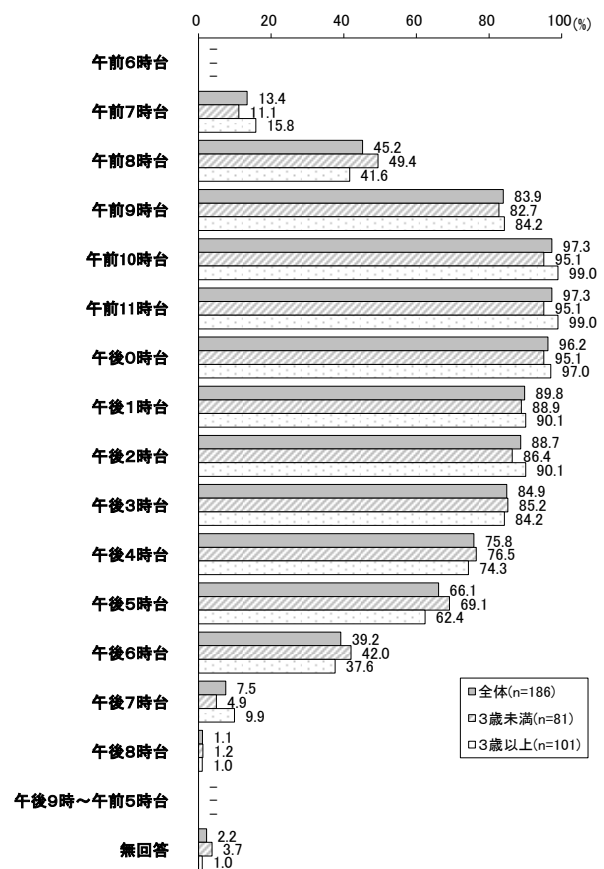


■ 希望利用時間帯

<ほぼ毎週利用したい>



<月に1～2回は利用したい>



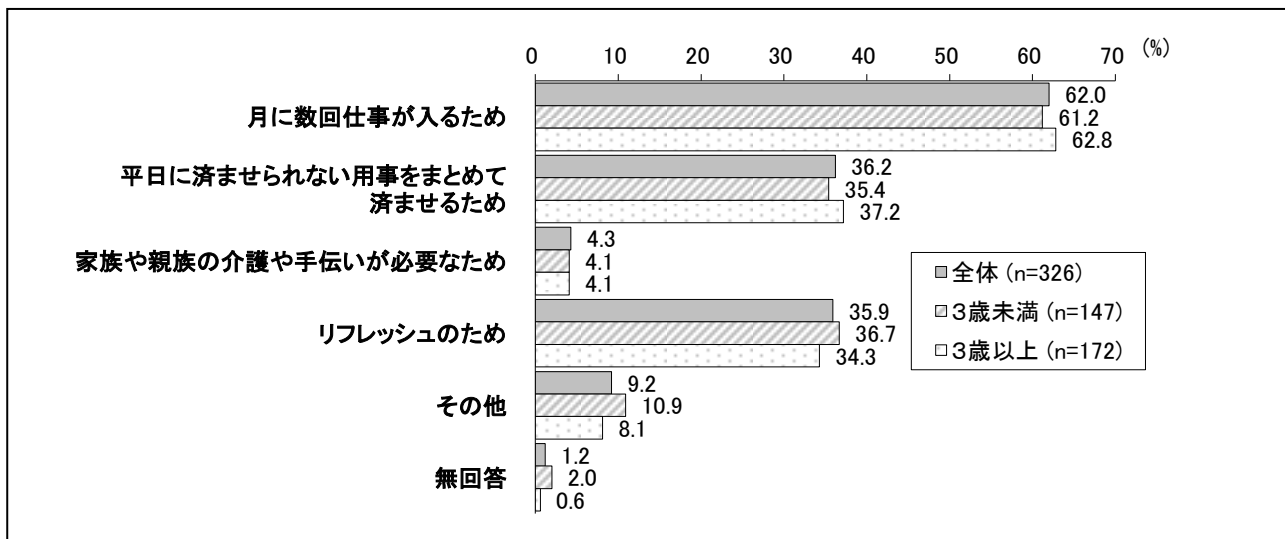
第2章 調査結果

(2) 土曜日または日曜日・祝日で、たまに利用したい理由

問17の土曜日または日曜日・祝日で、「3. 月に1～2回は利用したい」を選択した方にうかがいます。

問17-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

土曜日または日曜日・祝日に毎週ではなく、たまに利用したい理由は、「月に数回仕事が入るため」が62.0%で最も高く、これに「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が36.2%、「リフレッシュのため」が35.9%と続いている。



(3) 幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望

現在、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

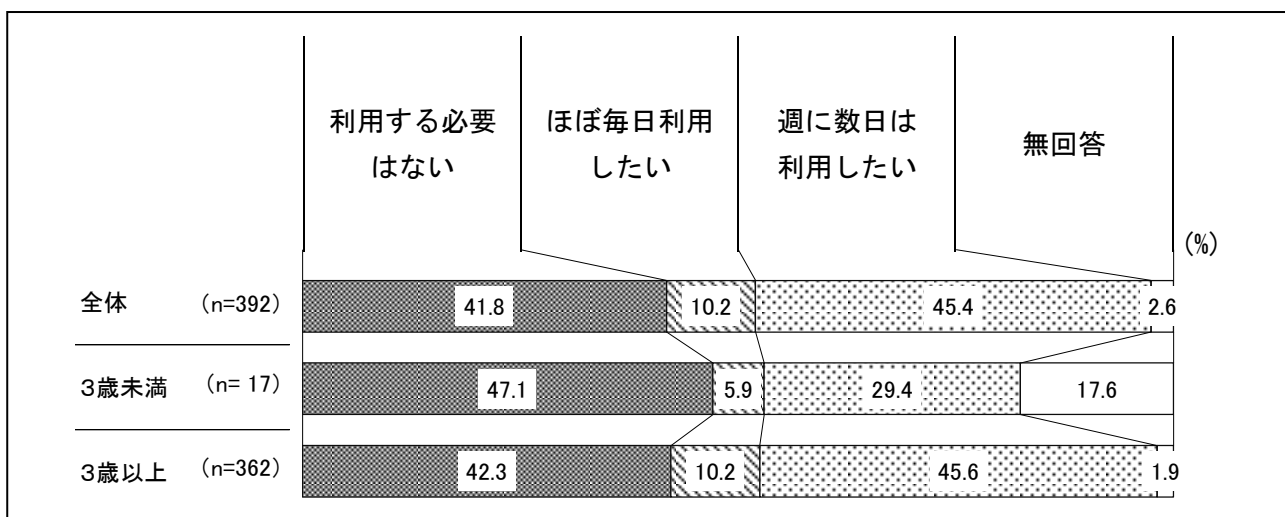
問18 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(○は1つ) 希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

利用料(1時間)：私立幼稚園 400円以下 市立幼稚園 実施なし

①利用希望

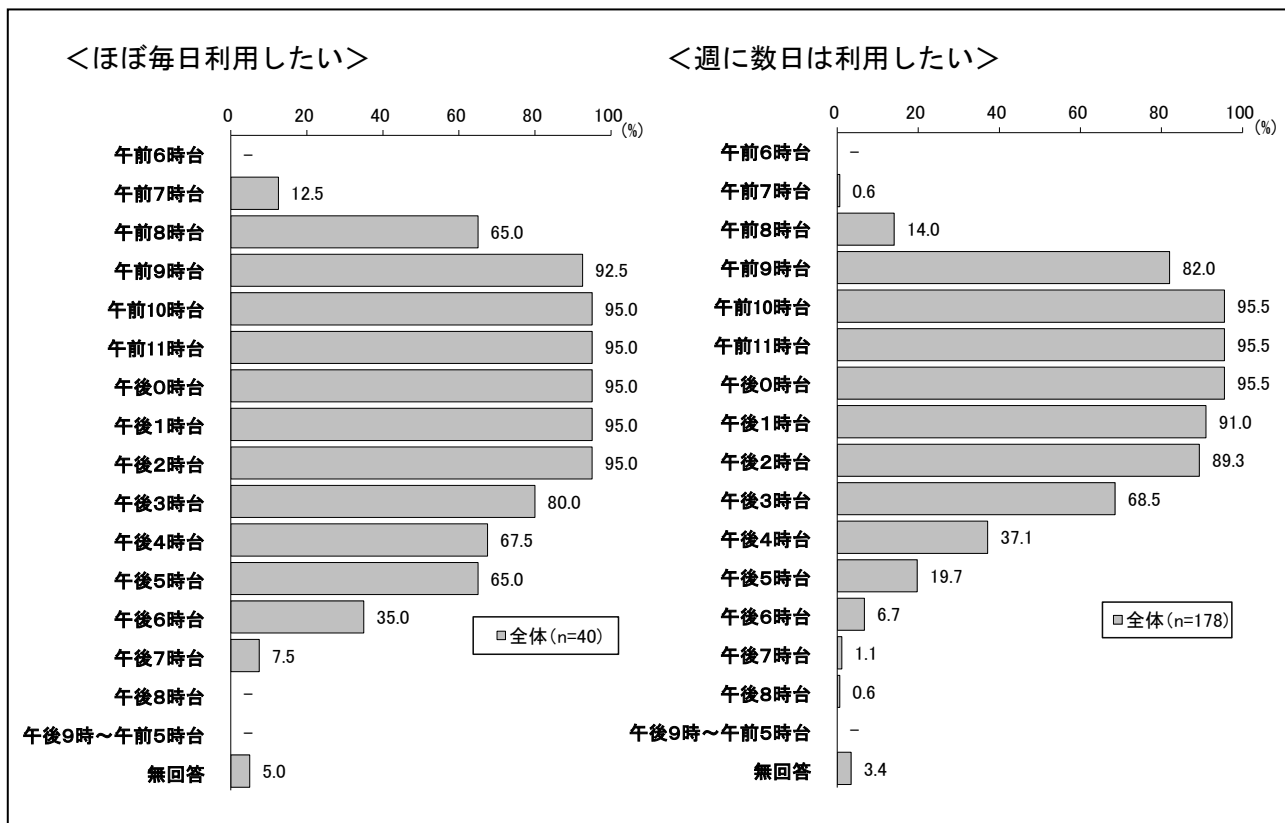
幼稚園利用者の長期休暇中の教育・保育事業の利用希望は、「週に数日は利用したい」が45.4%、「ほぼ毎日利用したい」が10.2%となり合計で55.6%となっている。



②希望利用時間帯

「ほぼ毎日利用したい」場合の利用希望時間帯は、定期的な保育・教育事業での土曜日、日曜日・祝日の利用とほぼ同様の傾向がみられる。

一方で、「週に数日は利用したい」場合は、「ほぼ毎日利用したい」に比べて「午後4時台」には37.1%へ減少している。

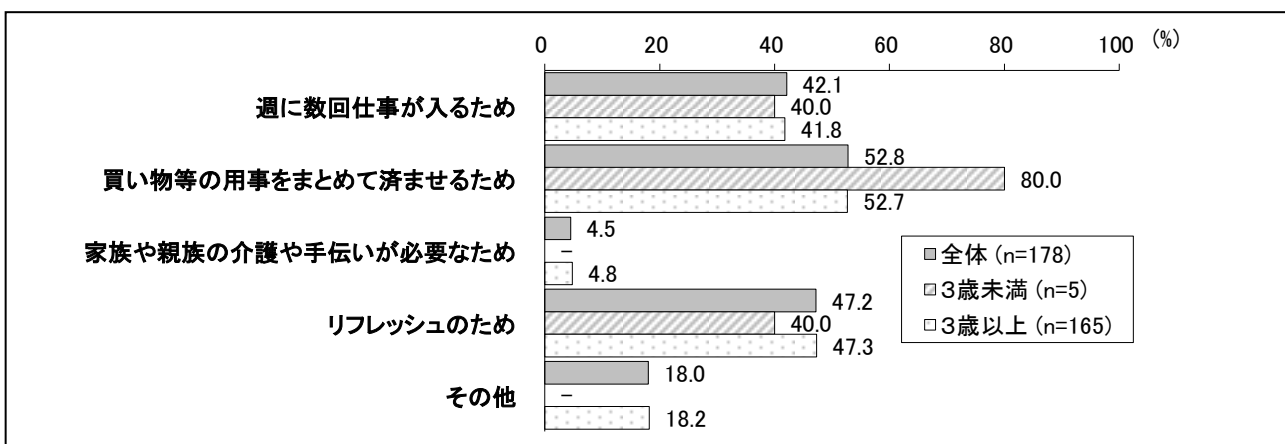


(4) 幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育事業を週に数日利用したい理由

問18で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問18-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

幼稚園利用者が長期休暇中に教育・保育事業を毎日ではなく、たまに利用したい理由は、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が52.8%で最も高く、これに「リフレッシュのため」が47.2%、「週に数回仕事が入るため」が42.1%で続いている。



6. 子どもの病気の際の対応

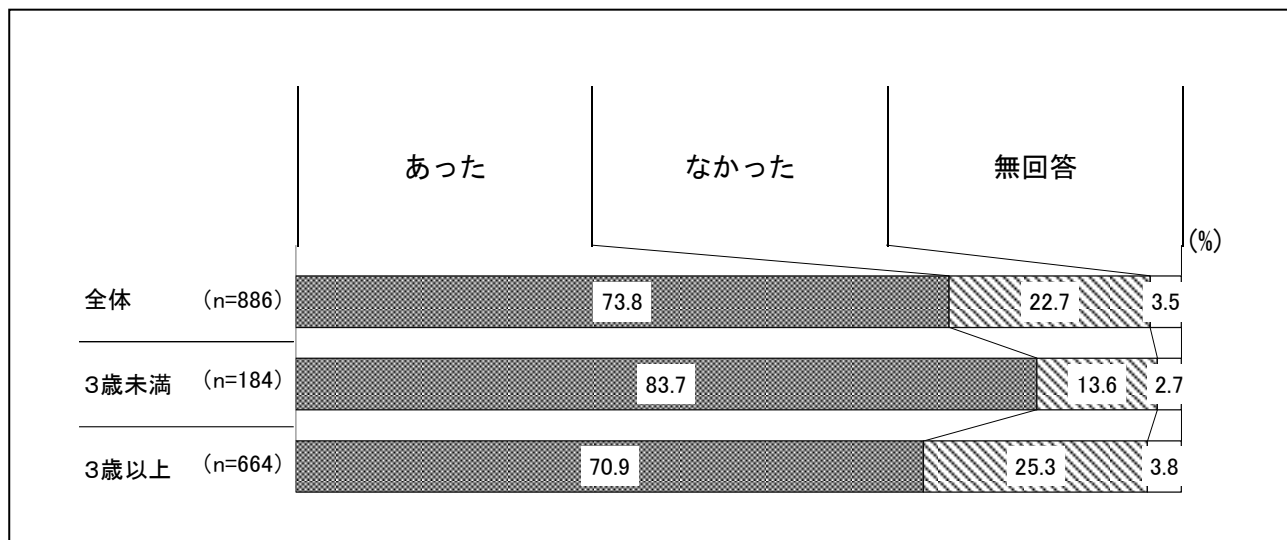
(1) 子どもの病気やケガで事業が利用できなかったことの有無

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問11で、1.に○をつけた方）にうかがいます。※利用していられない方は、問20にお進みください。

問19 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

※事業の利用が1年に満たない場合は、入所・入園からの期間でお答えください。

子どもが病気やケガで事業が利用できなかったことの有無は、「あった」が73.8%と高くなっている。



(2) 子どもの病気やケガで事業が利用できなかった時の対処方法

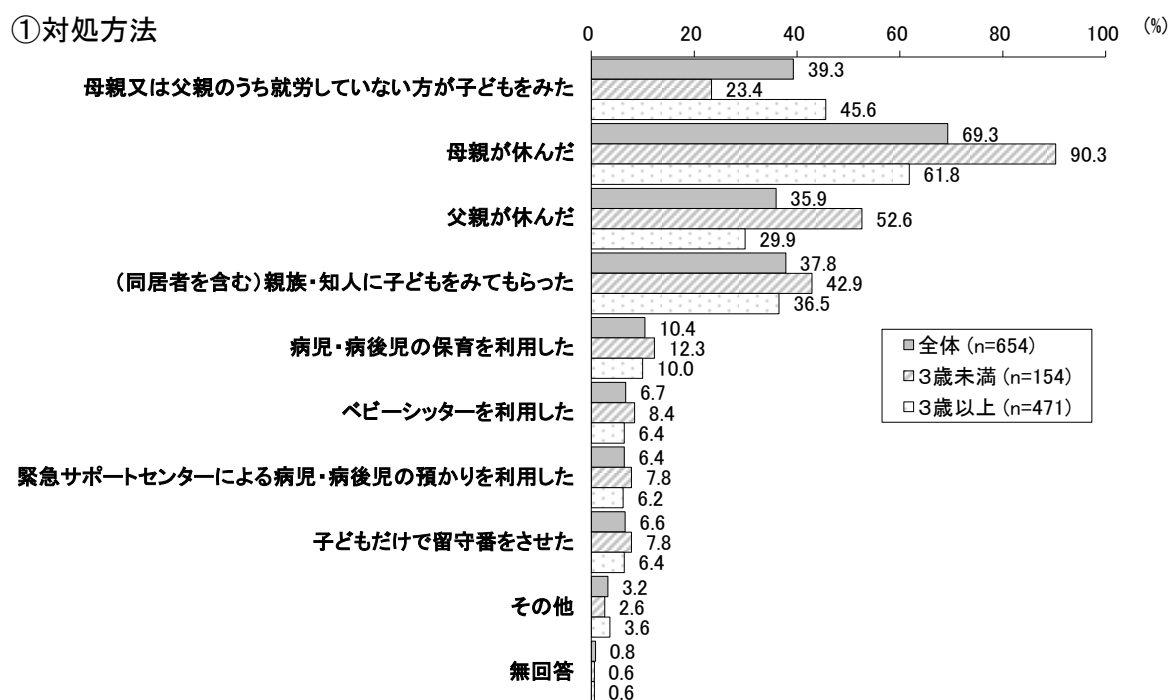
問19で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問19-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処方法は、「母親が休んだ」が69.3%と特に高く、以下、「母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた」が39.3%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が37.8%、「父親が休んだ」が35.9%の順となっている。

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際の対処別年間平均日数は、「母親が休んだ」が8.4日で最も多く、以下、「母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた」7.4日、「親族・知人に子どもをみてもらった」5.9日となっている。

① 対処方法



② 年間平均日数

不定期に利用している教育・保育事業	n(回答者数)	平均値(日/年)
母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた	230	7.4
母親が休んだ	446	8.4
父親が休んだ	201	3.7
(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった	225	5.9
病児・病後児の保育を利用した	31	2.3
ベビーシッターを利用した	5	3.2
緊急サポートセンターによる病児・病後児の預かりを利用した	3	2.7
子どもだけで留守番をさせた	4	3.5
その他	12	7.5

第2章 調査結果

(3) 病児・病後児保育の利用希望

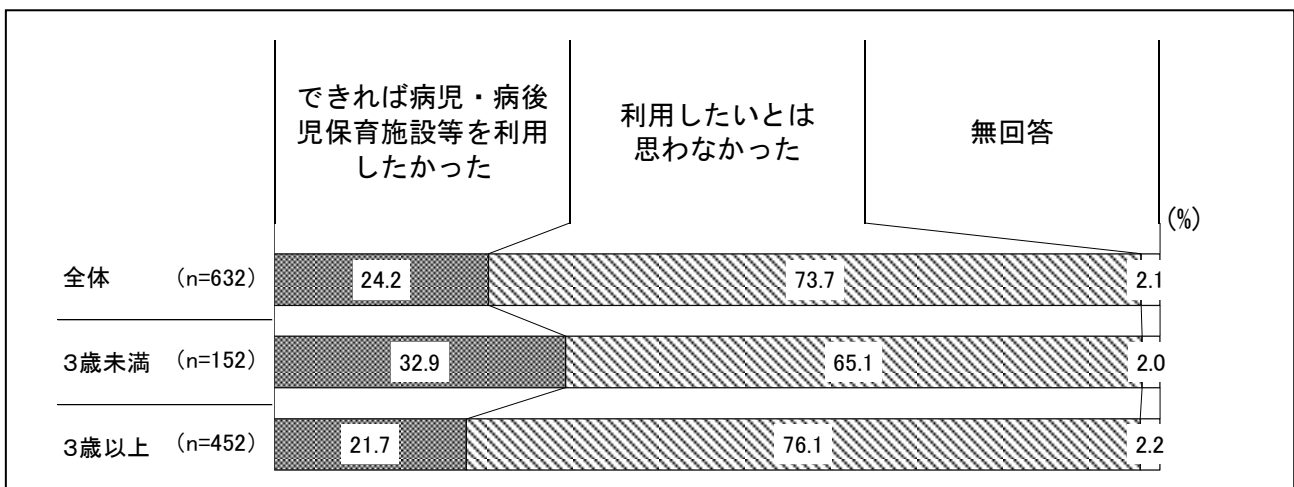
問19-1で、「母親（父親）が子どもをみた・休んだ」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当
てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。

※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医
の受診が必要となります。病児・病後児保育利用料(日額)：2,000円+実費

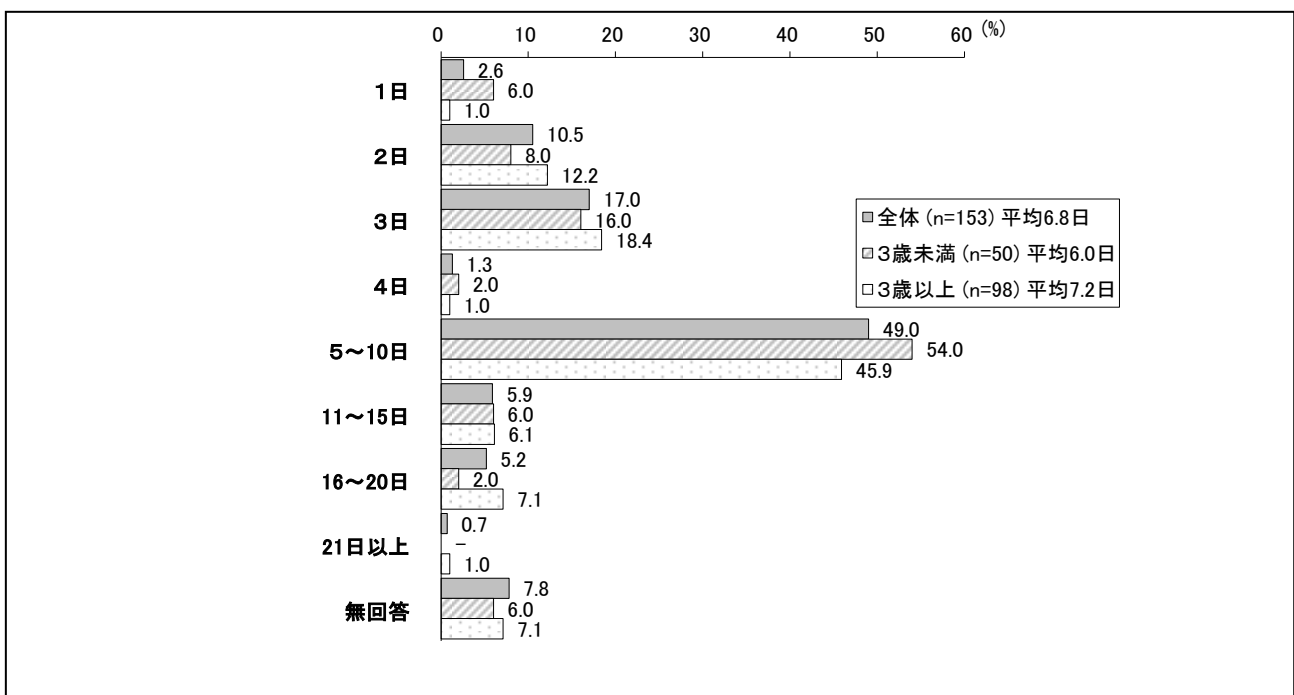
①利用希望

病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった際、母親または父親が対処していると回答した
人の病児・病後児保育施設等の利用希望は、「利用したいとは思わなかった」が73.7%「できれば
病児・病後児保育施設等を利用したかった」が24.2%となっている。



②利用希望日数

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」と回答した人の利用希望日数は、「5～
10日」が49.0%と特に高く、平均6.8日となっている。

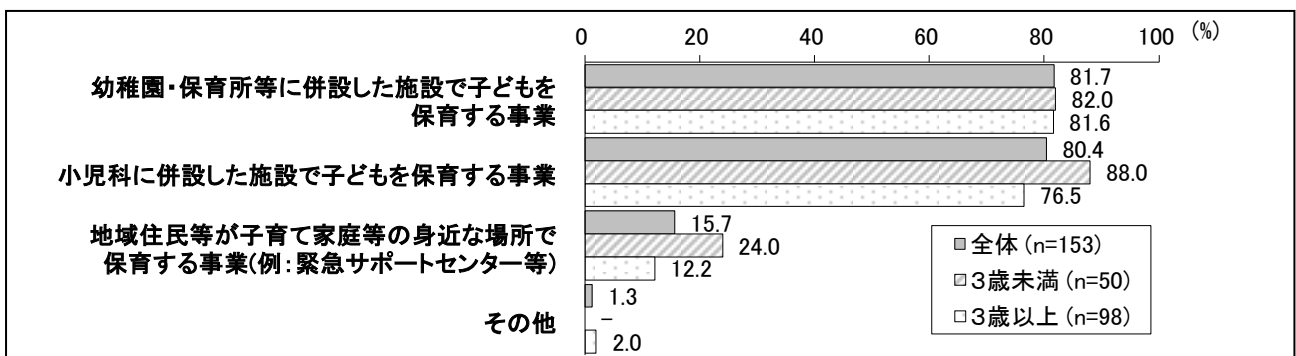


(4) 病児・病後児保育の望ましい事業形態

問19-2で、「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」に○をつけた方いかがいます。

問19-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(当てはまるものすべてに○)

「できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」と回答した人が考える病児・病後児保育施設等の望ましい事業形態としては、「幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業」が81.7%、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が80.4%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例:緊急サポートセンター等)」が15.7%となっている。

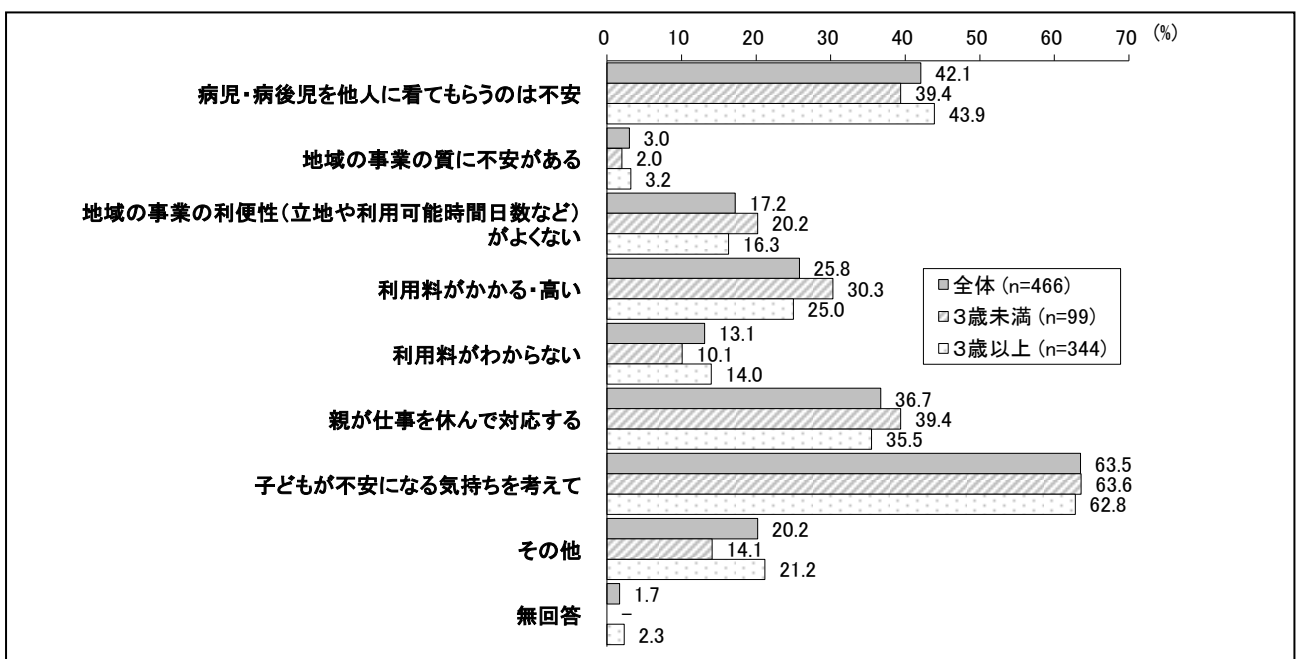


(5) 病児・病後児保育を利用したいと思わなかった理由

問19-2で、「2. 利用したいと思わなかった」に○をつけた方いかがいます。

問19-4 そう思われる理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思わなかった理由は、「子どもが不安になる気持ちを考えて」が63.5%と特に高く、これに「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が42.1%、「親が仕事を休んで対応する」が36.7%で続いている。



第2章 調査結果

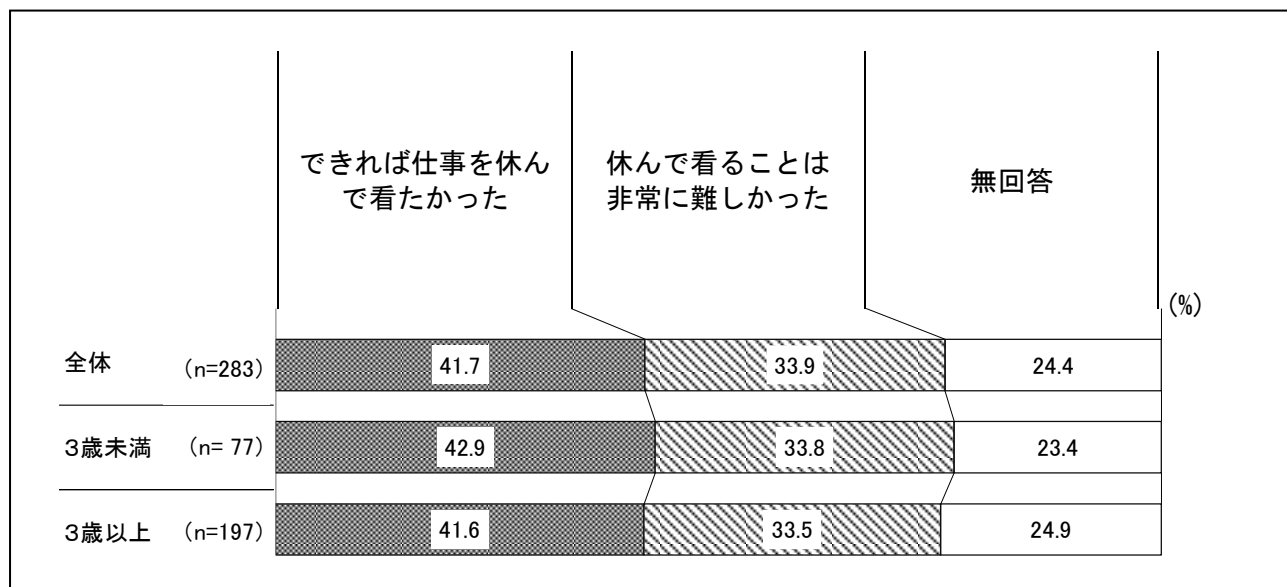
(6) 父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思ったか

問19-1で、「4~9」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問19-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、4~9の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

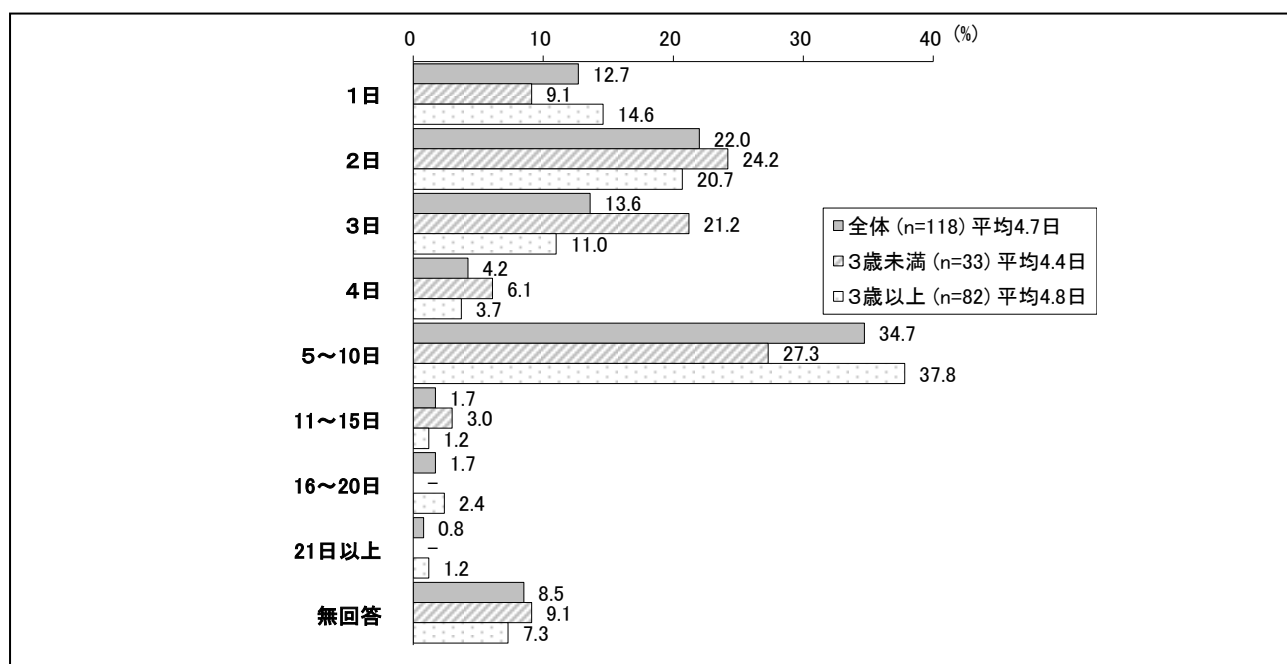
①意向

父母のいずれかが「できれば仕事を休んで看たかった」という人は41.7%。これに対し、「休んで看ることは非常に難しかった」という人は33.9%となっている。



②父母のいずれかが仕事を休んで看たいと思った日数

父母のいずれかが「できれば仕事を休んで看たかった」と回答した人が看たいと思った日数は、「5~10日」が34.7%、「2日」が22.0%と高く、平均4.7日となっている。

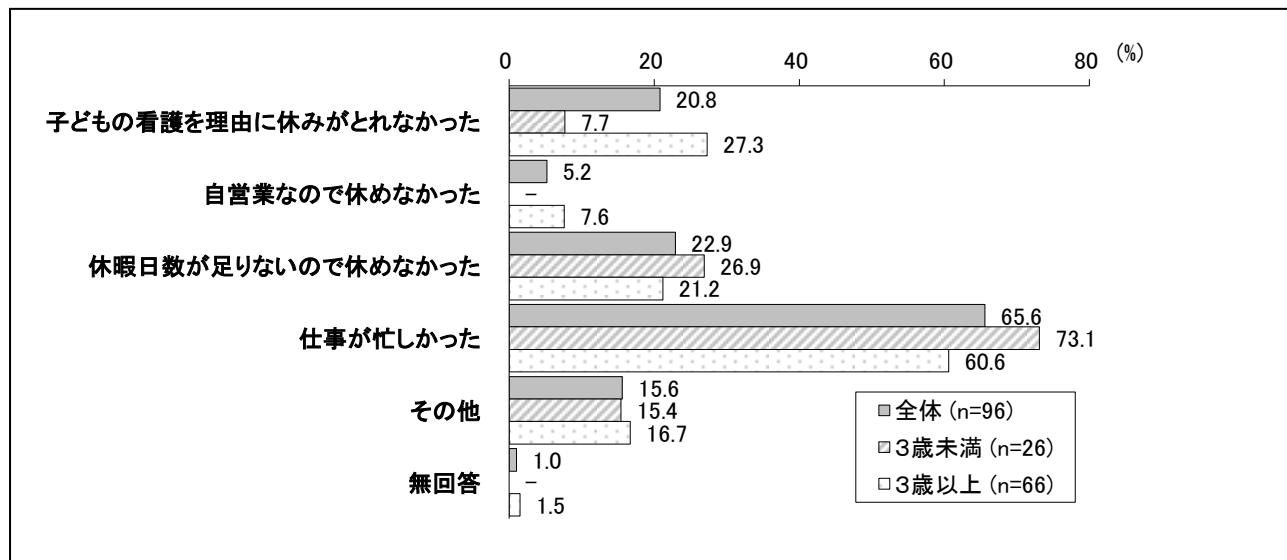


(7) 仕事を休んで看ることが難しかった理由

問19-5で、「2. 休んで看ることは非常に難しかった」に○をつけた方にうかがいます。

問19-6 そう思った理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「休んで看ることは非常に難しかった」と回答した人の理由は、「仕事が忙しかった」が65.6%と特に高くなっている。



7. 不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かりの利用状況

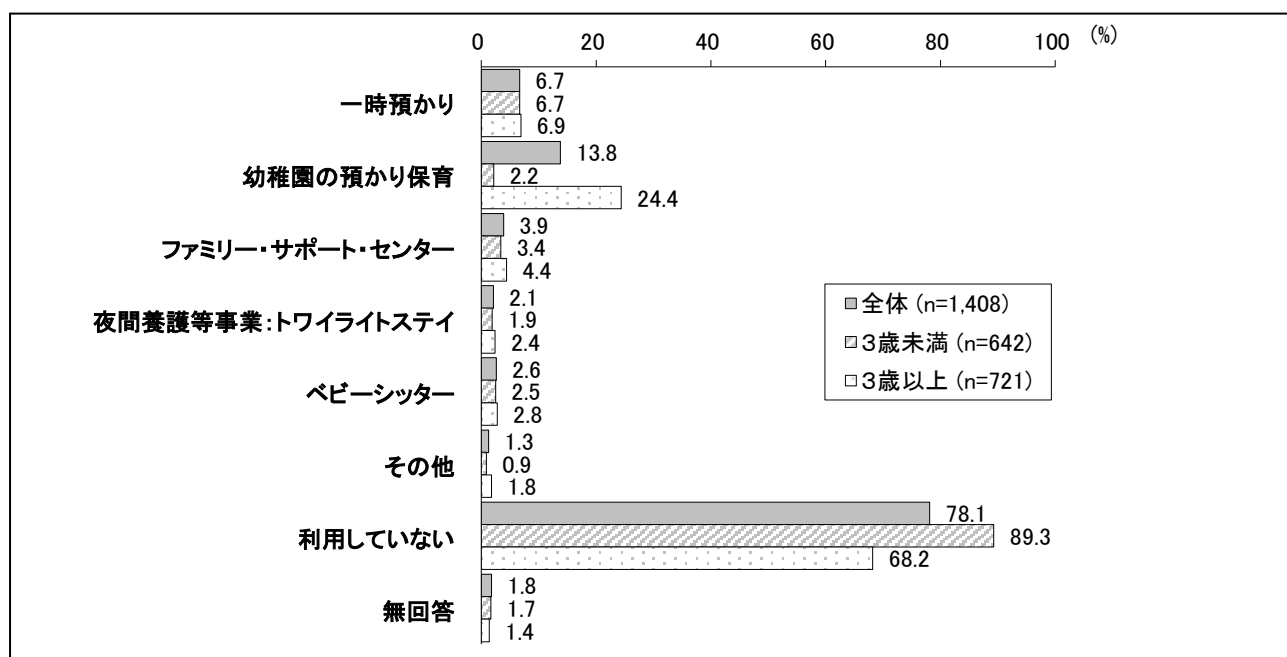
(1) 不特定の教育・保育事業の利用状況

問20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

①利用状況

不特定の教育・保育事業を「利用していない」が78.1%となっている。

不定期に利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が13.8%で最も高く、これに「一時預かり」が6.7%と続いている。



②年間平均利用日数

不定期に利用している教育・保育事業の年間平均利用日数は、「ベビーシッター」が55.1日、「幼稚園の預かり保育」が24.9日、「一時預かり」が18.6日、「ファミリー・サポート・センター」が17.2日、「その他」が11.0日となっている。「夜間養護等事業：トワイライトステイ」は利用日数の回答がなかった。

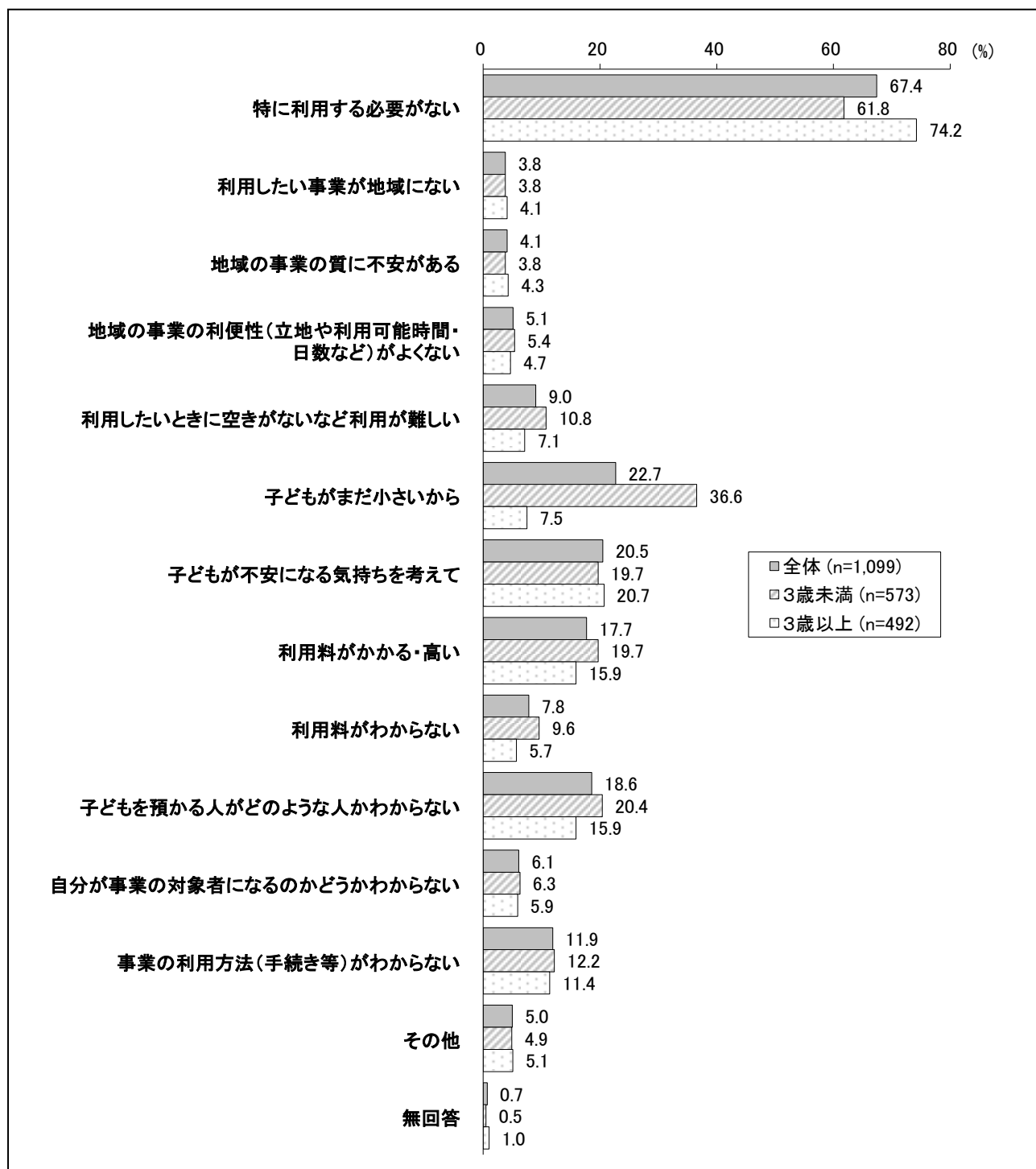
不定期に利用している教育・保育事業	n(回答者数)	平均値(日/年)
一時預かり	94	18.6
幼稚園の預かり保育	170	24.9
ファミリー・サポート・センター	25	17.2
夜間養護等事業：トワイライトステイ	0	—
ベビーシッター	7	55.1
その他	3	11.0

(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

問20で、「7.利用していない」と回答した方にうかがいます。

問20-1 現在利用していない理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

不定期の教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が67.4%と特に高く、以下、「子どもがまだ小さいから」が22.7%、「子どもが不安になる気持ちを考えて」が20.5%の順となっている。



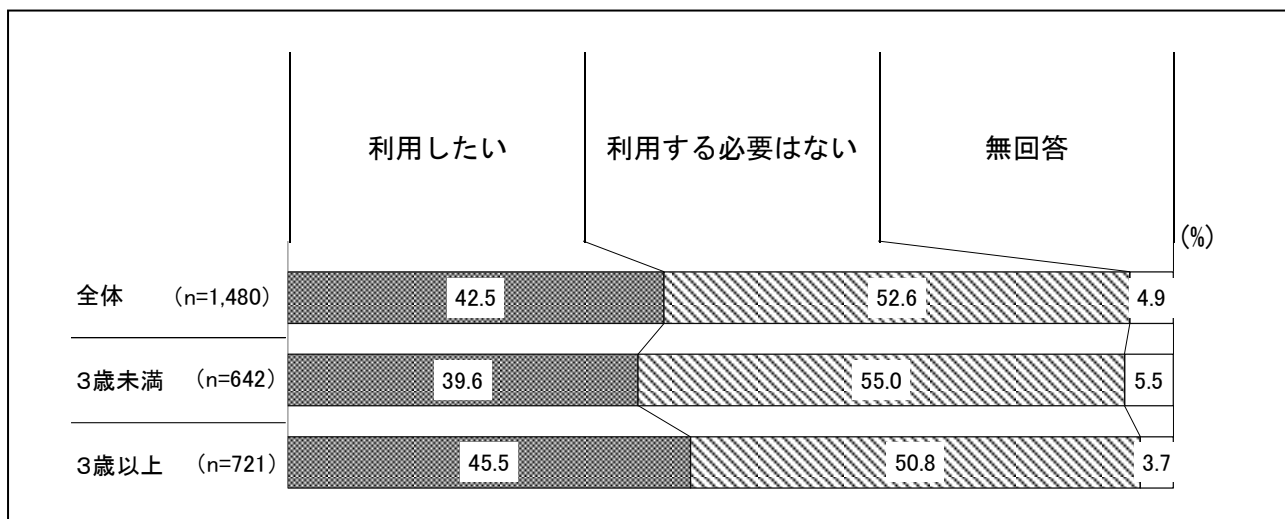
第2章 調査結果

(3) 不特定の教育・保育事業の利用希望

問21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、今後1年間で何日くらい問20の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。目的別の日数を口内に数字でご記入ください。
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

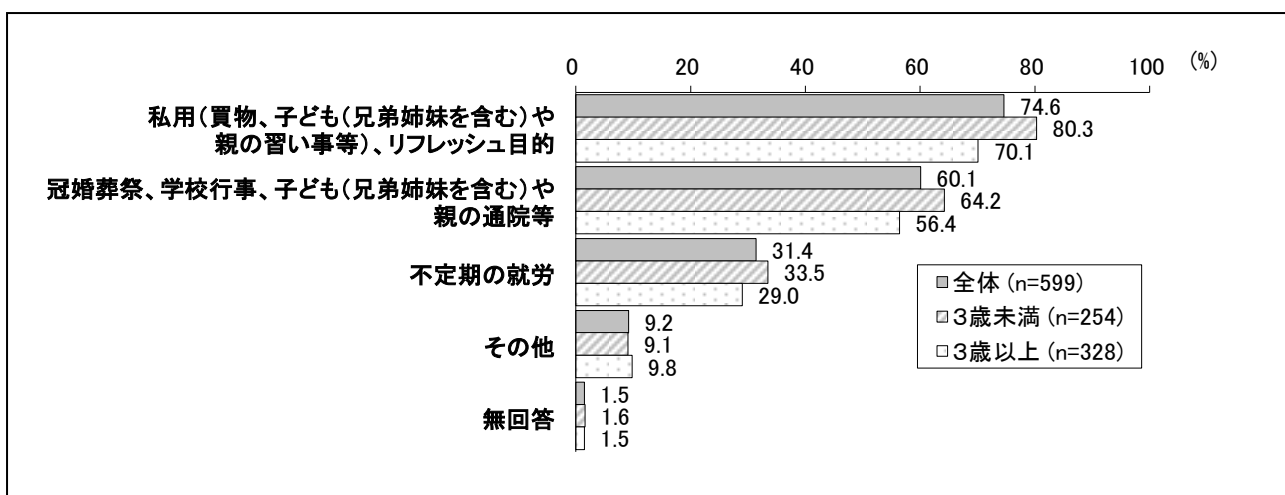
①利用希望

不特定の教育・保育事業の利用希望は、「利用したい」が42.5%となっている。



②利用を希望する目的

不特定の教育・保育事業の利用を希望する目的は、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が74.6%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が60.1%、「不特定の就労」が31.4%となっている。



③平均利用希望日数

不定期の教育・保育事業の平均利用希望日数は、「不定期の就労」が36.0日、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ目的」が13.4日、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が10.3日、「その他」が36.5日となっている。

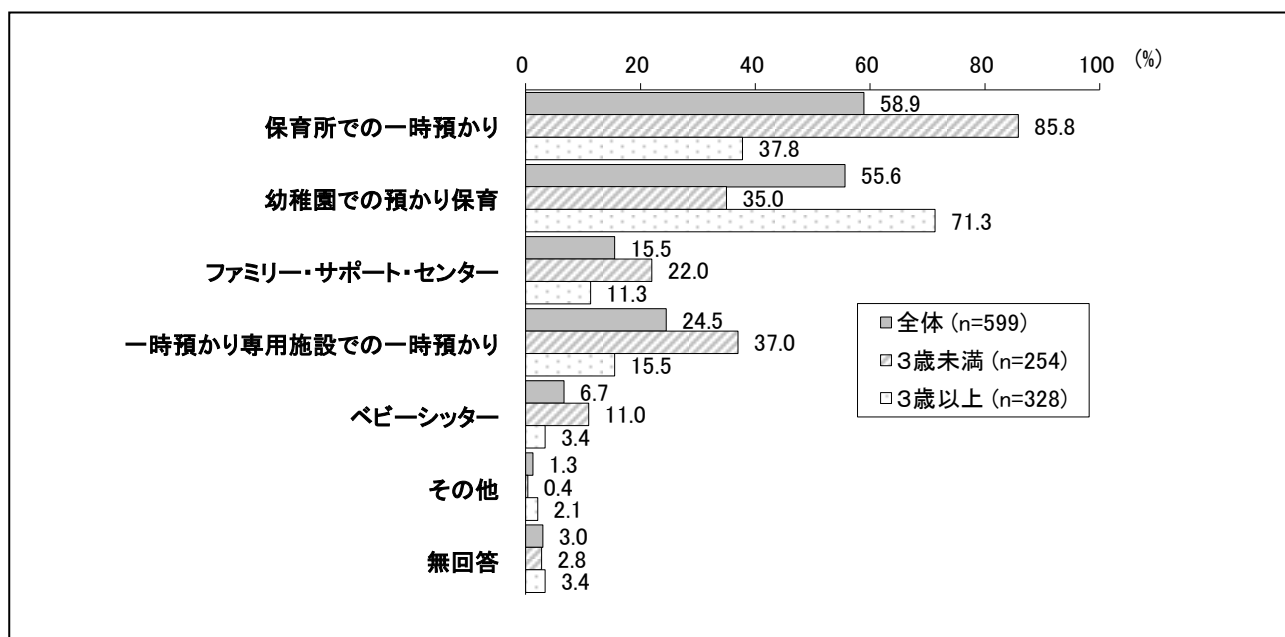
利用を希望する目的	n(回答者数)	平均値(日/年)
私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的	435	13.4
冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等	345	10.3
不定期の就労	158	36.0
その他	39	36.5

(4) 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態

問21で、「1. 利用したい(①~④)」に○をつけた方にかがいます。

問21-1 問21の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(当てはまるものすべてに○)

不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態は、「保育所での一時預かり」が58.9%、「幼稚園での預かり保育」が55.6%と特に高く、これらに「一時預かり専用施設での一時預かり」が24.5%で続いている。



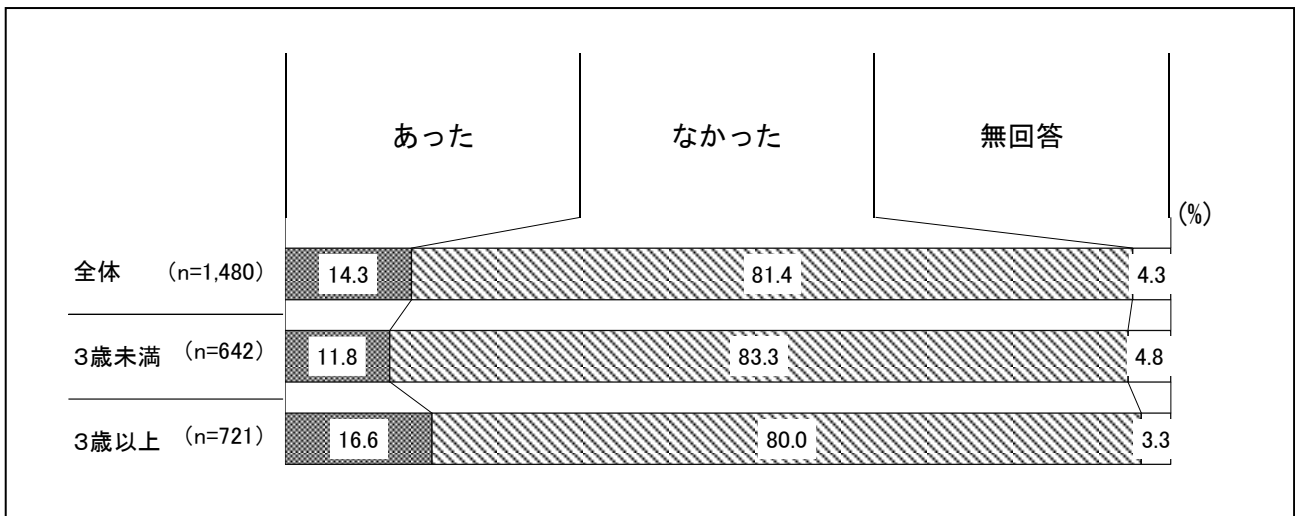
第2章 調査結果

(5) 子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならない場合の対処

問22 この1年間に、保護者の用事（保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（預け先が見つからなかった場合も含みます。）

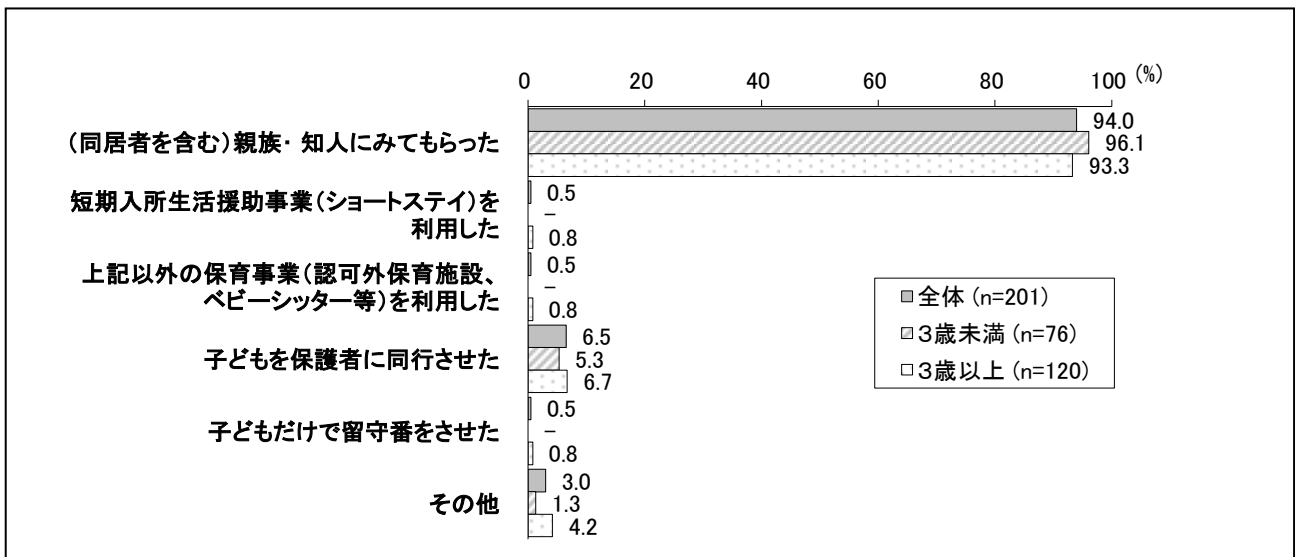
①みてもらったことの有無

この1年間に、保護者の用事（保護者・家族の病気など）により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」という人は14.3%となっている。



②対処方法

保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった場合の対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が94.0%と特に高くなっている。



③みてもらった平均日数

保護者の用事により、子どもを泊まりがけで家族以外にみてもらった1年当たりの平均日数は、「子どもを保護者に同行させた」が5.8日、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が5.7日、「その他」が4.3日となっている。

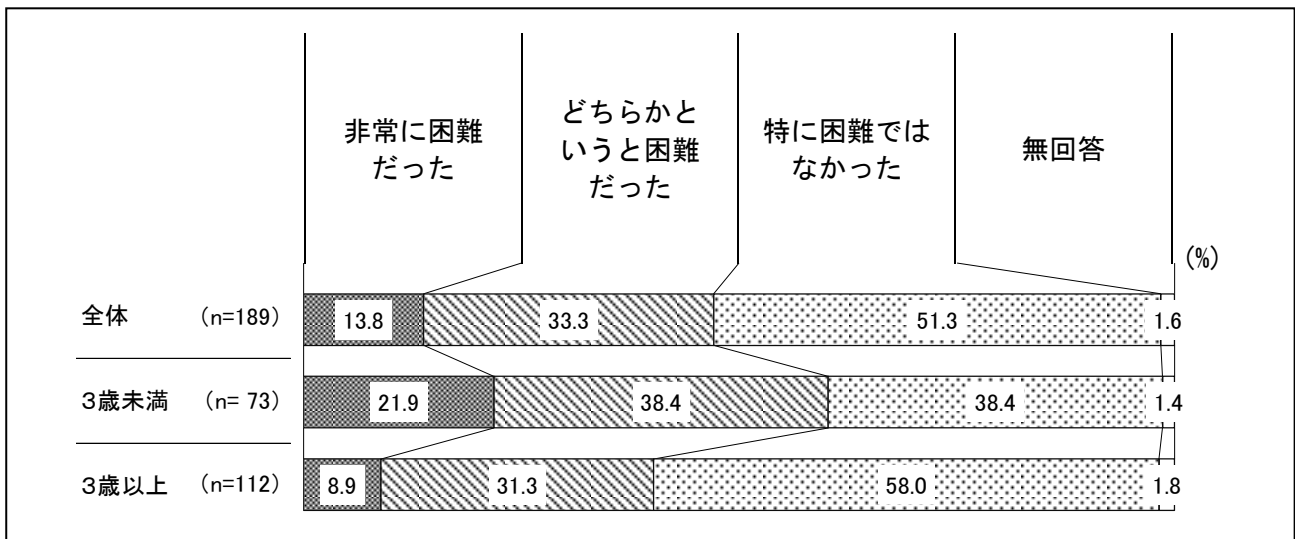
対処方法	n(回答者数)	平均値(日/年)
(同居者を含む)親族・知人にみてもらった	175	5.7
子どもを保護者に同行させた	10	5.8
その他	4	4.3

(6) 親族・知人の負担の大きさ、子どもの不安感などの困難度

問22で、「1. あった ① (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にかかっています。

問22-1 その場合、親族・知人の負担の大きさや子どもの不安感など、困難度はどの程度でしたか。
(〇は1つ)

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」場合の困難度は、「特に困難ではなかった」が51.3%、「どちらかという困難だった」33.3%と「非常に困難だった」13.8%の合計が47.1%となっている。

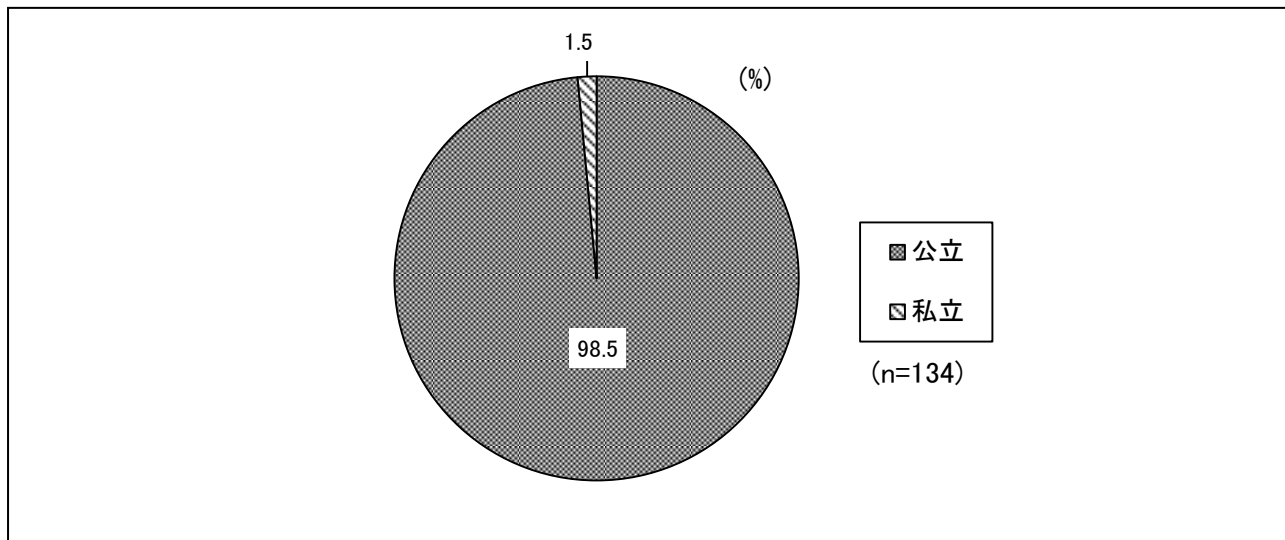


8. 小学校就学後の放課後の過ごし方

(1) 来年度通う予定の小学校

問23 宛名のお子さんの来年度通う予定の小学校はどこですか。(〇は1つ) 公立の場合は、小学校名もご記入ください。

子どもが来年度通う予定の小学校は、「公立」が98.5%、「私立」が1.5%となっている。



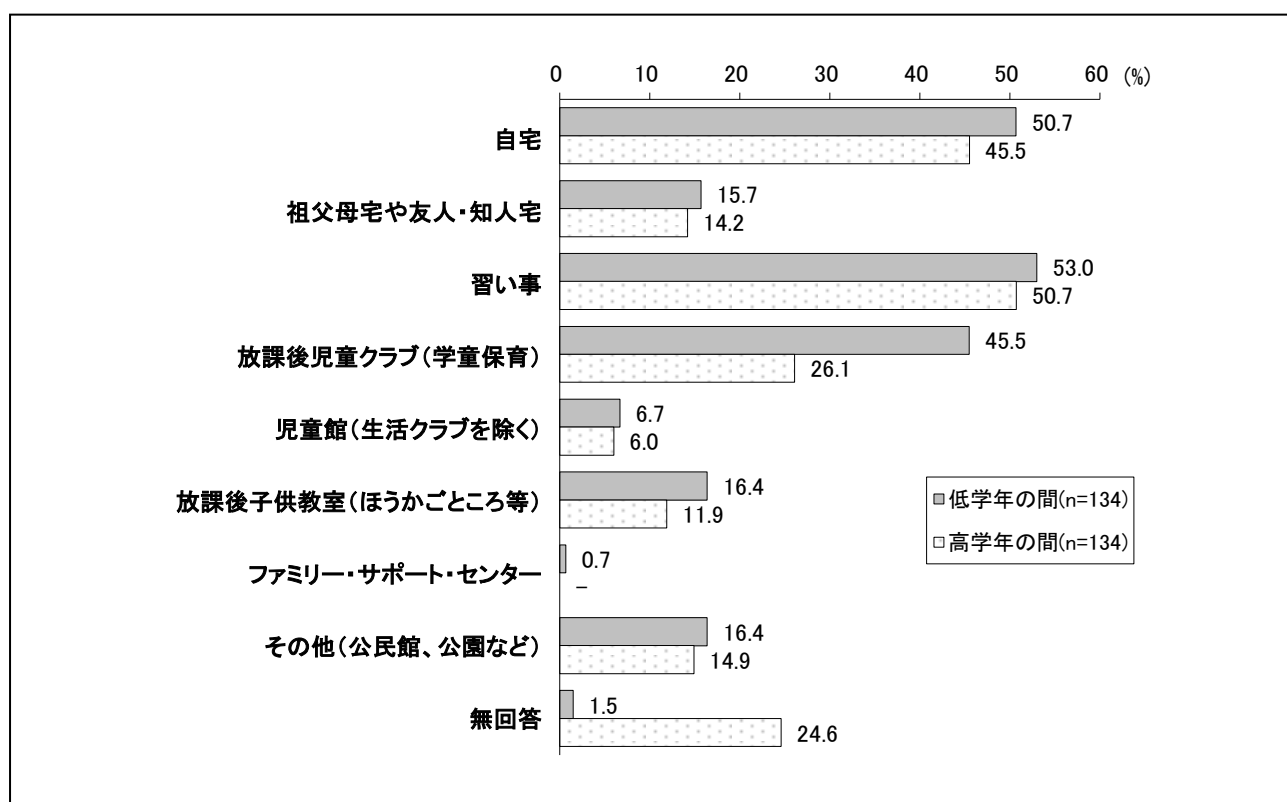
(2) 放課後過ごさせたい場所

問24 宛名のお子さんについて、小学校に就学したら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。低学年（1～3年生）、高学年（4～6年生）それぞれ当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの希望する週あたり日数を数字でご記入ください。「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も24時間制で口内に数字でご記入ください。
※先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

① 過ごさせたい場所

小学校就学後に放課後過ごさせたい場所は、低学年の間では「習い事」が53.0%、「自宅」が50.7%と上位を占め、これらに「放課後児童クラブ(学童保育)」が45.5%と続いている。

高学年の間では、「習い事」が50.7%、「自宅」が45.5%と上位を占め、これに「放課後児童クラブ(学童保育)」が26.1%と続いている。

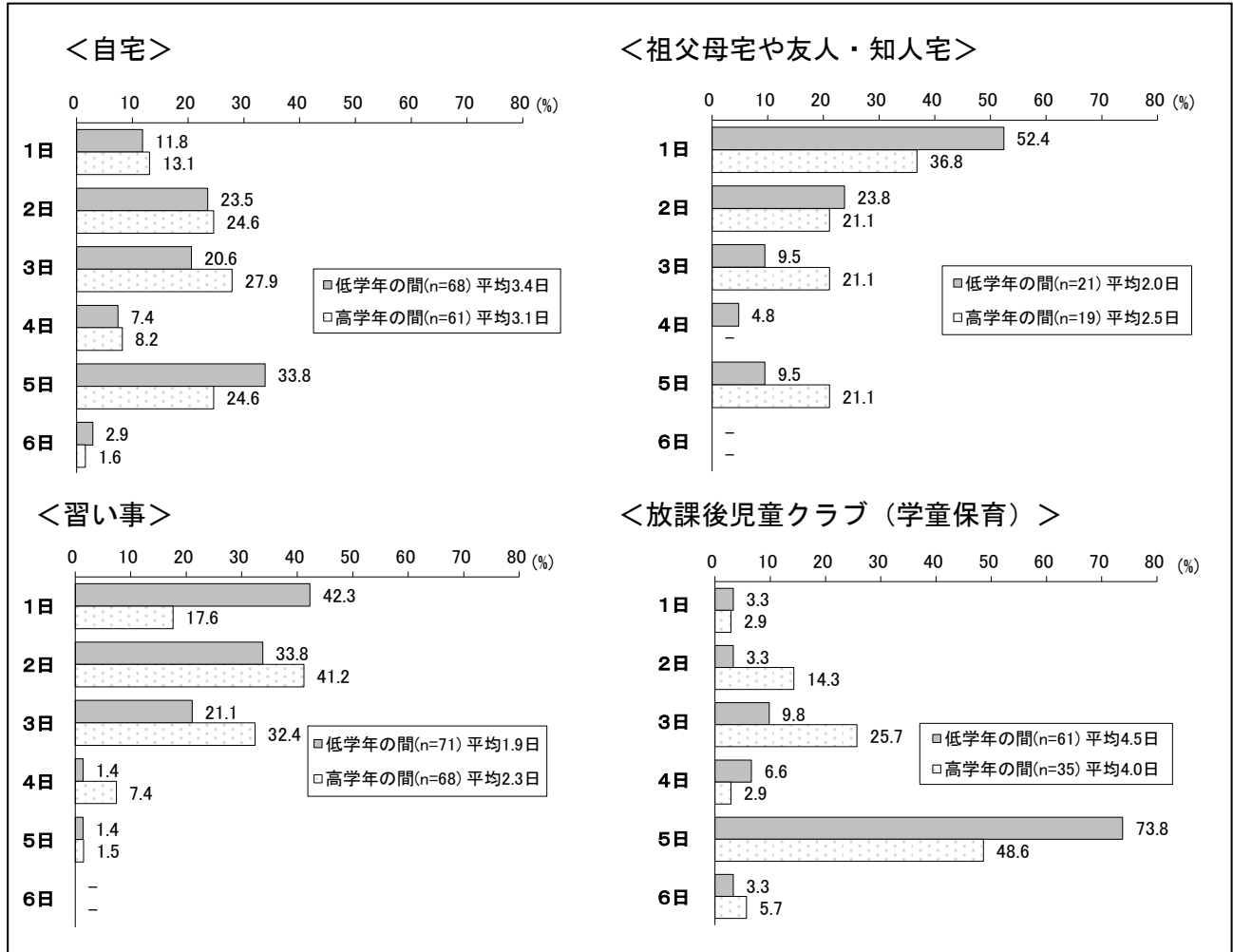


第2章 調査結果

②過ごさせたい日数・放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望時間

低学年の間で過ごさせたい主な場所の1週間の平均日数をみると、「放課後児童クラブ(学童保育)」が4.5日、「自宅」が3.4日、「習い事」が1.9日となっている。

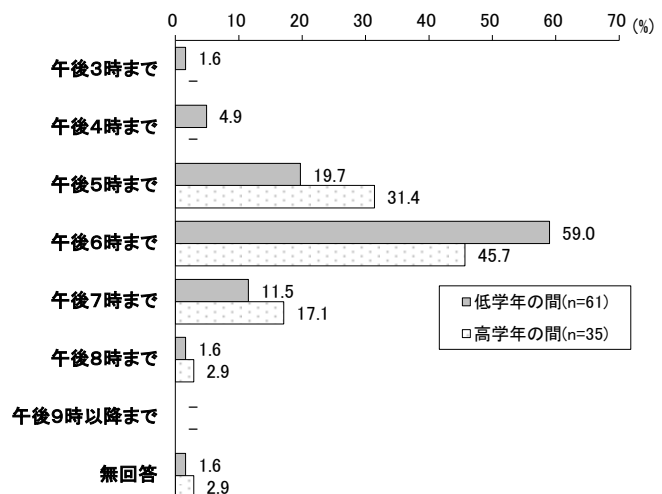
高学年の間では、「放課後児童クラブ(学童保育)」が4.0日、「自宅」が3.1日、「習い事」が2.3日となっている。



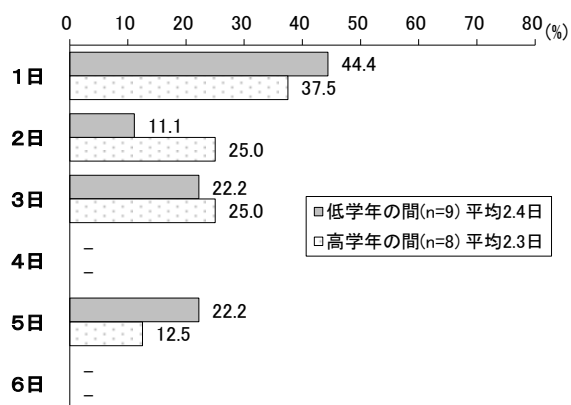
◆放課後児童クラブ(学童保育)利用希望時間

「放課後児童クラブ(学童保育)」で過ごさせたいと思う人の利用希望時間は、低学年の間では「午後6時まで」が59.0%と最も高くなっている。

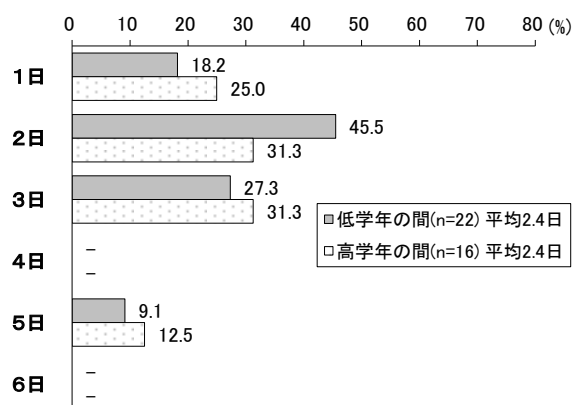
高学年の間でも「午後6時まで」が45.7%で最も高く、次いで「午後5時まで」が31.4%となっている。



<児童館（生活クラブを除く）>



<放課後子供教室（ほうかごところ等）>

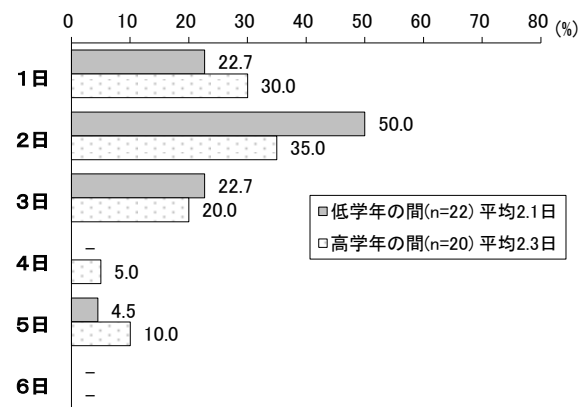


<ファミリー・サポート・センター>

低学年の間の回答者1名は、「2日」を希望している。

高学年の間では、回答がなかった。

<その他（公民館、公園など）>



第2章 調査結果

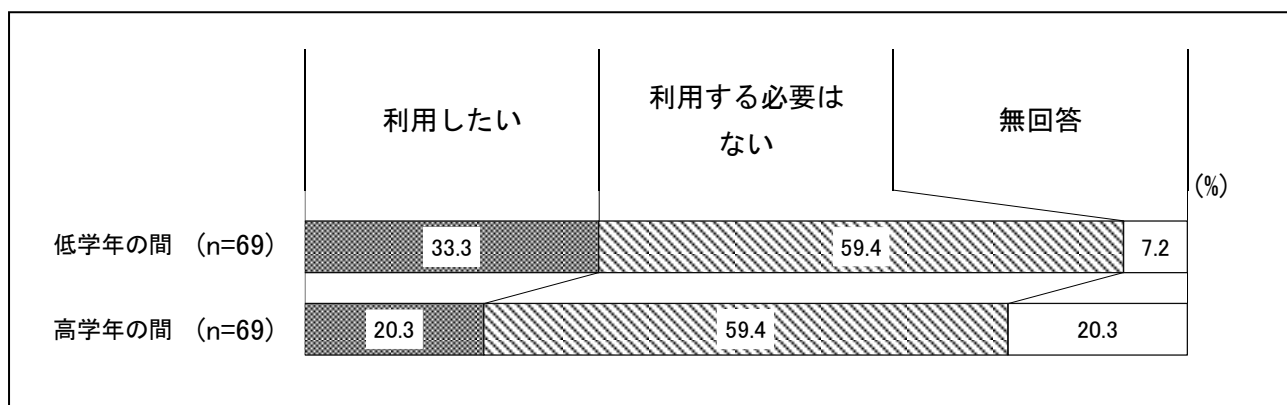
(3) 土曜日、日曜日・祝日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望

問24で、「4. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

問25 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。低学年・高学年それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。1または3に○をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

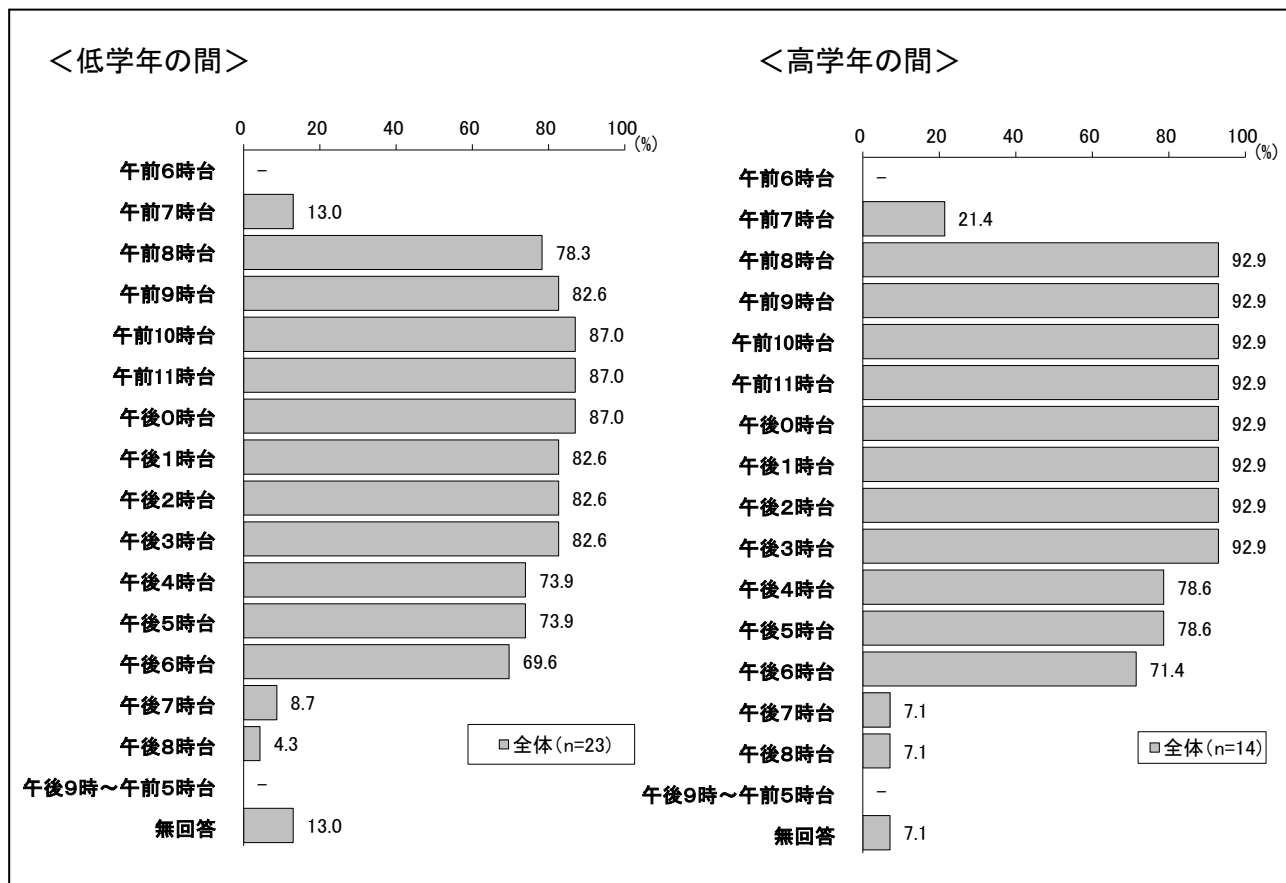
■利用希望

土曜日、日曜日・祝日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望は、低学年の間は33.3%、高学年の間は20.3%となっている。



■土曜日の希望利用時間帯

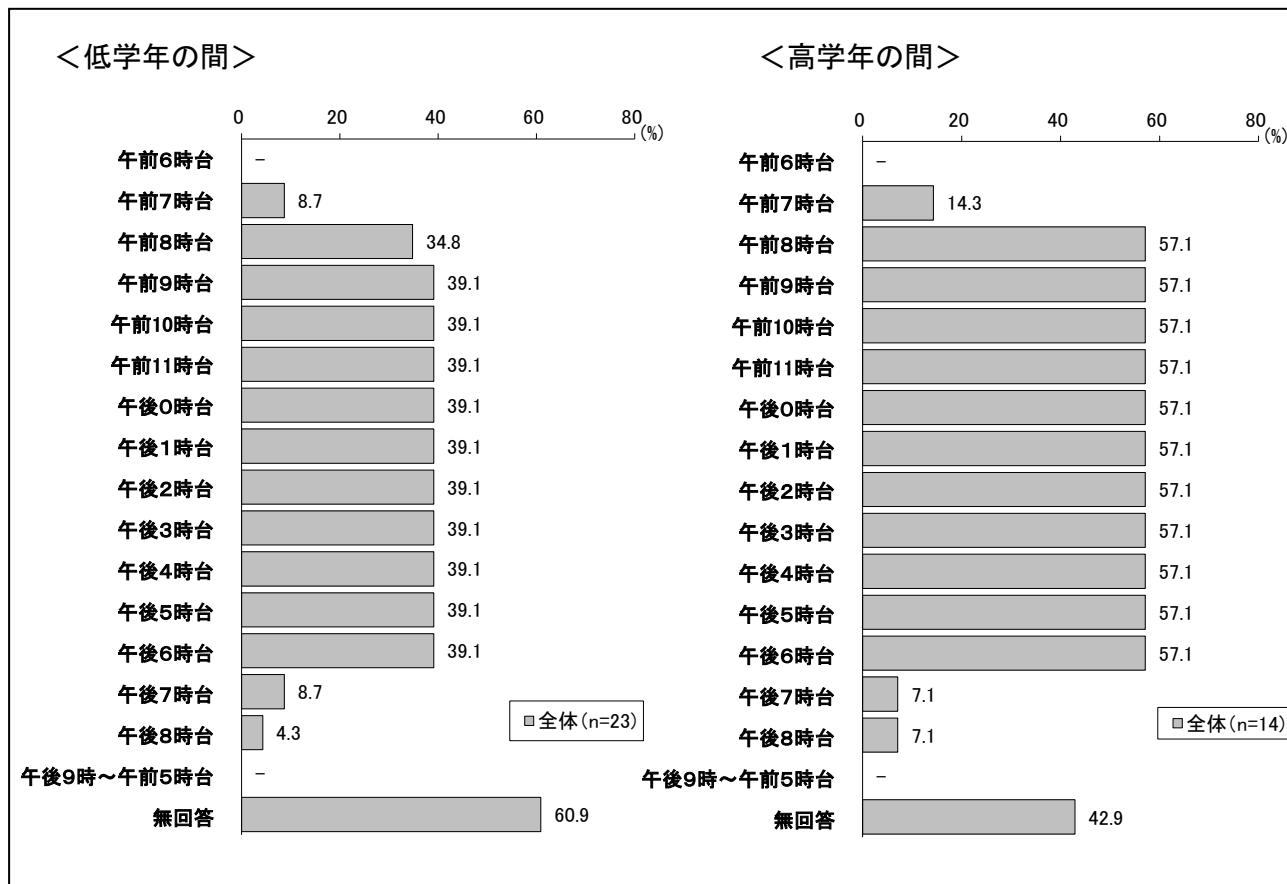
土曜日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間帯は、低学年の間は「午前10時台」から「午後0時台」までが87.0%と高くなっている。また、高学年の間は「午前8時台」から「午後3時台」までが92.2%と高くなっている。



第2章 調査結果

■日曜日・祝日の希望利用時間帯

日曜日・祝日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間帯は、低学年の間は「午前9時台」から「午後6時台」までが39.1%と高くなっている。また、高学年の間は「午前8時台」から「午後6時台」までが57.1%と高くなっている。



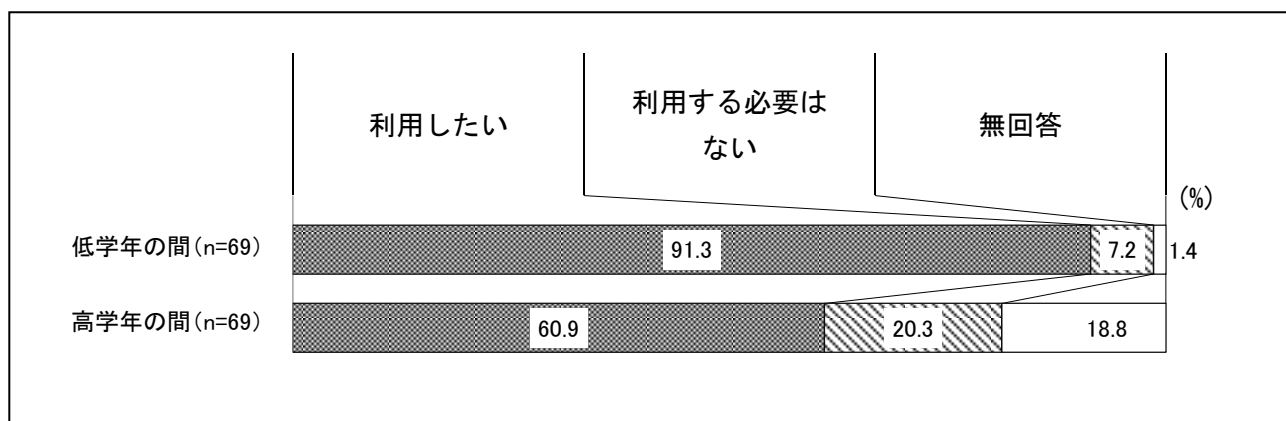
(4) 長期休暇中の「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望

問24で、「4. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にかがいます。

問26 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。低学年・高学年それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。1または3に○印をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

■利用希望

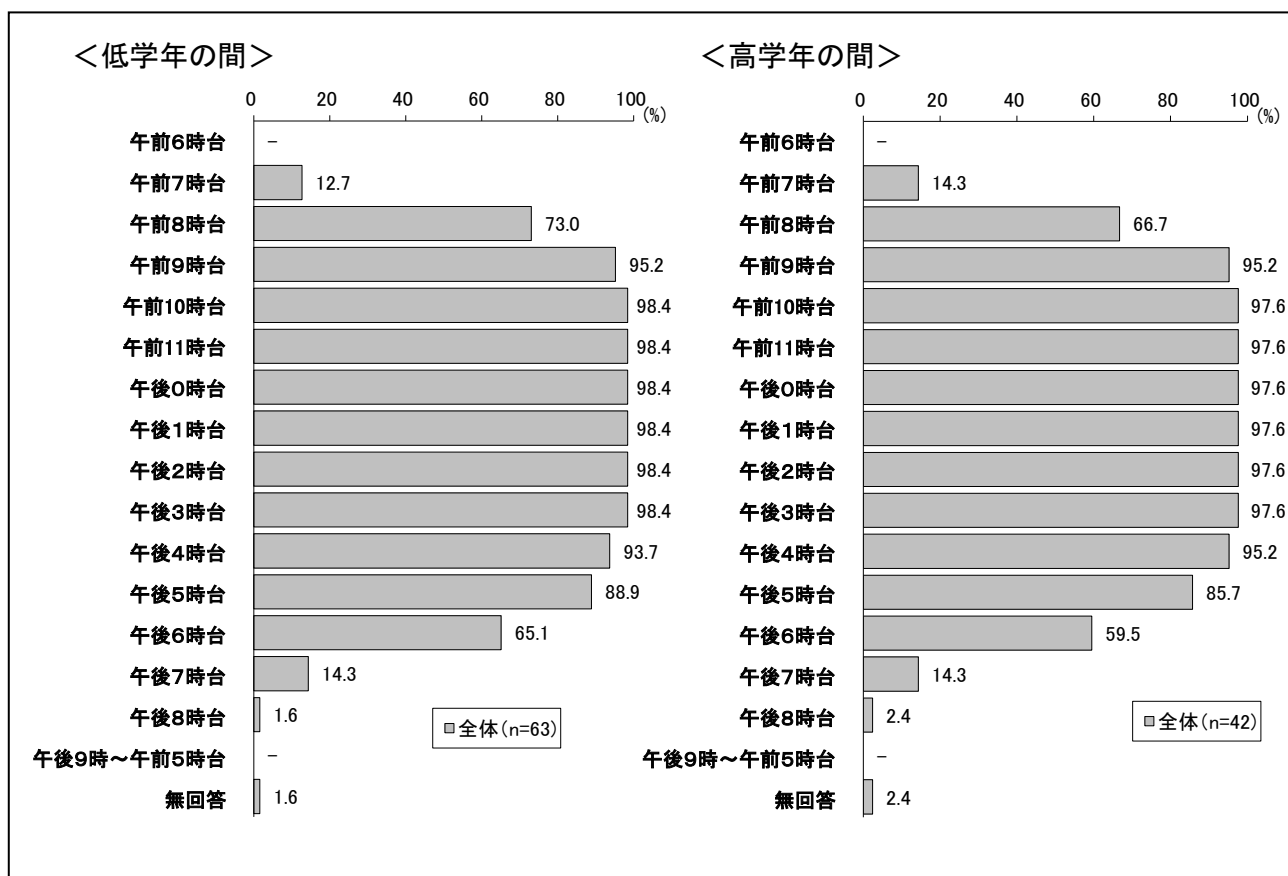
長期休暇中の「放課後児童クラブ(学童保育)」の利用希望は、低学年の間は91.3%、高学年の間は60.9%となっている。



第2章 調査結果

■ 希望利用時間帯

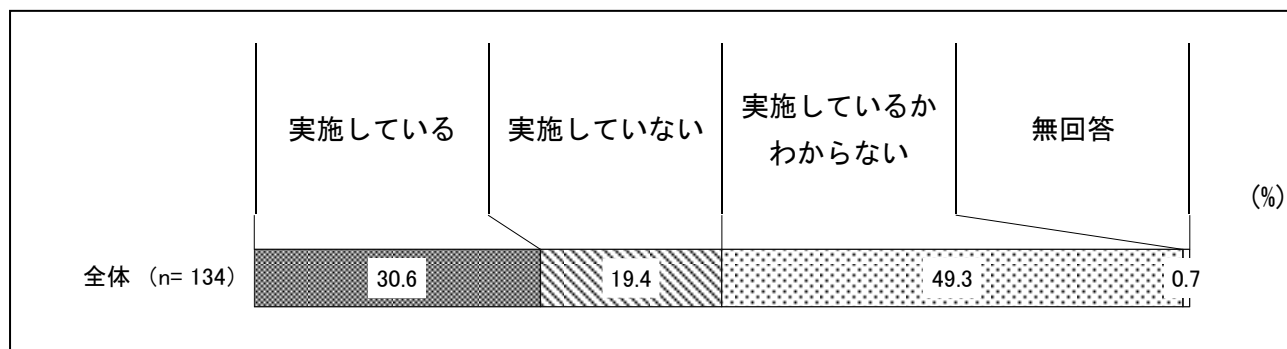
長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間帯は、低学年の間と高学年の間ともに「午前9時台」から「午後4時台」までが90%を超えている。



(5) 子どもが通う予定の小学校の「ほうかごところ等」の実施状況

問27 宛名のお子さんが通う予定の小学校では、「ほうかごところ等」を実施していますか。(〇は1つ)

子どもが通う予定の小学校における「ほうかごところ等」の実施状況は、「実施しているかわからない」が49.3%、「実施している」が30.6%、「実施していない」が19.4%となっている。



(6) 「ほうかごところ等」の利用希望

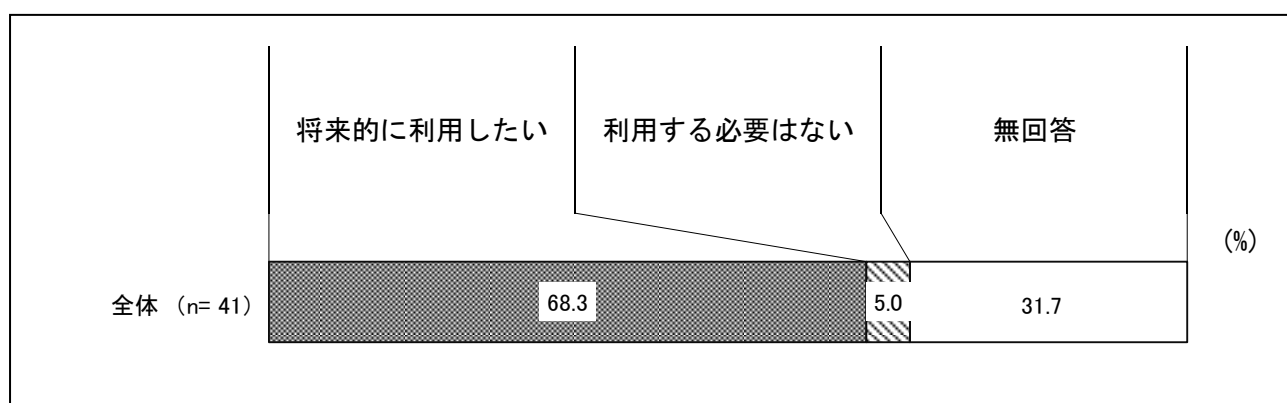
問27で、「1. 実施している」と答えた方にうかがいます。

問27-1 「ほうかごところ等」を利用したいと思いますか。月～金曜日、土曜日、長期休業日の別に応じてはまる番号を回答欄に1つずつ記入してください。利用したい場合は、利用したい日数や時間帯を、24時間制で口内にご記入ください。

①月曜日から金曜日までの利用希望

■利用希望

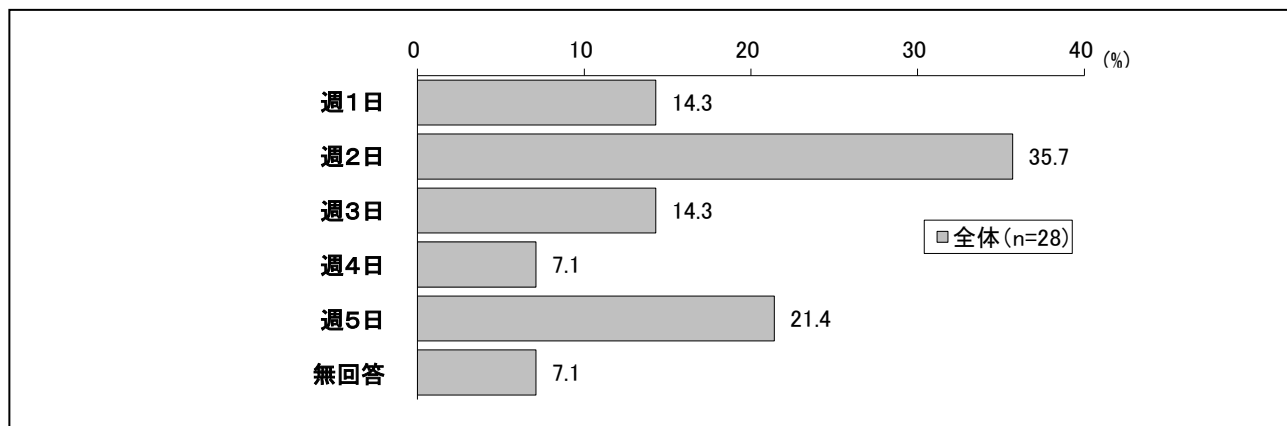
「ほうかごところ等」を実施している小学校に通う予定の人における月曜日から金曜日の利用希望は、「将来的に利用したい」が68.3%となっている。



第2章 調査結果

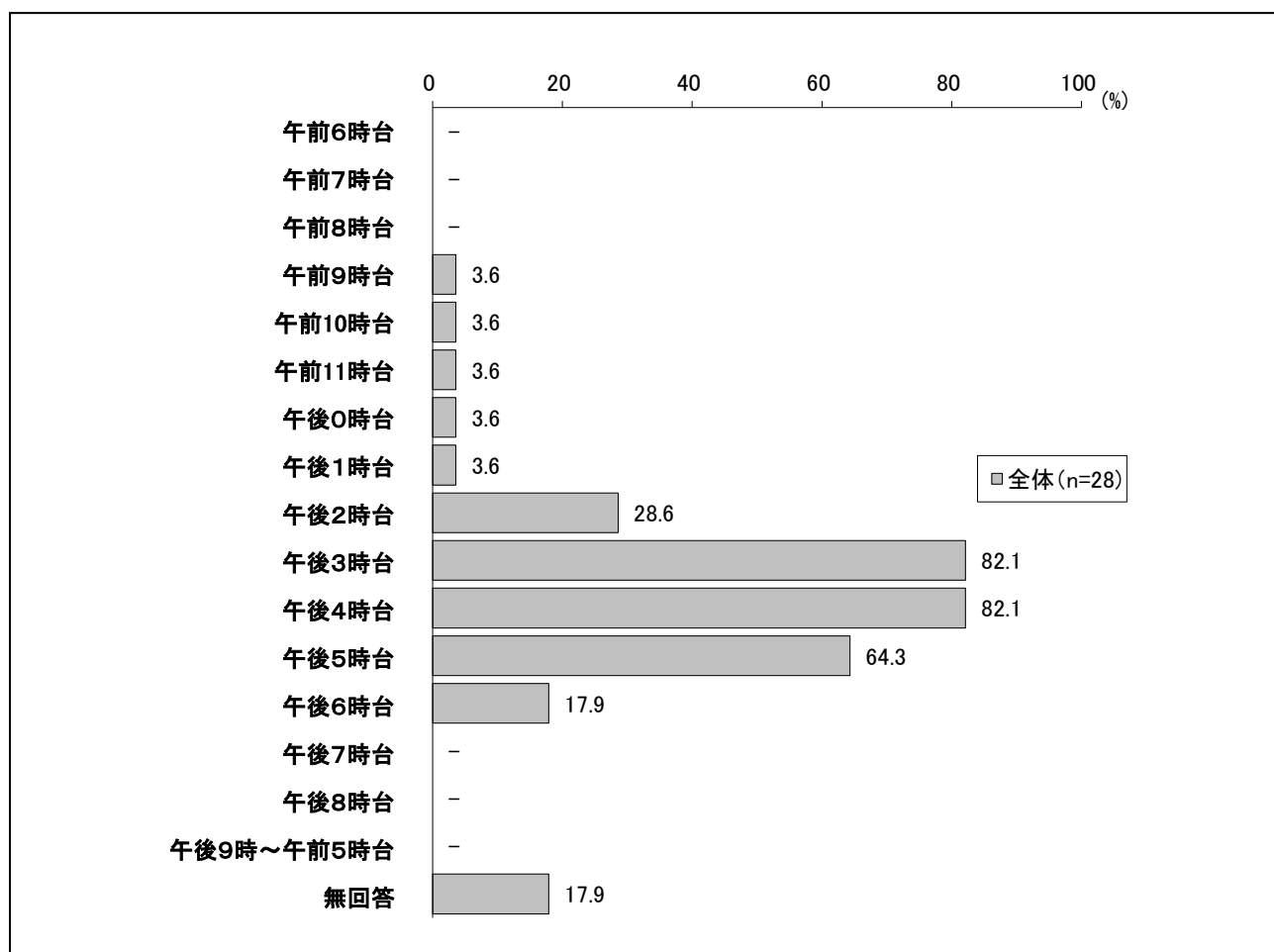
■利用希望日数

月曜日から金曜日までの利用希望日数は、「週2日」が35.7%で最も高く、平均2.8日となっている。



■希望利用時間帯

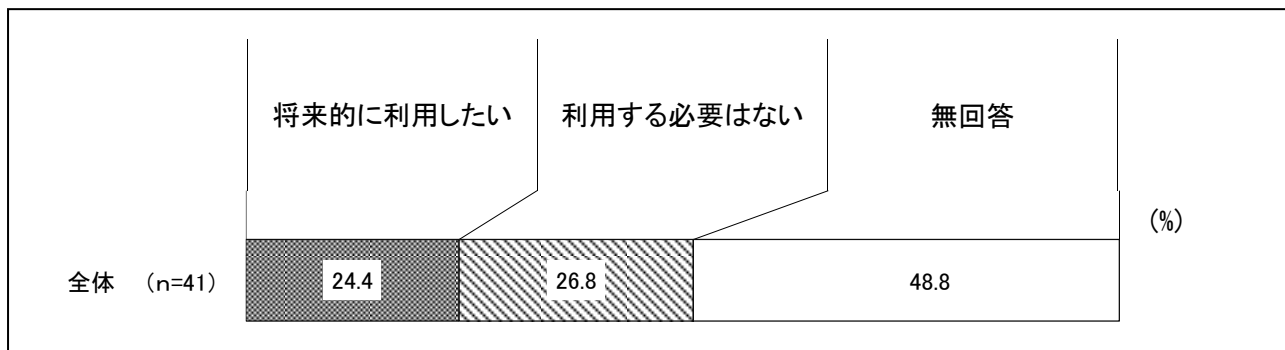
月曜日から金曜日までの希望利用時間帯は、低学年が授業を終える頃の「午後2時台」から増え始め、「午後7時台」には利用希望はなくなっている。



②土曜日の利用希望

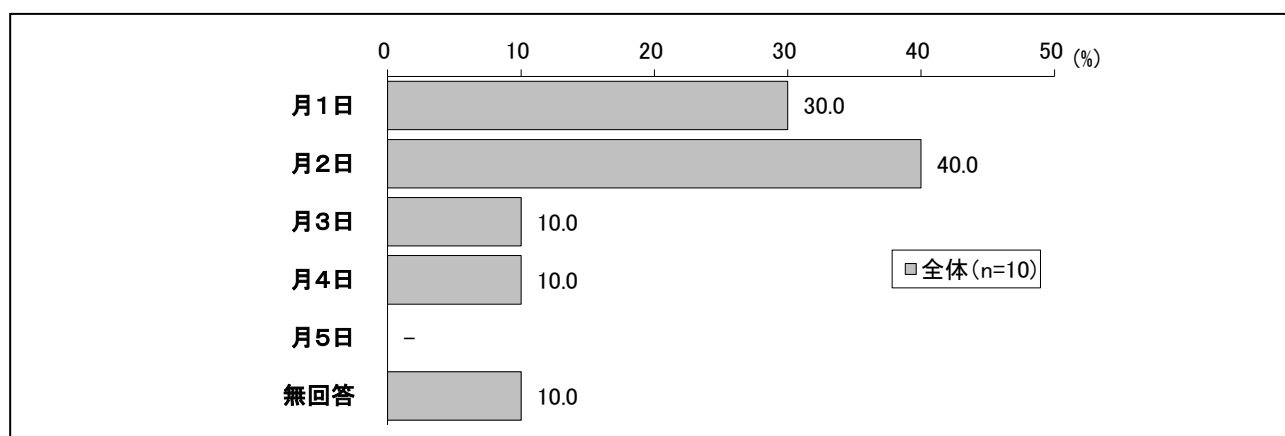
■利用希望

「ほうかごところ等」を実施している小学校に通う予定の人における土曜日の利用希望は、「将来的に利用したい」が24.4%となっている。



■利用希望日数

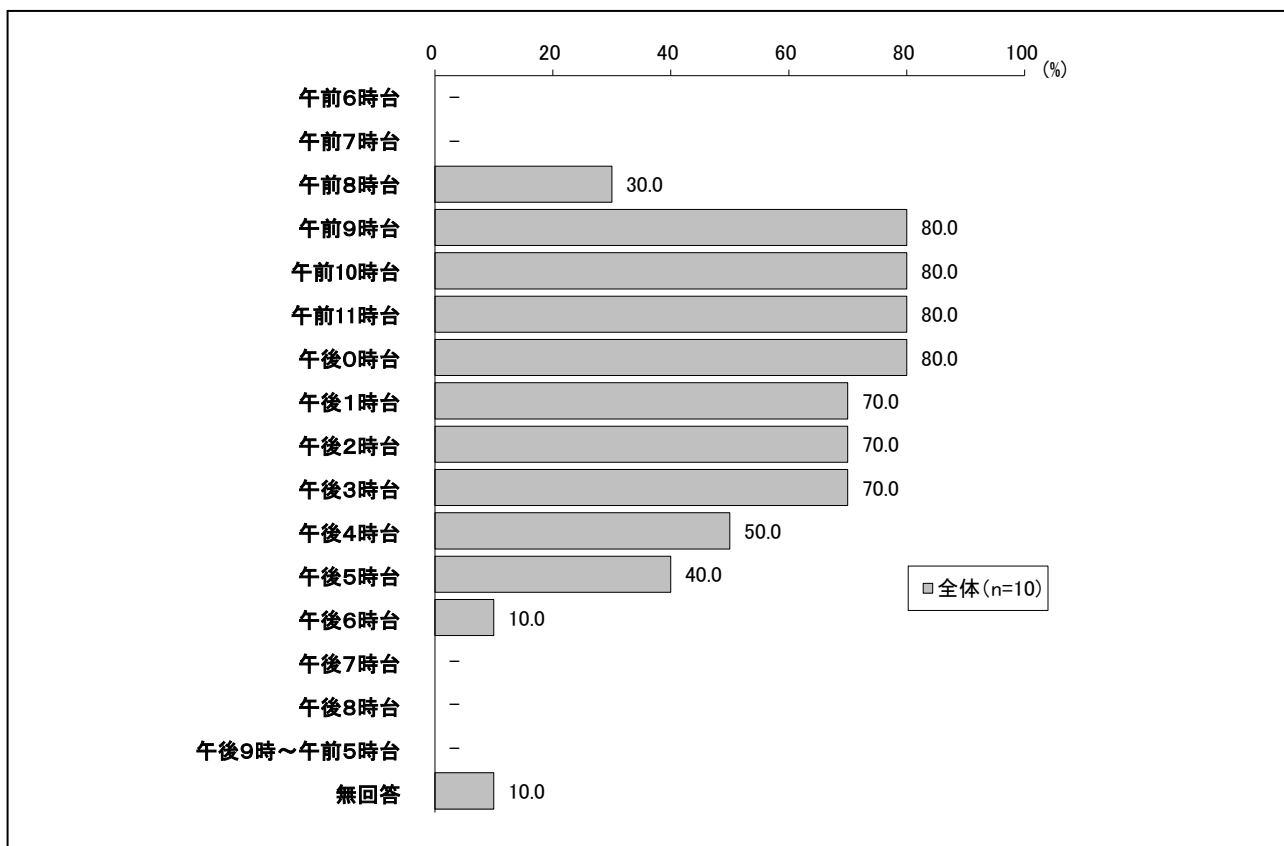
土曜日の利用希望日数は、「月2日」が40.0%で最も高く、月平均2.0日となっている。



第2章 調査結果

■希望利用時間帯

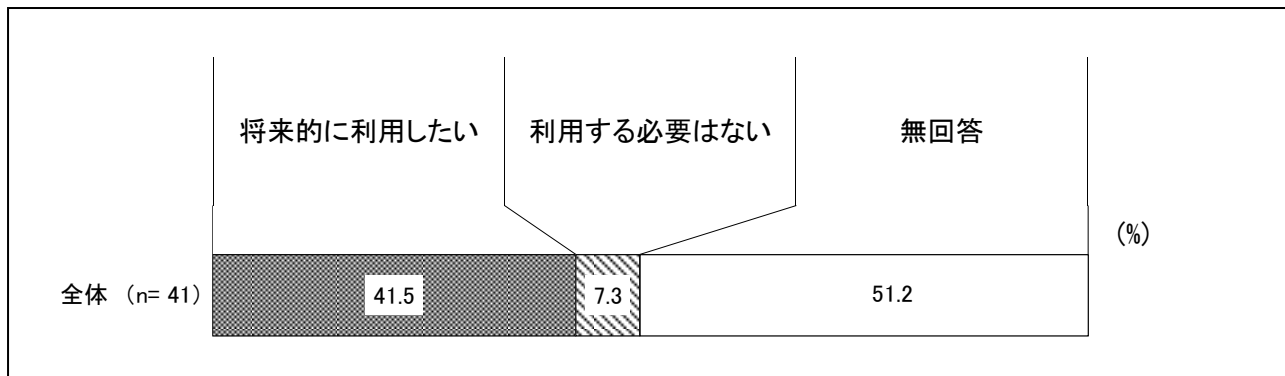
土曜日の希望利用時間帯は、「午前8時台」から始まり、「午後1時台」から段階的に減少していき、「午後7時台」には利用希望はなくなっている。



③長期休業日の利用希望

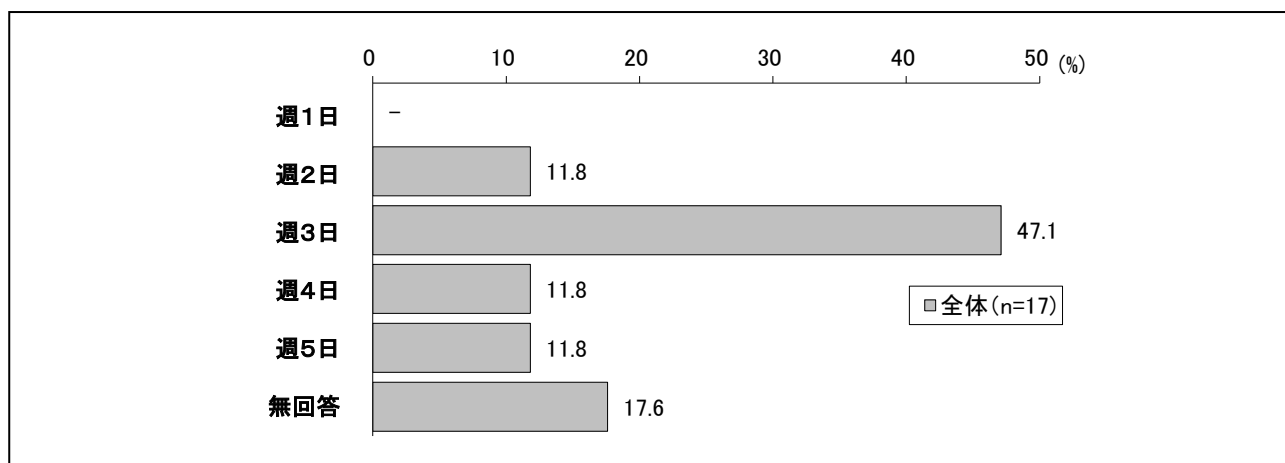
■利用希望

「ほうかごところ等」を実施している小学校に通う予定の人における長期休業日の利用希望は、「将来的に利用したい」が41.5%となっている。



■利用希望日数

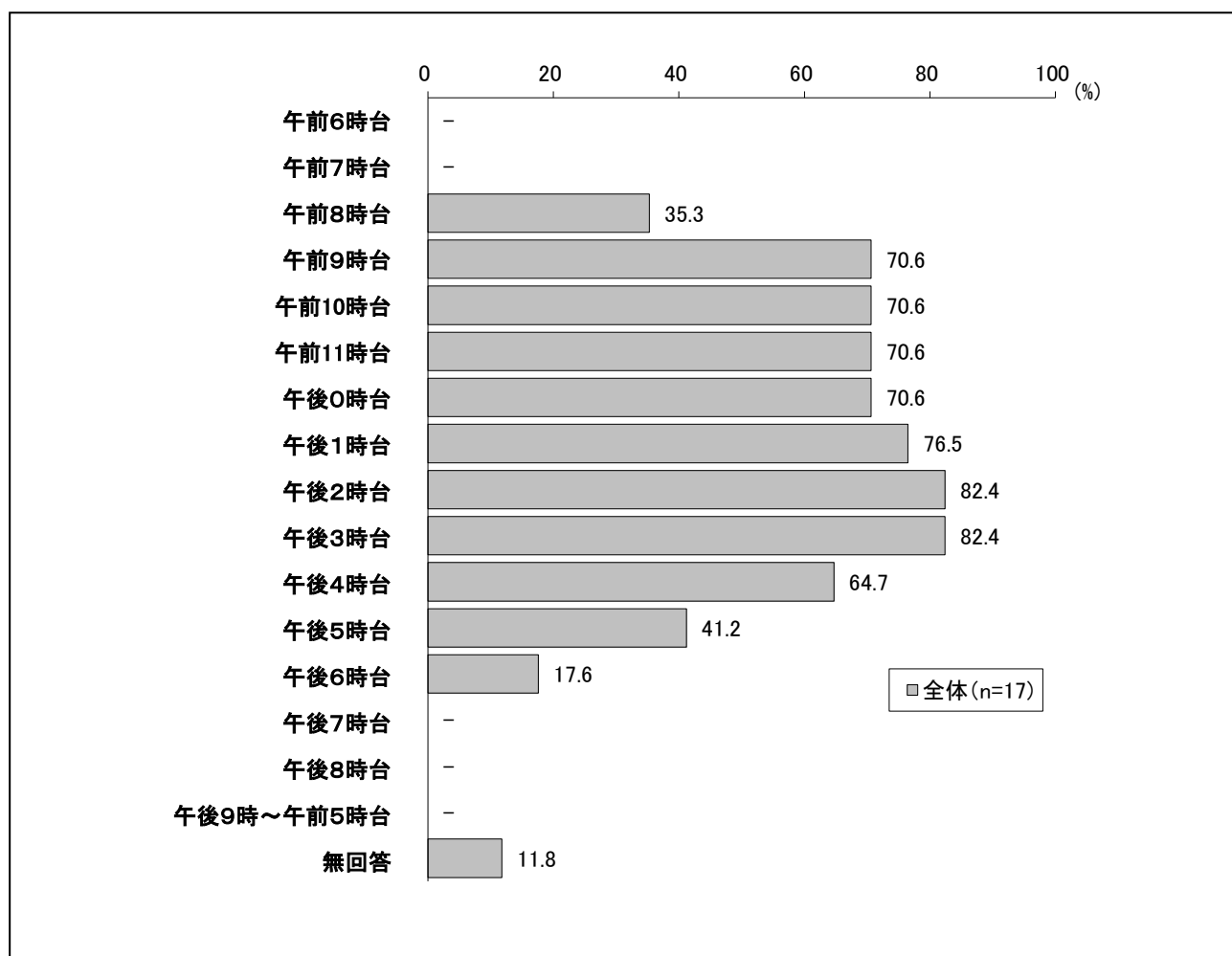
長期休業日の利用希望日数は、「週3日」が47.1%で最も高く、週平均3.3日となっている。



第2章 調査結果

■ 希望利用時間帯

長期休業日の希望利用時間帯は、「午前8時台」から始まり、「午後2時台」と「午後3時台」に82.4%と最も高くなり、「午後7時台」には利用希望はなくなっている。

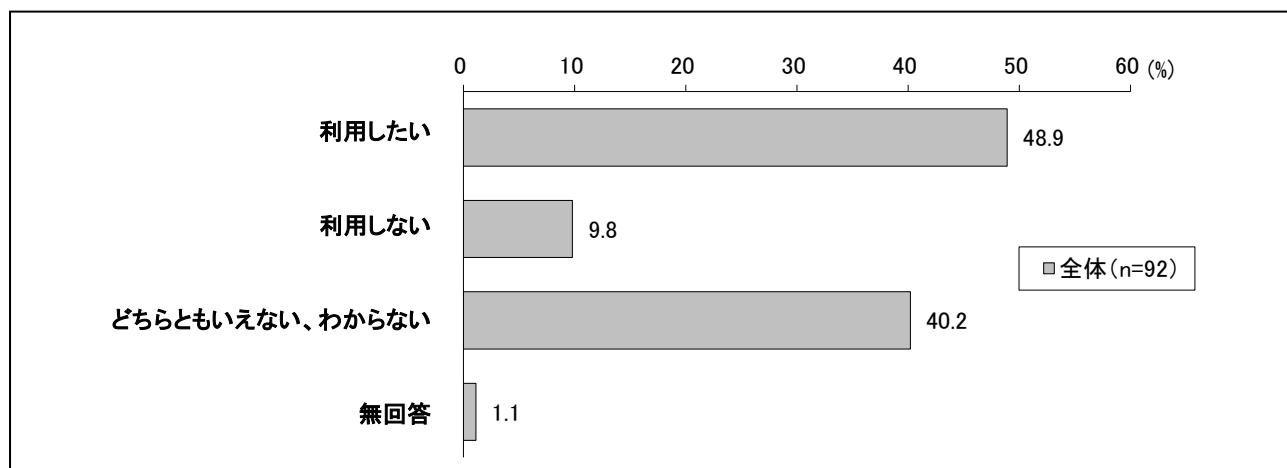


(7) 「ほうかごところ等」が実施された場合の利用希望の有無

問27で、「2. 実施していない」または「3. 実施しているかわからない」と答えた方にうかがいます。

問27-2 今後「ほうかごところ等」が実施された場合、利用したいと思いますか。(○は1つ)

子どもが通う予定の小学校で「ほうかごところ等」が実施された場合の利用希望は、「利用したい」が48.9%、「どちらともいえない、わからない」が40.2%、「利用しない」が9.8%となっている。



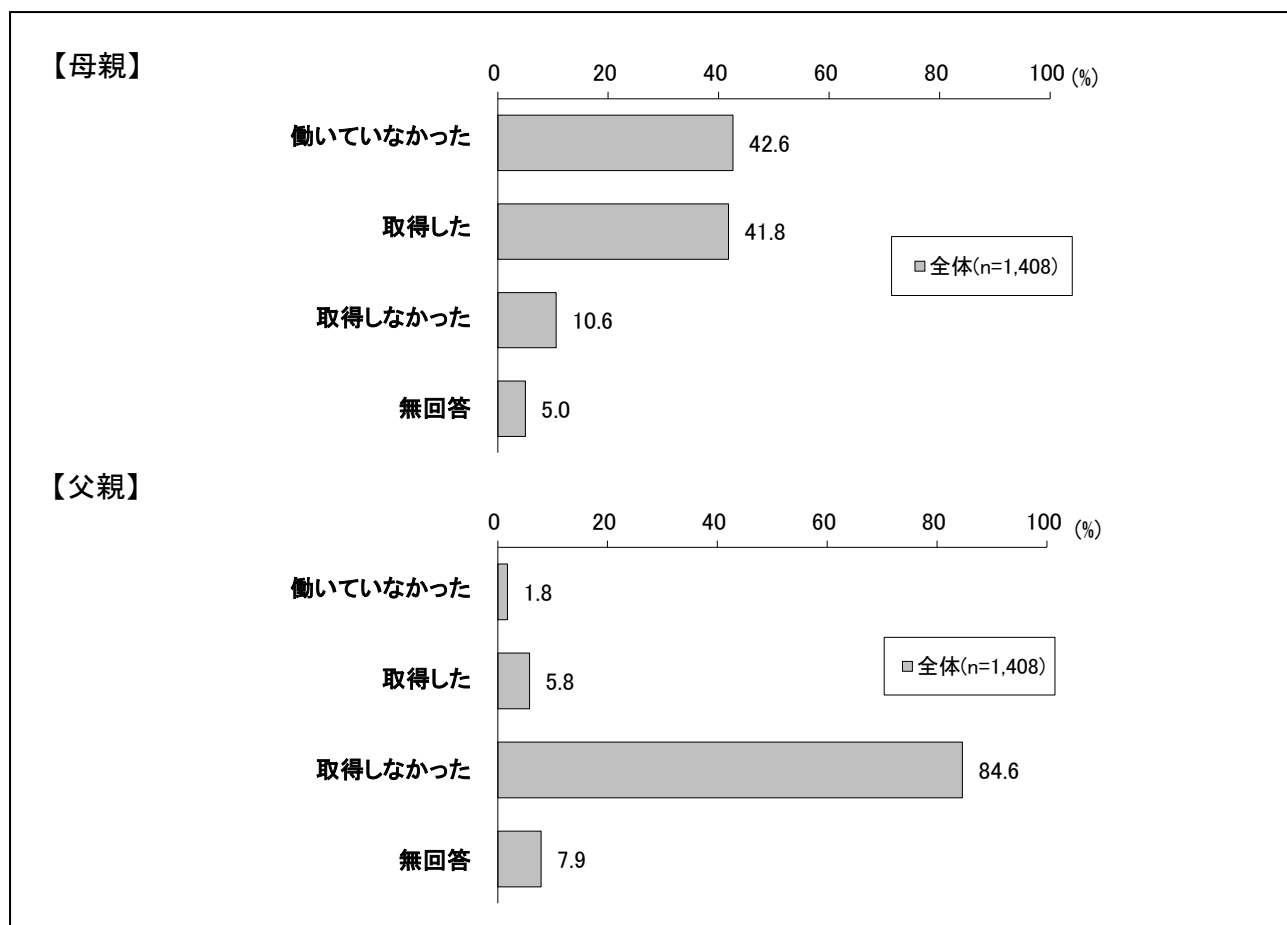
9. 子育てと職場の両立支援制度

(1) 育児休業の取得状況

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父母共に該当する番号をそれぞれ1つずつご記入ください。また、取得しなかった方はその理由を下表から選んで当てはまる番号すべてに○をつけてください。

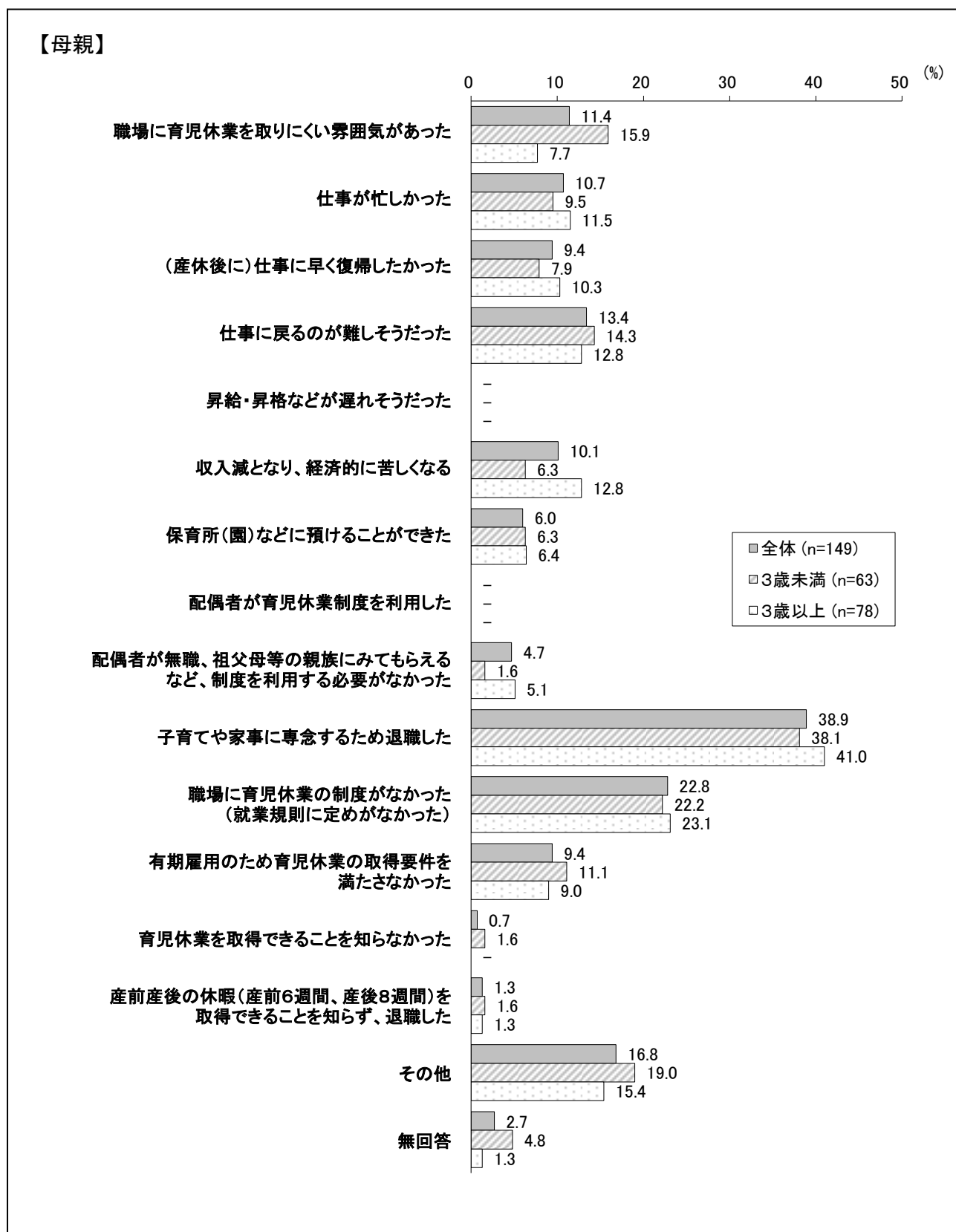
①育児休業の取得状況

育児休業の取得状況について、母親は「働いていなかった」が42.6%、「取得した」が41.8%、「取得しなかった」が10.6%となっている。一方、父親は「取得しなかった」が84.6%、「取得した」が5.8%、「働いていなかった」が1.8%となっている。



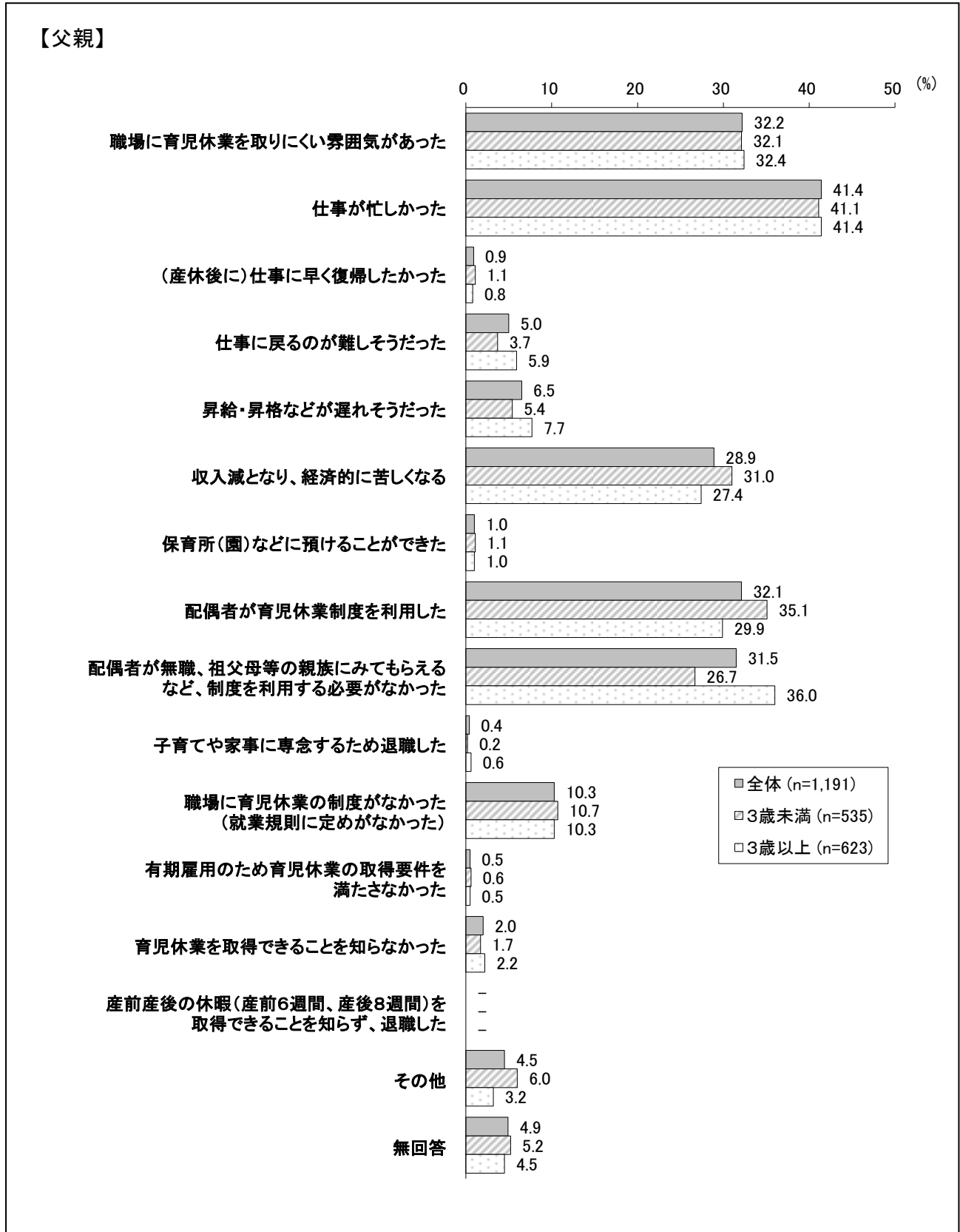
②取得しなかった理由

母親が育児休業を取得しなかった理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が38.9%で最も高く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が22.8%となっている。



第2章 調査結果

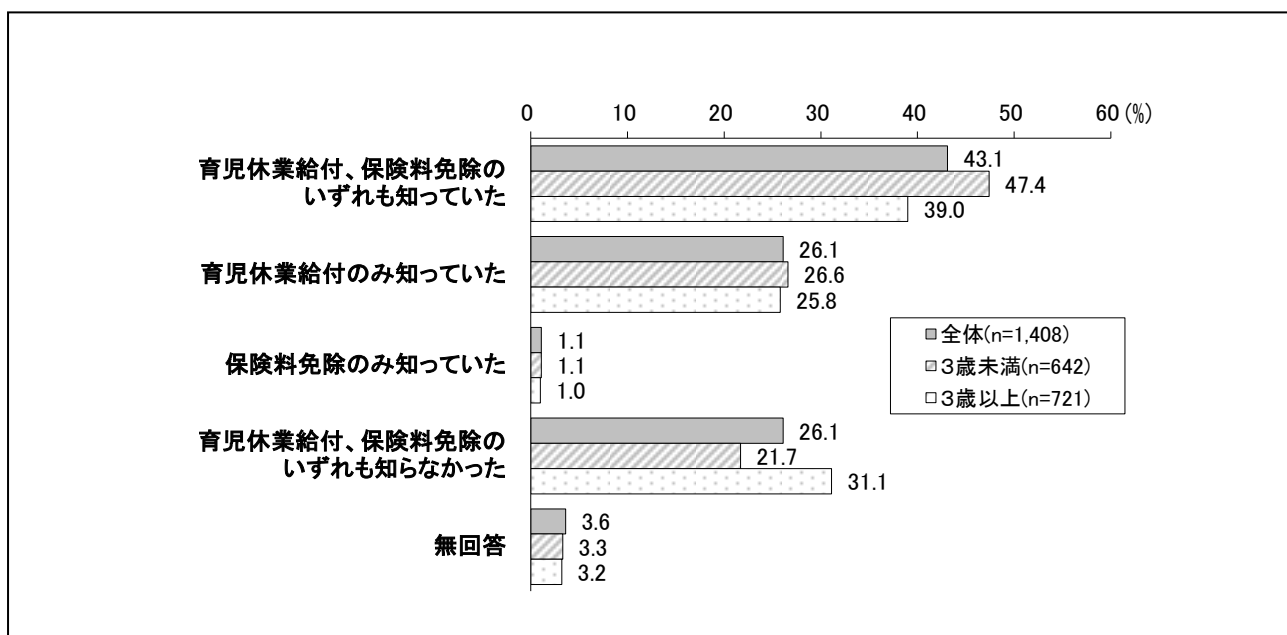
父親が育児休業を取得しなかった理由は、「仕事が忙しかった」が41.4%で最も高く、以下、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が32.2%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が32.1%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が31.5%の順となっている。



(2) 育児休業給付、保険料免除の認知度

問28-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み（育児休業給付）や、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み（保険料免除）があります。そのような仕組みをご存じでしたか。（○は1つ）

育児休業給付や保険料が免除になる制度の認知度は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が43.1%で最も高く、次いで「育児休業給付のみ知っていた」「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が各26.1%となっている。



第2章 調査結果

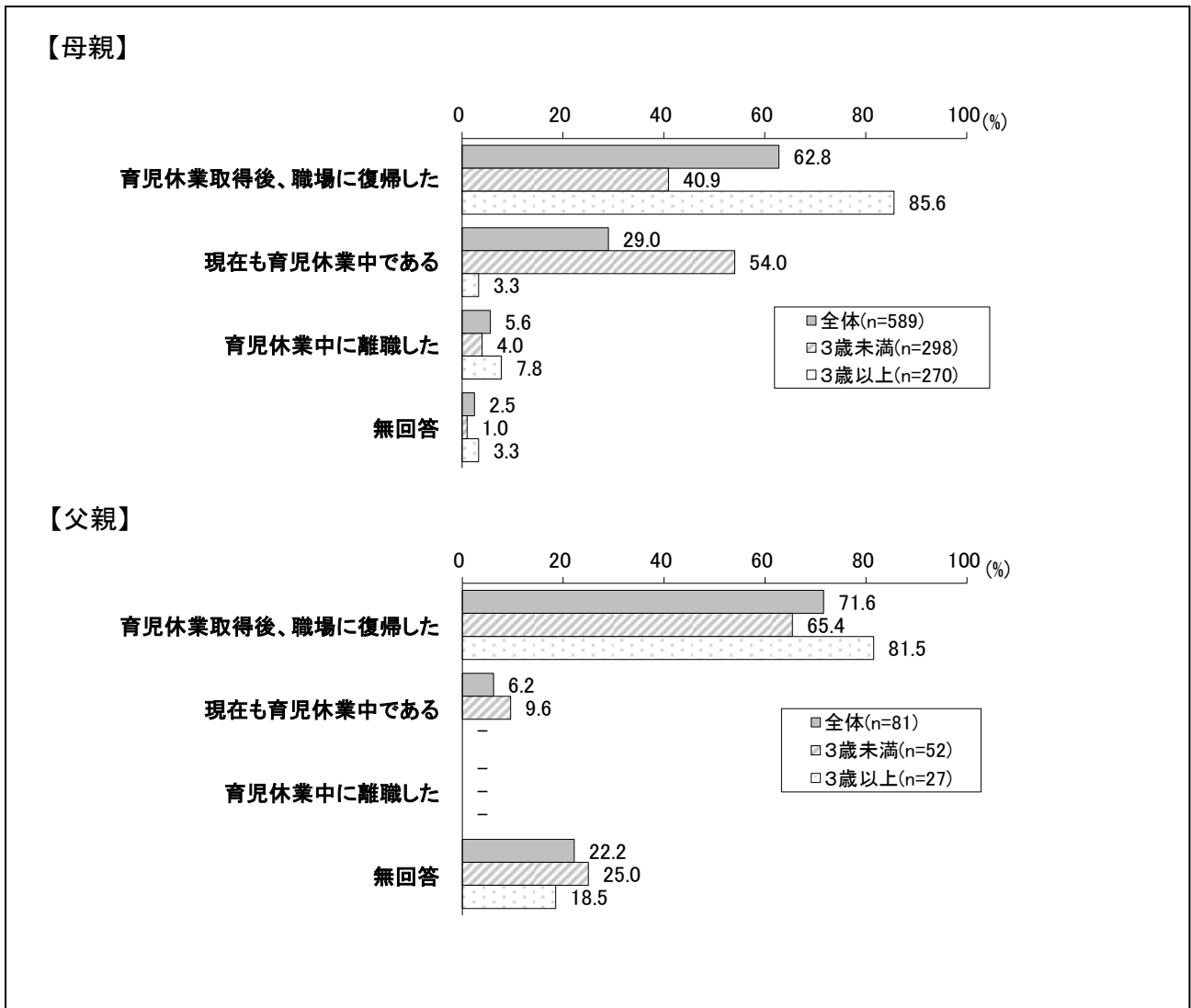
(3) 育児休業取得後の職場復帰

問28で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。

問28-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号を1つ選んで回答欄にご記入ください。

母親の育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が62.8%、「現在も育児休業中である」が29.0%、「育児休業中に離職した」が5.6%となっている。

父親の育児休業取得後の職場復帰は、「育児休業取得後、職場に復帰した」が71.6%、「現在も育児休業中」が6.2%となっている。



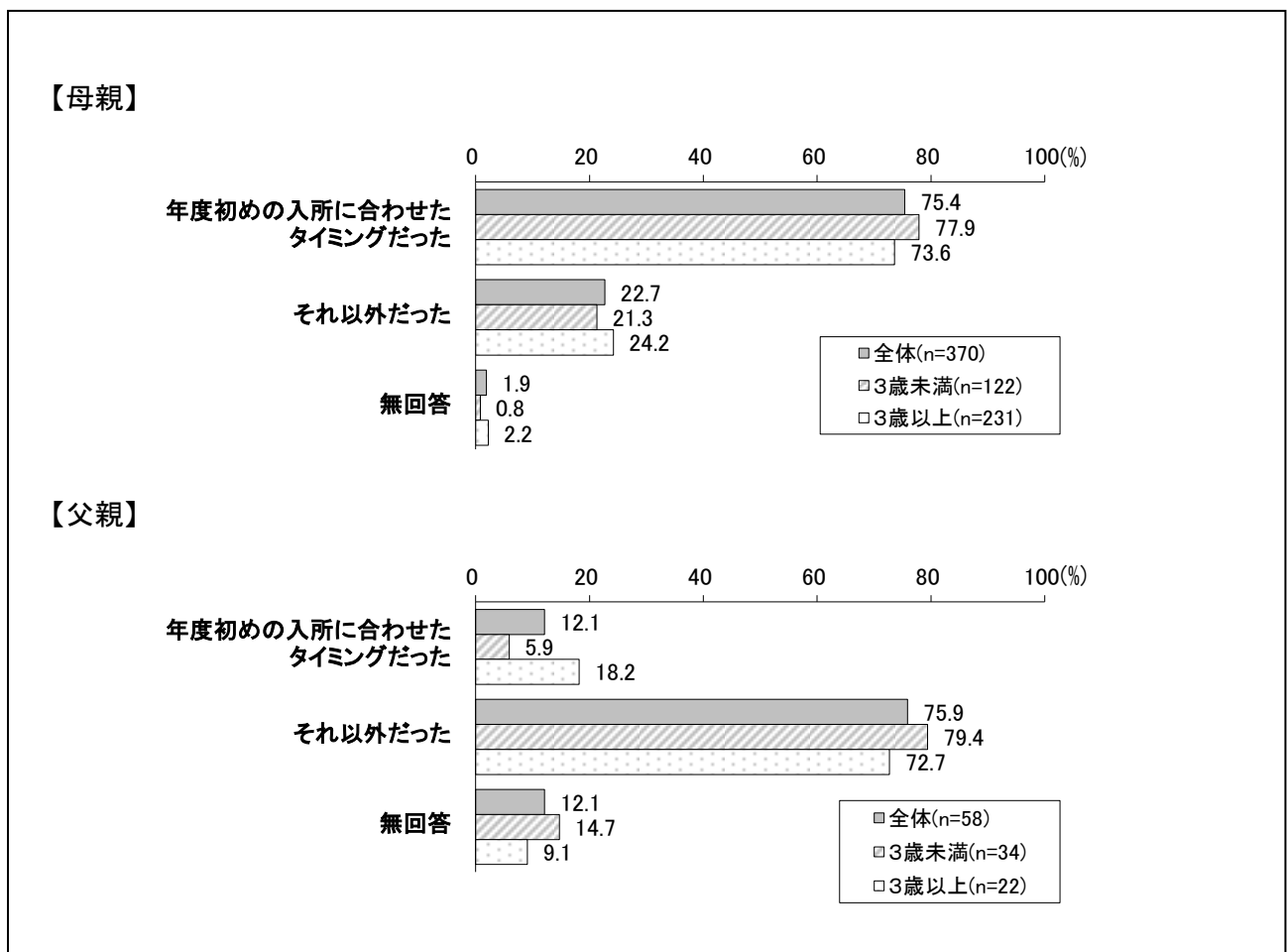
(4) 職場復帰と保育所入所のタイミング

問28-2で、「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問28-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。またはそれ以外でしたか。父母ともに、回答欄に該当する番号を1つご記入ください。

母親の職場復帰と保育所入所のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が75.4%、「それ以外だった」が22.7%となっている。

父親の職場復帰と保育所入所のタイミングは、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が12.1%、「それ以外だった」が75.9%となっている。



第2章 調査結果

(5) 育児休業からの復帰時期

問28-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

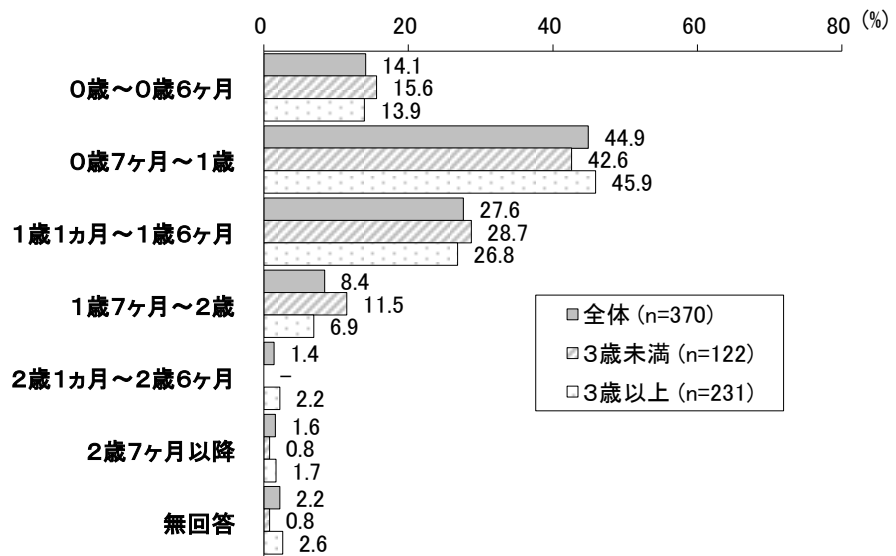
母親・父親それぞれについて、枠内に数字でご記入ください。

① 実際の復帰時期

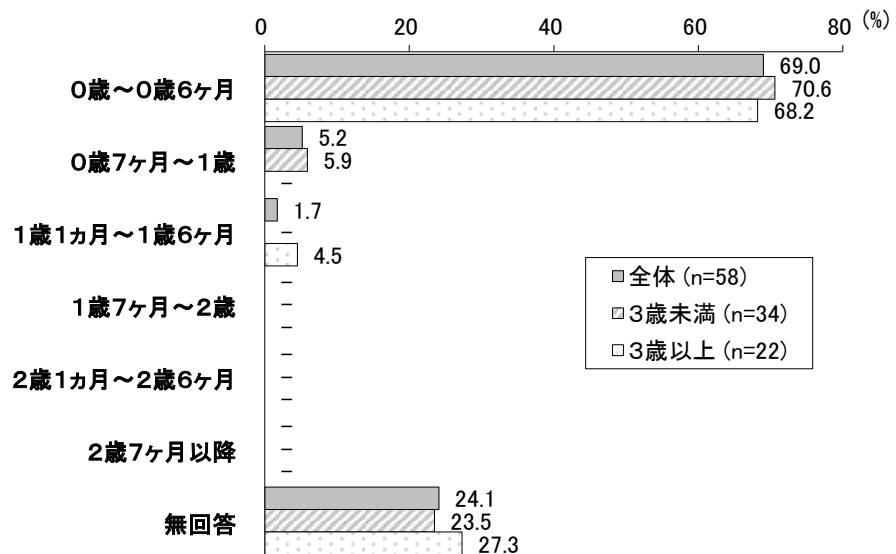
母親の育児休業からの実際の復帰時期は、「0歳7ヶ月～1歳」が44.9%で最も高く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が27.6%となっている。

父親の育児休業からの実際の復帰時期は、「0歳～0歳6ヶ月」が69.0%で最も高く、次いで「0歳7ヶ月～1歳」が5.2%となっている。

【母親】



【父親】

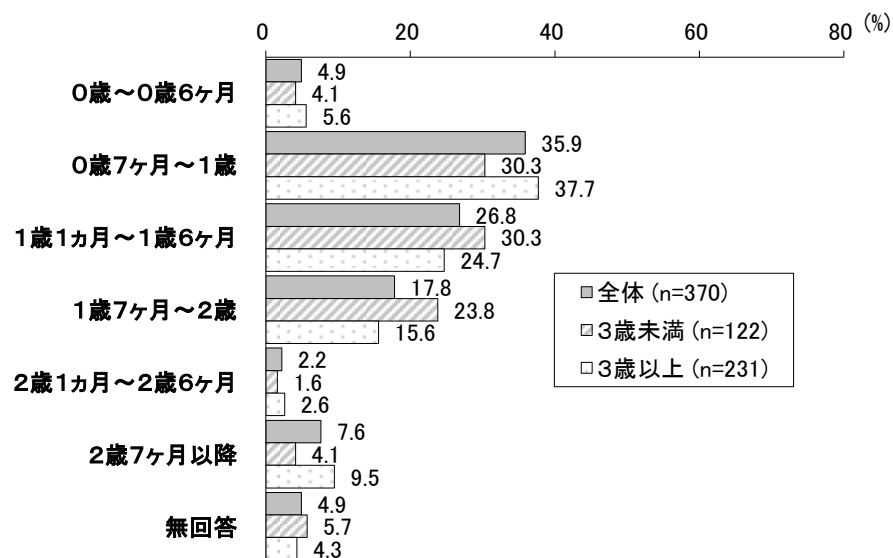


②希望の復帰時期

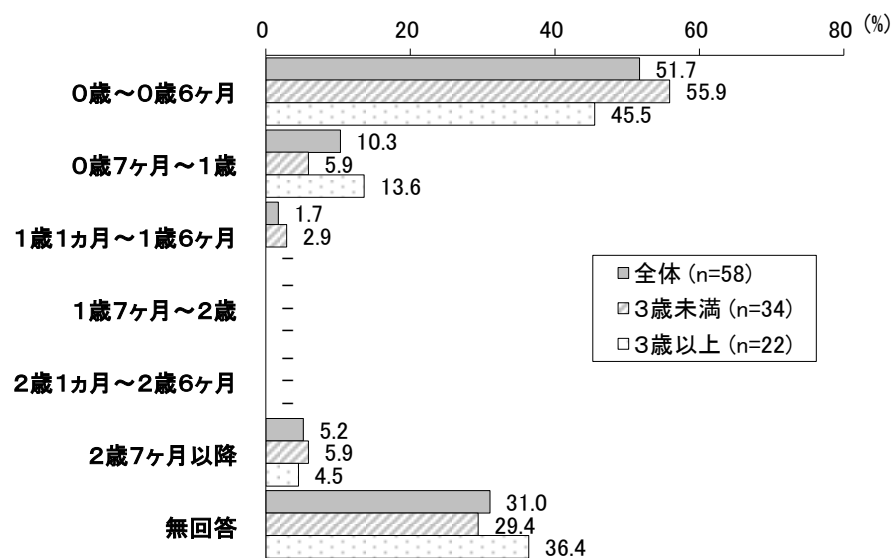
母親が希望する育児休業からの復帰時期は、「0歳7ヶ月～1歳」が35.9%で最も高く、次いで「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が26.8%、「1歳7ヶ月～2歳」が17.8%となっている。

父親が希望する育児休業からの復帰時期は、「0歳～0歳6ヶ月」が51.7%で最も高くなっている。

【母親】



【父親】



第2章 調査結果

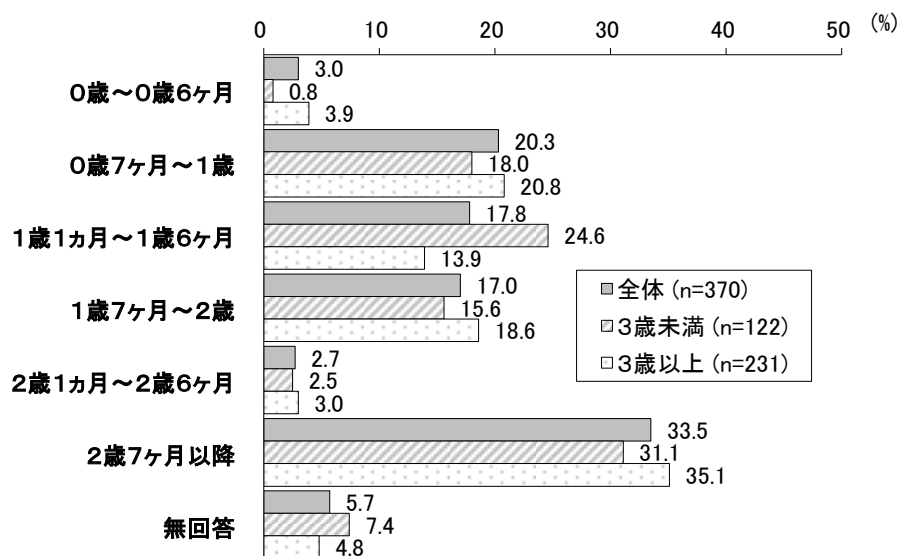
(6) 3歳まで育児休業を取得できる制度があった場合の希望

問28-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内に数字でご記入ください。

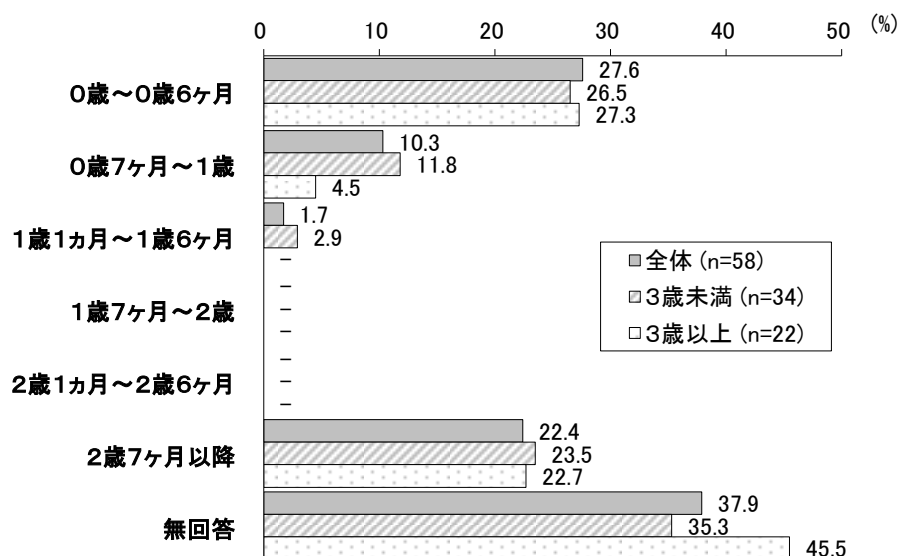
育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の希望する育児休業の取得期間について、母親は、子どもの年齢が「2歳7ヶ月以降」が33.5%で最も高く、次いで「0歳7ヶ月～1歳」が20.3%、「1歳1ヶ月～1歳6ヶ月」が17.8%、「1歳7ヶ月～2歳」が17.0%となっている。

父親は、「0歳～0歳6ヶ月」が27.6%で最も高くなっている。

【母親】



【父親】



(7) 希望時期に職場復帰しなかった理由

問28-4で、実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

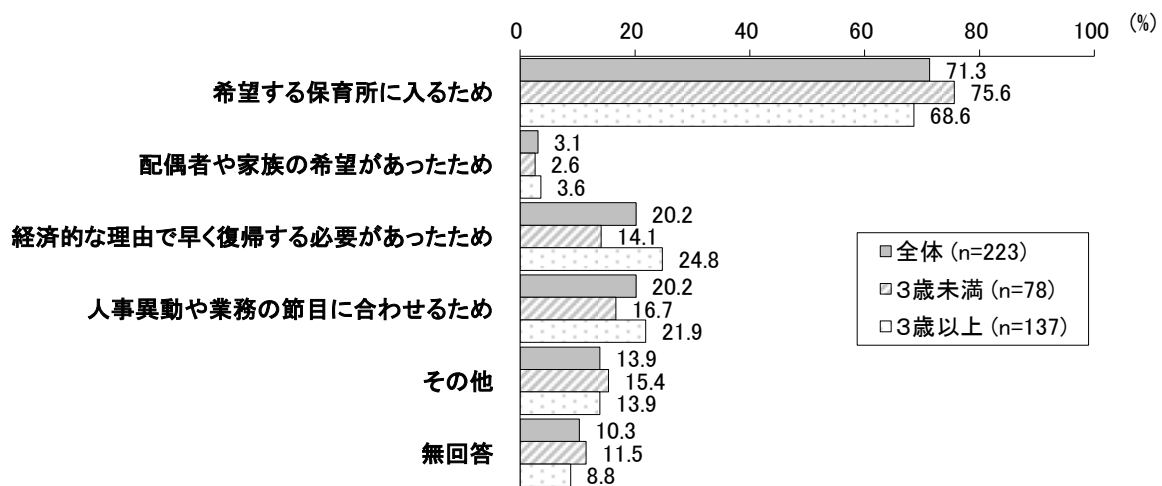
問28-6(1) 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

①希望より早く復帰した理由

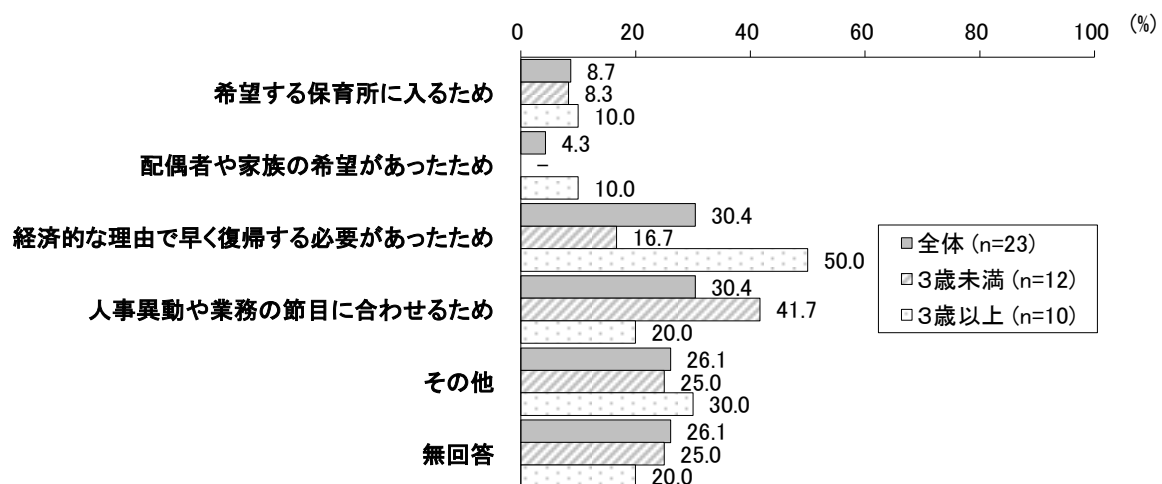
希望より早く復帰した母親の理由は、「希望する保育所に入るため」が71.3%と特に高くなっている。母親のその他の理由として、職場の育休の範囲内（1年、1年半など）で復帰したため、年度初めしか保育所に入りにくいと思ったため、職場の都合・意向（復帰を求められた、代理の人員がいなかった）などの回答があった。

希望より早く復帰した父親の理由は、「経済的な理由で早く復帰する必要があったため」「人事異動や業務の節目に合わせるため」が各30.4%と高くなっている。父親のその他の理由として、職場の都合・意向（業務都合、長く休めない）、母親に任せているなどの回答があった。

【母親】



【父親】



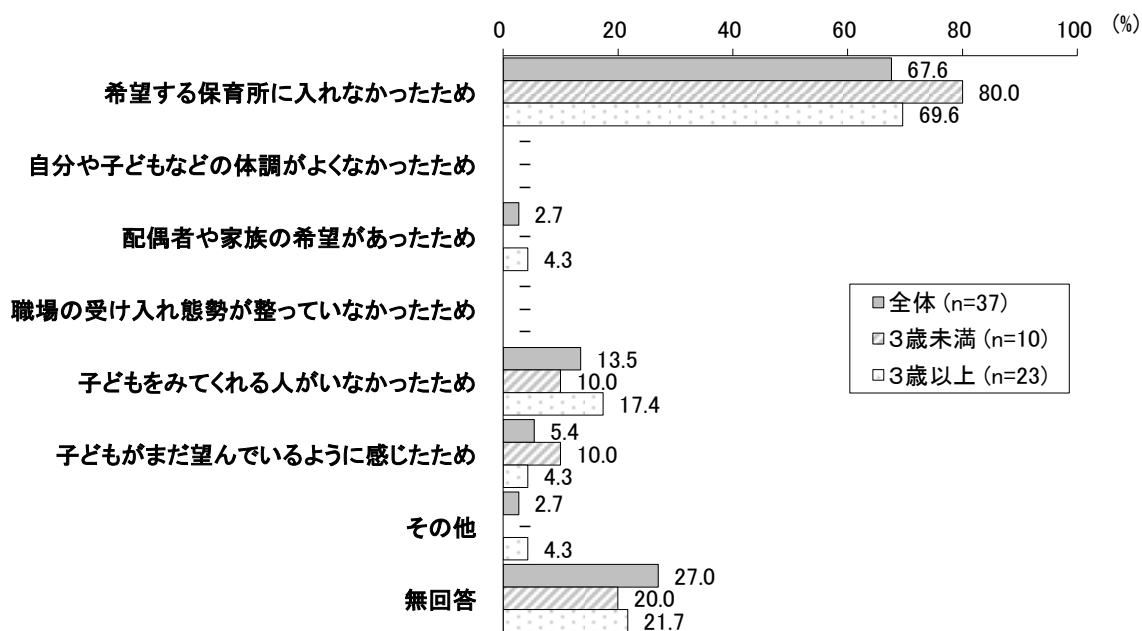
第2章 調査結果

②希望より遅く復帰した理由

希望より遅く復帰した母親の理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が67.6%と特に高い。母親のその他の理由として、年度初めの入所まで待った、体調不良などの回答があった。

希望より遅く復帰した父親の理由は、「希望する保育所に入れなかったため」が1件あった。

【母親】



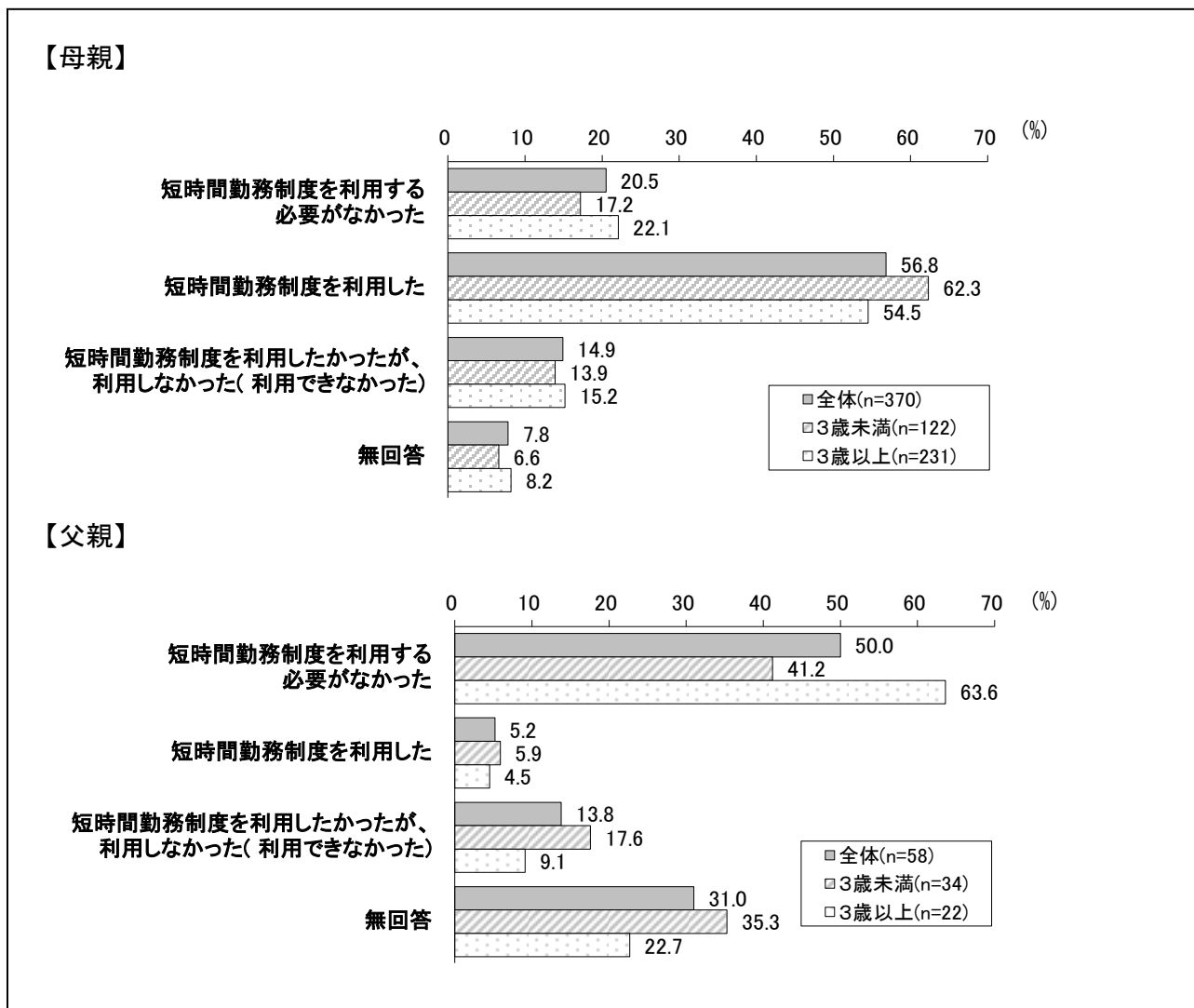
【父親】

父親は回答者が1人のため、グラフを掲載していない。

(8) 短時間勤務制度の利用状況

問28-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つを回答欄にご記入ください。

育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用について、母親は「短時間勤務制度を利用した」が56.8%となっている。一方、父親は「短時間勤務制度を利用した」が5.2%と少なくなっている。



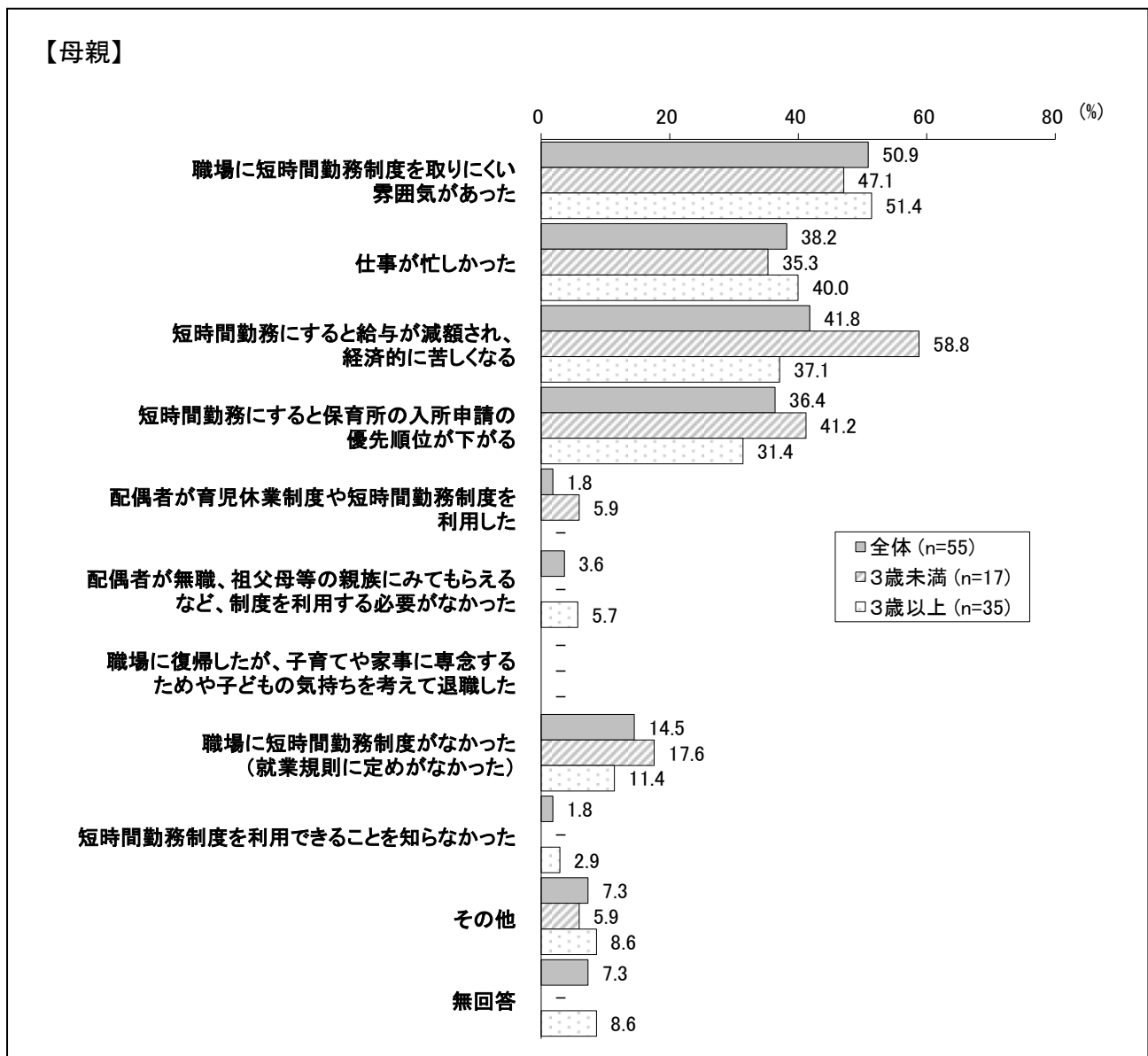
第2章 調査結果

(9) 短時間勤務制度を利用しなかった理由

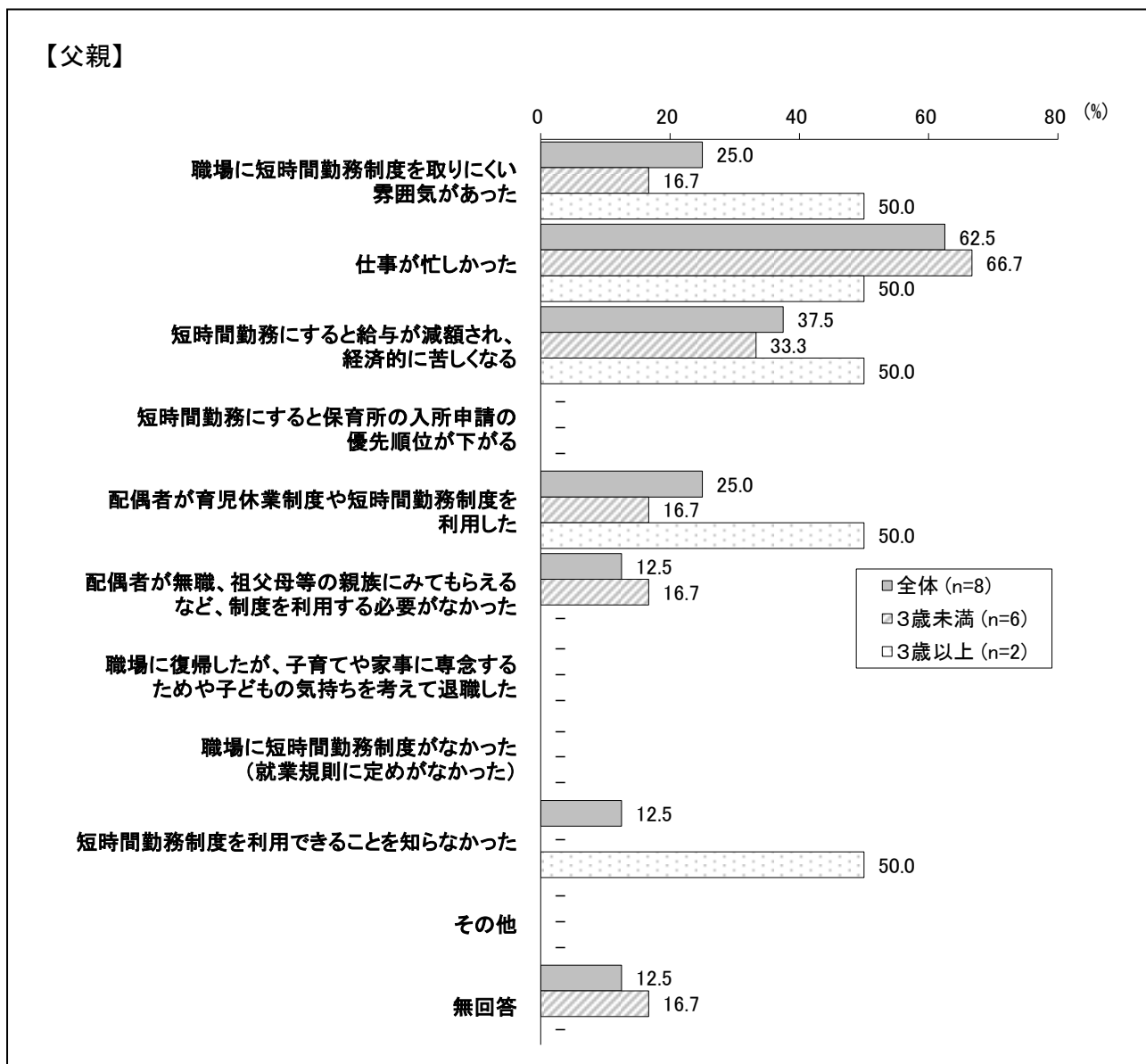
問28-7で、「3.短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問28-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(回答欄の当てはまる番号すべてに○)

育児休業からの職場復帰時に「短時間勤務制度を利用しなかった」理由について、母親は「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が50.9%で最も高く、これに「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が41.8%、「仕事が忙しかった」が38.2%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が36.4%と4割前後で続いている。



父親は、「仕事が忙しかった」が62.5%と最も高くなっている。



第2章 調査結果

(10) 現在、育児休業中の場合の1歳までの職場復帰意向

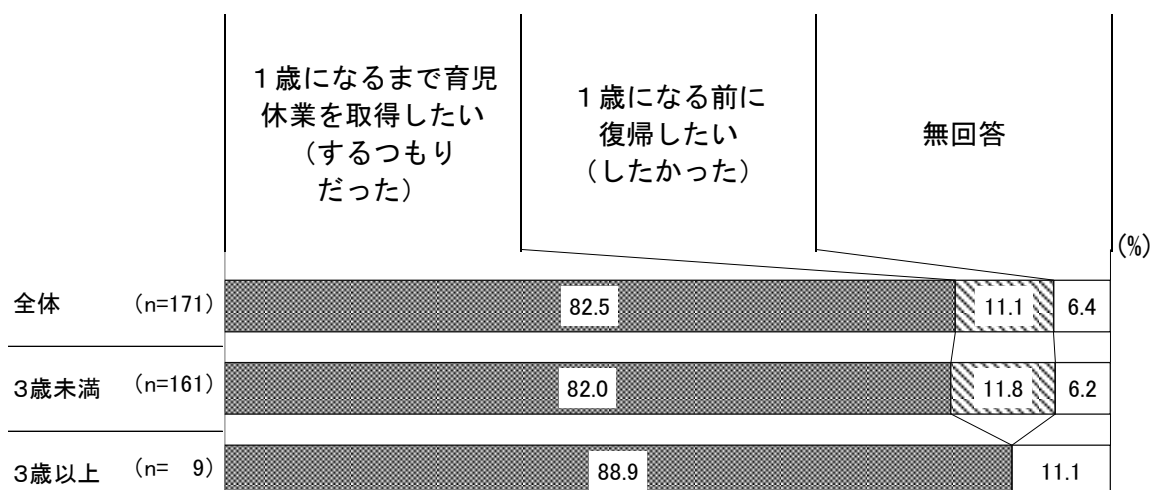
問28-2で、「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にかがいます。

問28-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つを回答欄にご記入ください。なお、お子さんがすでに1歳を超えている場合、1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、復帰していましたか。

現在も育児休業中である場合で、1歳から必ず利用できる事業があった際の育児休業の取得意向について、母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい(するつもりだった)」が82.5%、「1歳になる前に復帰したい(したかった)」が11.1%となっている。

父親は、5人中3人が「1歳になるまで育児休業を取得したい(するつもりだった)」と回答し、2人が「1歳になる前に復帰したい(したかった)」と回答している。

【母親】



【父親】

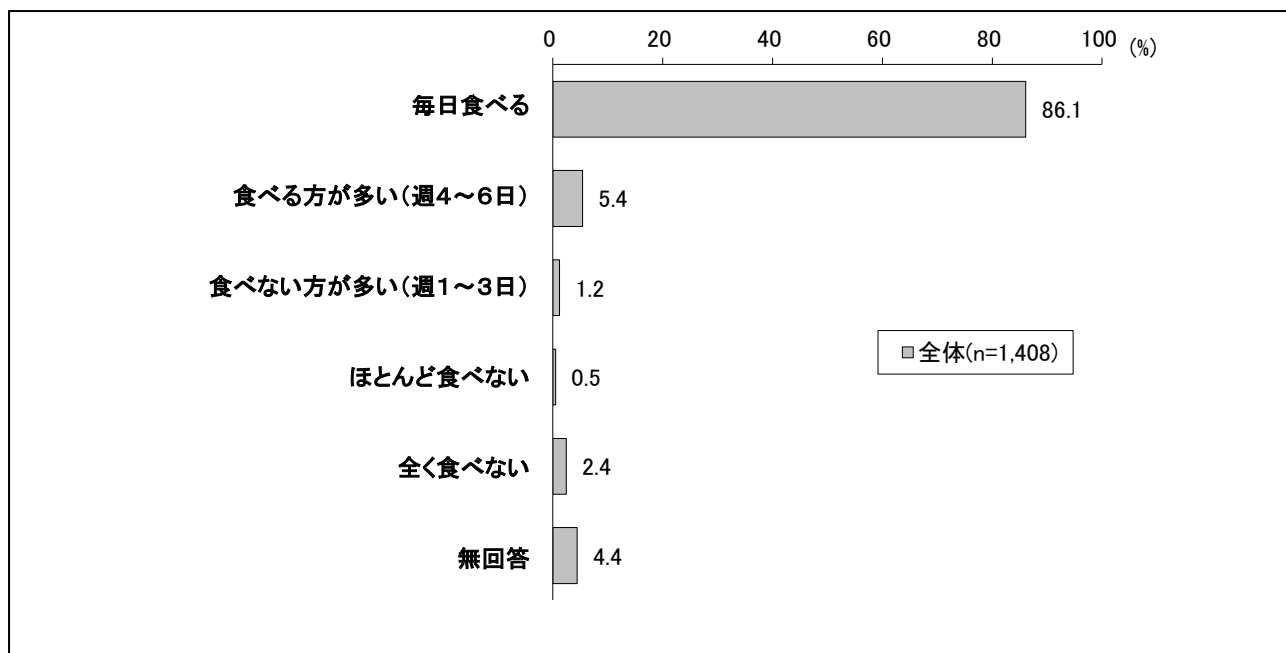
父親は回答者が5人のため、グラフを掲載していない。

10. 生活や家庭のことについて

(1) 朝食の摂取状況

問29 宛名のお子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1ヶ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

子どもの朝食の摂取状況は、「毎日食べる」が86.1%を占めている。

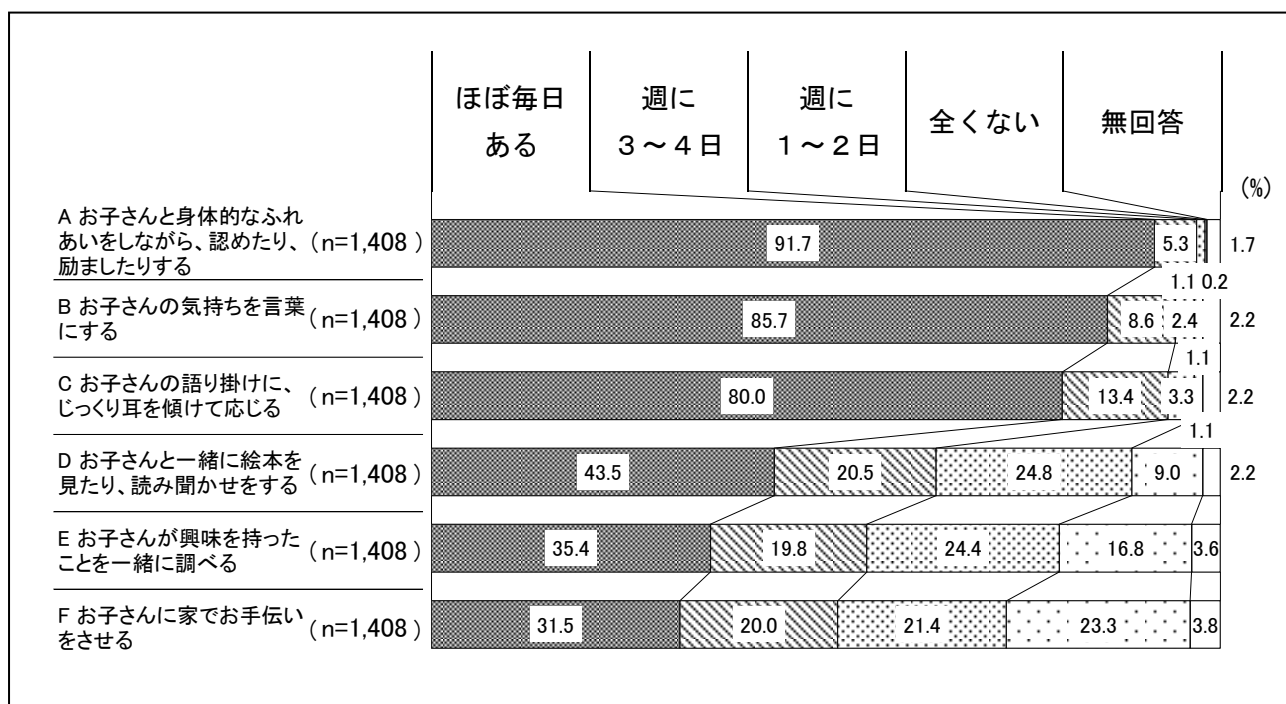


第2章 調査結果

(2) 子どもとのかかわりの状況

問30 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。(A~Fそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

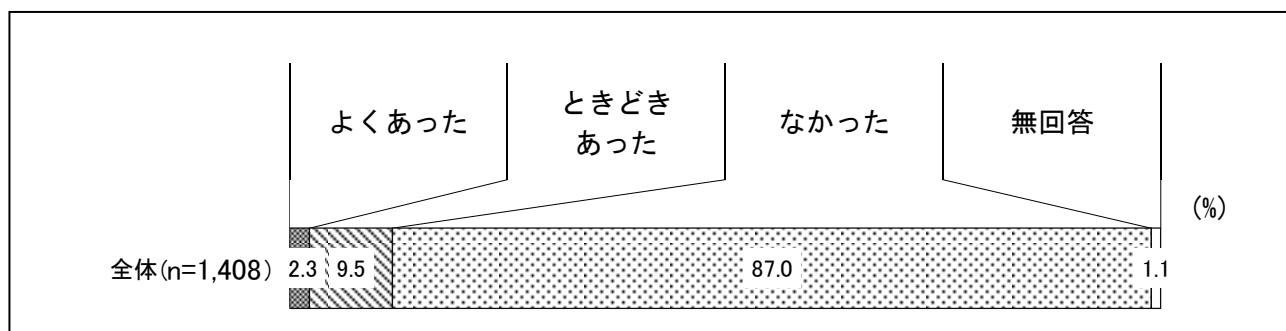
子どもとのかかわりの状況について、「ほぼ毎日ある」項目は、「お子さんと身体的なふれあいをしながら、認めたり、励ましたりする」が91.7%、「お子さんの気持ちを言葉にする」が85.7%、「お子さんの語り掛けに、じっくり耳を傾けて応じる」が80.0%と8~9割で上位となり、以下、「お子さんと一緒に絵本を見たり、読み聞かせをする」が43.5%、「お子さんが興味を持ったことを一緒に調べる」が35.4%、「お子さんに家でお手伝いをさせる」が31.5%の順となっている。



(3) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無

問31 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

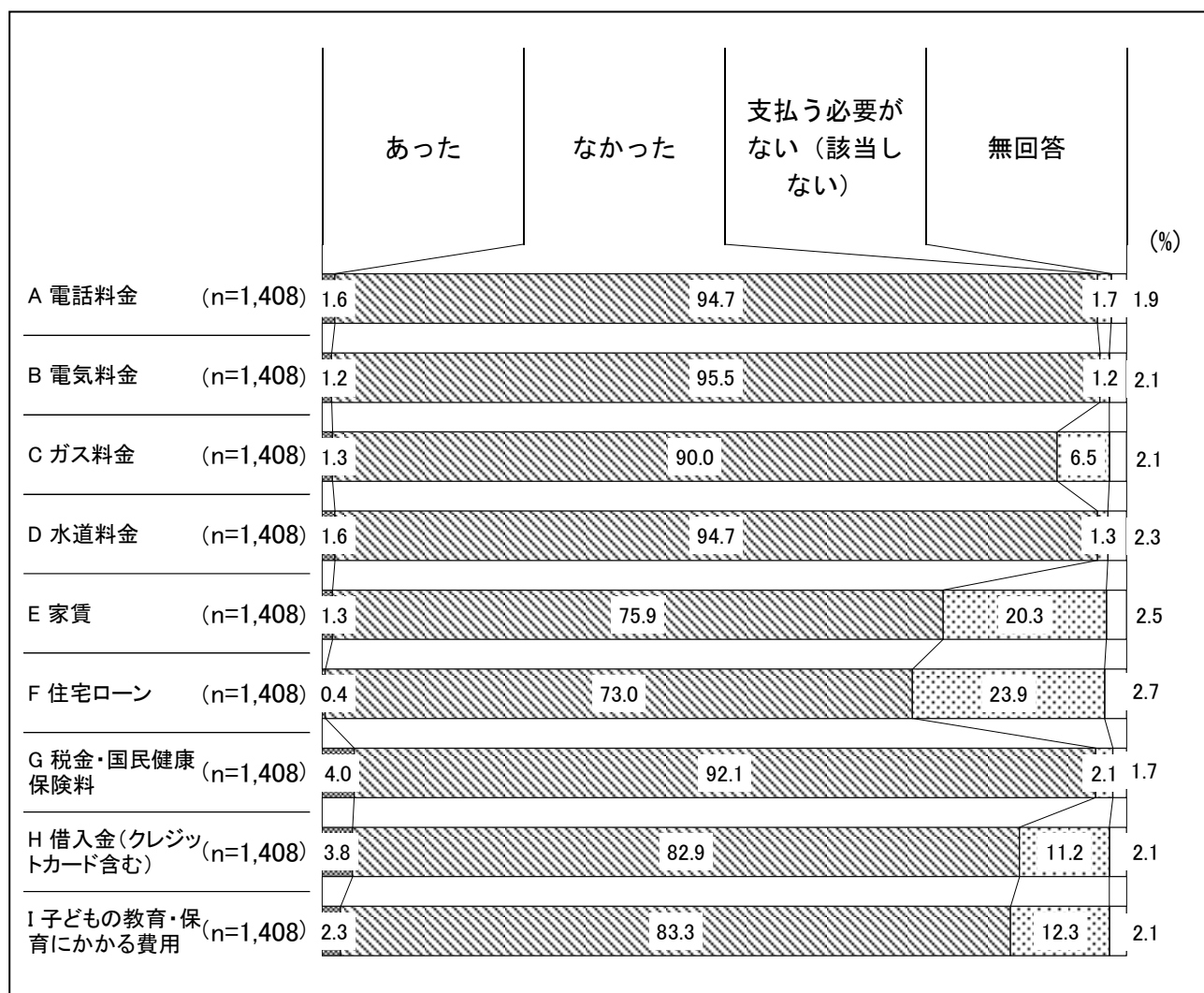
過去1年間に経済的な理由で食料・衣類を買えないことが「あった」家庭は、「よくあった」2.3%と「ときどきあった」9.5%の合計で11.8%となっている。



(4) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無

問32 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、経済的な理由のために以下のA～Iの費用を支払えないことがありましたか。(A～それぞれについて、あてはまる番号1つに○)

過去1年間に経済的な理由で支払えないことがあった公共料金等としては、「税金・国民健康保険料」が4.0%で最も高く、以下、「借入金(クレジットカード含む)」が3.8%、「子どもの教育・保育にかかる費用」が2.3%の順となっている。

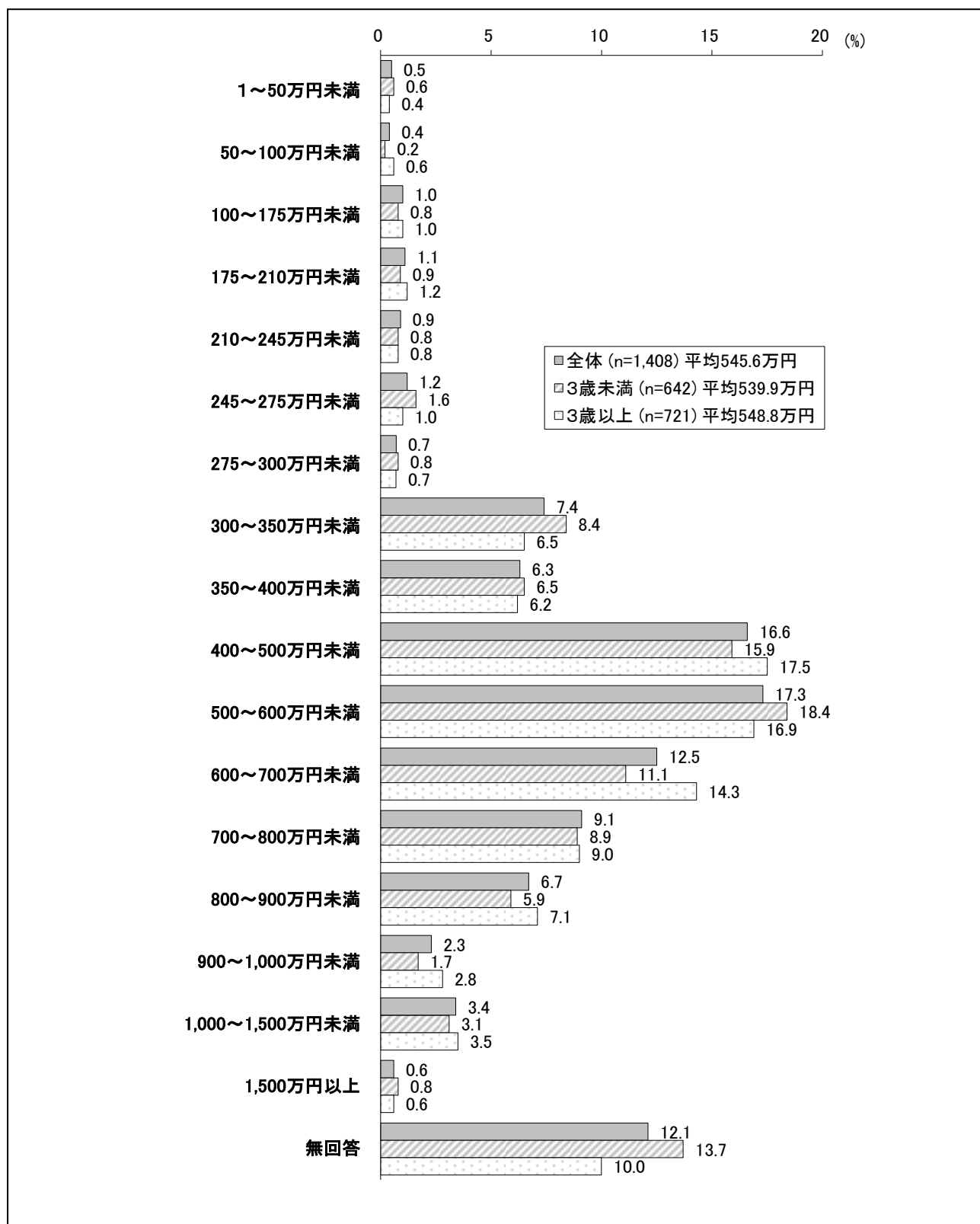


第2章 調査結果

(5) 平成29(2017)年の可処分所得金額

問33 宛名のお子さんの世帯の、平成29(2017)年の可処分所得(いわゆる手取り年収)はおおよそいくらくらいでしたか。

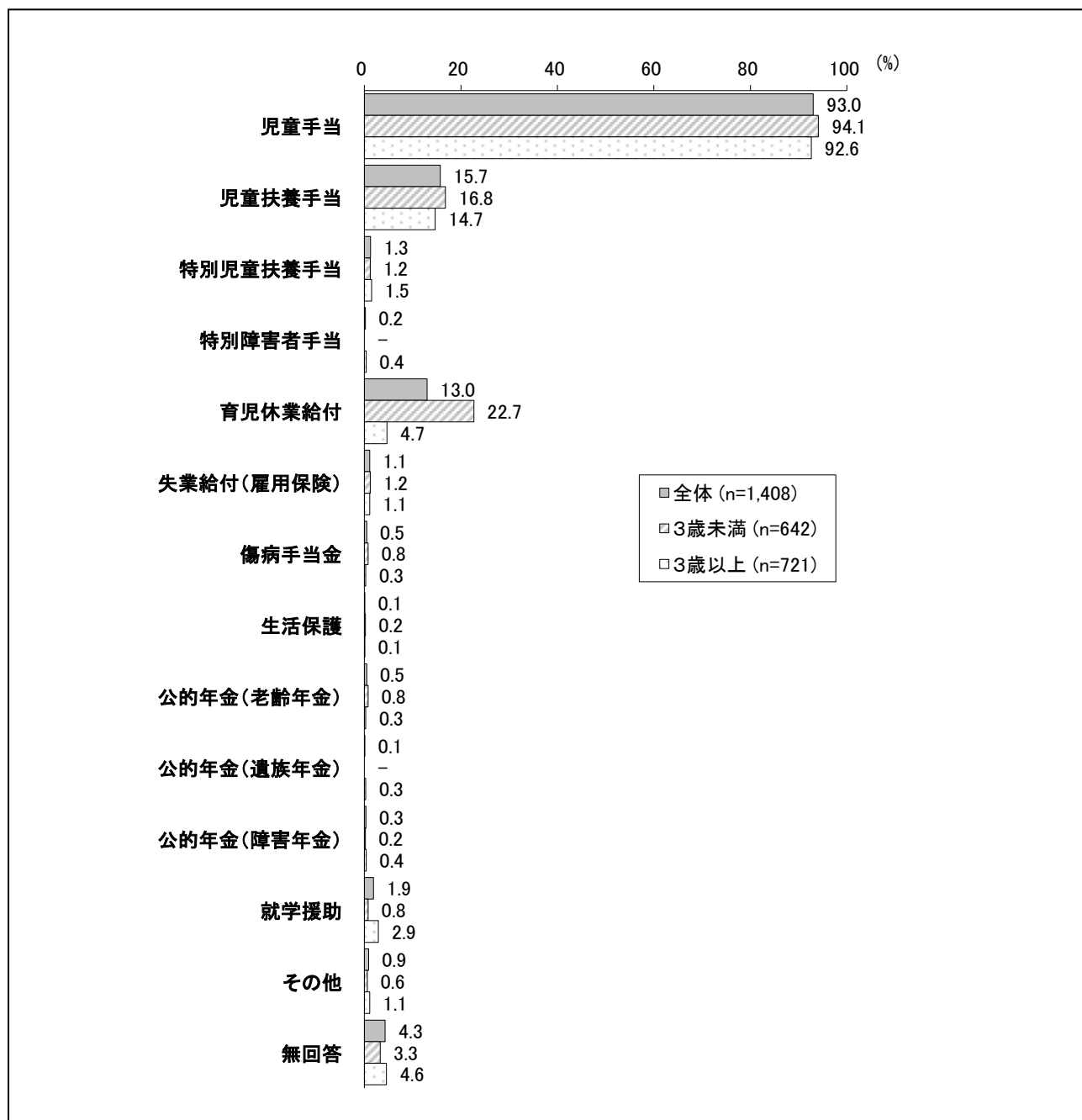
平成29(2017)年の可処分所得は、「500～600万円」が17.3%、「400～500万円未満」が16.6%、「600～700万円未満」が12.5%と比較的高く、平均546万円となっている。



(6) 公的年金、社会保障給付金の受給状況

問34 あなたのご家庭で受けている公的年金、社会手当などの社会保障給付金はありますか。(あてはまるものすべてに○)

社会保障給付金の受給は、「児童手当」が93.0%と特に高く、以下、「児童扶養手当」が15.7%、「育児休業給付」が13.0%の順となっている。

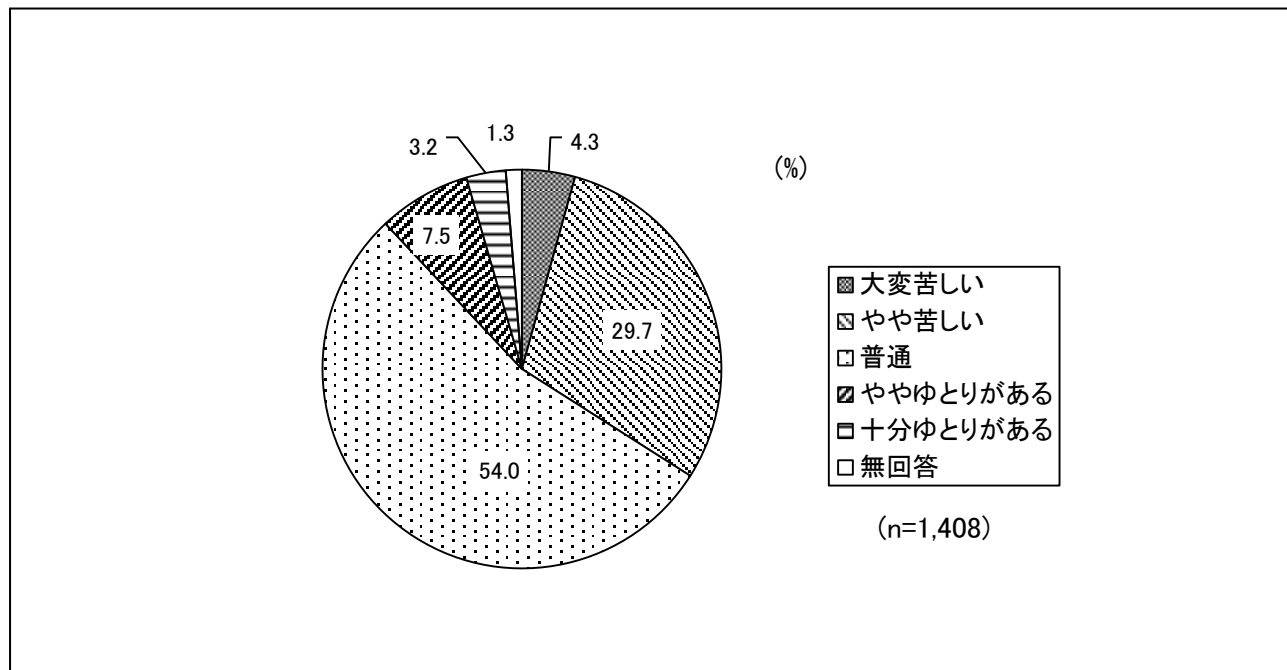


第2章 調査結果

(7) 現在の暮らしの状況

問35 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況は、「普通」が54.0%を占めるが、「苦しい」と「ゆとりがある」の対比では「やや苦しい」29.7%と「大変苦しい」4.3%の合計が34.0%で、「ややゆとりがある」7.5%と「十分ゆとりがある」3.2%の合計10.7%を大きく上回っている。

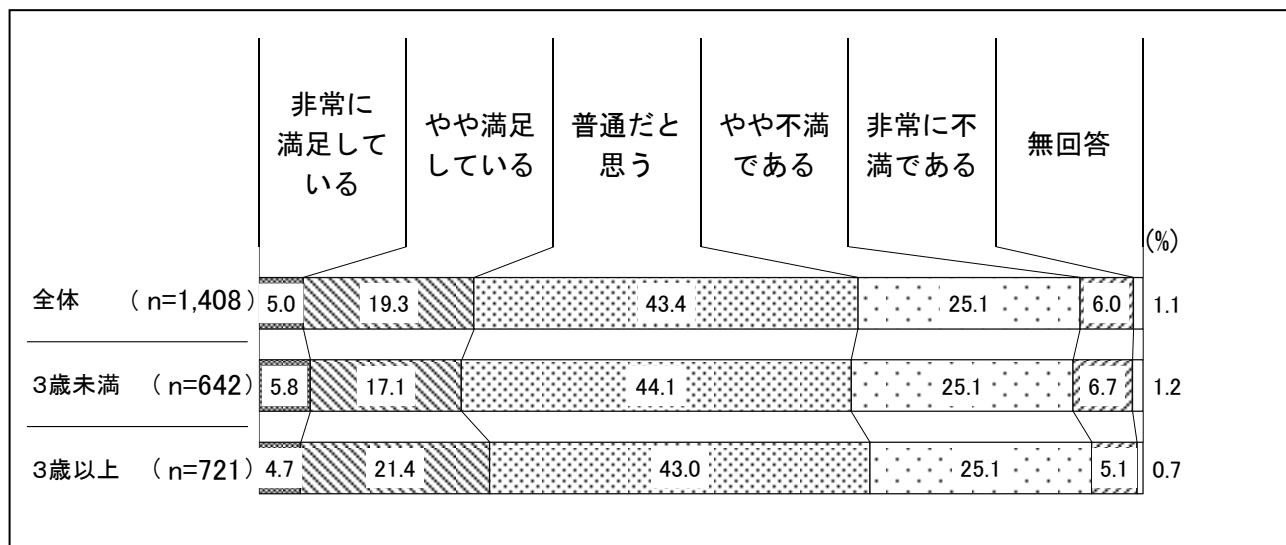


11. 子ども・子育て全般について

(1) 地域の子育て環境や支援への満足度

問36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、どのように感じていますか。(〇は1つ)

地域における子育ての環境や支援への満足度は、「普通だと思う」が43.4%を占めるが、「満足」と「不満」の対比では「やや満足している」19.3%と「非常に満足している」5.0%の合計が24.3%で、「やや不満である」25.1%と「非常に不満である」6.0%の合計31.1%をやや下回っている。

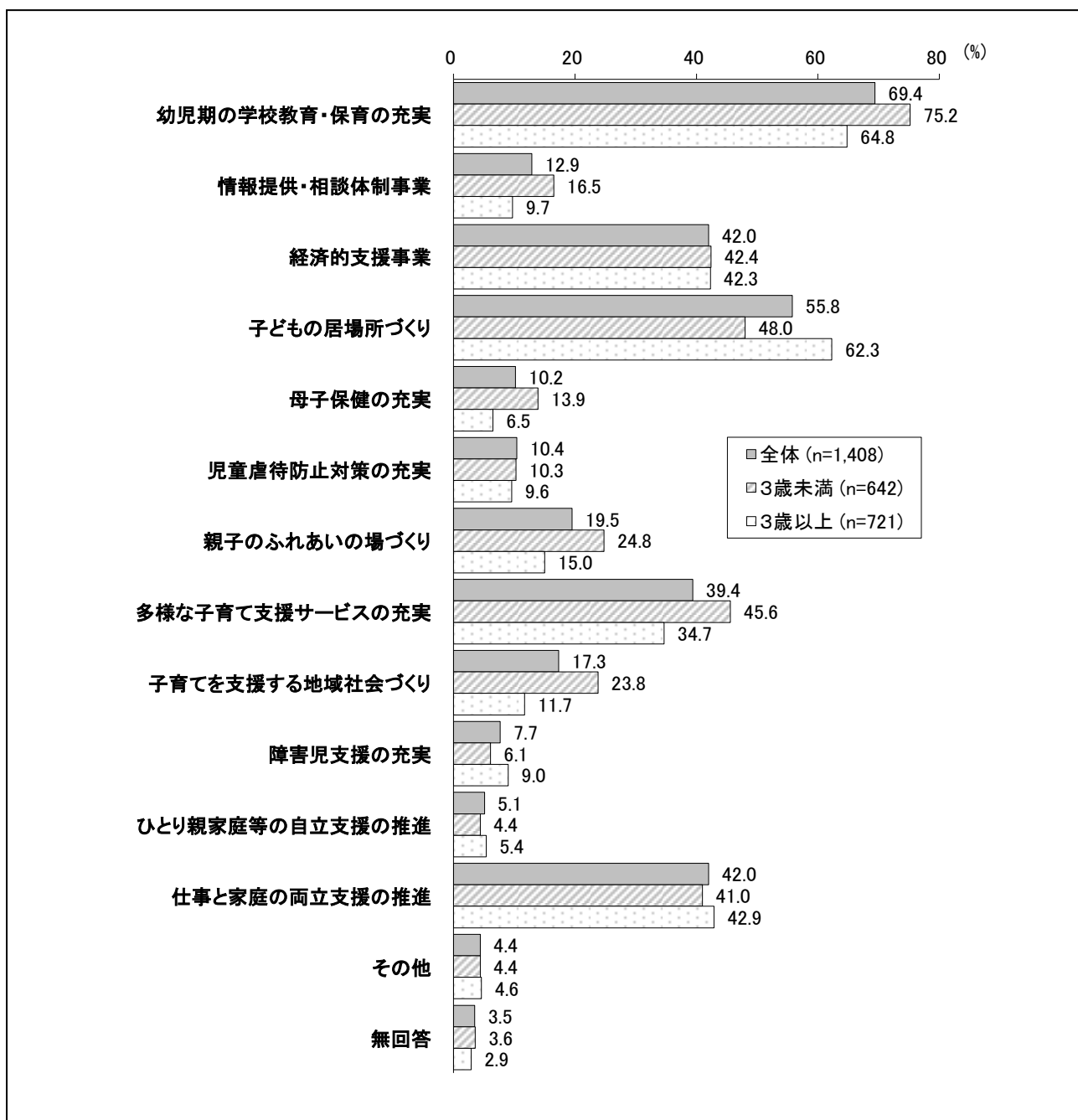


第2章 調査結果

(2) 子育て支援で充実を希望すること

問37 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。(〇は5つまで)

今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは、「幼児期の学校教育・保育の充実」が69.4%で最も高く、これに「子どもの居場所づくり」が55.8%、「経済的支援事業」「仕事と家庭の両立支援の推進」が各42.0%、「多様な子育て支援サービスの充実」が39.4%で続いている。



(3) 教育・保育の充実など子育ての環境や支援に関する意見

問38 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関するご意見として、607人から回答があった。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

内 容	件数	
保育園・認定こども園について	待機児童の解消・保育所への入園のしやすさ	74
	育休退園について	64
	保育人材の確保・待遇改善について	20
	保育所の充実・質の向上	17
	病児・病後児保育の充実・利便性の向上	14
	障害児・発達障害への支援・サポート	14
	休日保育・延長保育について	11
	認定こども園の充実	2
	その他	12
一時預かりについて	一時預かりの充実・利便性の向上	42
幼稚園について	預かり保育について	10
	幼稚園の充実	5
	その他	4
病児・病後児保育について	病児・病後児保育の受入れ数の拡大	1
子育てと就労の両立について	仕事と子育ての両立支援	9
	職場の理解・企業の子育て支援の充実	1
遊び場について	公園・広場・施設の充実	35
	安全に遊べる場の確保	18
	児童館・公民館の充実	16
	保護者同士や子どもの交流の機会・場の提供	4
子育て関連のイベント・講座について	子どもと保護者向けのイベント等について	7
地域子育て支援拠点事業等について	子育て支援センターの充実	10
こどもと福祉の未来館について	こどもと福祉の未来館の充実	10
子育て情報について	情報提供の充実	9
経済的支援・補助について	教育・保育無償化について	13
	その他	33
医療体制・医療費について	医療・乳幼児医療費について	7
	予防接種費用の補助について	5
	保健センターについて	3
	その他	1
妊婦健診等について	妊婦健診等費用負担の軽減について	2

第2章 調査結果

	内 容	件数
就学後について	学校の充実	60
	放課後児童クラブについて	49
	放課後子供教室について	23
	放課後・長期休暇中の過ごし方について	14
	学区・学校規模等について	10
	その他	5
その他・全般的な意見	安心・安全な地域づくり	14
	ひとり親家庭への支援	5
	相談窓口の充実	3
	地域や社会の支援・見守り	3
	習い事の情報・補助	3
	公共交通機関の充実	2
	産前・産後のサポート	1
	父親の子育て参加の促進・講座の充実	1
	家事・育児・送迎等のサポート	1
	児童虐待防止対策の充実	1
	子育て支援施策全般	33
	その他	33

主な意見は、次のとおりとなっている。

○ 保育園・認定こども園について

- ・働きたくても保育所の空きが無く働けません。保育所の空き問題を本当にどうにかしてほしいです。あずけ先が無いと本当に仕事も出来ません。
- ・保育園申し込みの基準をわかりやすくしてほしい。母親が正規の職にない（パート主婦）場合でも預けやすいようにしてほしい。
- ・兄弟を妊娠時に保育園にいられなくなったり、同じ保育園に通えなかったり、不親切だと感じる。
- ・育休中に上の子どもも保育園を退園しないといけないのは辛い。
- ・発達遅延の子どもに対するサポートの場をもう少し作ってほしい。混合保育枠制度の拡充をしてほしい。
- ・平日、子どもを預かってくれる時間が18:30までというのは正社員だと非常に厳しいです。21時頃まで可能な施設を充実させて欲しい。
- ・日・祝日、働いている（両親）ため、祖父母も近くに住んでいないため、休日も預けられる保育施設、学童を増やしてほしい。
- ・こども園は幼稚園に比べて、先生方の負担が増え結果あまりよくない。幼稚園からこども園になった事で、保護者としてよかった点はない。安全管理が不十分になっている。

○ 一時預かりについて

- ・0歳から預けられる一時預かりの場所が増えるといいなと思います。
- ・未就園児の一時預かりを増やしてほしい。リフレッシュ利用が月1回では、用事での利用で終わってしまい、利用できない。月3回、難しければ月2回利用させてほしい。
- ・一時預かり保育を、短時間で気軽に利用できるようにしてほしい。(親の通院やリフレッシュなど)
- ・急な(父母の)病気や出産前などもう少し一時保育が利用しやすい環境だと思った。

○ 幼稚園について

- ・現在通わせている幼稚園では、夏休み等の預かり保育の時間が短いため、仕事との両立で苦労している。働きながら幼稚園に通わせる環境がもう少し充実すると助かる。
- ・幼稚園でパート就労されている方は多いです。幼稚園での延長保育、保育園での一時預かりがないと大変きびしいと思います。
- ・土・日、祝日の預かり保育の充実を目指してほしい。

○ 病児・病後児保育について

- ・病児保育の充実。何度か病院併設の病児保育を利用したことがありますが、1日4人しか預けられず、かつ予約は激戦。民間の病児保育サービスもないため(エリア外)困っています。
- ・病児・病後児保育事業を利用したい時に定員いっぱい利用できないことが多い。キャンセル待ちをしても利用できないので仕事を休まなくてはならない。
- ・現在遠くにしか病児保育がないので、増やしてほしい。ちょっとした風邪でも熱があったら登園できないので病院併設より予約の取りやすさ、利用しやすさも検討してもらいたい。

○ 子育てと就労の両立について

- ・子どもが病気でも病児保育にあずけて働くのではなく、気兼ねなく休める世の中になるといい。
- ・有期雇用でも育児休業が取得できる社会になれば良いと思います。
- ・働く母親のサポートをもっと色々手厚くしてほしいです。父親はやはり仕事を休める企業だったりはまだ一握り。結局母親の負担、祖父母への負担になっていると思う。これから先変わるよう期待しています。
- ・育児休業が1年で短い。保育所のあり無しにかかわらず、2年位は子どもと一緒に居れたら良いのになと思います。1年以上と休みが長いと、会社に申し訳ないからという理由で復帰するのですが。(給付金がもらえるのは2年間、それ以上は無給でもかまわないので)あと男性の育児休業がもっと当たり前になってほしいです。女性だけの負担にしないでほしい。結局、職場に気がつかってしまう所が大きな理由です。

○ 遊び場について

- ・児童館や学童クラブのような施設の他に、公園等が、もっと増えるといいなと思います。
- ・未就学児(赤ちゃん含む)が遊ぶスペースがある、室内広場のような場所があったらいい(ボールプールなど)。
- ・雨の日にもあきることなく遊べる施設をつくってほしい。公園の遊具を充実させてほしい。
- ・ルピナスのような大型で気軽に行く事が出来る子どもの施設を増やしてほしい。
- ・同じ地域、同じ学年の子どもを持つ親子が、同じメンバーで定期的に集まって活動する場を多数

第2章 調査結果

作ってほしい。友達を作りたくても難しい。

○ 子育て関連のイベント・講座について

- ・「生後2～3ヶ月の赤ちゃん和妈妈の会」、「4～5ヶ月の赤ちゃん和妈妈の会」、「6～7ヶ月の赤ちゃん和妈妈の会」みたいながあると良いと思う。同窓会みたいに、日を決めて定期開催しているようだに参加しやすく、つながりができやすい。
- ・親子参加イベント（乳幼児）が全て平日にあることが不満です。仕事があるのに行けるはずがない。共働き世帯が過半をしめていることを考えると、偏ったサービスではないのか。利用したくてもできないサービスは公平なのでしょうか。また、公民館のイベントも地域差がある。行きたいと思う催しはだいたい新所沢。子連れで行けない。遠すぎる。

○ 地域子育て支援拠点事業等について

- ・子育て支援センターを併設している保育園に行ったが、スペースも狭すぎてとても子どもを遊ばせられる場ではなかった。事業として必要だとは思いますが、質を高めてほしい。
- ・駅の近くに子育て支援センターが欲しい。

○ こどもと福祉の未来館について

- ・こどもと福祉の未来館の充実化を希望します。せっかく良い立地にステキな建物がたったのに対象年齢が低すぎる。体育館を解放したり屋上ももっと遊べるスペースにしたり、沢山ある会議室などももったいない。もっともっと子ども目線、育児中の親目線に立ってほしい。
- ・未来館に託児施設も作ってほしい。
- ・こどもと福祉の未来館は素晴らしいと思いますが、車がないとアクセスしづらいのが残念です。

○ 子育て情報について

- ・子どもの年齢（または月齢）ごとにその時期の子どもへの案内やその時期の子どもの発達、成長に関する情報などがわかるもの（広報やホームページ）などがあると育児に関する悩みや疑問なども減ると思う。
- ・公的機関が行っている支援について、わかりやすい冊子などあれば良いと思います。

○ 経済的支援・補助について

- ・0～3才の保育無償化が、全世帯対象になって欲しい。
- ・幼児教育無償化をすべての幼稚園類似施設も対象にしてほしいです。上の子が行っている所も又友人の子が通っている所も認可外の幼稚園類似施設のため、無償化対象外ではないかと言われているので。
- ・少子化対策としてもっと子どもに対する手当てを手厚くするべき。3人目からではなく、1人目から手当てする。
- ・育児に必要な物品（チャイルドシートやベビーカー等）や衣服、食器など一時期のみ使用し、綺麗な物は、リサイクルすることが出来るようなシステム。
- ・子どもが3人で、お金がかかる。人数に応じて、経済的支援を増やしてほしい。
- ・完全なる学業の無償化（大学、専門学校含む）

○ 医療体制・医療費について

- ・近くの小児科で全ての予防接種や健診をできるようにしてもらいたい。
- ・保健センターの保健師さん、児童館、未来館の職員の方々に気軽に相談にのっていただけるので、育児を楽しく出来ているのだと思います。本当にありがとうございます。
- ・中学生での子どもの医療費無償化などとても助かっています。
- ・医療費助成を18才までにして欲しい。
- ・子ども医療費を金額に関係なく窓口での支払いの廃止。
- ・インフルエンザの予防接種代金の支援または助成。
- ・予防接種をすべて無料にしてほしい。

○ 妊婦健診等について

- ・妊娠中に健診があったが、意外とお金がかかると思った。子育て支援をするのなら、海外のように妊娠中から妊娠の医療費無料。健診費用無料などできないものか。

○ 就学後について

- ・はやく、学校にクーラーをつけてください。2020年までになど言わず、すぐに設置してほしい。
- ・すべての保育園、幼稚園、小学校の子どもが使う教室にエアコンの設置をしてほしい。環境の整っていない場所へ子どもを預けるのがとても不安。(特に夏)
- ・学校のトイレの改修をお願いします。必ず使う、大切なところです。
- ・小学校だけではなく教育者全体のレベルが低下している。環境も充実させる事は必要だが、教育者のレベルの底上げをお願いしたい。
- ・公立の中・高一貫校を是非所沢市内につくって下さい。
- ・学童は20時まで預かってほしい。保育園ではフルタイムで働けるが、学童になると働けない。
- ・学童の施設をもっと広くきれいにしてほしい。高学年になっても学童に入れるようになってほしい。
- ・放課後子供教室の預かり時間の延長を希望します。
- ・市内の一部の小学校にしか放課後子供教室がないので、もっと増やしてほしい。
- ・ほうかごところを実施してくれたらもう少し働き方が広がると思う。
- ・夏休み、小学生が室内で遊べる場所がほしいです。
- ・「小学校の壁」が心配。保育園ほどの支援が期待できない。特に長期休暇をどう充実させるか。
- ・小学校は区分によって通う学校が決まるので、幼稚園、保育園を選択する時期に通う予定の小学校を教えてほしい。

○ その他・全般的な意見

- ・子どもと自転車が出掛けたいが、道が悪くて車が怖いので子どもには不安で乗らせてあげられない。
- ・幼稚園の先生へのエピペン（食物アレルギー等によるアナフィラキシー対応）等の講習があればいいと思います。
- ・子供食堂の増設

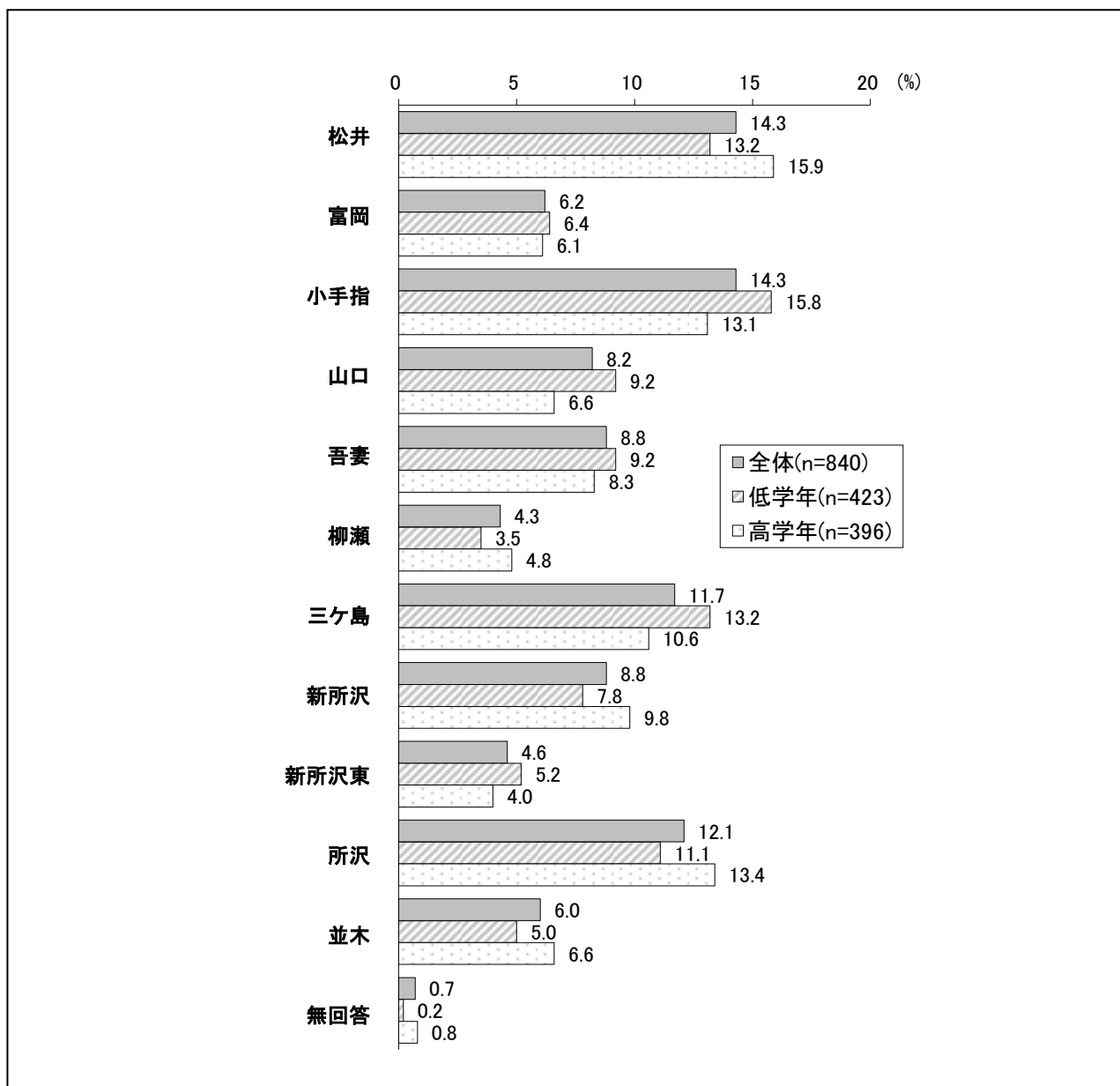
Ⅱ. 小学生調査結果

1. 子どもと家族の状況

(1) 居住地区

問1 宛名のお子さんのお住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

居住地区は、「松井」「小手指」が各14.3%で最も高く、次いで「所沢」が12.1%となっている。



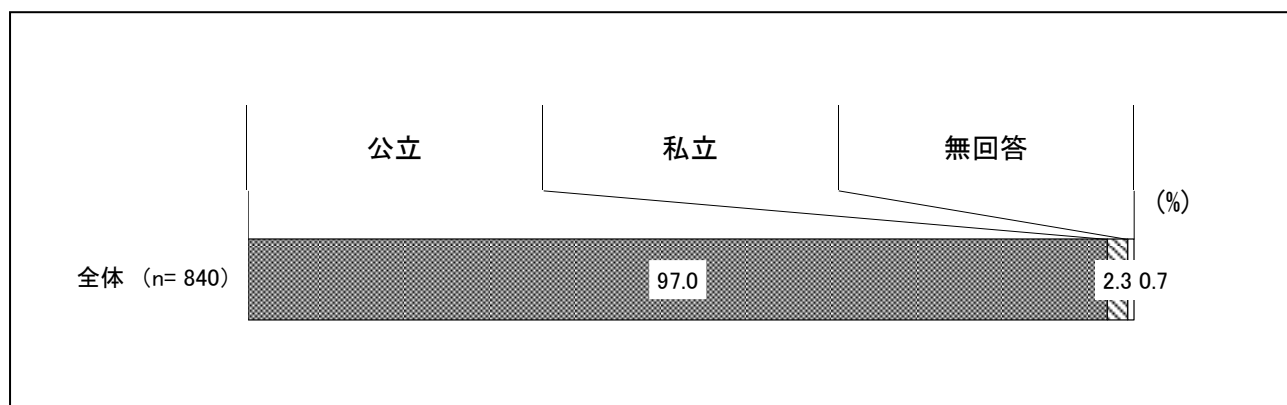
第2章 調査結果

(2) 通学小学校

問1-2 宛名のお子さんの通われている小学校はどこですか。(〇は1つ) 公立の場合は、小学校名もご記入ください。

①通学小学校

子どもが通っている小学校は、「公立」が97.0%、「私立」が2.3%となっている。



②学校区 (所沢市立32校、私立)

子どもの学校区については、下図表に示すとおりとなっている。

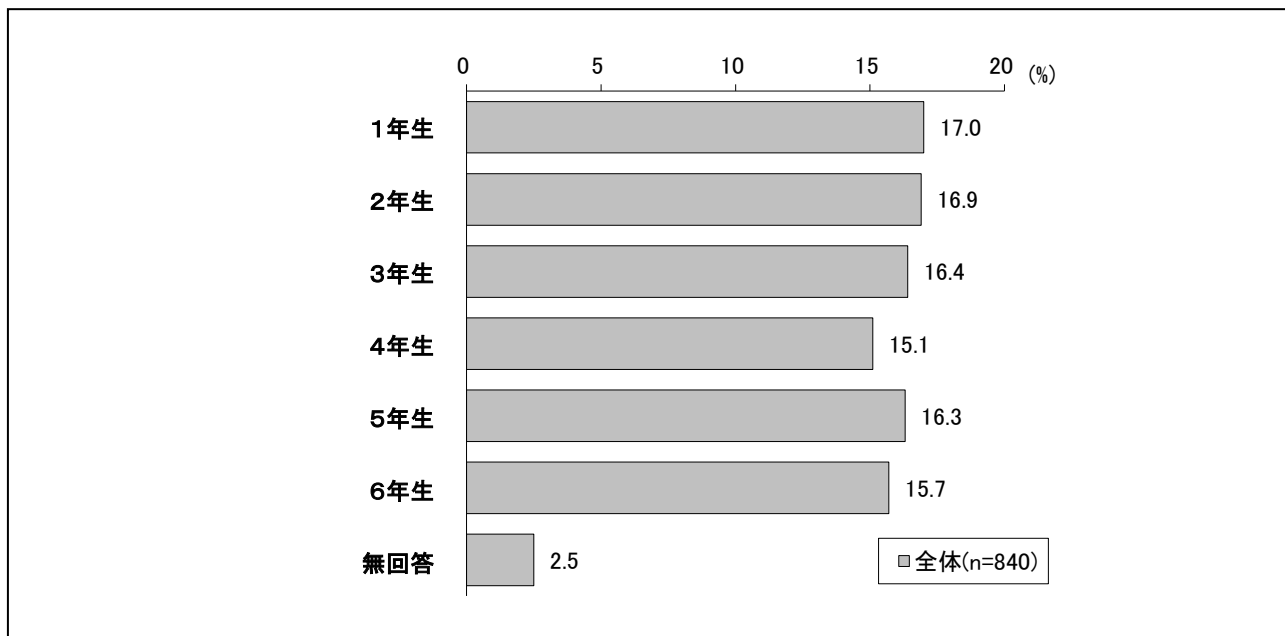
学校区	回答者数	学校区	回答者数	学校区	回答者数
所沢小	53	若松小	19	北中小	13
南小	46	安松小	24	山口小	24
北秋津小	22	和田小	23	泉小	25
荒幡小	18	牛沼小	24	椿峰小	27
北小	32	柳瀬小	18	三ヶ島小	12
清進小	27	東所沢小	24	若狭小	40
明峰小	25	富岡小	15	林小	26
伸栄小	35	西富小	24	宮前小	22
美原小	26	中富小	11	私立	19
並木小	11	小手指小	29	その他	6
中央小	17	上新井小	41	無回答	10
松井小	28	北野小	24	合計	840

(3) 子どもの学年・性別

問2 宛名のお子さんの生年月を数字でご記入いただき、性別について○をつけてください。

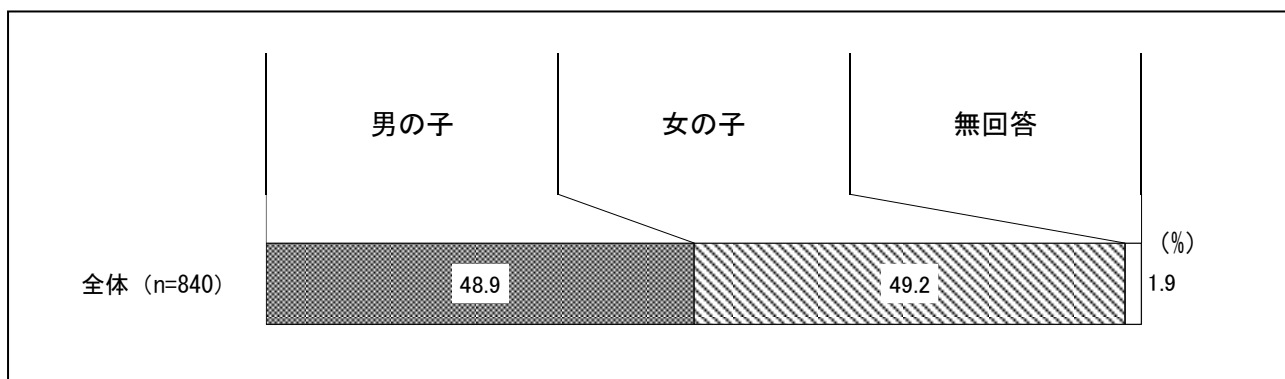
①学年

子どもの学年は、「1年生」～「6年生」のいずれも15.1～17.0%となっている。



②性別

子どもの性別は、「男の子」が48.9%、「女の子」が49.2%である。



第2章 調査結果

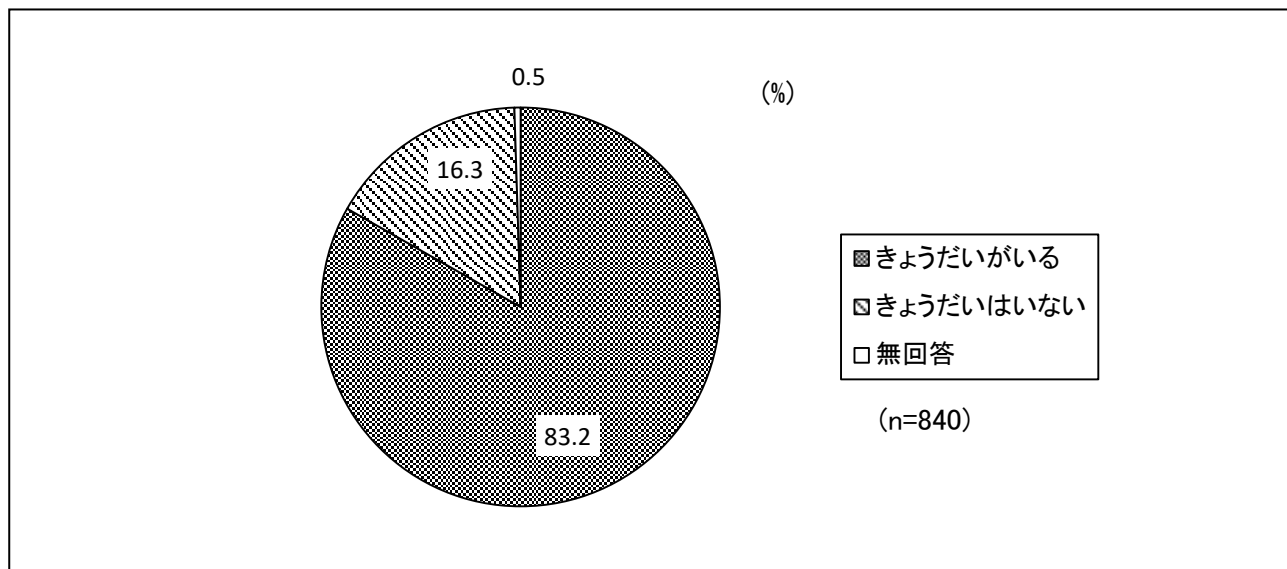
(4) きょうだいの状況

問3 宛名のお子さんにきょうだいはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

きょうだいがいらっしゃる場合、宛名のお子さんが何人きょうだいの何番目か数字でご記入ください。また下のきょうだいがいる場合、一番下のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

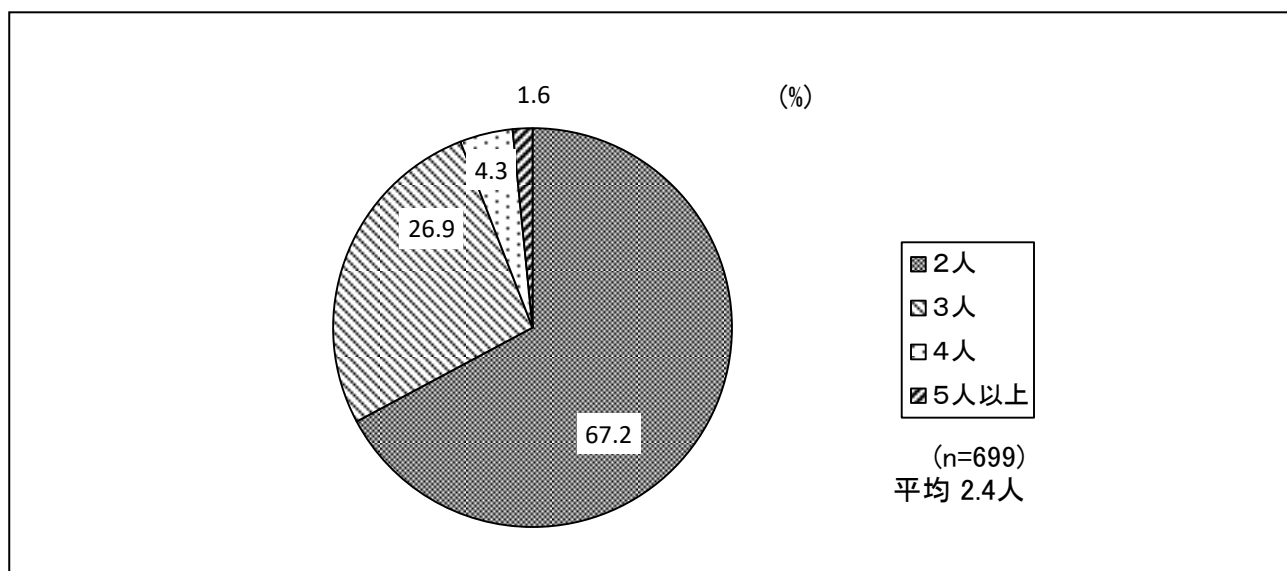
①きょうだいの有無

きょうだいについては、「いる」が83.2%、「いない」が16.3%となっている。



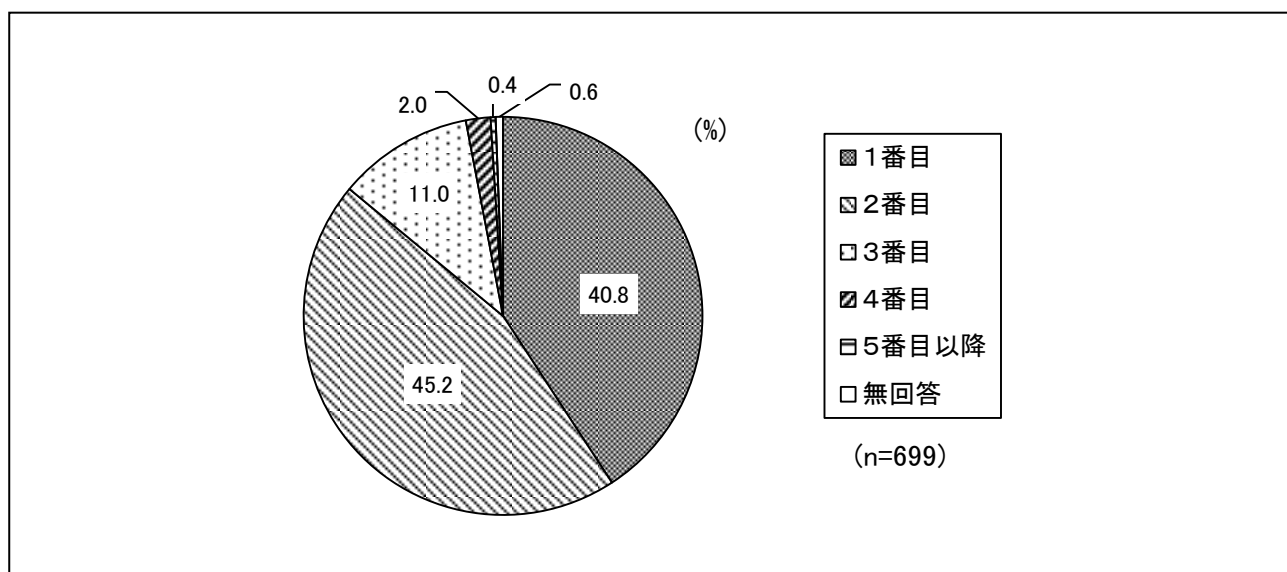
②きょうだい数

「きょうだいがいる」場合のきょうだいの人数は、「2人」が67.2%、「3人」が26.9%を占め、平均2.4人となっている。



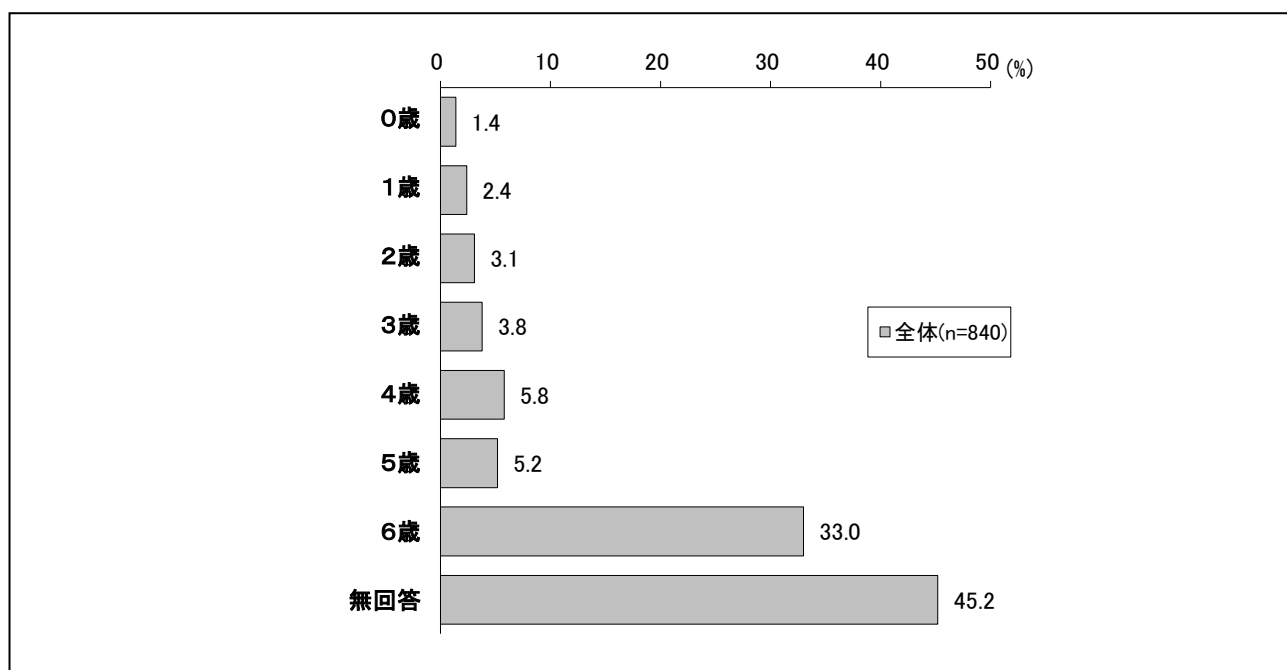
③きょうだいの中での出生順位

宛名の子どものかょうだいの中での出生順位は、「2番目」が45.2%で最も高く、これに「1番目」が40.8%が続いている。



④末子の年齢

末子の年齢は、「6歳」が33.0%で最も高くなっている。



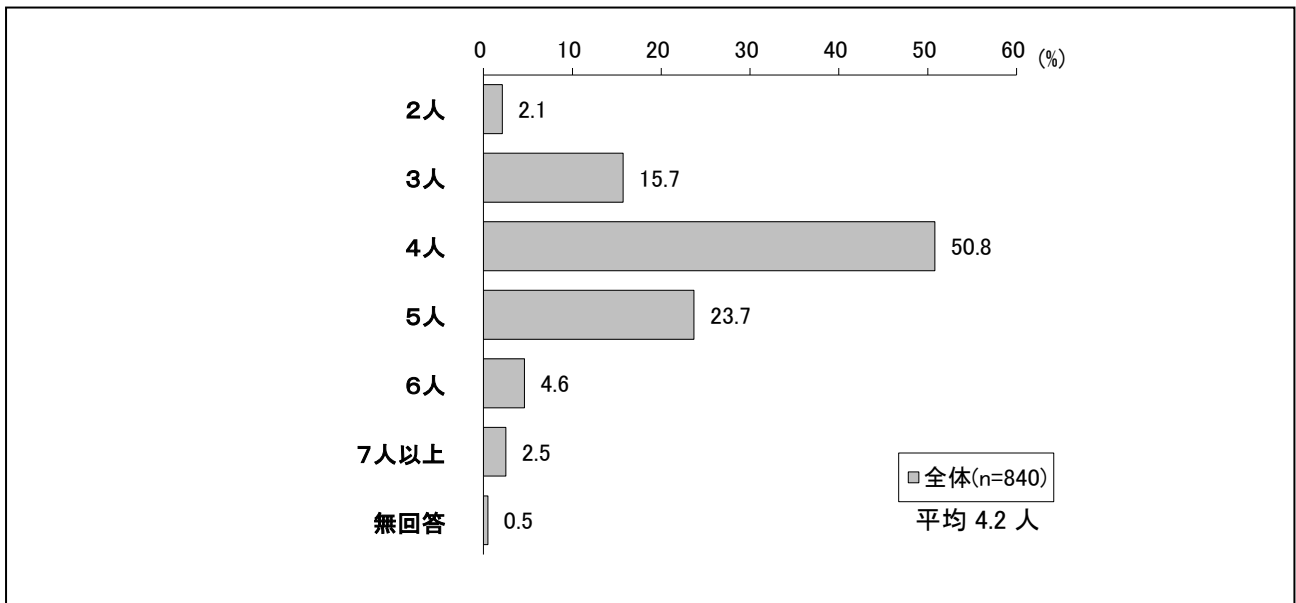
第2章 調査結果

(5) 世帯の人数

問4 宛名のお子さんを含めた世帯の人数は何人ですか。また、そのうち、18歳未満の子どもの人数は何人ですか。数字でご記入ください。(単身赴任や一人暮らしのお子さんなど別居している方も含みます)

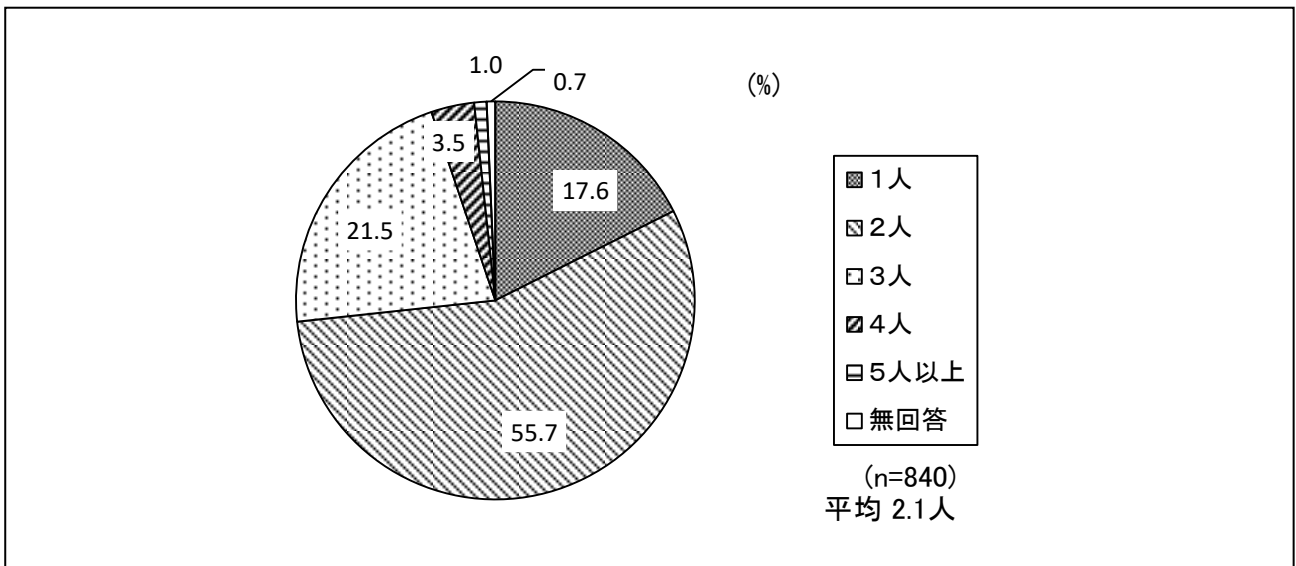
①世帯の人数

世帯の人数は、「4人」が50.8%、「5人」が23.7%と高く、平均4.2人となっている。



②子どもの人数

子どもの人数は、「2人」が55.7%と最も高く、平均2.1人となっている。

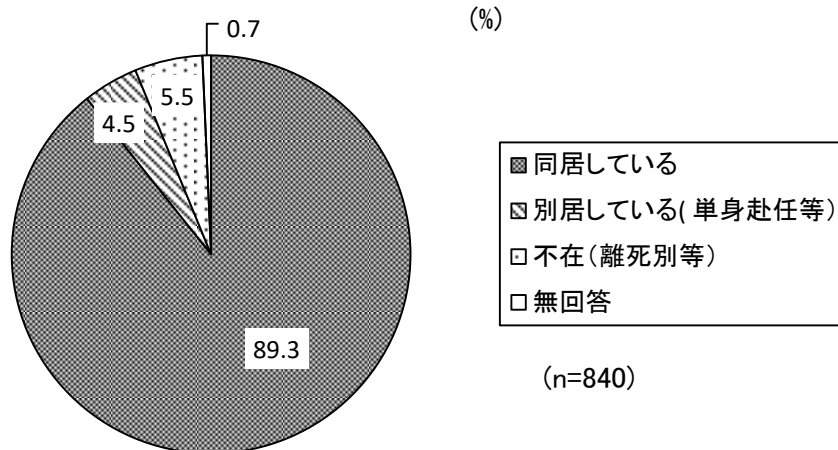


(6) 父母の同居の状況

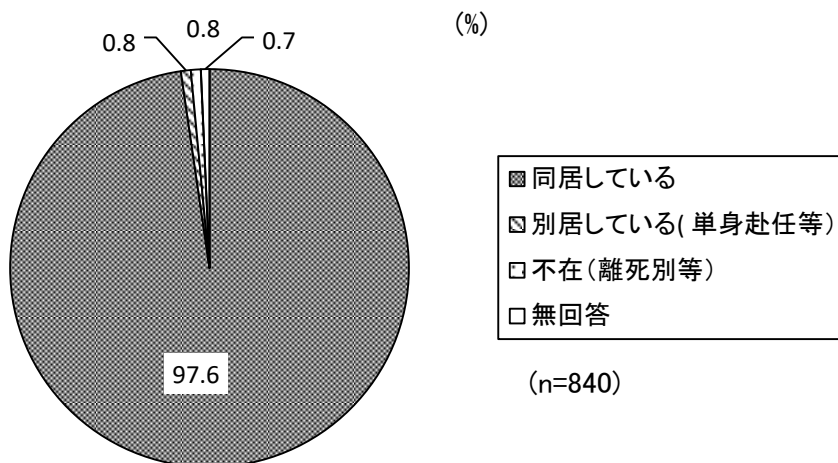
問4-1 宛名のお子さんからみたご父母についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

父母の同居の状況を見ると、「同居している」は父親89.3%、母親97.6%、「別居している(単身赴任等)」は父親4.5%、母親0.8%、「不在(離死別等)」は父親5.5%、母親0.8%となっている。

【父親】



【母親】



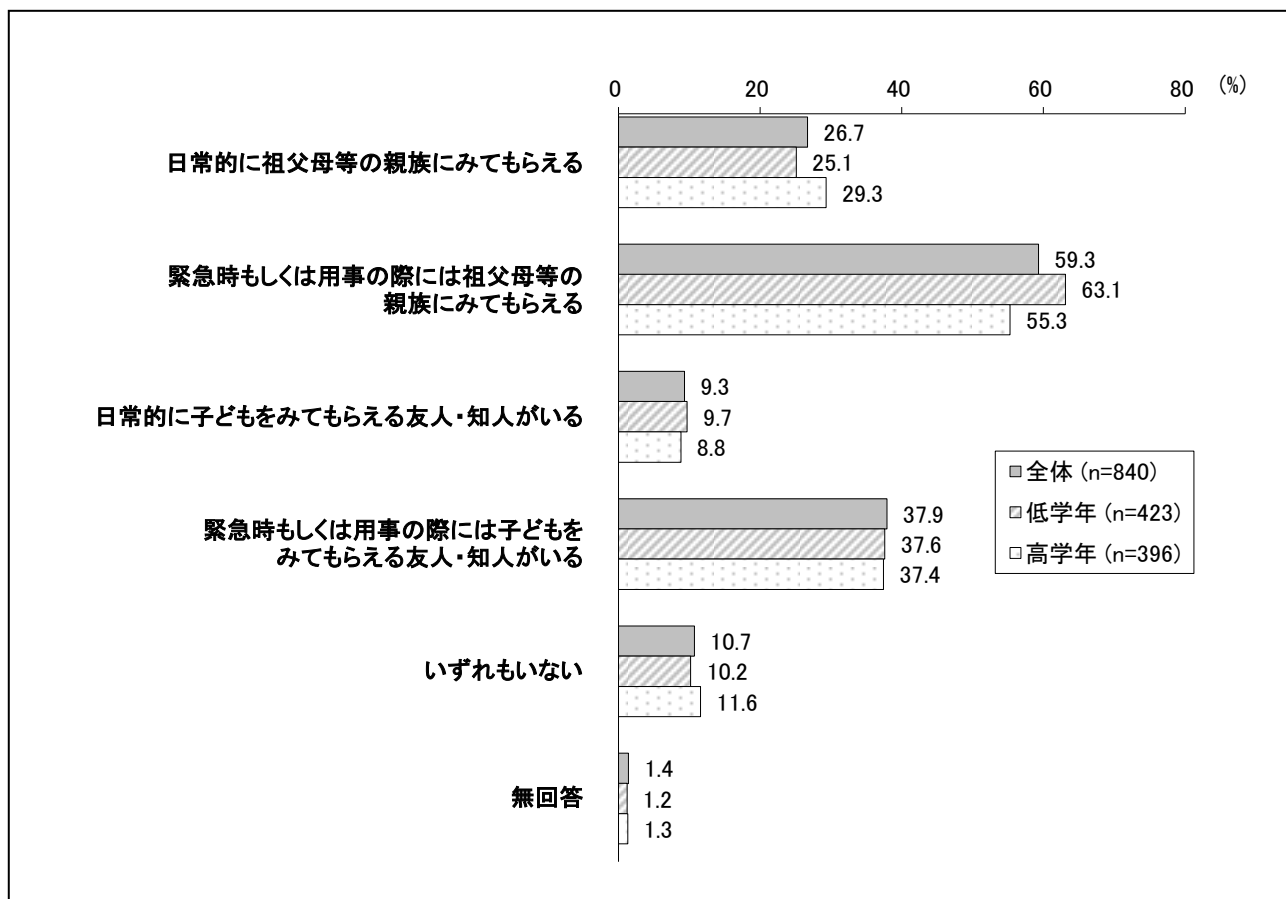
第2章 調査結果

(7) 子どもをみてもらえる親族・知人

①子どもをみてもらえる親族・知人の有無

問5 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに○)

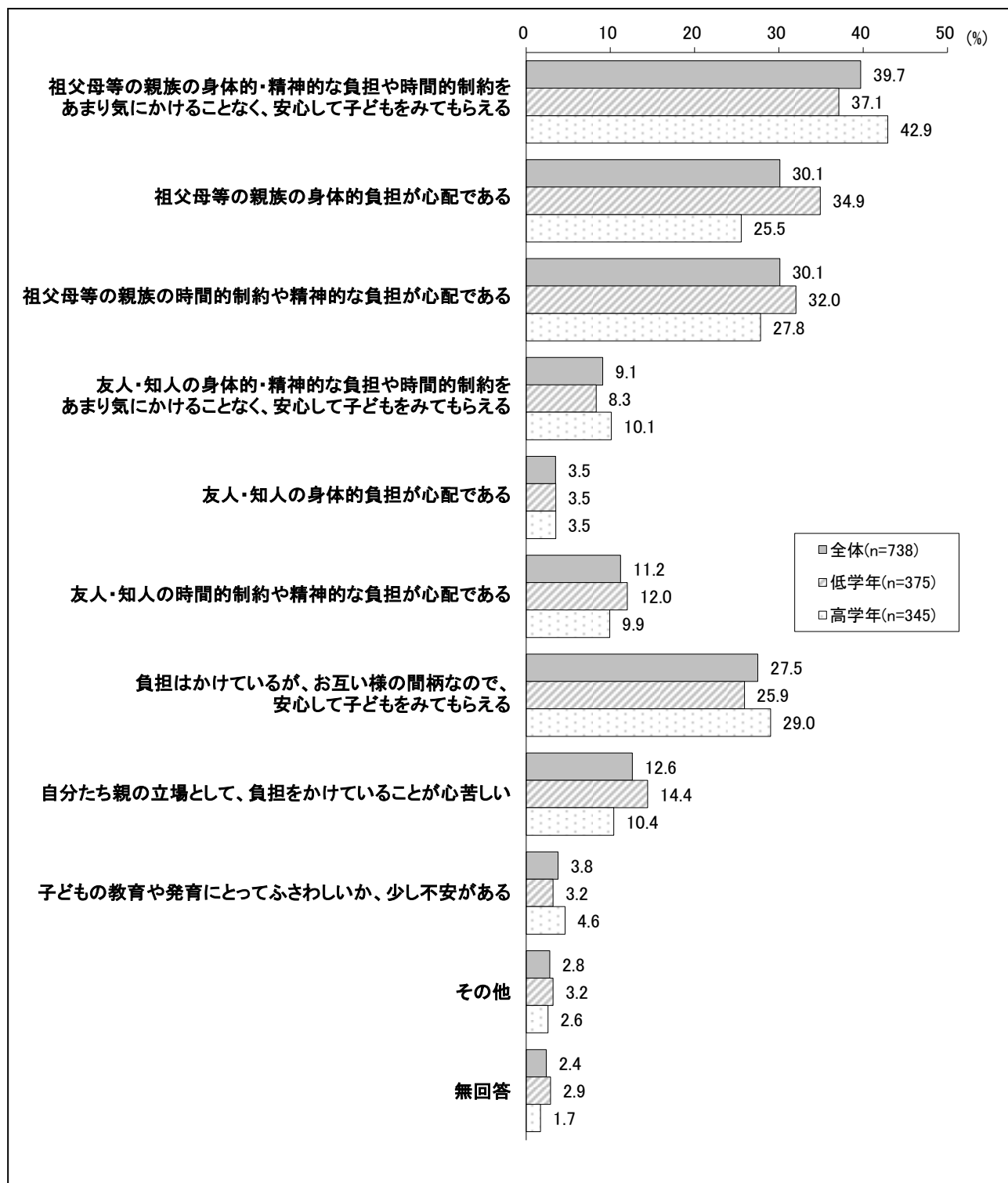
日頃子どもをみてもらえる親族・知人は、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が59.3%で最も高く、これに「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が37.9%、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が26.7%で続いている。



②親族・知人にみてもらっている状況

問5-1 親族または友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(当てはまるものすべてに○)

親族・知人にみてもらっている状況については、「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる」が39.7%で最も高くなっている一方で、「祖父母等の親族の身体的負担が心配である」「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である」との意識も各30.1%と高くなっている。



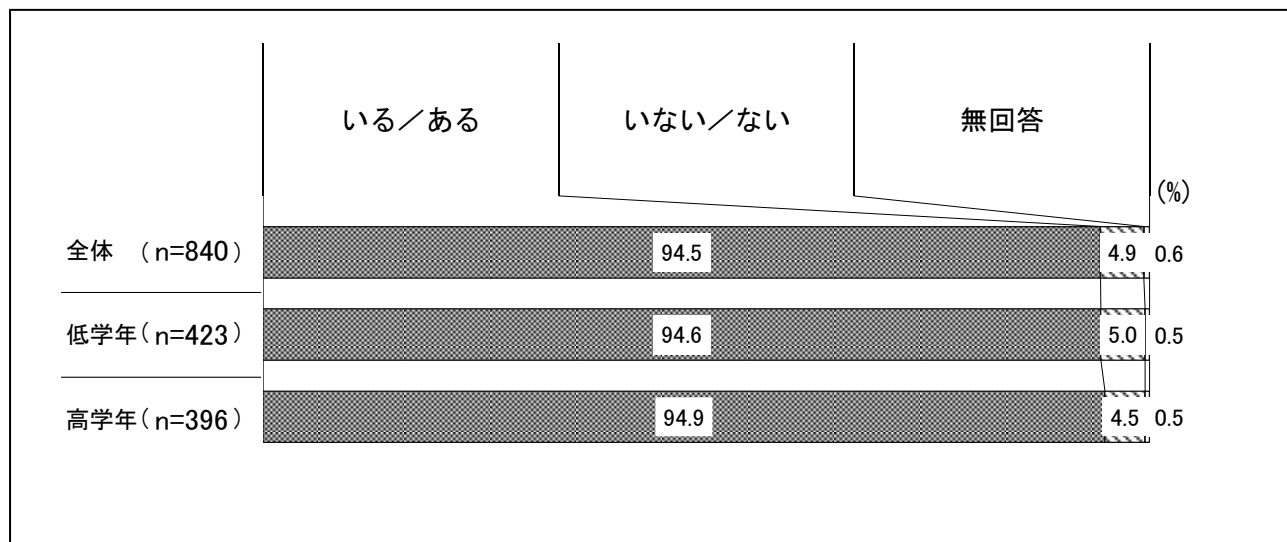
第2章 調査結果

(8) 子育ての相談ができる人・場所

① 子育ての相談ができる人・場所の有無

問6 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。(〇は1つ)

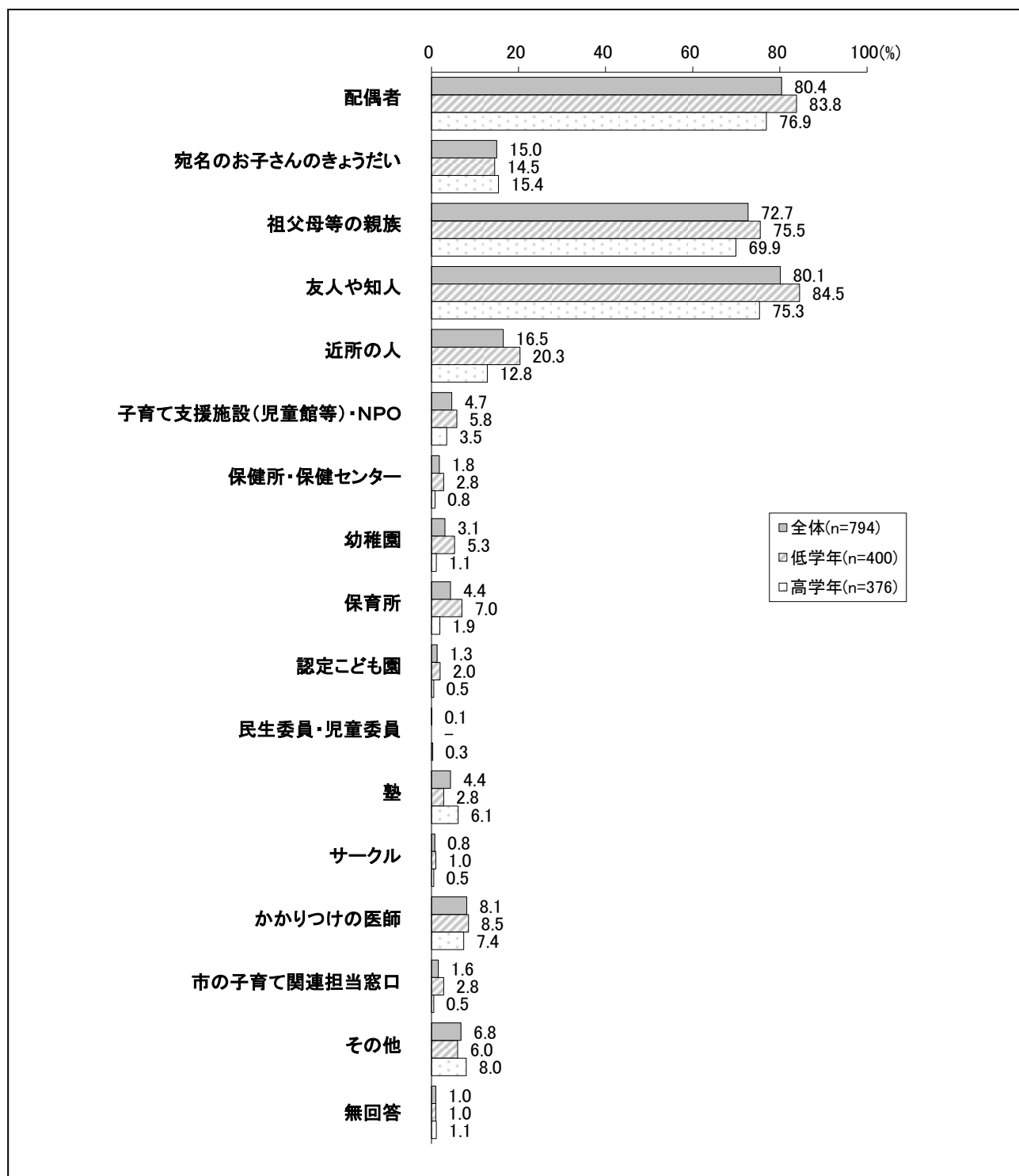
子育てをする上で、気軽に相談できる人や場所については、「いる／ある」が94.5%で、「いない／ない」が4.9%となっている。



②子育ての相談ができる人・場所

問6-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

子育てに関して、気軽に相談できる先は、「配偶者」が80.4%、「友人や知人」が80.1%、「祖父母等の親族」が72.7%と高くなっている。



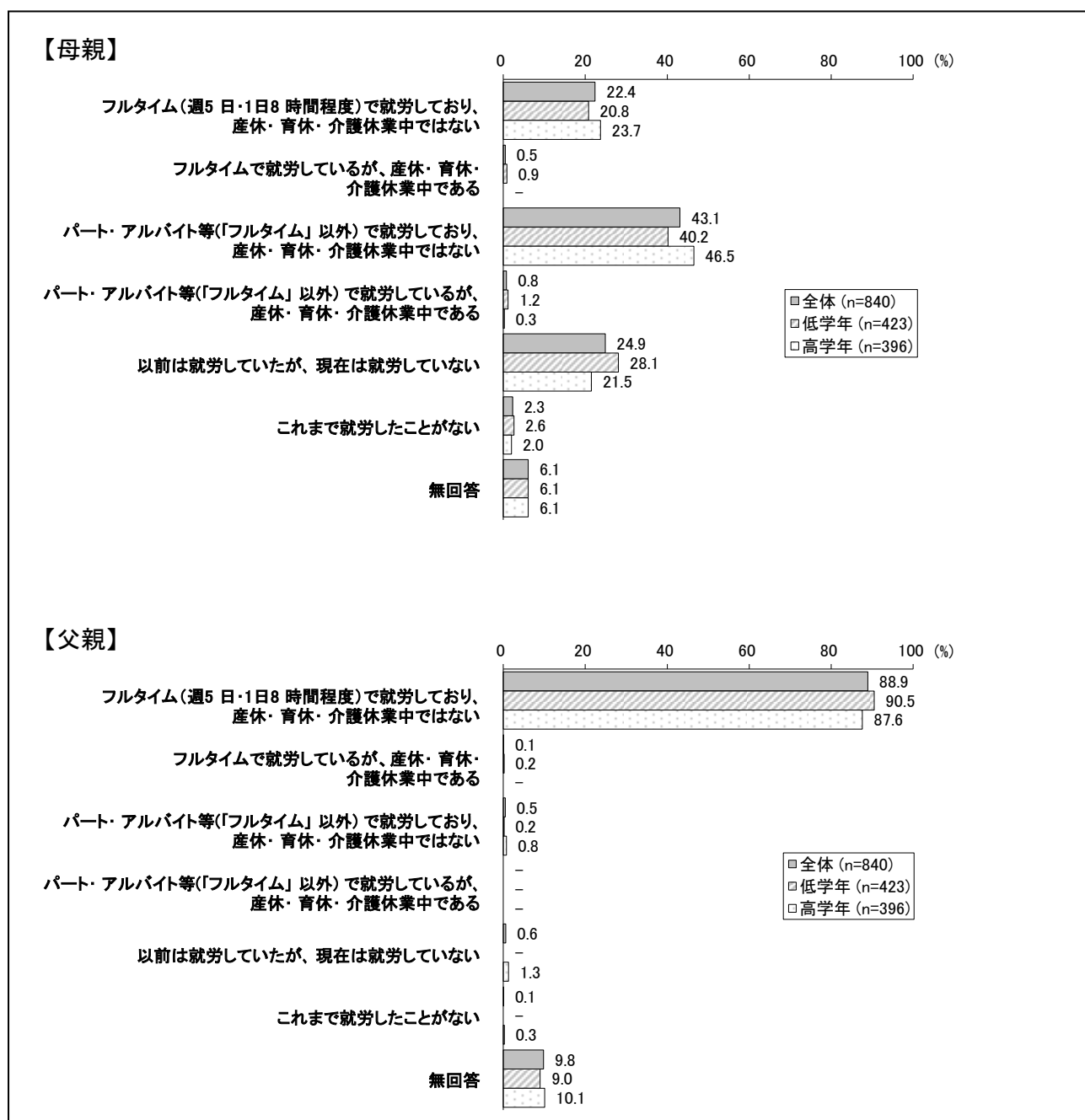
2. 保護者の就労状況

(1) 保護者の就労状況

問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業・家族従事者含む）をうかがいます。父母共に該当する番号をそれぞれ1つずつご記入ください。

母親の就労状況は、「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が43.1%で最も高く、これに「以前は就労していたが、現在は就労していない」が24.9%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が22.4%で続いている。

父親の就労状況は、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が88.9%を占めている。



(2) 就労日数・就労時間

問7-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間・残業時間等を含む拘束時間）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください

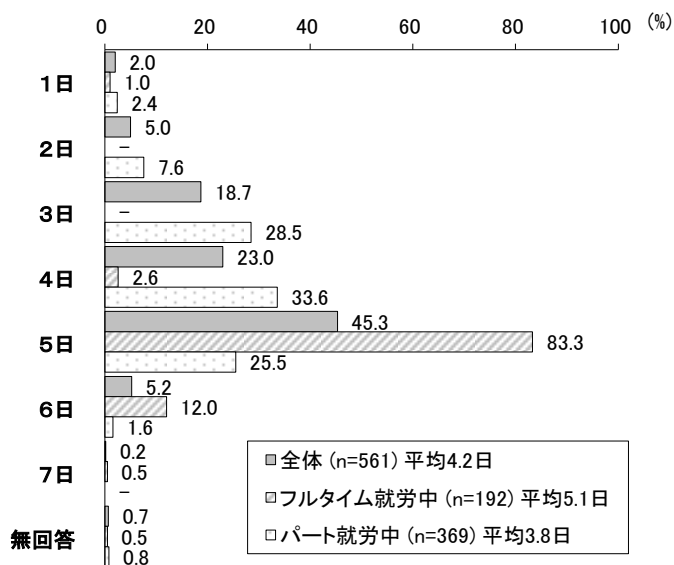
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

① 1週当たりの就労日数

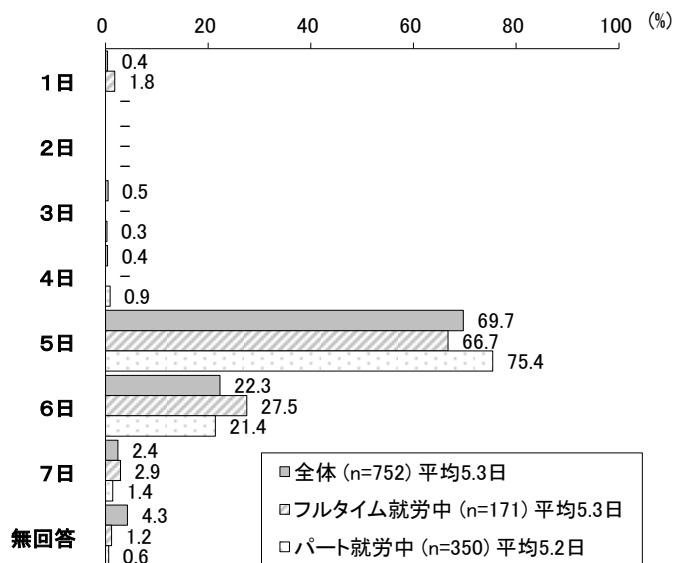
母親の1週当たりの就労日数は、「5日」が45.3%で高くなっている。

父親の1週当たりの就労日数は、「5日」が69.7%で高くなっている。

【母親】



【父親】



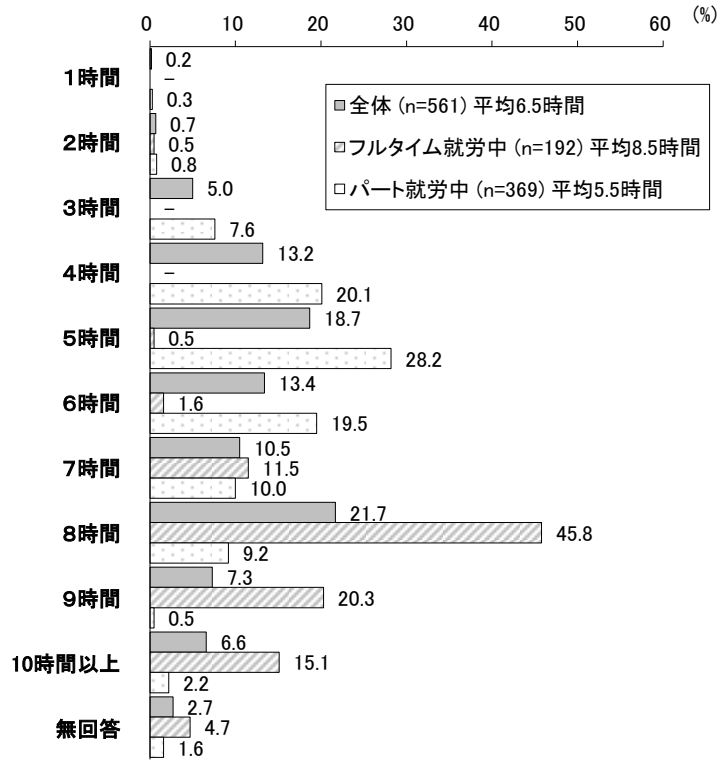
第2章 調査結果

② 1日当たりの就労時間

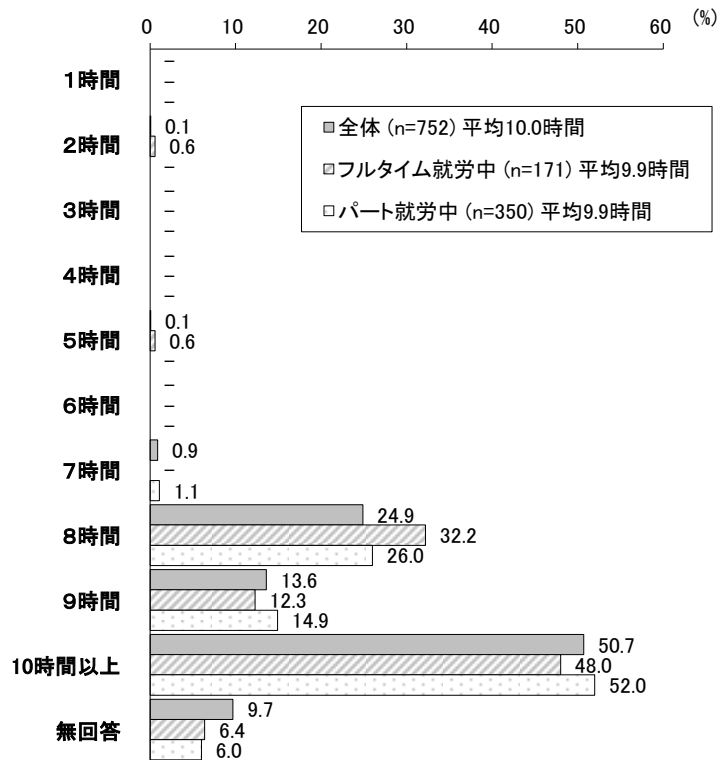
母親の1日当たりの就労時間は、「8時間」が21.7%で最も高く、平均6.5時間となっている。

父親の1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が50.7%で最も高く、平均10.0時間となっている。

【母親】



【父親】



(3) 家を出る時刻、帰宅時刻

問7-2 家を出る時刻と帰宅時刻を24時間制でお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

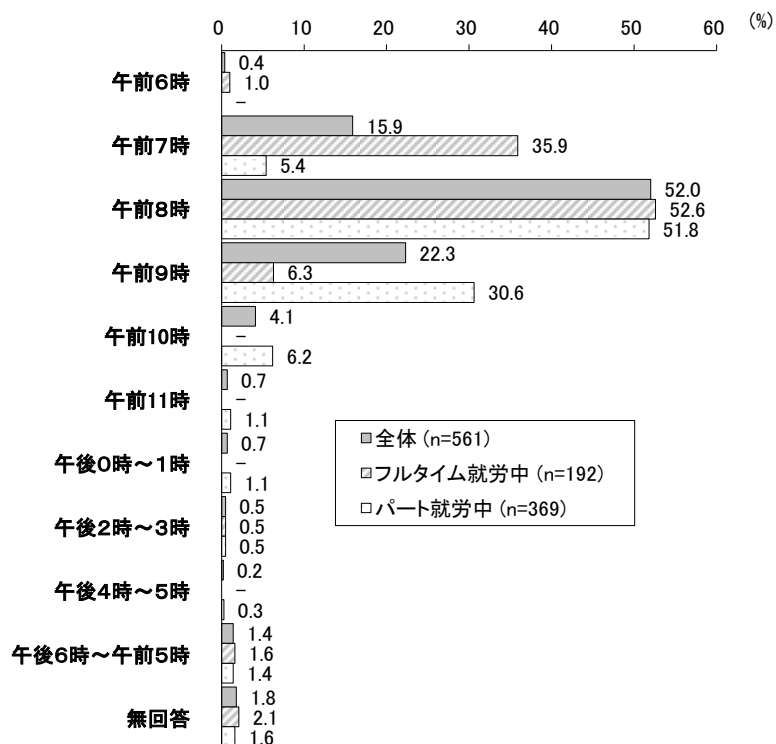
※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

①家を出る時刻

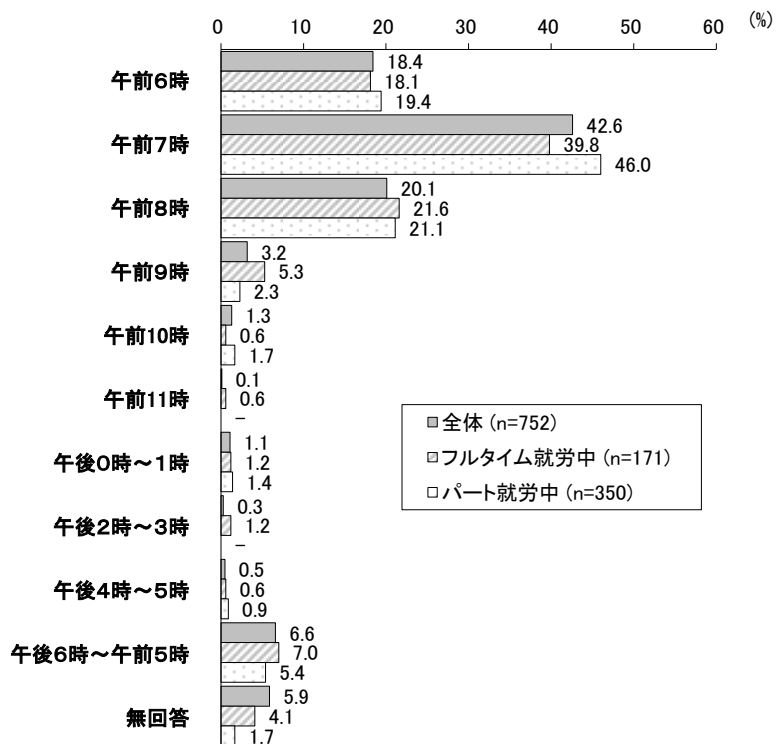
母親の家を出る時刻は、「午前8時」が52.0%で最も高くなっている。

父親の家を出る時刻は、「午前7時」が42.6%で最も高くなっている。

【母親】



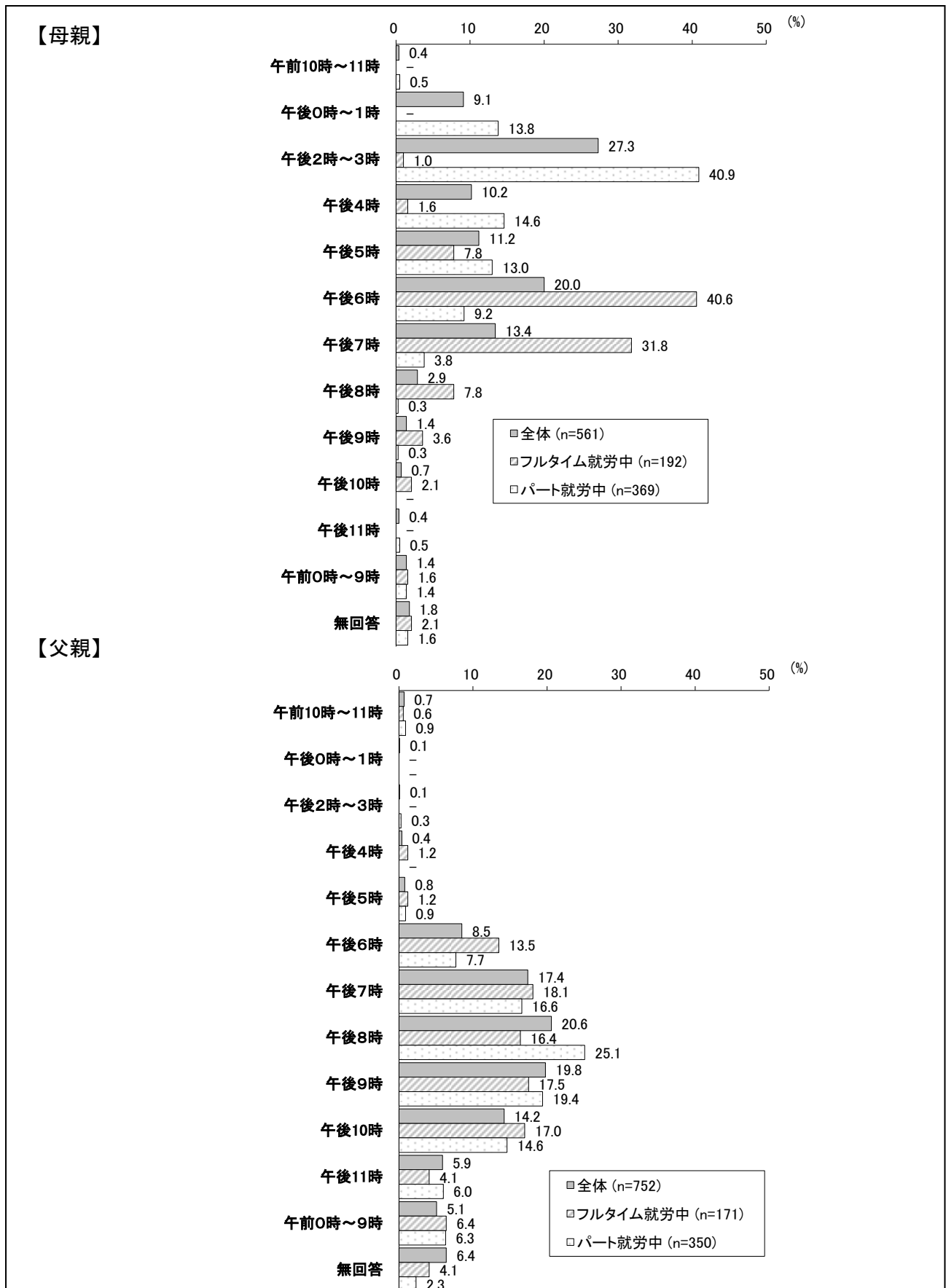
【父親】



第2章 調査結果

②帰宅時刻

母親の帰宅時刻は、「午後2時～3時」が27.3%、「午後6時」が20.0%で高くなっている。
 父親の帰宅時刻は、「午後8時」が20.6%、「午後9時」が19.8%で高くなっている。



(4) フルタイム等への転換希望

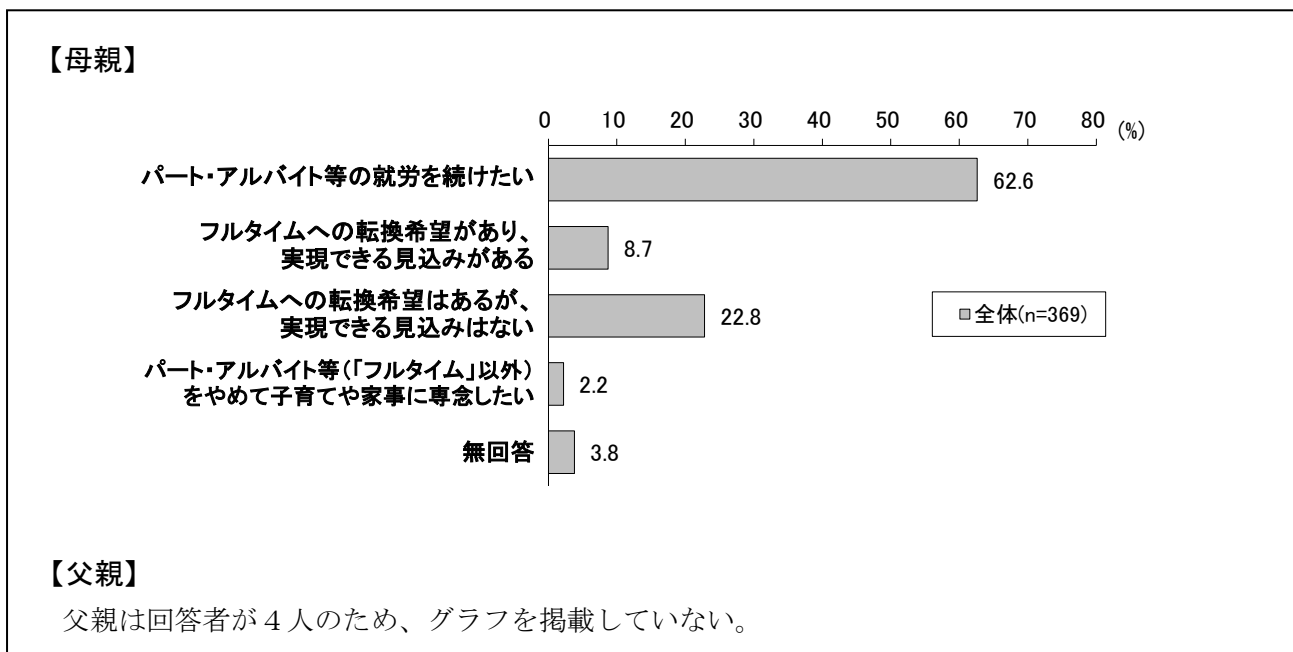
問7の母親または父親で、「3. 4. (パート・アルバイト等で就労している)」を選択した方にうかがいます。

問8 フルタイム等への転換希望はありますか。父母それぞれ該当する番号を1つ記入し、「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期どちらかに○をつけてください。

①フルタイム等への転換希望

現在パート・アルバイト等で就労している母親は、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が62.6%と特に高く、これに「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が22.8%で続いている。

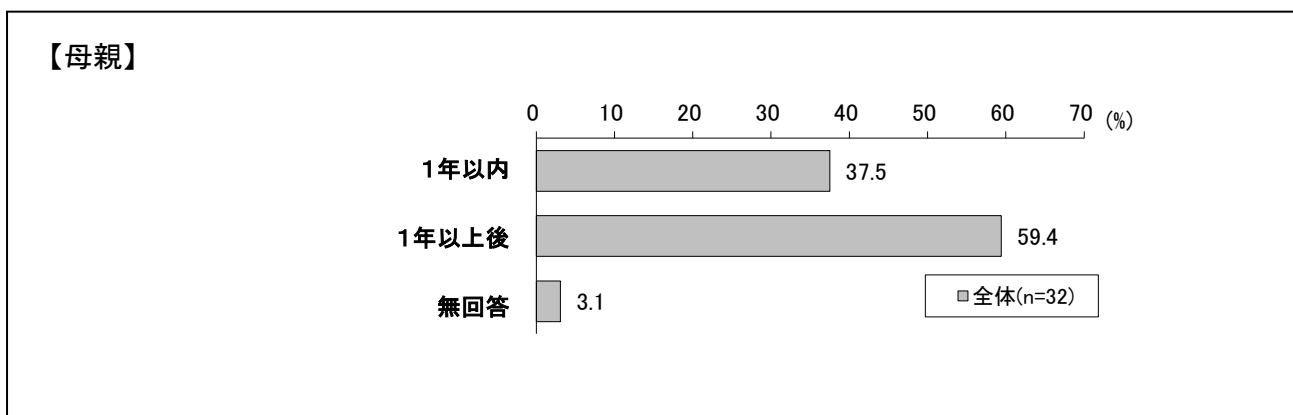
父親は、4人のうち、2人が「パート・アルバイト等の就労を続けたい」、1人が「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」と回答し、無回答が1人となっている。



②フルタイムへの転換の見込み

「フルタイムへの転換見込みがある」と回答した母親の転換見込み時期は、「1年以上後」が59.4%、「1年以内」が37.5%となっている。

父親は、回答者がいなかった。



第2章 調査結果

(5) 就労希望

問7の母親または父親で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」を選択した方にうかがいます。

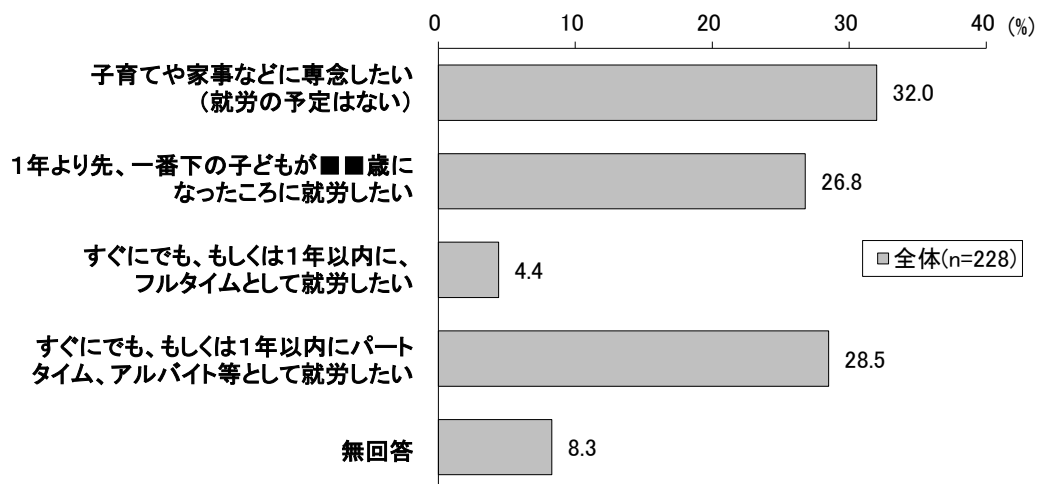
問9 就労したいという希望はありますか。該当する場合は、父母それぞれ回答欄に該当する番号を1つ記入し、該当する口内には数字をご記入ください。

①就労希望

現在就労していない母親の就労希望をみると、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が32.0%、「すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい」が28.5%、「1年より先、一番下の子どもが■■歳になったところに就労したい」が26.8%でいずれも3割前後と拮抗している。

現在就労していない父親は、6人のうち3人が「すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい」、1人が「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」と回答し、無回答が2人となっている。

【母親】



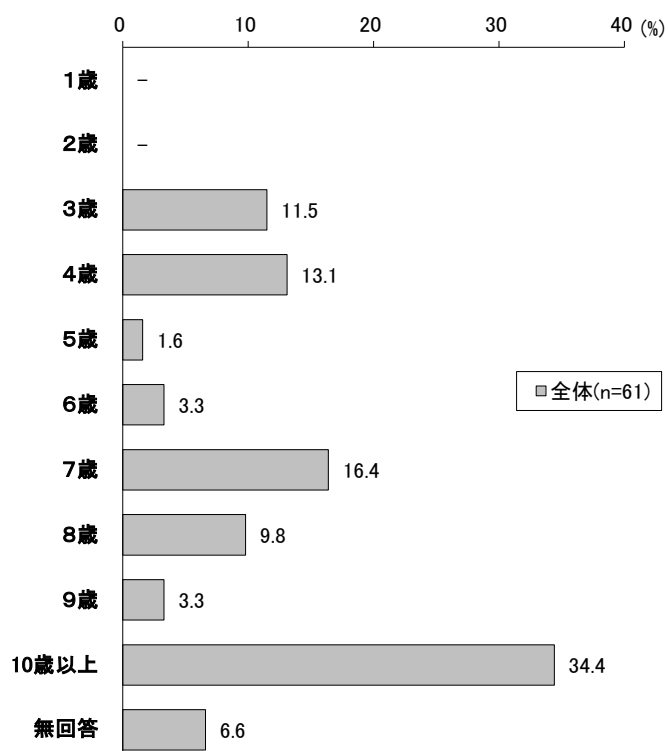
【父親】

父親は、回答者が6人のため、グラフを掲載していない。

②一番下の子どもが何歳になったら就労したいか

母親の就労意向は、一番下の子どもの年齢が「10歳以上」が34.4%で最も高くなっている。
父親の回答はなかった。

【母親】



第2章 調査結果

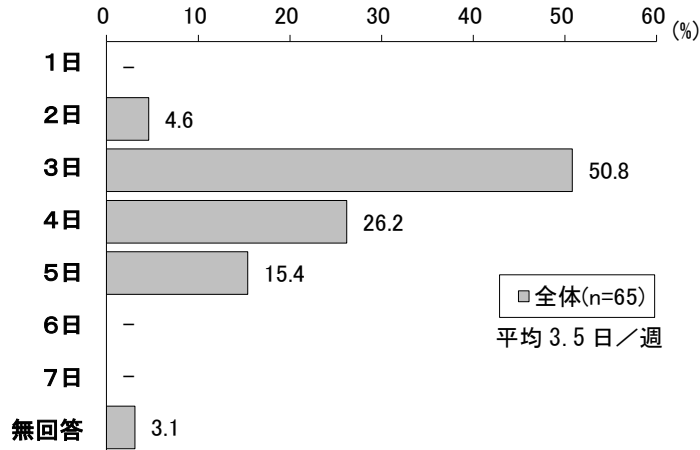
③すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい方の希望する就労日数及び時間

母親の希望する1週当たりの就労日数は、「3日」が50.8%で最も高く、平均3.5日/週となっている。また、母親の希望する1日当たりの就労時間は、「5時間」が53.8%で最も高く、平均5.5時間/日となっている。

父親の回答はなかった。

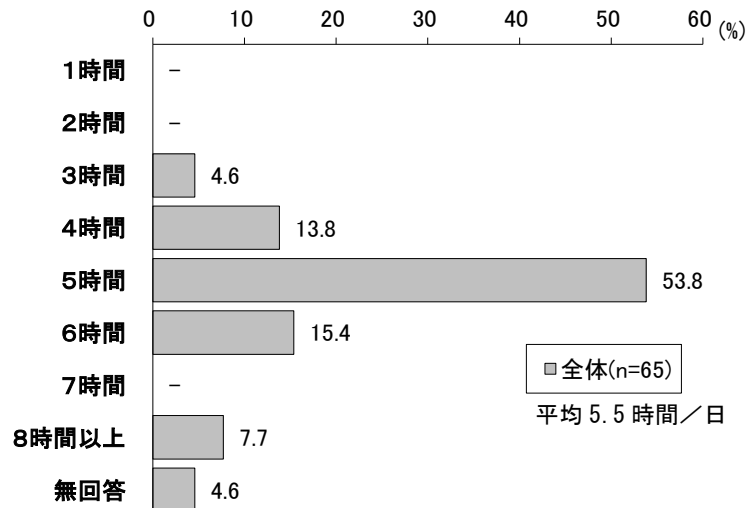
<就労日数>

【母親】



<就労時間>

【母親】



④就労希望があるのに就労していない理由

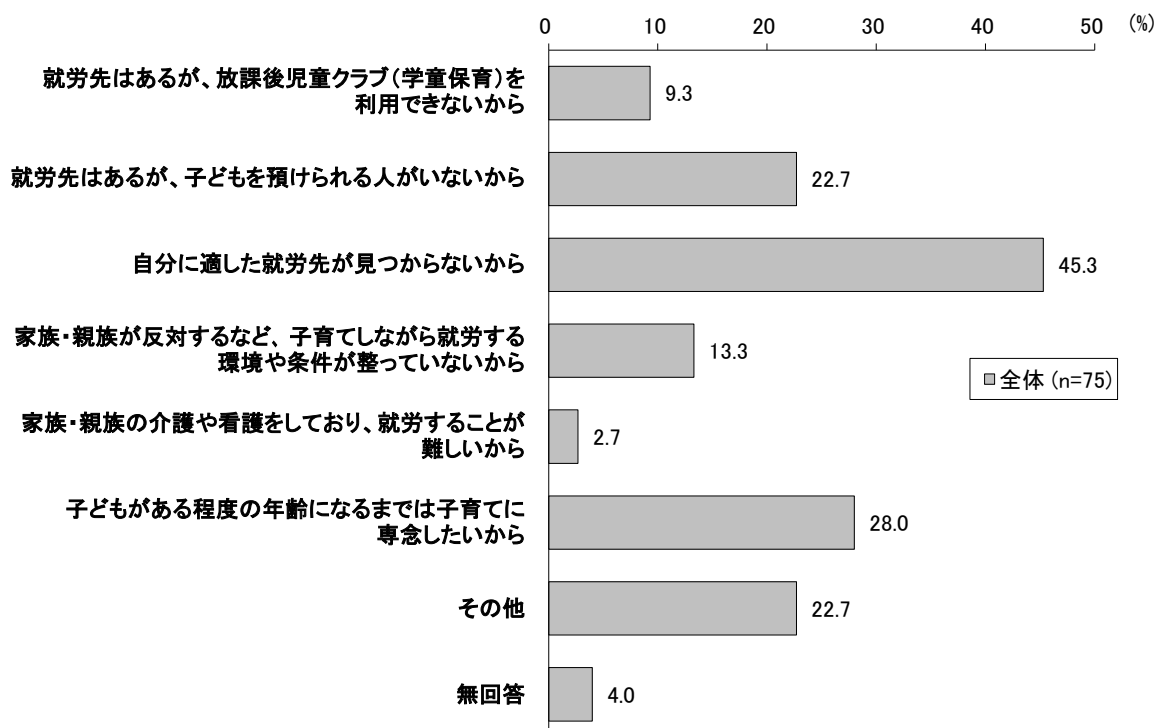
問9の母親または父親で、「3. 4. (すぐにでも就労したい)」を選択した方にうかがいます。

問9-1 就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。(回答欄に、父母それぞれ当てはまるものすべてに○)

母親の就労希望があるのに働いていない理由は、「自分に適した就労先が見つからないから」が45.3%で最も高く、これに「子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したいから」が28.0%、「就労先はあるが、子どもを預けられる人がいないから」が22.7%で続いている。その他の理由としては、子どもが病気の時などに不安があるため、体力面の不安・病気療養中のため、PTA・ボランティア・サークル・学業など他の活動が忙しいためなどの回答があった。

父親の就労希望があるのに働いていない理由は、3人のうち2人が「自分に適した就労先が見つからないから」、1人が「その他」と回答している。

【母親】



【父親】

父親は回答者が3人のため、グラフを掲載していない。

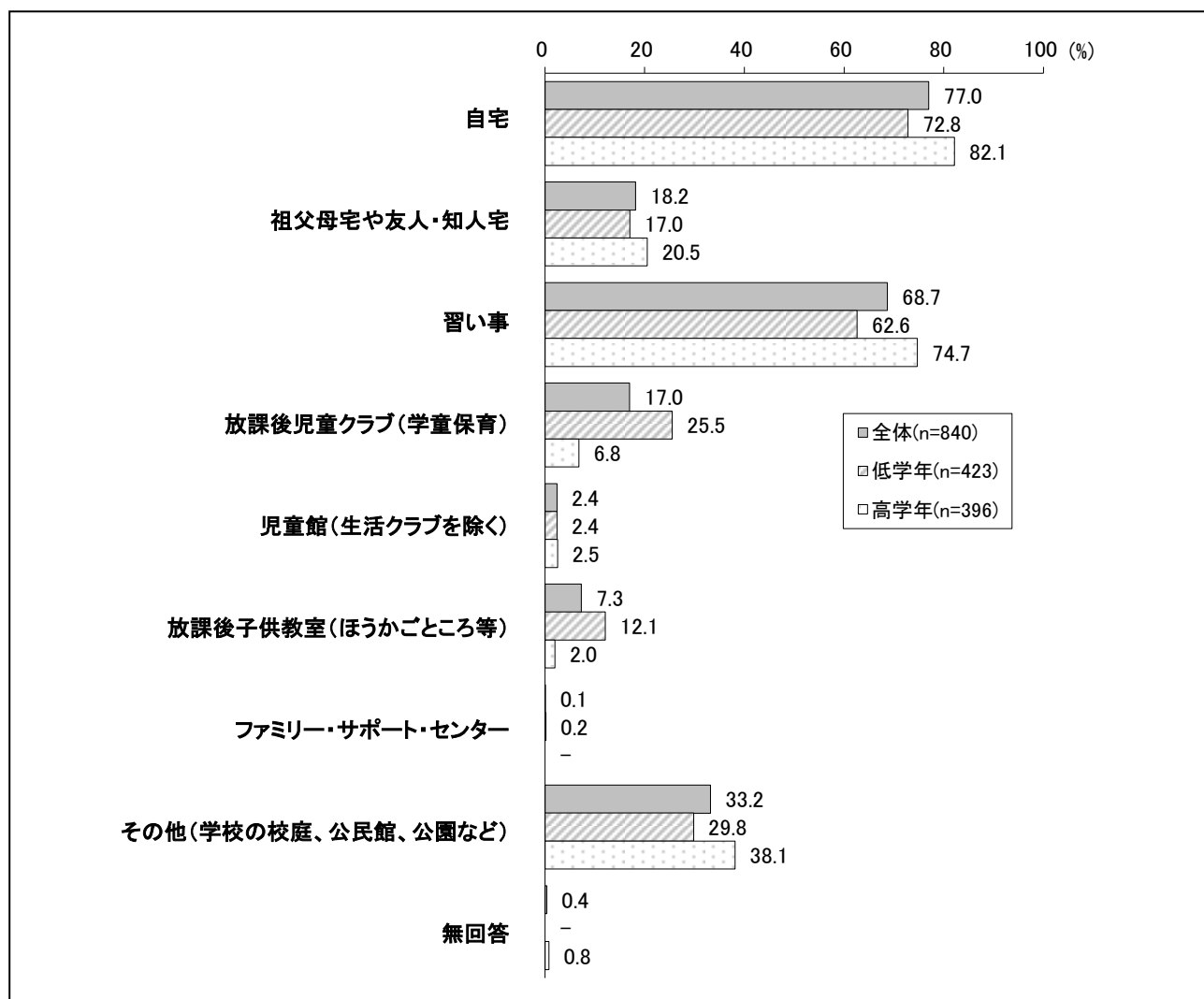
3. 放課後や土日の過ごし方

(1) 現在の放課後の過ごし方

問10 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。「放課後児童クラブ」の場合には利用している（希望する）時間も24時間制で口内に数字でご記入ください。

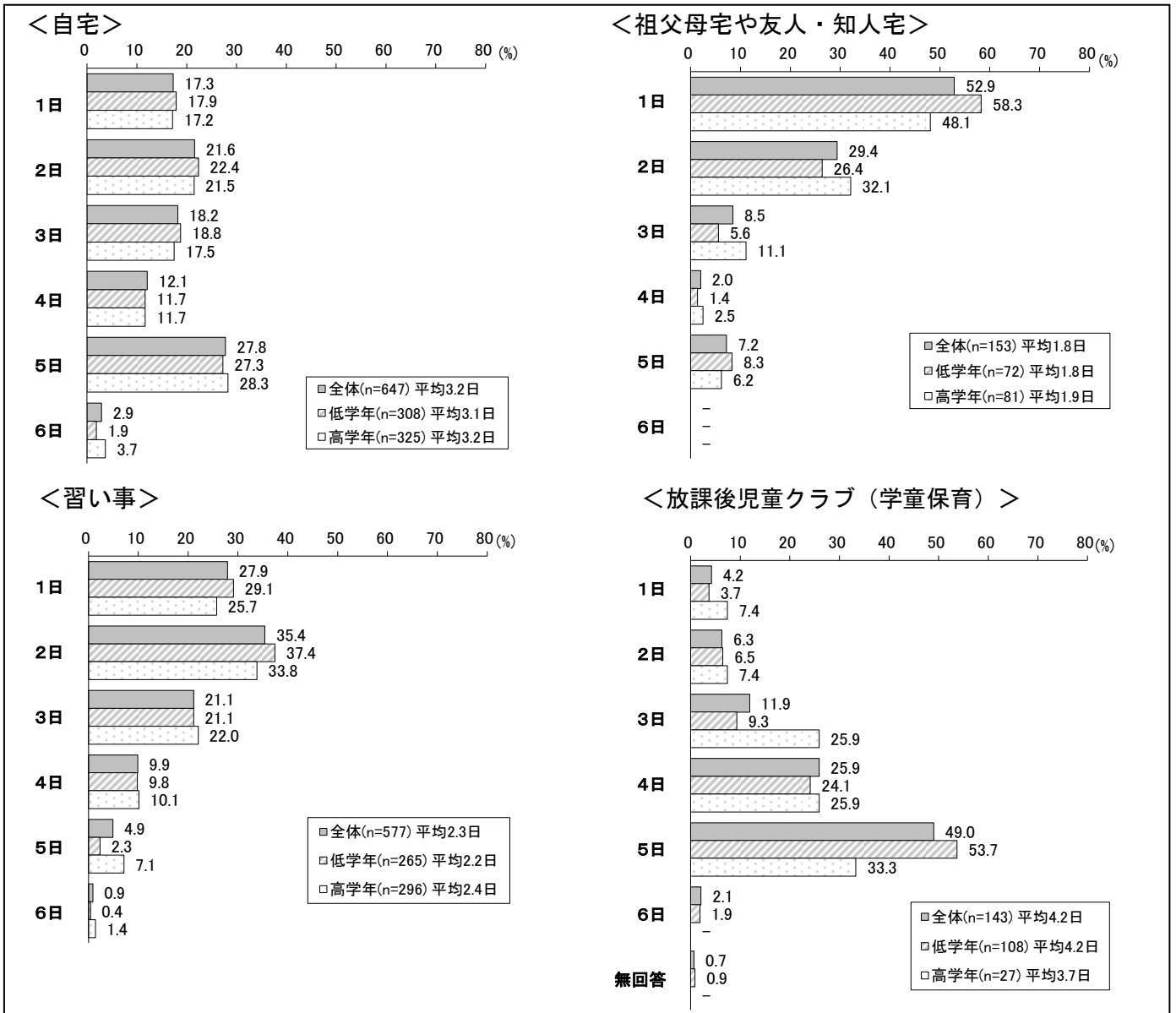
① 過ごしている場所

子どもの放課後の過ごし方は、「自宅」が77.0%で最も高く、次いで「習い事」が68.7%となっている。



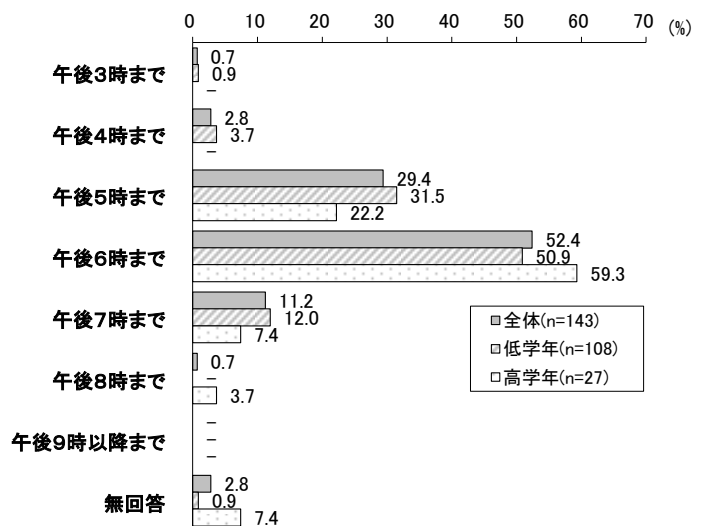
②過ごしている日数

過ごしている主な場所の1週当たりの平均日数をみると、「放課後児童クラブ(学童保育)」が4.2日、「自宅」が3.2日、「習い事」が2.3日、「祖父母宅や友人・知人宅」が1.8日となっている。



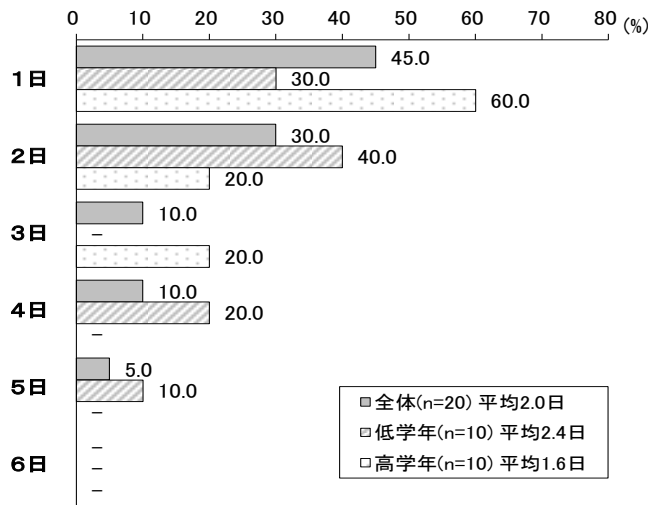
◆放課後児童クラブ(学童保育) 利用時間

「放課後児童クラブ(学童保育)」で過ごしている時間は、「午後6時まで」が52.4%と特に高くなっている。

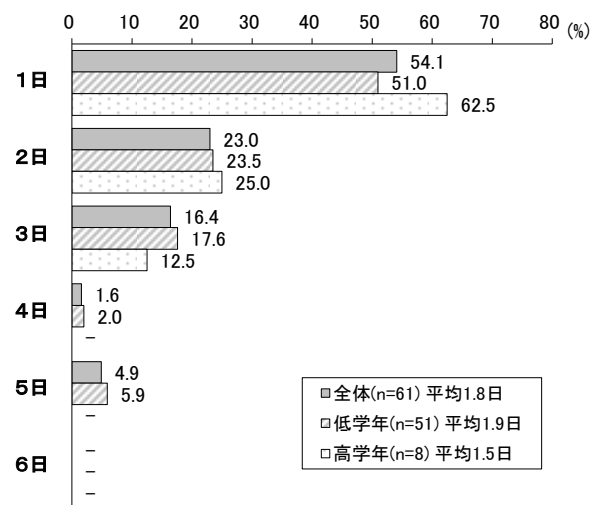


第2章 調査結果

<児童館（生活クラブを除く）>



<放課後子供教室（ほうかごところ等）>

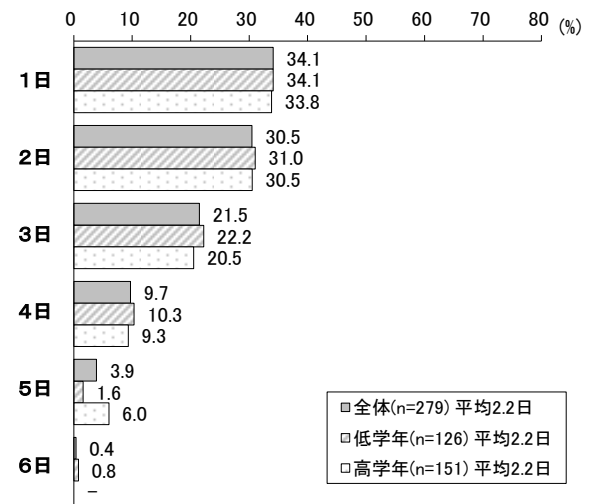


<ファミリー・サポート・センター>

低学年の回答者1名の回答は、「2日」となっている。

高学年では、回答がなかった。

<その他（学校の校庭、公民館、公園など）>

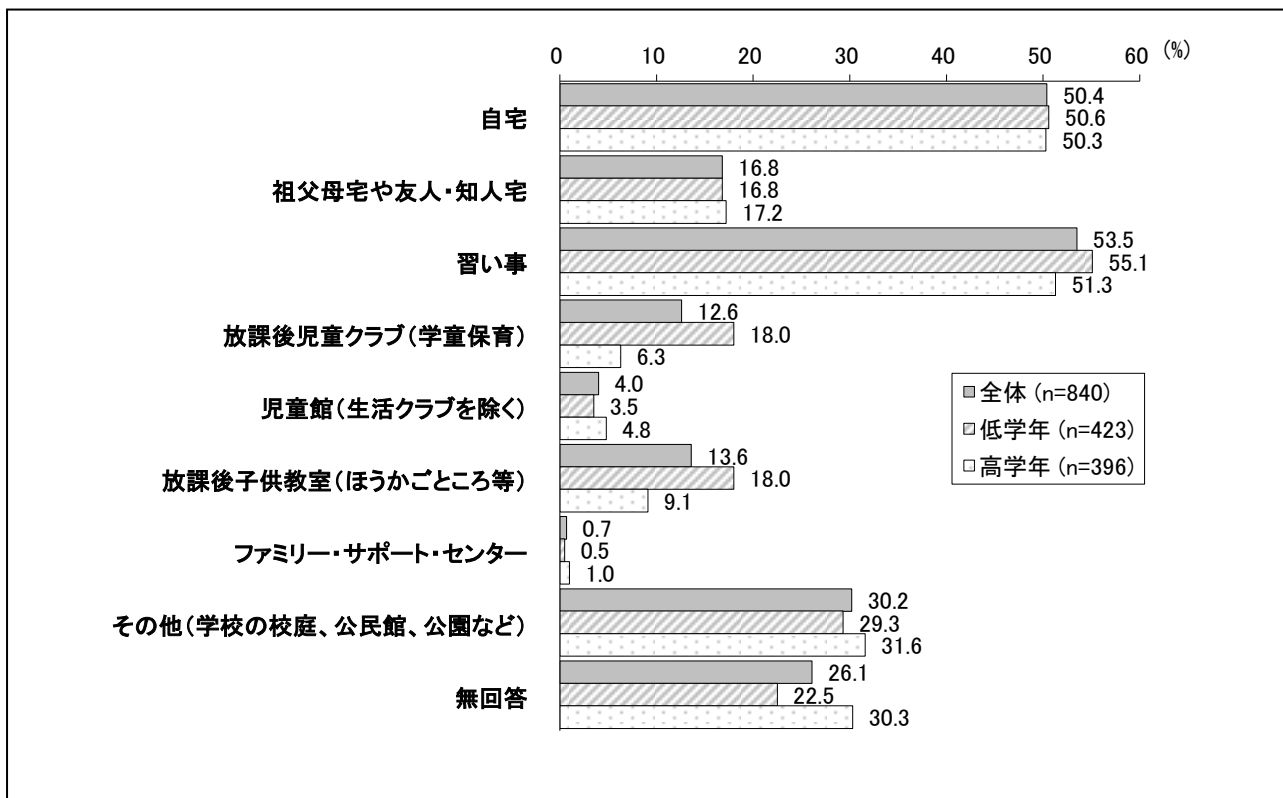


(2) 希望する放課後の過ごし方

問10 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。「放課後児童クラブ」の場合には利用している（希望する）時間も24時間制で口内に数字でご記入ください。

① 過ごさせたい場所

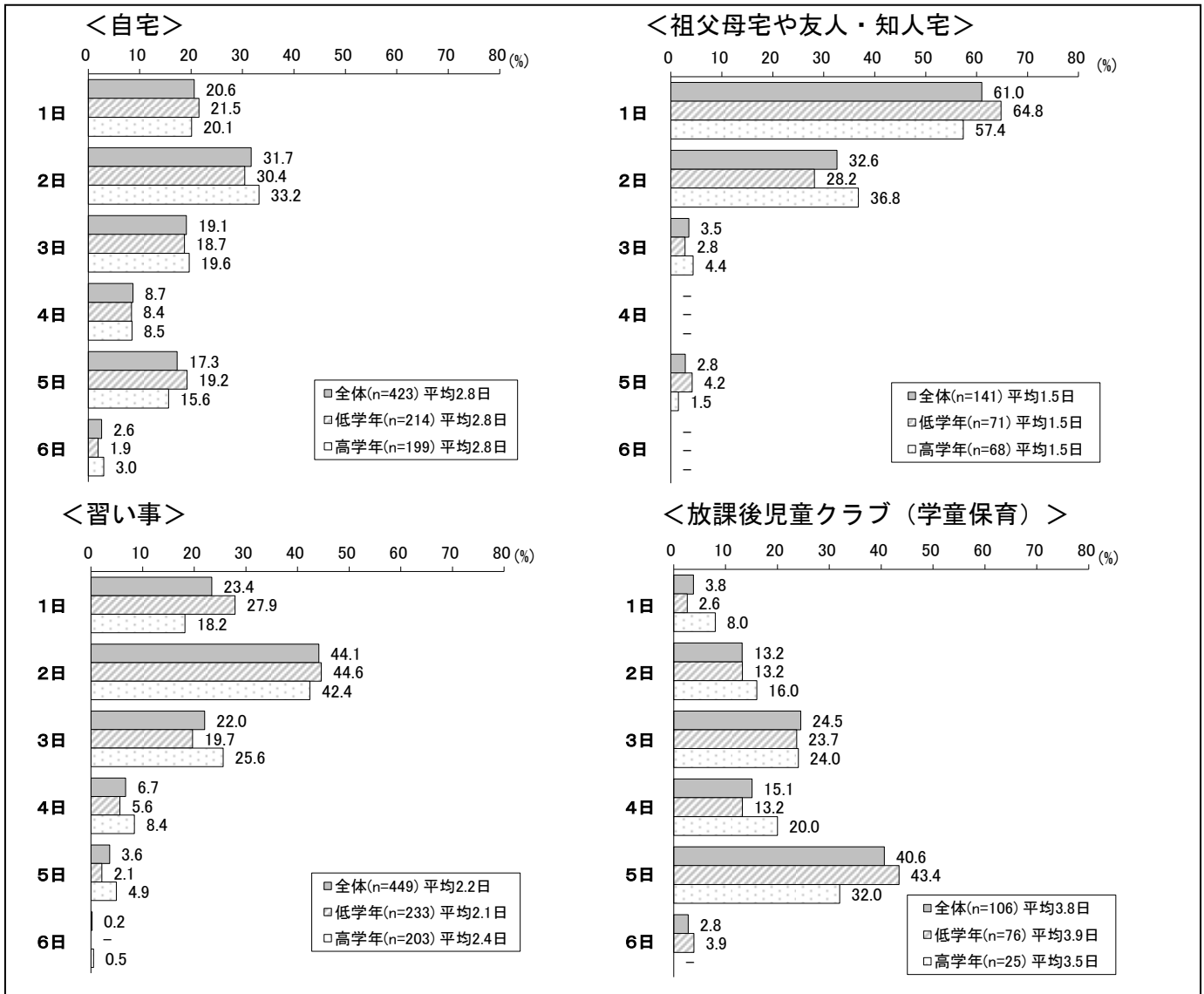
子どもに放課後過ごさせたい場所は、「習い事」が53.5%、「自宅」が50.4%と高くなっている。



第2章 調査結果

②過ごさせたい日数・放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望時間

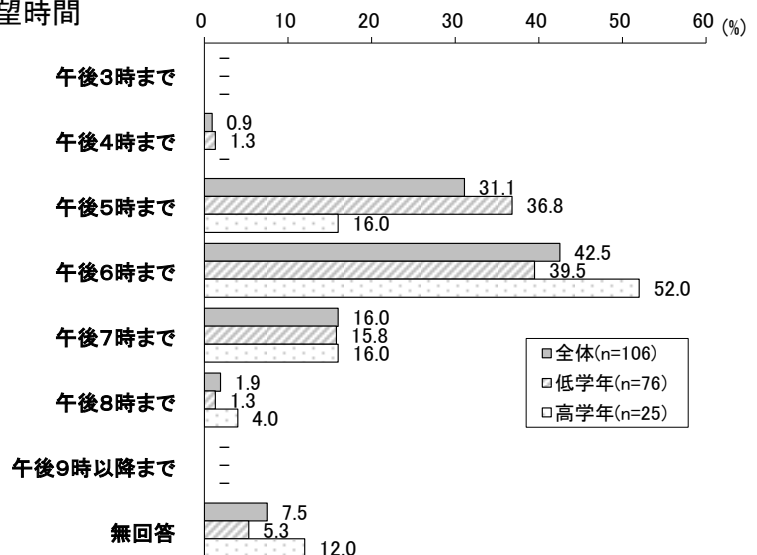
過ごさせたい主な場所の1週当たりの平均日数をみると、「放課後児童クラブ(学童保育)」が3.8日、「自宅」が2.8日、「習い事」が2.2日、「祖父母宅や友人・知人宅」が1.5日となっている。



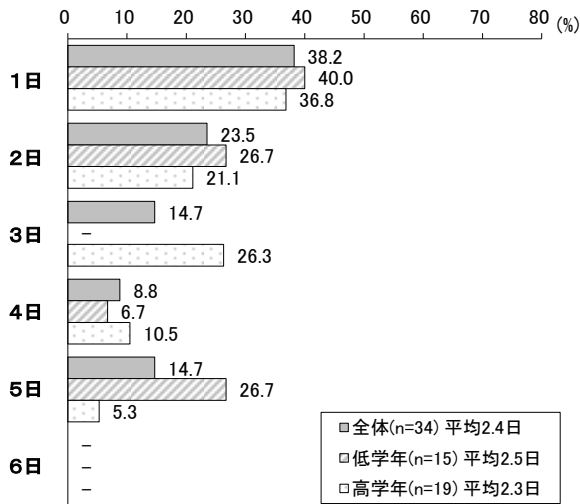
◆放課後児童クラブ(学童保育)利用希望時間

「放課後児童クラブ(学童保育)」で過ごさせたいと思う人の利用希望時間は、低学年では「午後6時まで」が39.5%と最も高く、次いで「午後5時まで」が36.8%となっている。

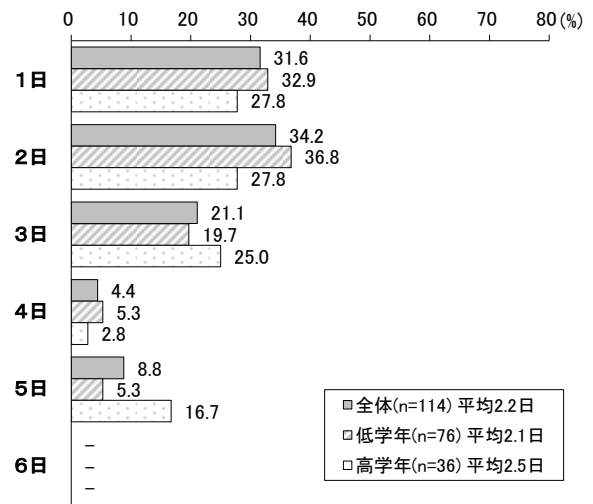
高学年では「午後6時まで」が52.0%と最も高くなっている。



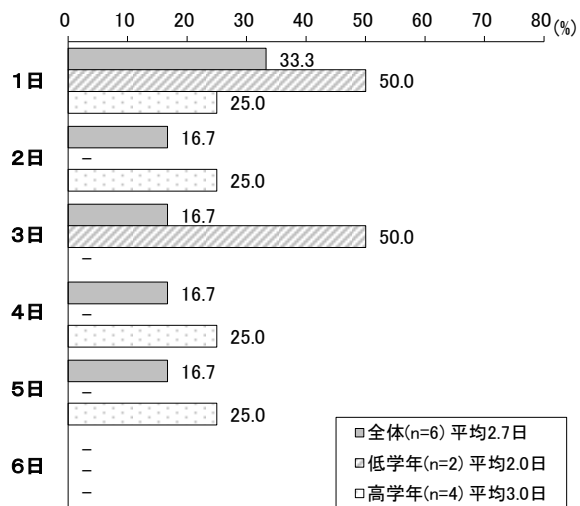
<児童館（生活クラブを除く）>



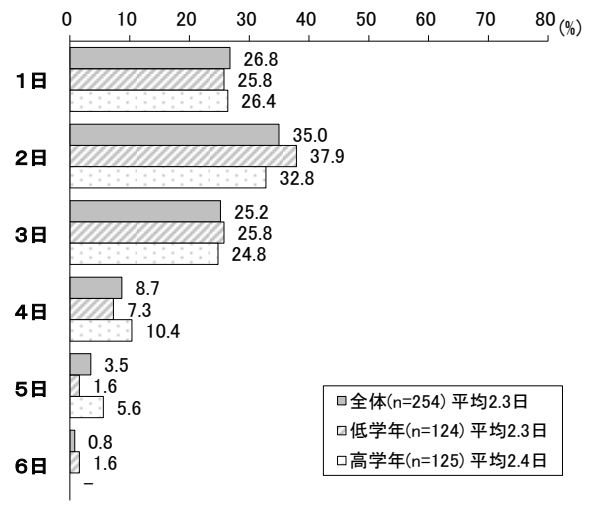
<放課後子供教室（ほうかごところ等）>



<ファミリー・サポート・センター>



<その他（学校の校庭、公民館、公園など）>



第2章 調査結果

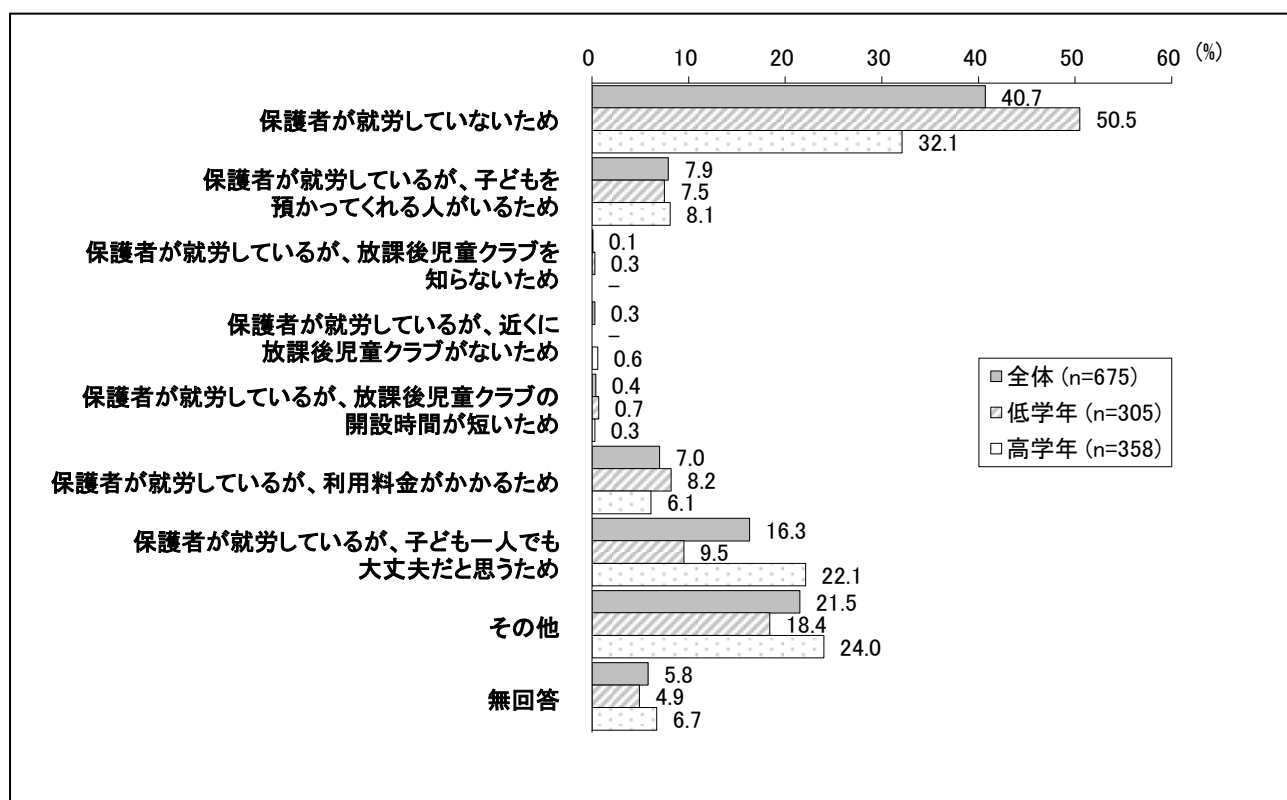
(3) 「放課後児童クラブ(学童保育)」を利用していない(希望しない)理由

問10で、「4. 放課後児童クラブ(学童保育)」を利用していない方と希望しない方にうかがいます。

問10-1 利用していない(希望しない)理由についてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

「放課後児童クラブ(学童保育)」を利用していない理由は、「保護者が就労していないため」が40.7%と特に高い。

また、「その他」の具体的な回答としては、「子どもをみる人がいるため」、「子どもが行きたがらないため」、「ほうかごところを使っているため」などがあつた。



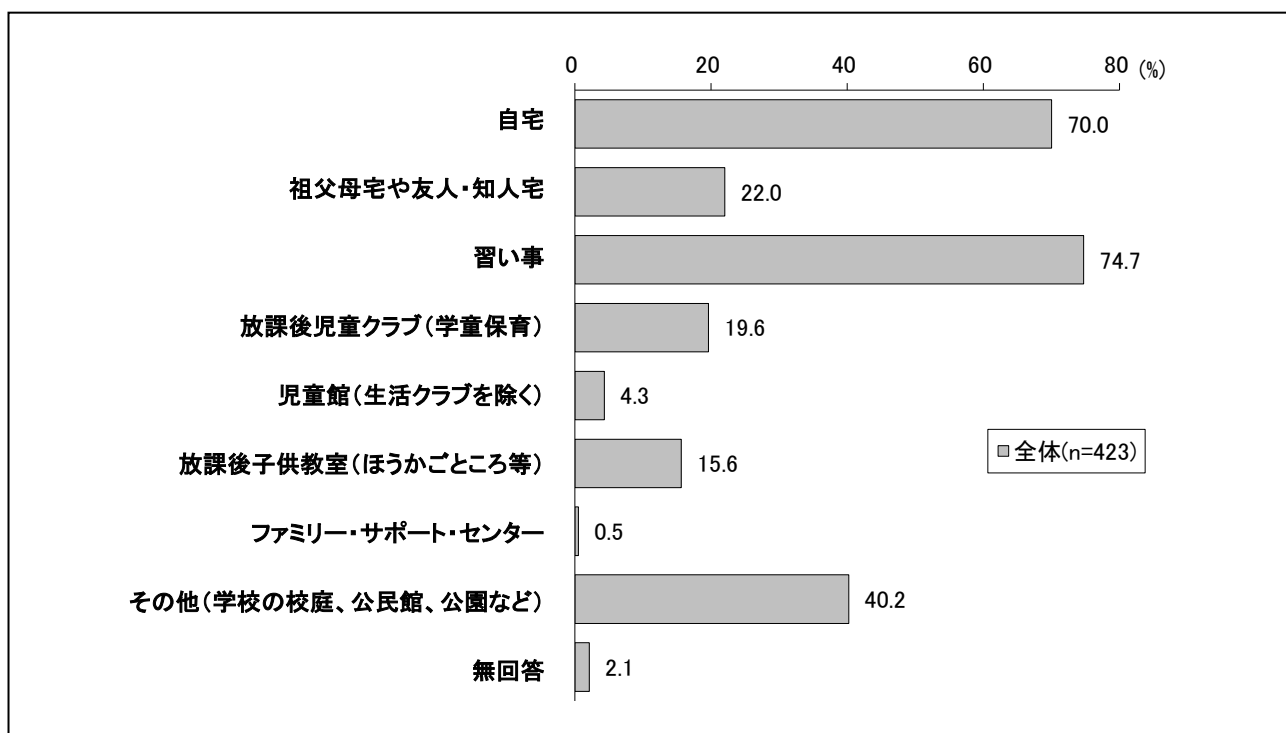
(4) 低学年の子どもが高学年になったときに希望する放課後の過ごし方

宛名のお子さんが小学校低学年(1～3年生)の方にうかがいます。

問11 今後、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。「放課後児童クラブ(学童保育)」の場合には利用を希望する時間も24時間制で口内に数字でご記入ください。

① 過ごさせたい場所

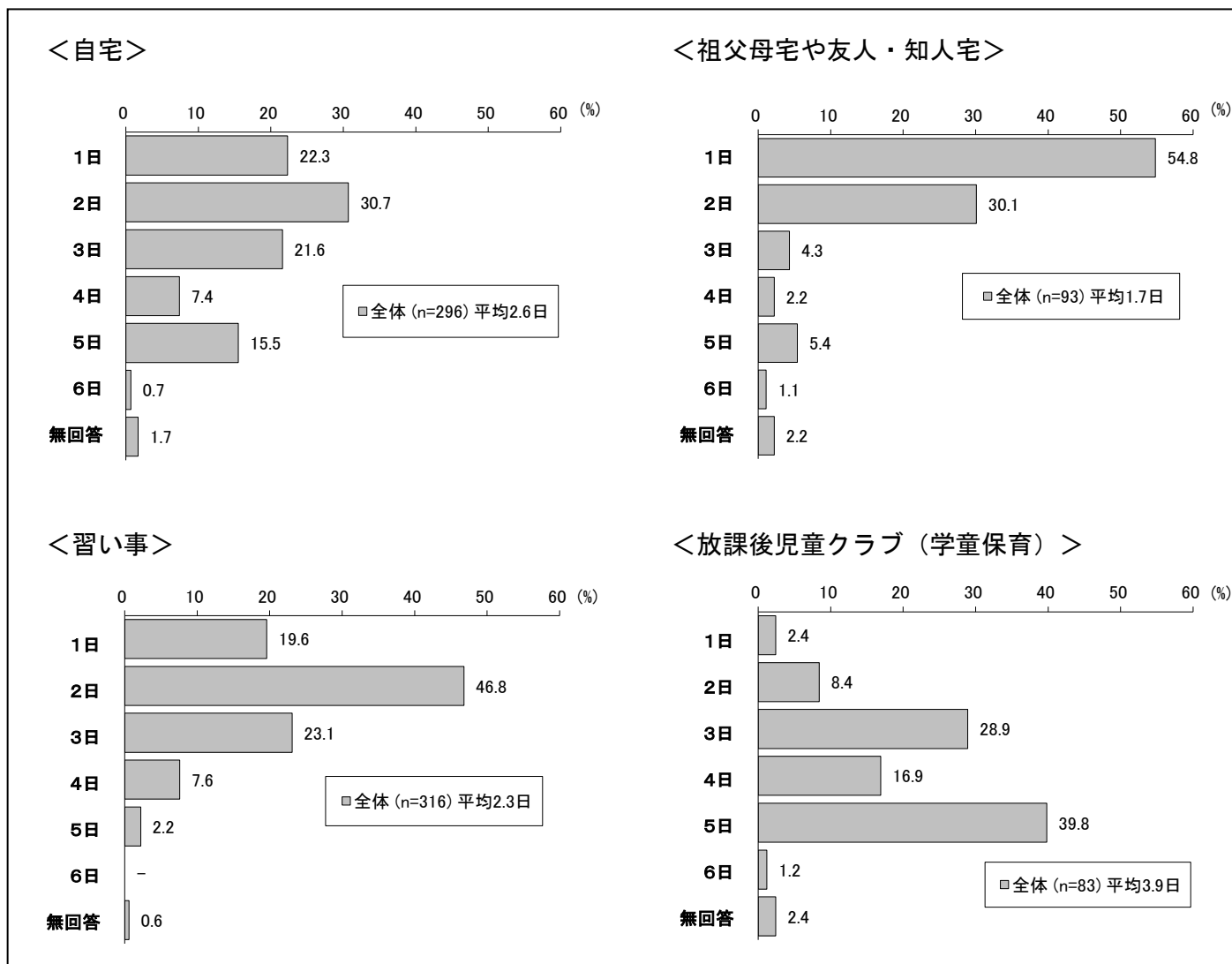
子どもが高学年になったら過ごさせたい場所は、「習い事」が74.7%、「自宅」が70.0%と特に高い。



第2章 調査結果

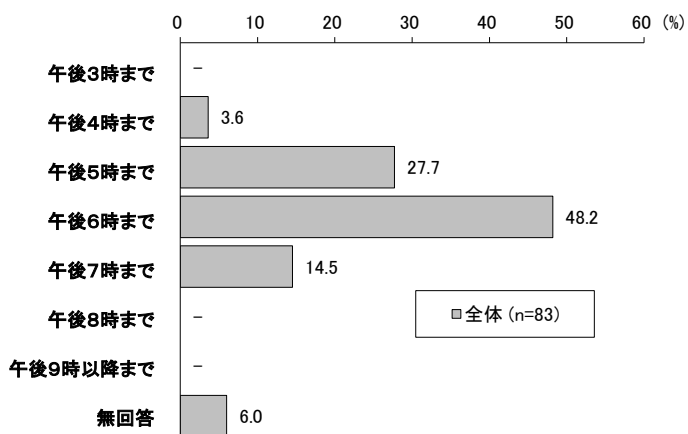
②過ごさせたい日数・放課後児童クラブ（学童保育）の利用希望時間

過ごさせたい主な場所の1週当たりの平均希望日数をみると、「放課後児童クラブ(学童保育)」が3.9日、「自宅」が2.6日、「習い事」が2.3日、「放課後子供教室」が2.3日、「祖父母宅や友人・知人宅」が1.7日などとなっている。

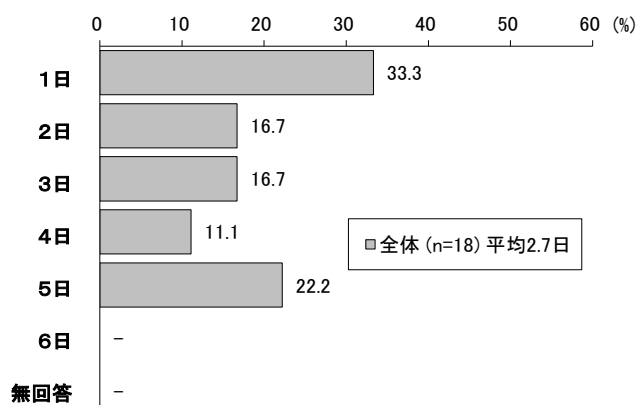


◆放課後児童クラブ(学童保育)利用希望時間

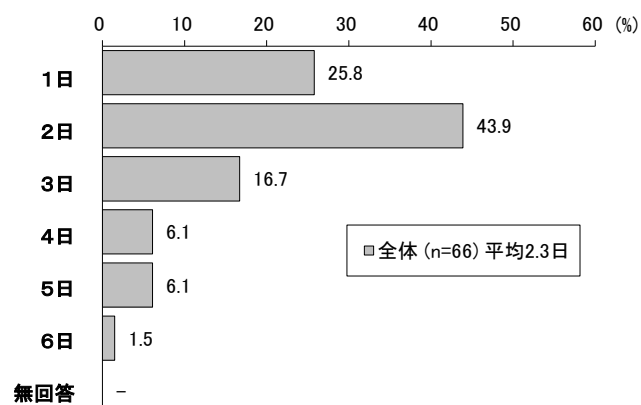
「放課後児童クラブ(学童保育)」で過ごさせたいと思う人の利用希望時間は、「午後6時まで」が48.2%と最も高く、次いで「午後5時まで」が27.7%となっている。



<児童館（生活クラブを除く）>



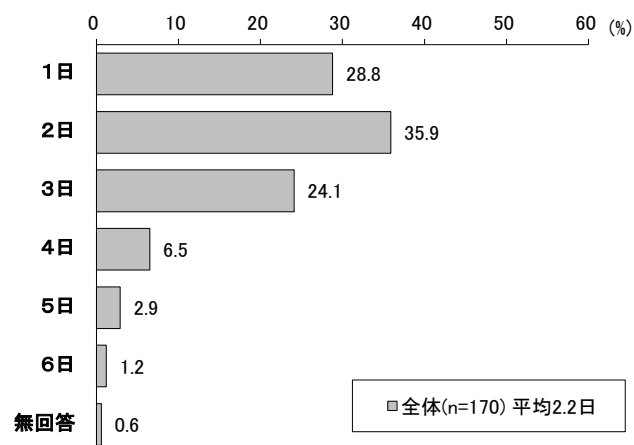
<放課後子供教室（ほうかごところ等）>



<ファミリー・サポート・センター>

2名の回答は、「3日」、「5日」となっている。

<その他（学校の校庭、公民館、公園など）>



第2章 調査結果

(5) 土曜日、日曜日・祝日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望

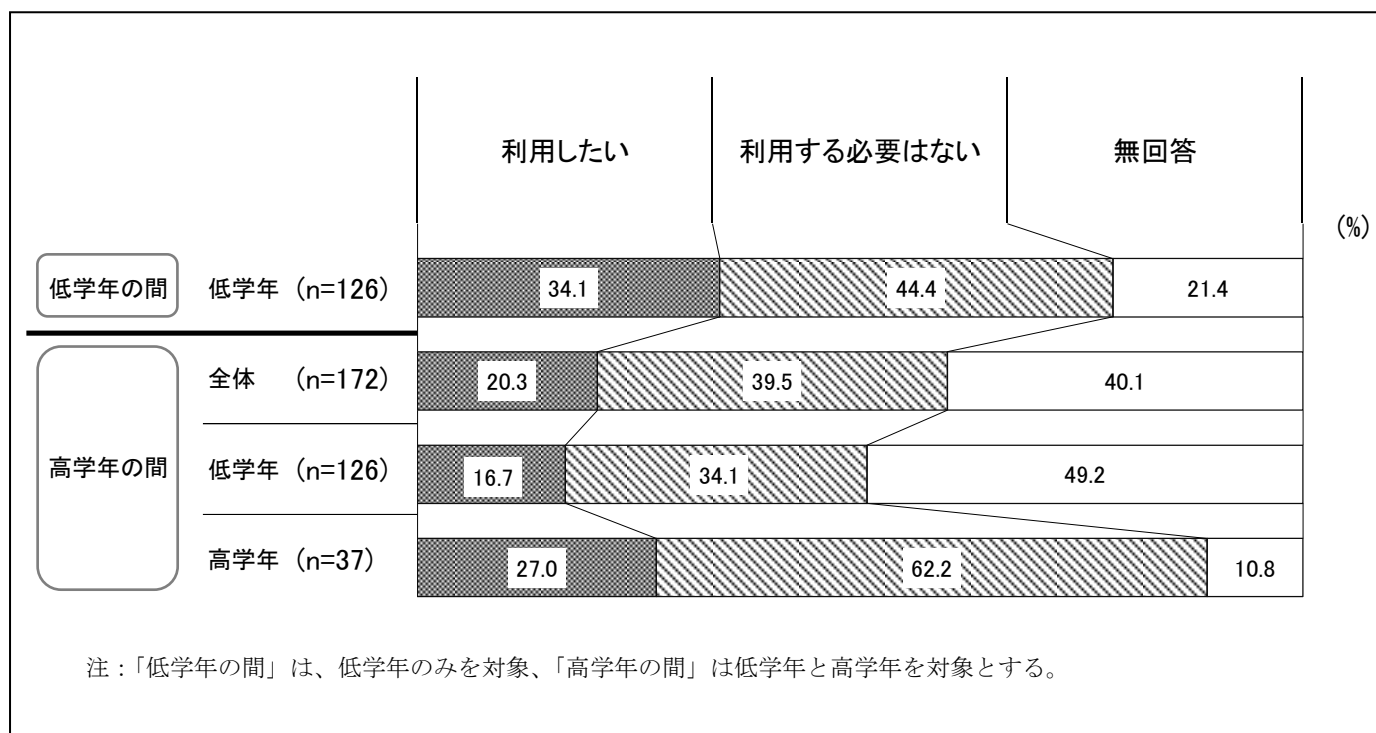
問10または問11で、「4. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

問12 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。低学年・高学年それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。1または3に○をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

■利用意向

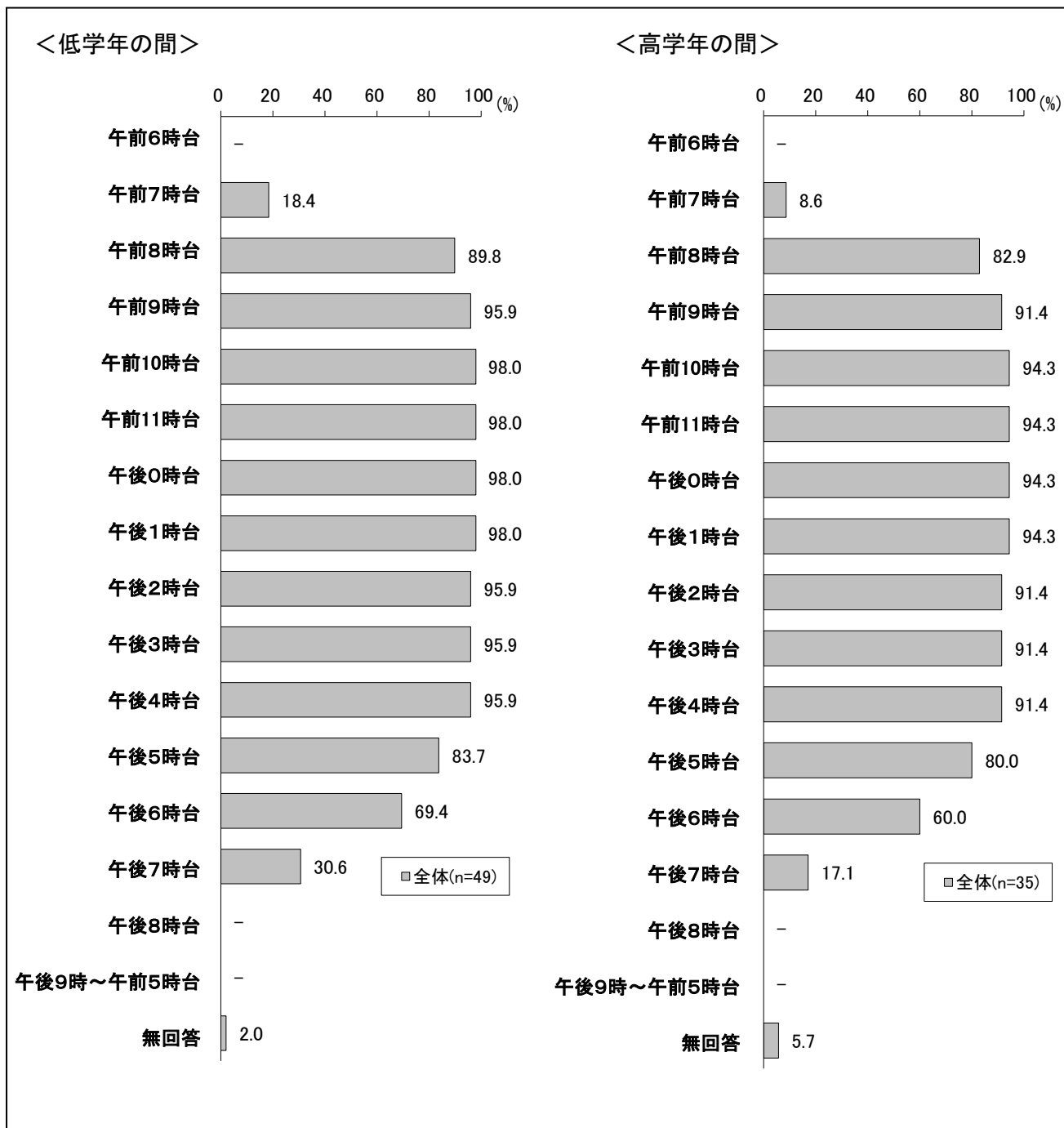
「放課後児童クラブ(学童保育)」利用意向者における土曜日、日曜日・祝日の利用希望について、低学年の間は「利用する必要はない」が44.4%、「利用したい」が34.1%となっている。

高学年の間は、「利用する必要はない」が39.5%、「利用したい」が20.3%となっている。



■土曜日の希望利用時間帯

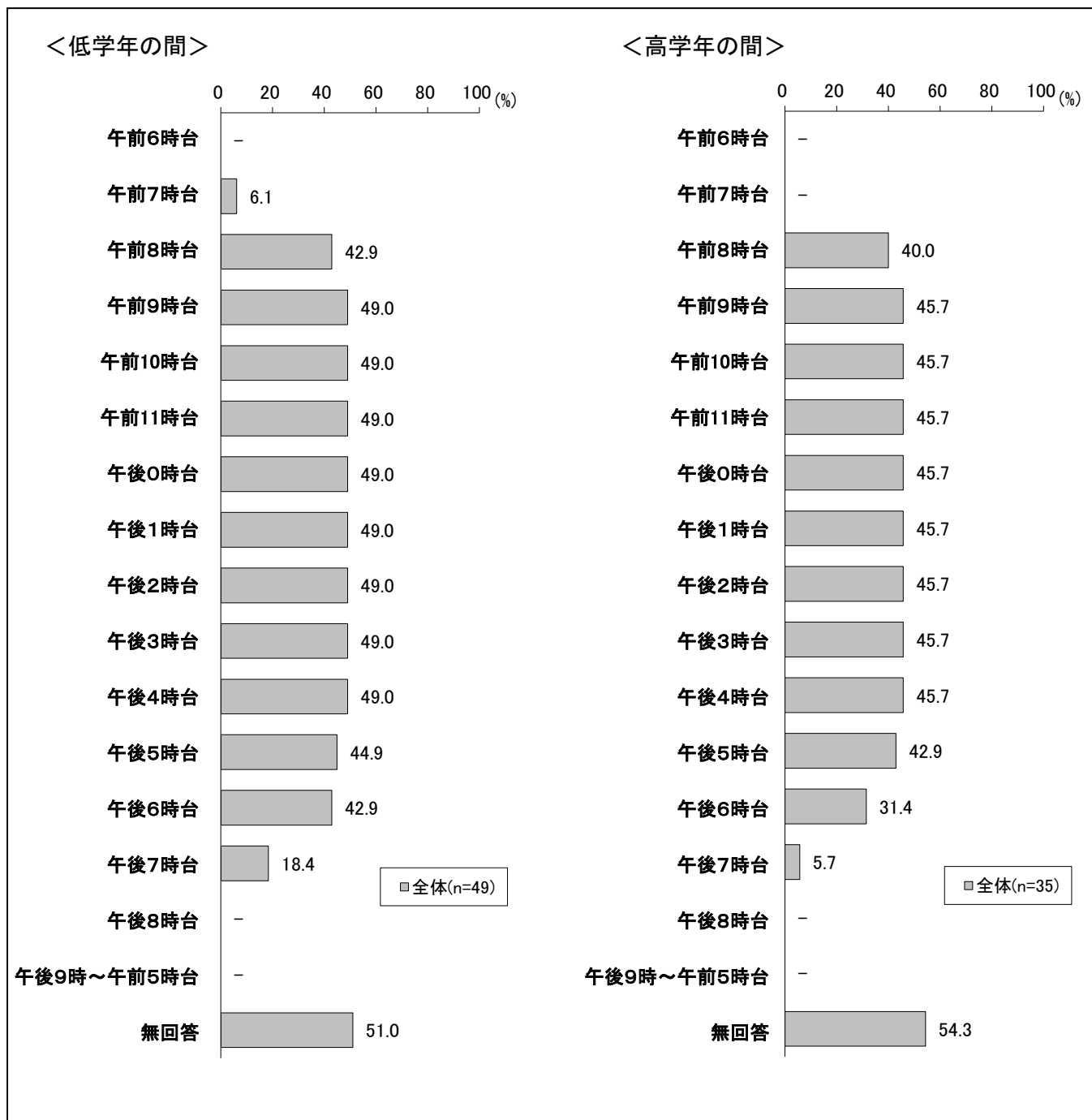
土曜日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間帯は、低学年の間は「午前9時台」から「午後4時台」までが95%を超えている。また、高学年の間は「午前9時台」から「午後4時台」までが90%を超えている。



第2章 調査結果

■日曜日・祝日の希望利用時間帯

日曜日・祝日の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用については、低学年の間と高学年の間とも無回答が50%を超えており、土曜日と比べると利用希望は少なくなっている。利用を希望する場合の時間帯は、低学年の間は「午前8時台」から「午後6時台」までが40%を超えている。また、高学年の間は「午前8時台」から「午後5時台」までが40%を超えている。



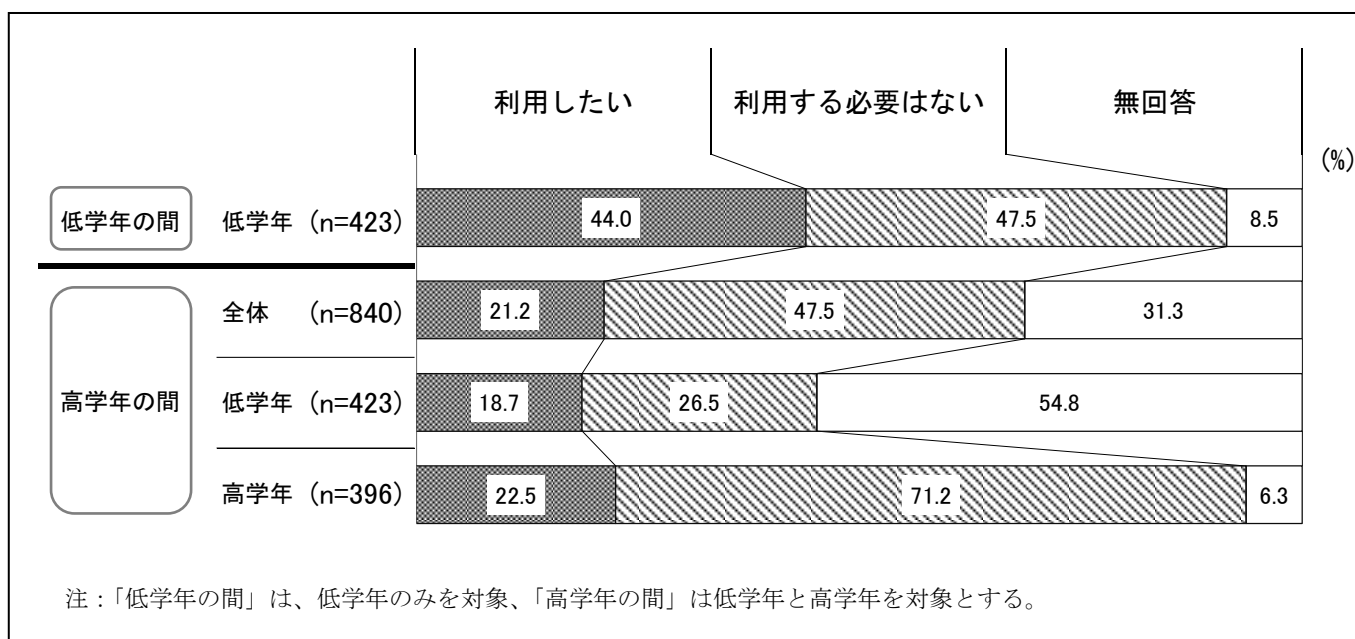
(6) 長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用希望

問13 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。低学年・高学年それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。1または3に○印をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

■利用希望

「放課後児童クラブ（学童保育）」利用意向者における長期休暇期間中の利用希望について、低学年の間は「利用する必要はない」が47.5%、「利用したい」が44.0%となっている。

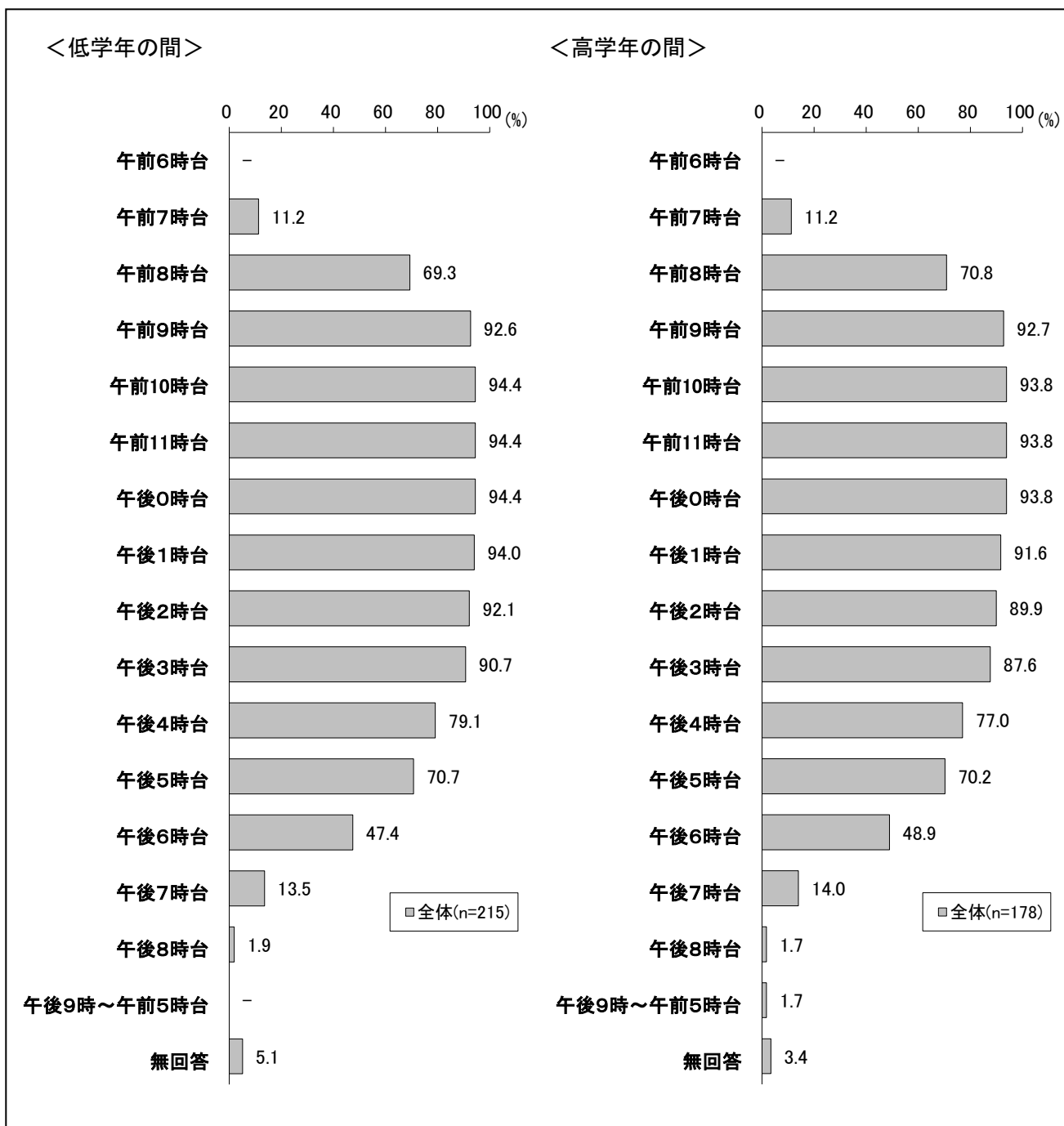
高学年の間は「利用する必要はない」が47.5%、「利用したい」が21.2%となっている。



第2章 調査結果

■希望利用時間帯

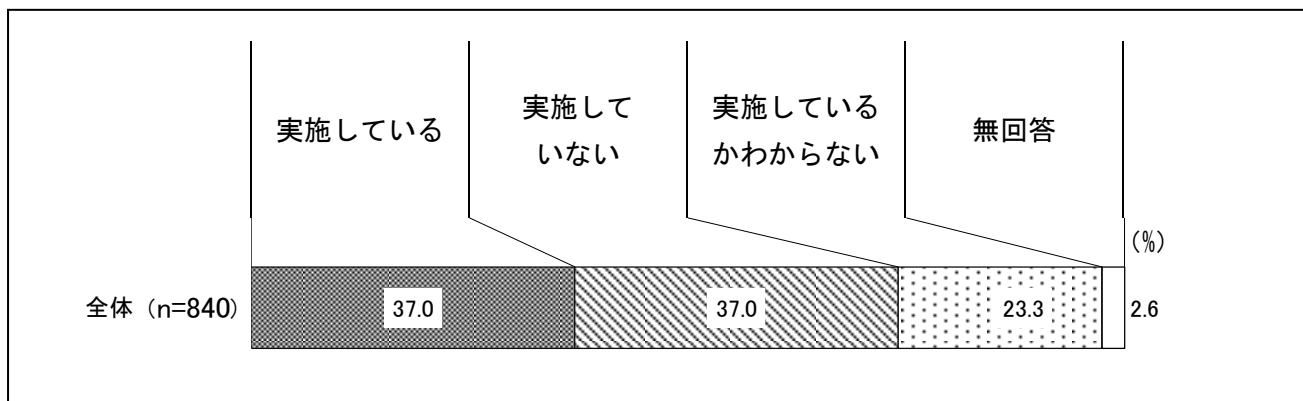
長期休暇中の「放課後児童クラブ（学童保育）」の利用を希望する時間帯は、低学年と高学年ともに「午前9時台」から「午後3時台」までが概ね90%と高くなっている。



(7) 子どもが通っている小学校の「ほうかごところ等」の実施状況

問14 宛名のお子さんが通っている小学校では、「ほうかごところ等」を実施していますか。(〇は1つ)

子どもが通う小学校の「ほうかごところ等」の実施状況は、「実施している」「実施していない」が各37.0%、「実施しているかわからない」が23.3%となっている。



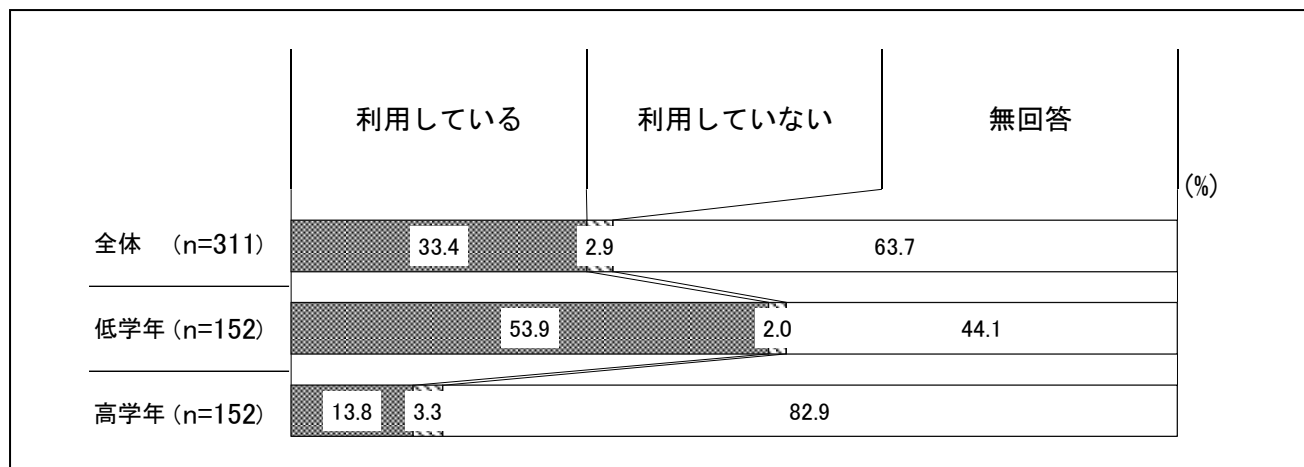
(8) 「ほうかごところ等」の利用状況

問14で、「1.実施している」と答えた方にうかがいます。

問14-1 「ほうかごところ等」を利用していますか。月～金曜日、土曜日、長期休業日の別に当てはまる番号を1つずつ回答欄の口内にご記入ください。利用している場合は、利用している日数や時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

①月曜日から金曜日の利用状況

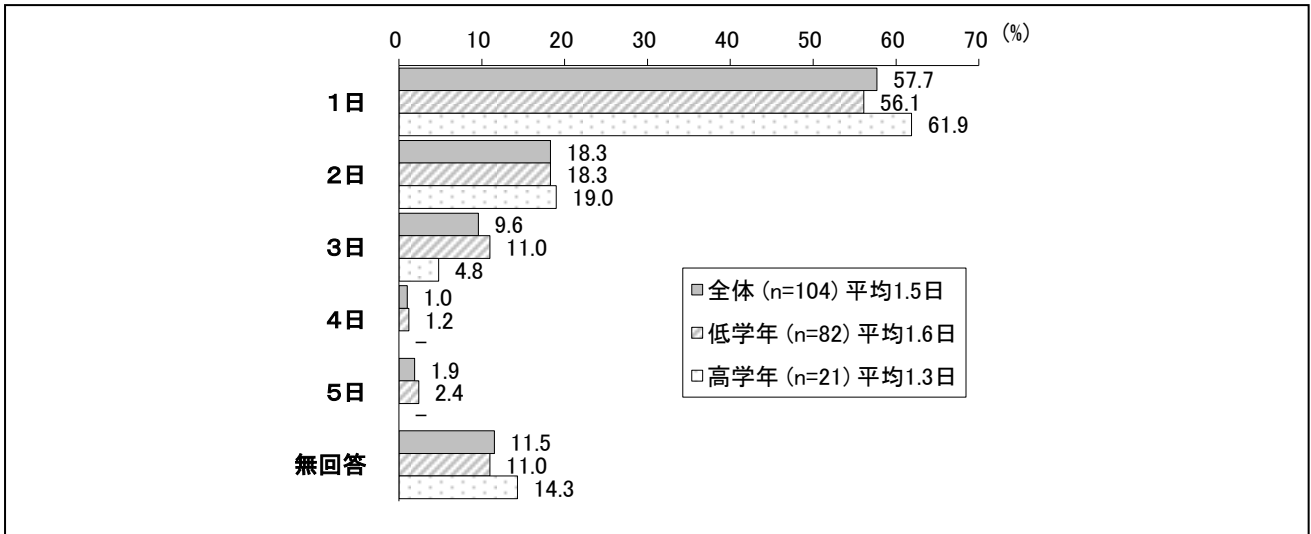
「ほうかごところ等」を実施している小学校に通う人の「ほうかごところ等」の月曜日から金曜日の利用状況は、「利用している」が33.4%となっている。



第2章 調査結果

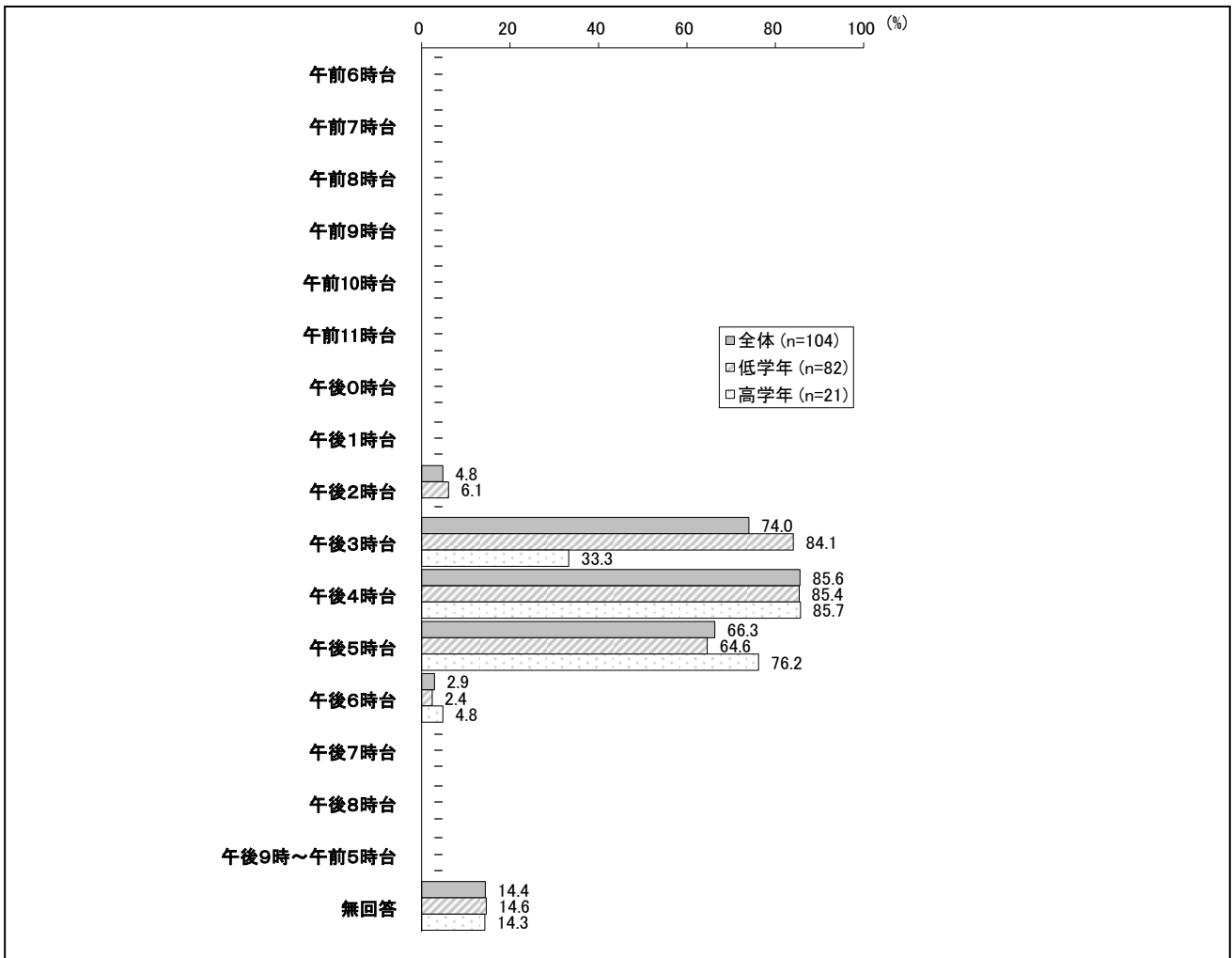
■利用日数

月曜日から金曜日の利用日数は、「1日」が57.7%で最も高く、平均1.5日となっている。



■利用時間帯

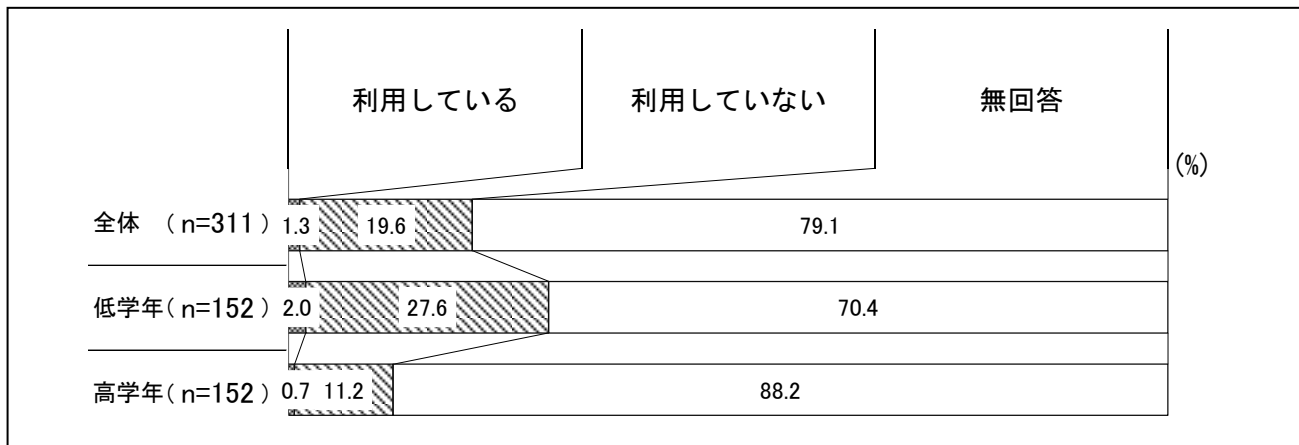
月曜日から金曜日の利用時間帯は、「午後3時台」から「午後5時台」が最も高くなっている。



②土曜日の利用状況

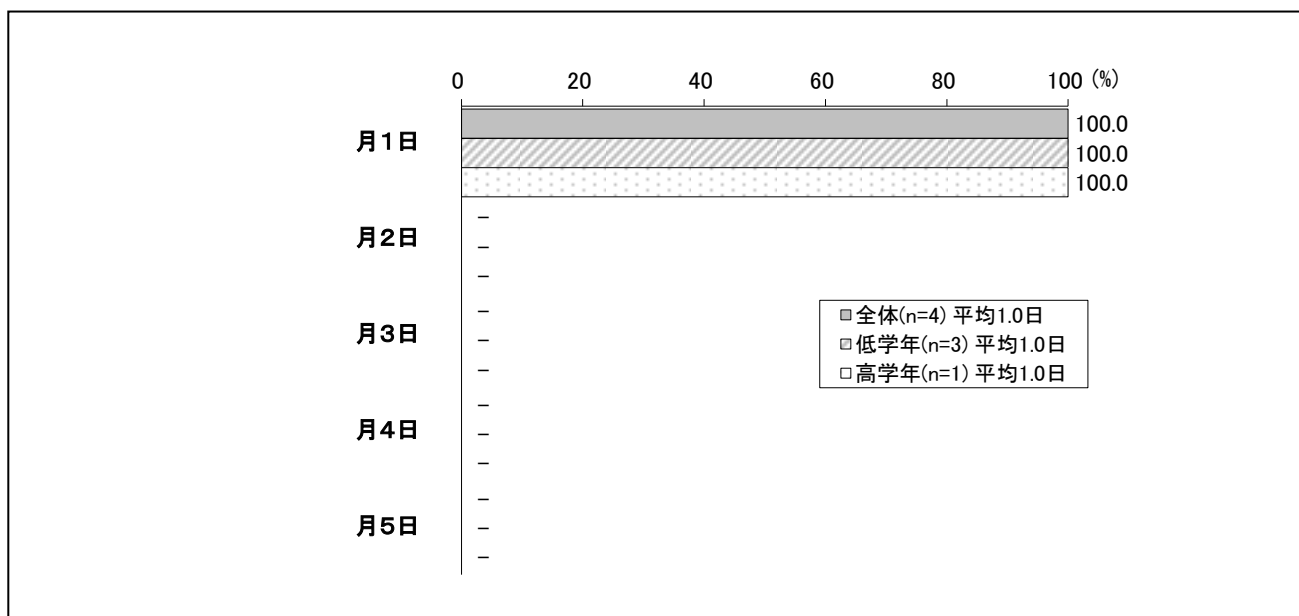
■利用状況

「ほうかごところ等」を実施している小学校に通う人の「ほうかごところ等」の土曜日の利用状況は、「利用している」が1.3%となっている。



■利用日数

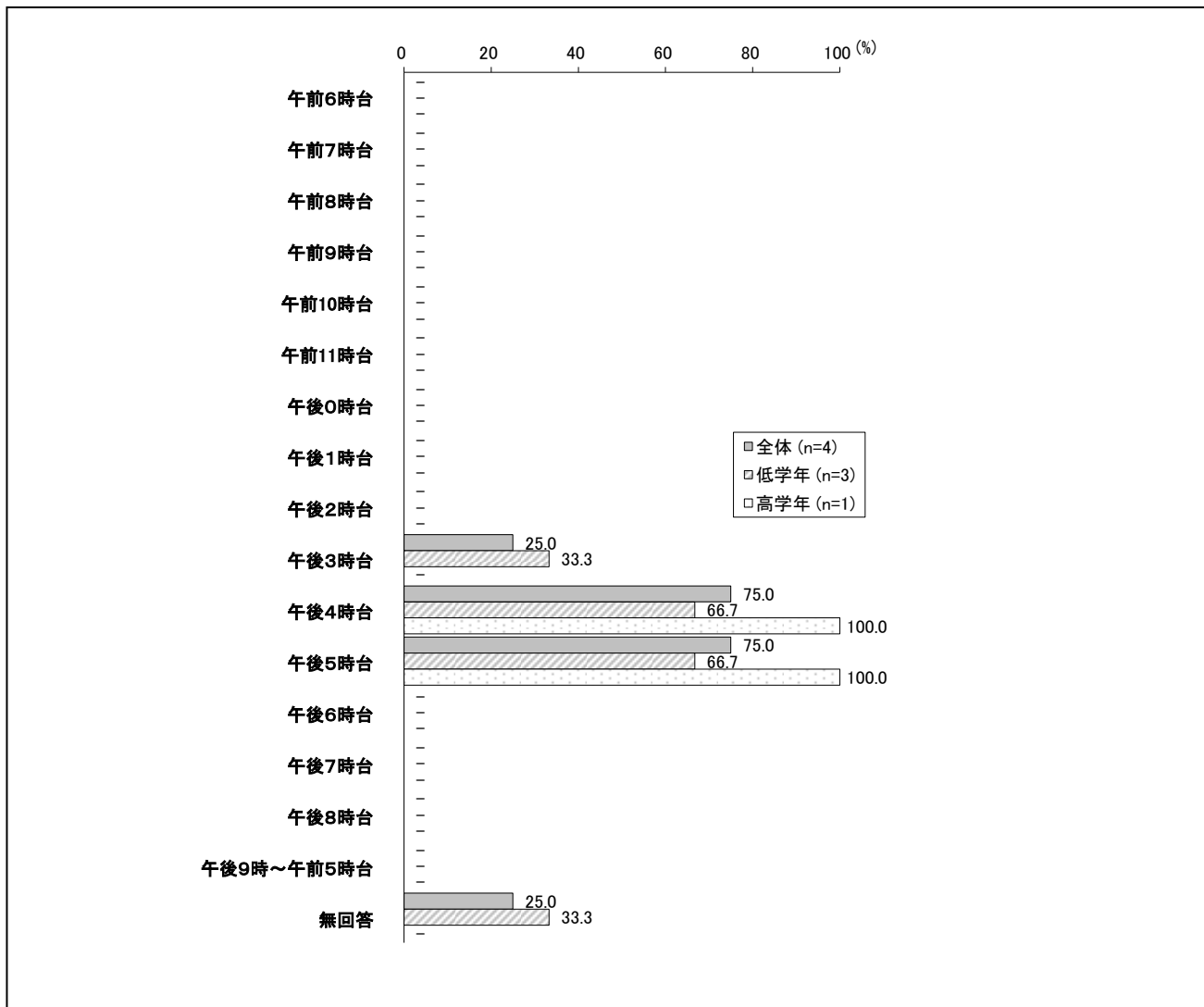
土曜日の利用日数は、回答者4人全員が「月に1日」利用していると回答している。



第2章 調査結果

■利用時間帯

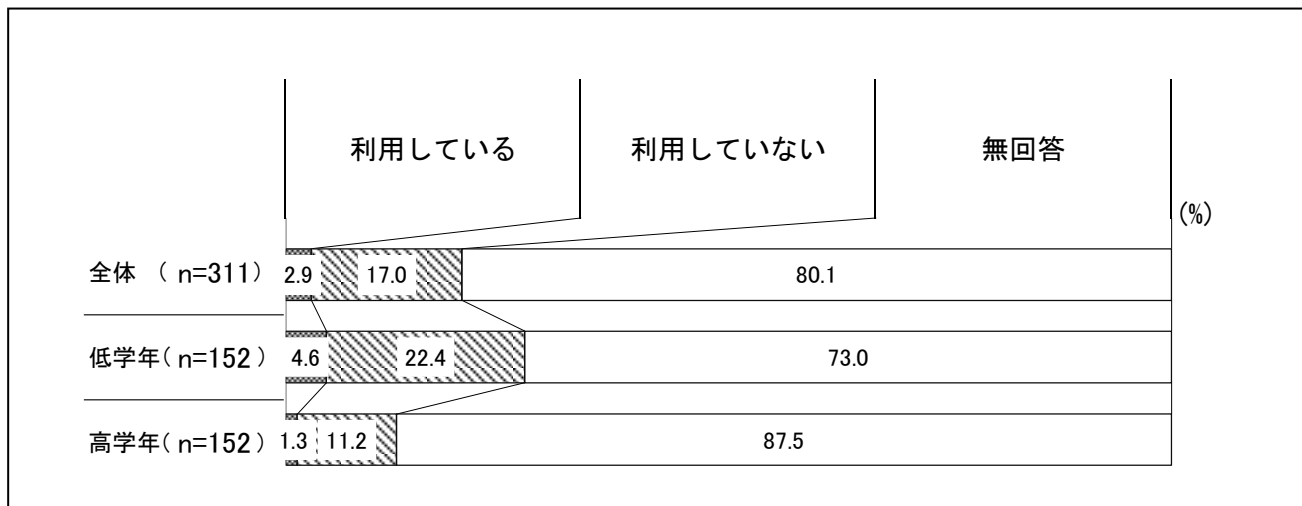
土曜日の利用時間帯は、「午後3時台」から「午後5時台」までとなっている。



③長期休業日の利用状況

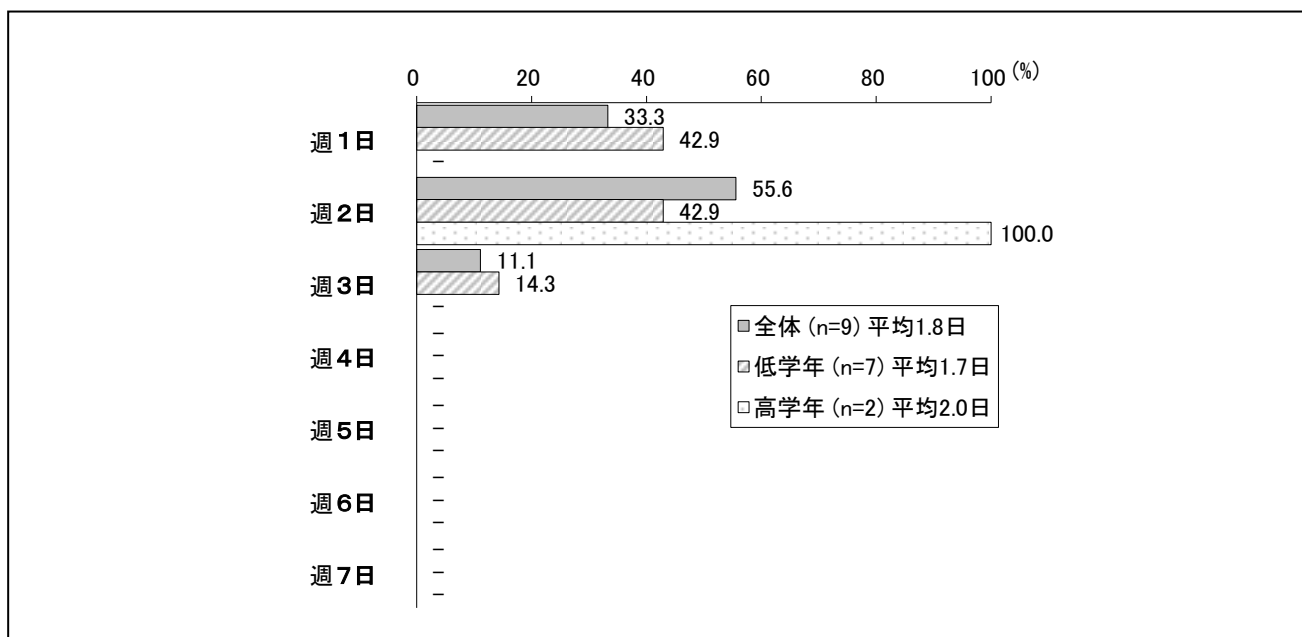
■利用状況

「ほうかごところ等」を実施している小学校に通う人の「ほうかごところ等」の長期休業日の利用状況は、「利用している」が2.9%となっている。



■利用日数

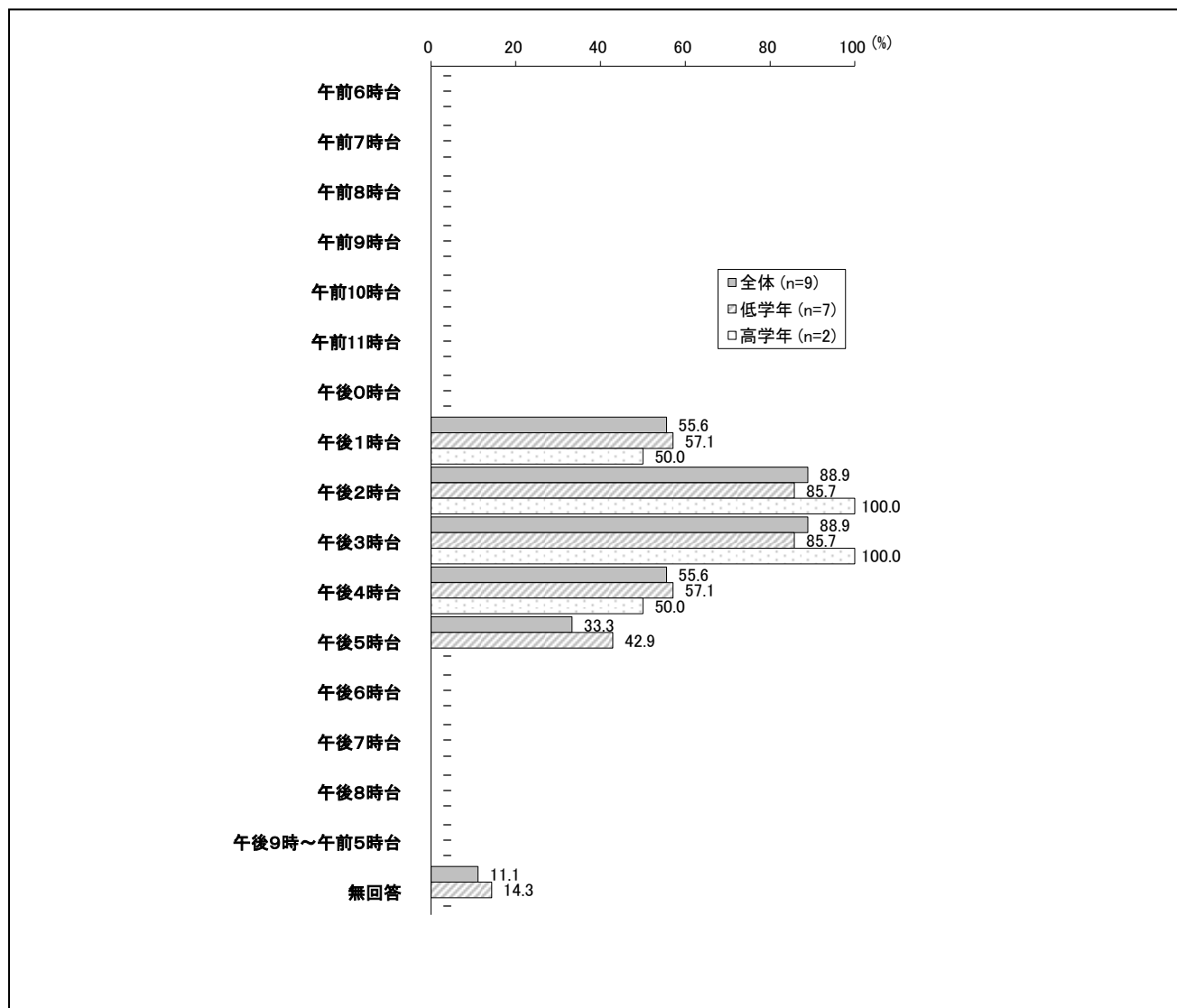
長期休業日の利用日数は、回答者9人のうち5人が「週に2日」と回答している。



第2章 調査結果

■利用時間帯

長期休業日の利用時間帯は、「午後1時台」から「午後5時台」までとなっている。



(9)「ほうかごところ等」の感想・評価

問14-1で、「1.利用している」と答えた方にうかがいます。

問14-2 「ほうかごところ等」についての感想・評価をご記入ください。

「ほうかごところ等」についての感想・評価として、122人から回答があった。主な内容は次のとおりとなっている。

◆子どもが楽しんでいる・助かっている

- ・違うクラス、学年の子と交流できるので、楽しんでいる。
- ・子どもは楽しいと喜んでいる。
- ・物作りが好きなので、毎回楽しみにしています。
- ・スタッフの方々が見守ってくれているので、安心して利用できる。
- ・学校の中で安全に遊べてとても有難いです。見守ってくださるボランティアの方にもとても感謝しております。
- ・子どもを安心して預けられる空気がある。
- ・安心して子どもを預けられて、助かっている。子どもも行きたいと言うので、楽しいのだと思う。
- ・とても助かっています。宿題等もさせてくれるし、子ども達も見てくれるので安心して、お願いできます。
- ・授業参観の後の懇談会がある日などに利用させてもらっていて、助かっています。

◆時間の延長を望む

- ・預り時間が、16時半までなので短いです。18時位までであると助かります。
- ・夏は18時までなので、たっぷり遊べる様ですが、冬は17時までだとすぐに帰らなければならないので、行く回数が減ってしまう気がします。
- ・冬は暗くなるのが早いので迎えに行くので18時までにしてほしい。

◆長期休暇中も実施してほしい

- ・土、日、祝、夏期休暇や、長期休暇時にも実施してもらえると助かります。
- ・土曜や夏、冬休み、昼から一人でほうかごところに行かせるのは非常に心配。朝からやってほしい。

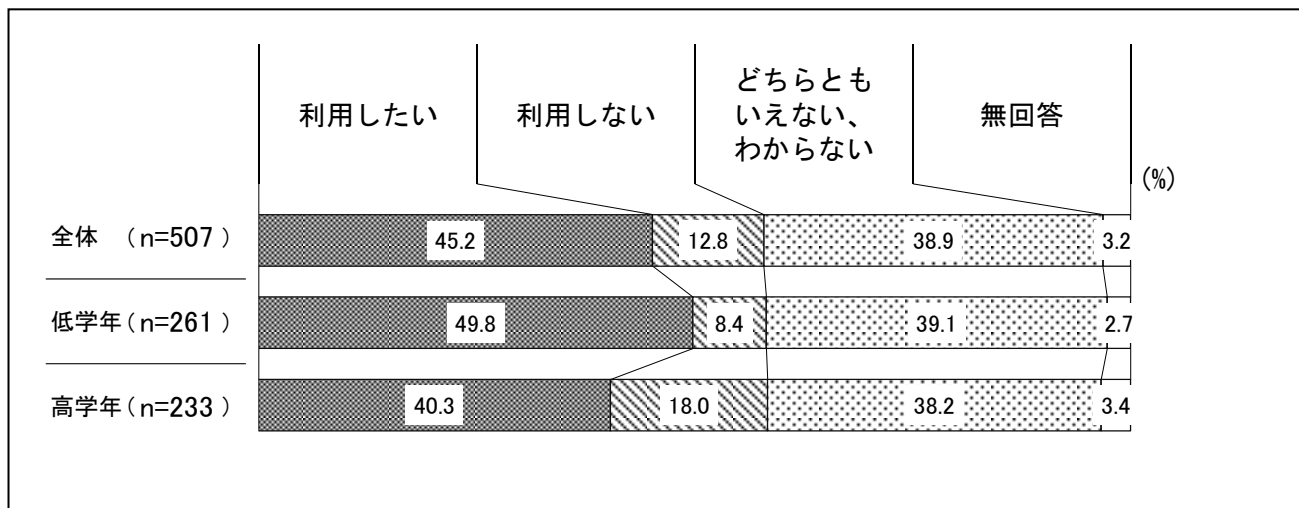
第2章 調査結果

(10) 「ほうかごところ等」が実施された場合の利用希望の有無

問14で、「2.実施していない」または「3.実施しているかわからない」と答えた方にうかがいます。

問14-3 今後「ほうかごところ等」が実施された場合、利用したいと思えますか。(〇は1つ)

子どもが通う小学校で「ほうかごところ等」が実施された場合の利用希望は、「利用したい」が45.2%、「利用しない」が12.8%、「どちらともいえない、わからない」が38.9%となっている。



(11) 「ほうかごところ等」を利用していない・利用を希望しない理由

問14で、「2.実施していない」または「3.実施しているかわからない」と答えた方にうかがいます。

問14-4 「ほうかごところ等」を利用していない方と今後も利用を希望しない方は、その理由をご記入ください。

「ほうかごところ等」を利用していない・今後も利用を希望しない理由として、255人から回答があった。主な内容は次のとおりとなっている。

◆「ほうかごところ等」を知らない・内容がわからない・実施していない

- ・ほうかごところ等が何かわからない。知らない。
- ・内容がわからない。

◆利用する必要がない

- ・お留番が可能なため。
- ・児童クラブを利用しているため。ほうかごところ利用の子どもたちとなじめないため。
- ・勉強や習い事の時間にあてたいため。
- ・母親が仕事をしていないため、利用する必要が無い。

◆子どもの希望で利用していない・利用を希望しない

- ・以前、低学年の頃は利用していたが、現在は、高学年になり、本人の希望（お友達と自由に遊びたい等）で利用はしていない。
- ・子ども自身が公園、児童館へ行きたいという希望があり利用していない。
- ・低学年の頃は、利用していたが、4年生頃から同級生の利用者も減り本人も行きたがらなくなった。

◆その他

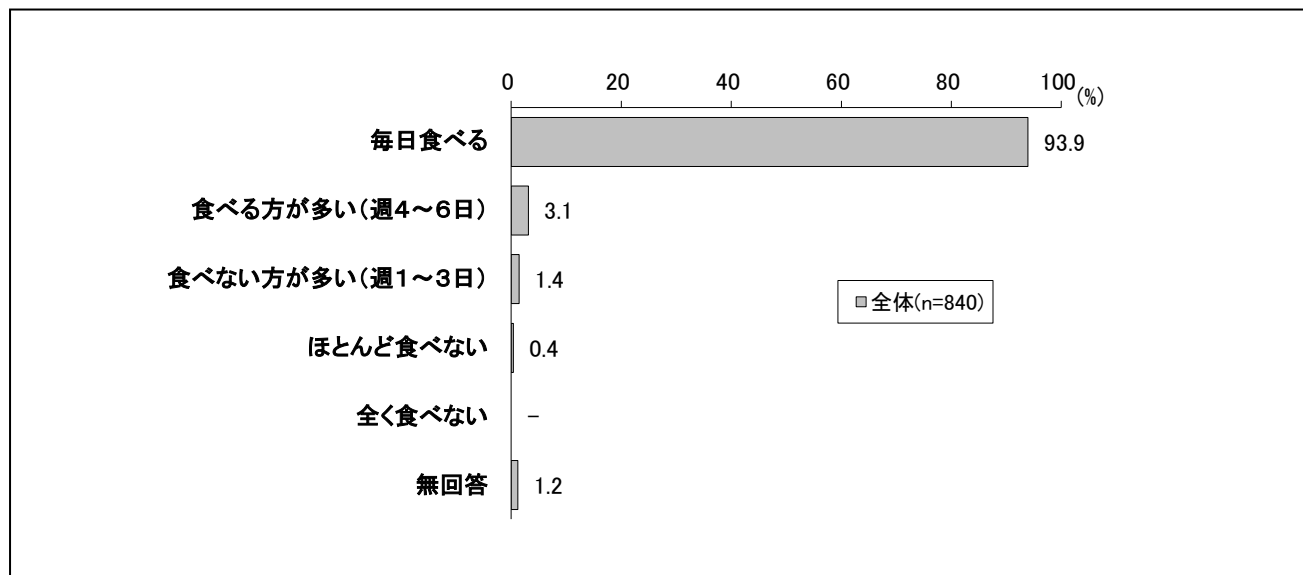
- ・障害児向けではないので。
- ・利用はしたいが学校が遠いため迎えが間に合わない。
- ・学校へ迎えに行くのが負担なため。

4. 生活や家庭のことについて

(1) 朝食の摂取状況

問15 宛名のお子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1ヶ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

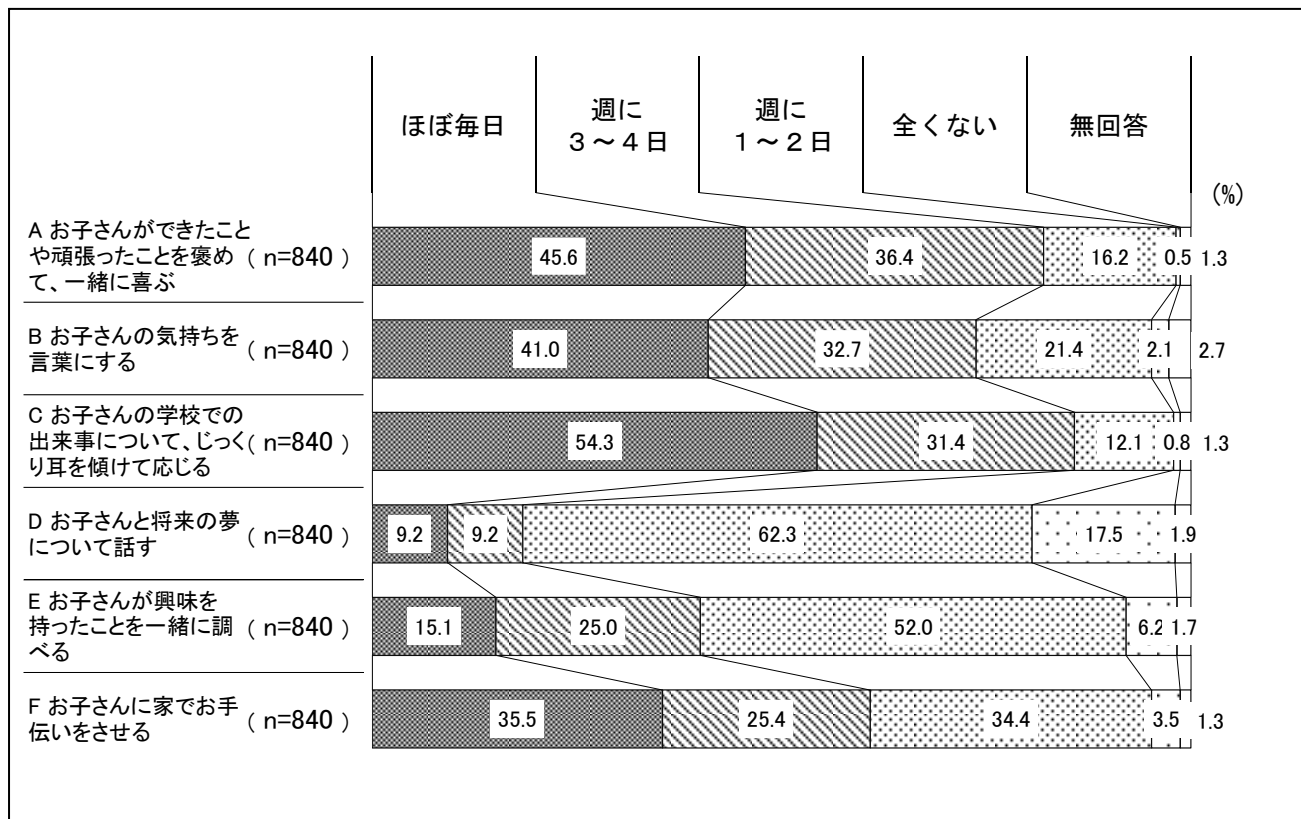
子どもの朝食の摂取状況は、「毎日食べる」が93.9%を占めている。



(2) 子どもとのかかわりの状況

問16 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。(A~Fそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

子どもとのかかわりの状況について、「ほぼ毎日ある」の項目は、「お子さんの学校での出来事について、じっくり耳を傾けて応じる」が54.3%、「お子さんができたことや頑張ったことを褒めて、一緒に喜ぶ」が45.6%、「お子さんの気持ちを言葉にする」が41.0%で4~5割と上位となり、これらに「お子さんに家でお手伝いをさせる」が35.5%で続いている。

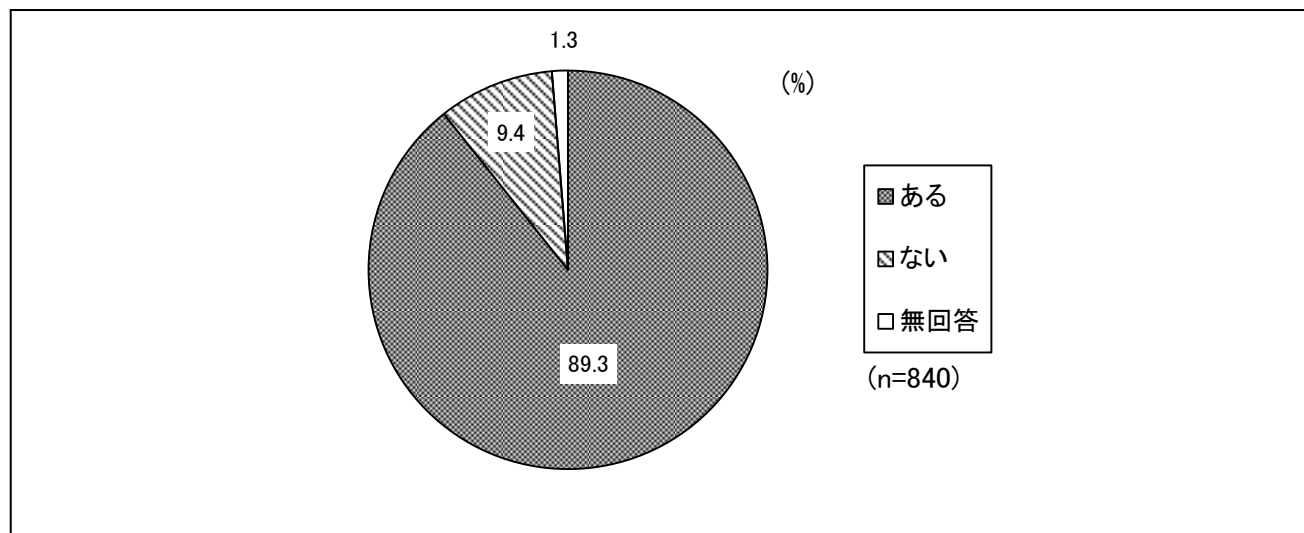


第2章 調査結果

(3) 子どもが落ち着いて勉強できる環境の有無

問17 宛名のお子さんが落ち着いて勉強できる環境がありますか。(〇は1つ)

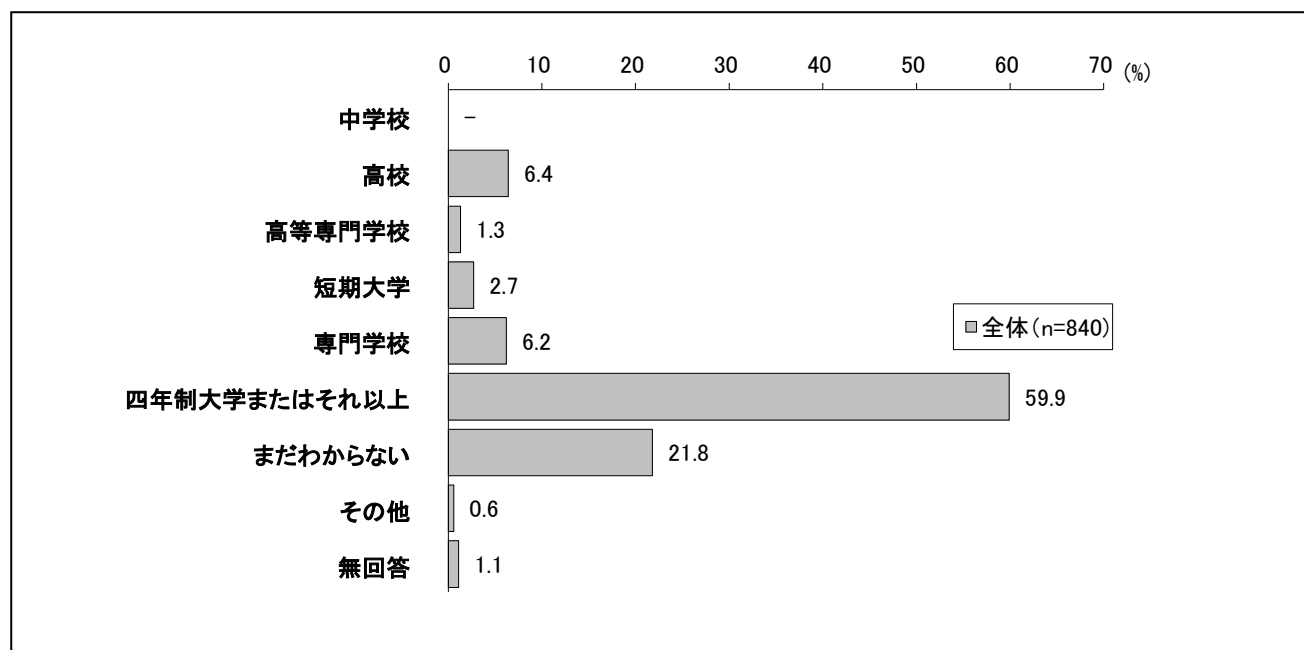
子どもが落ち着いて勉強できる環境については、「ある」が89.3%、「ない」が9.4%となっている。



(4) 今後の子どもの教育の段階

問18 宛名のお子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。(〇は1つ)

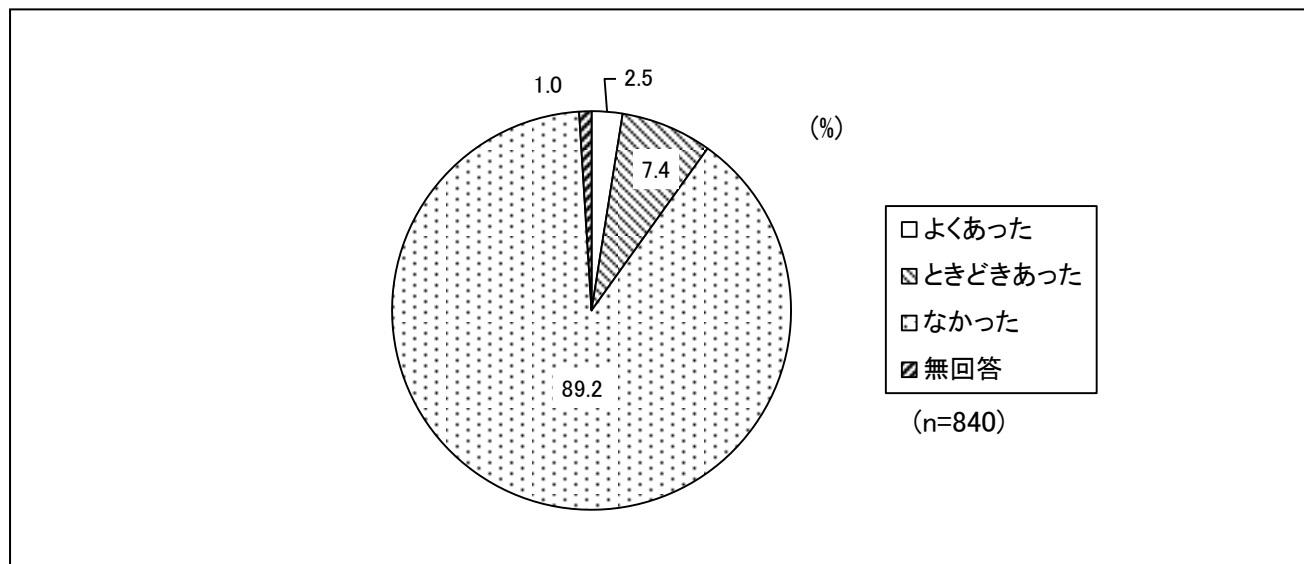
子どもに受けさせたい教育の段階は、「四年制大学またはそれ以上」が59.9%を占めている。



(5) 経済的な理由で食料・衣類を買えなかった経験の有無

問19 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(〇は1つ)

過去1年間に経済的な理由で食料・衣類を買えないことが「あった」家庭は、「ときどきあった」7.4%と「よくあった」2.5%との合計で9.9%となっている。

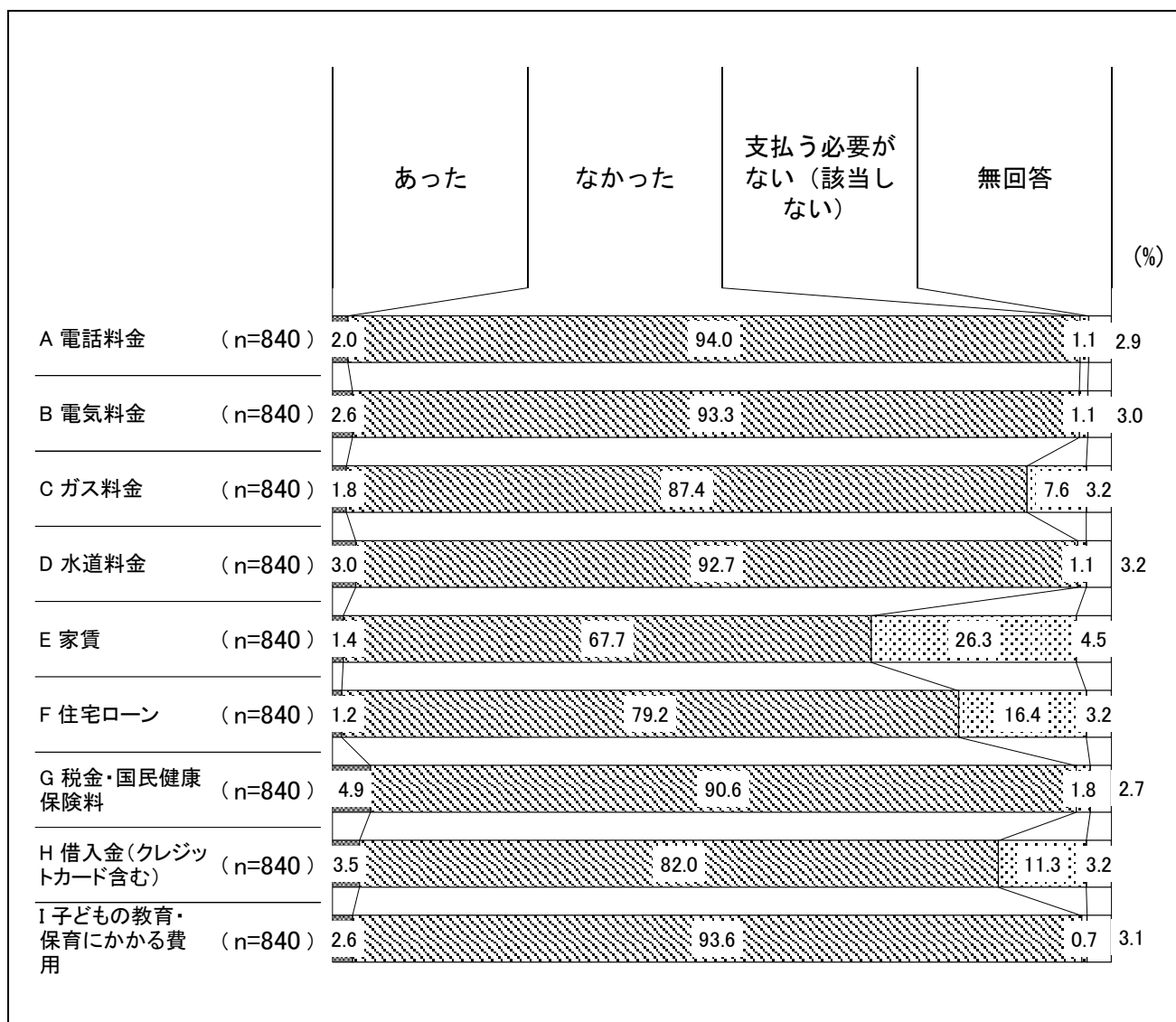


第2章 調査結果

(6) 経済的な理由で公共料金等が支払えなかった経験の有無

問20 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、経済的な理由のために以下のA～Iの費用を支払えないことがありましたか。(A～Iそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

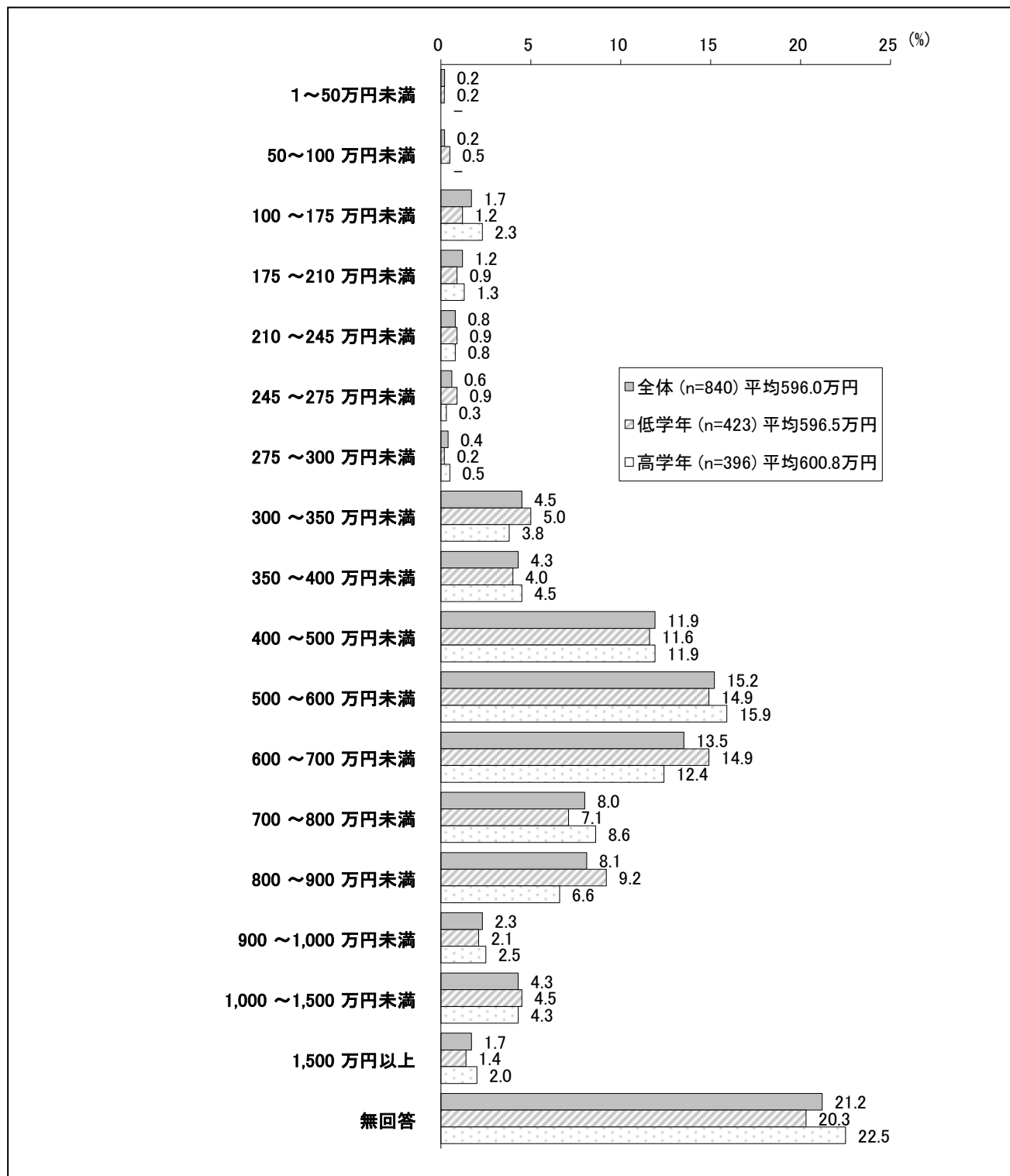
過去1年間に経済的な理由で支払えないことがあった公共料金等としては、「税金・国民健康保険料」が4.9%で最も高く、以下、「借入金(クレジットカード含む)」が3.5%、「水道料金」が3.0%、「電気料金」「子どもの教育・保育にかかる費用」が各2.6%の順となっている。



(7) 平成29(2017)年の可処分所得金額

問21 宛名のお子さんの世帯の、平成29(2017)年の可処分所得(いわゆる手取り年収)はおおよそいくらくらいでしたか。

平成29(2017)年の可処分所得は、「500～600万円」15.2%、「600～700万円未満」13.5%、「400～500万円未満」11.9%の3つが比較的高く、平均596万円となっている。

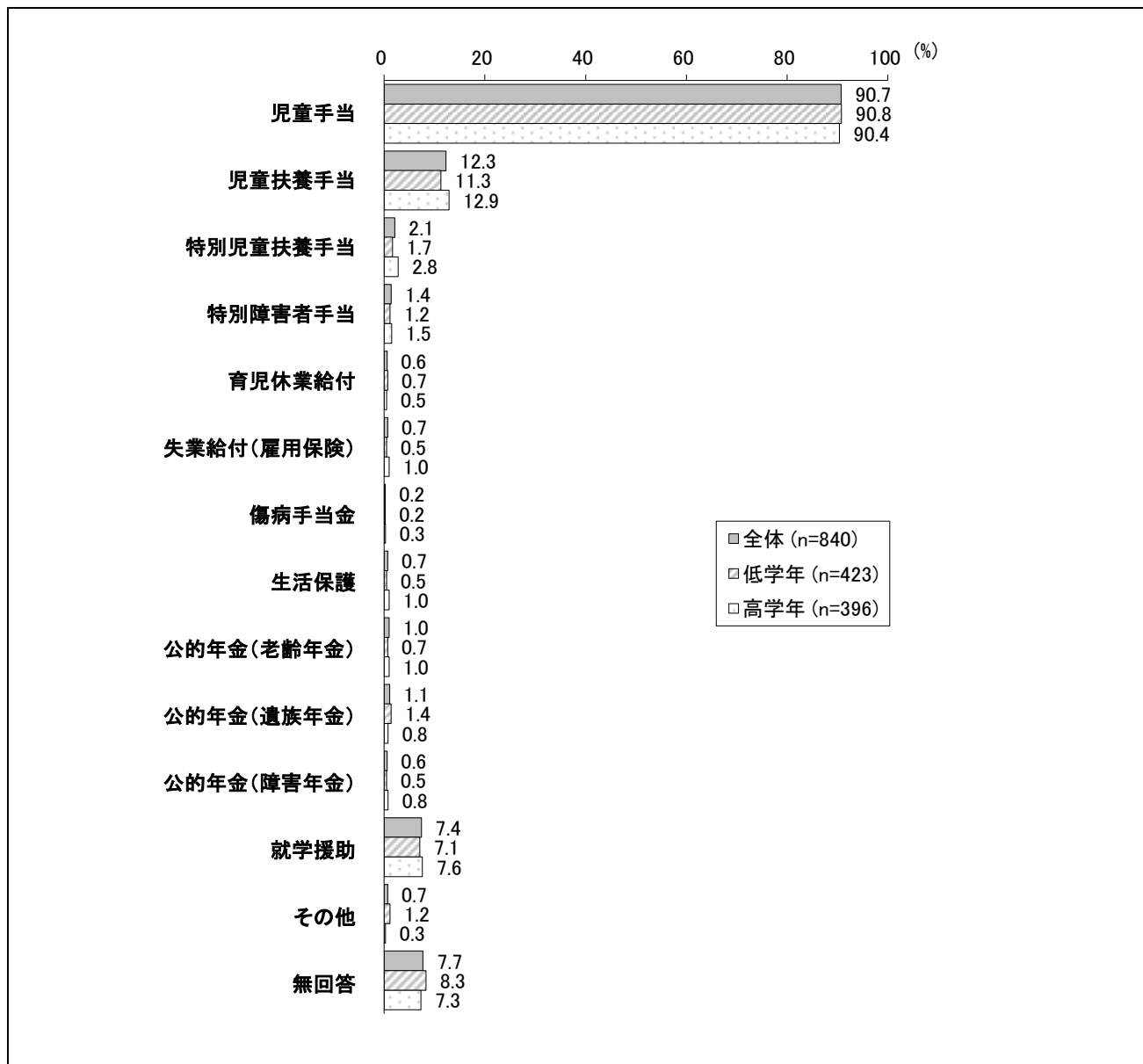


第2章 調査結果

(8) 公的年金、社会保障給付金の受給状況

問22 あなたのご家庭で受けている公的年金、社会手当などの社会保障給付金はありますか。(あてはまるものすべてに○)

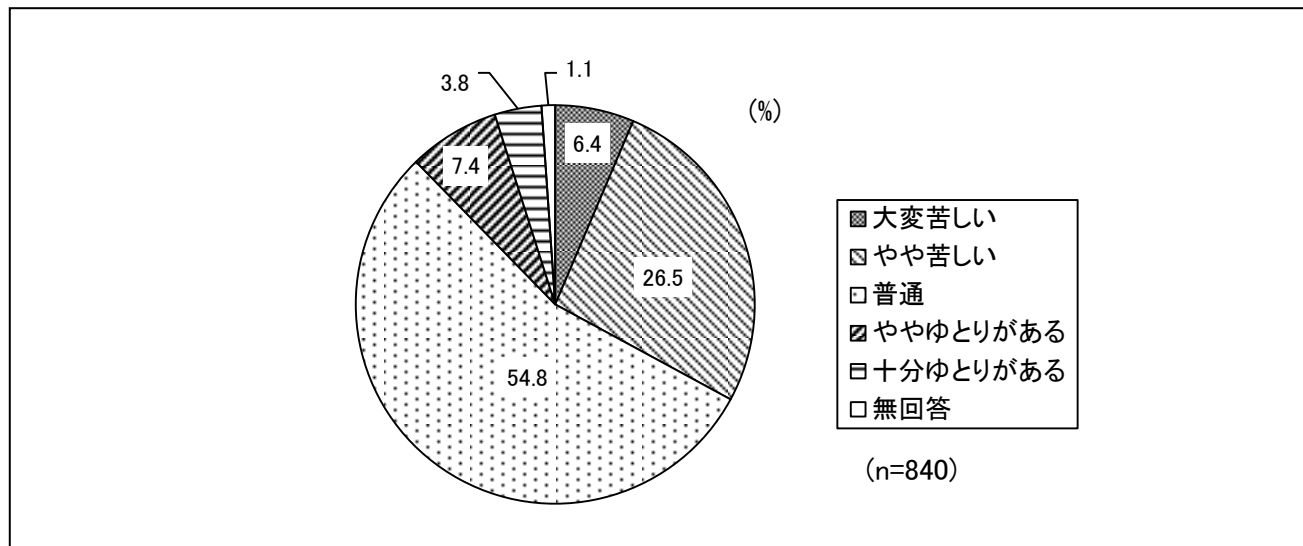
社会保障給付金の受給は、「児童手当」が90.7%と最も高い。



(9) 現在の暮らしの状況

問23 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(〇は1つ)

現在の暮らしの状況は、「普通」が54.8%を占めるが、「苦しい」と「ゆとりがある」の対比では「やや苦しい」26.5%と「大変苦しい」6.4%の合計が32.9%で、「ややゆとりがある」7.4%と「十分ゆとりがある」3.8%の合計11.2%を大きく上回っている。

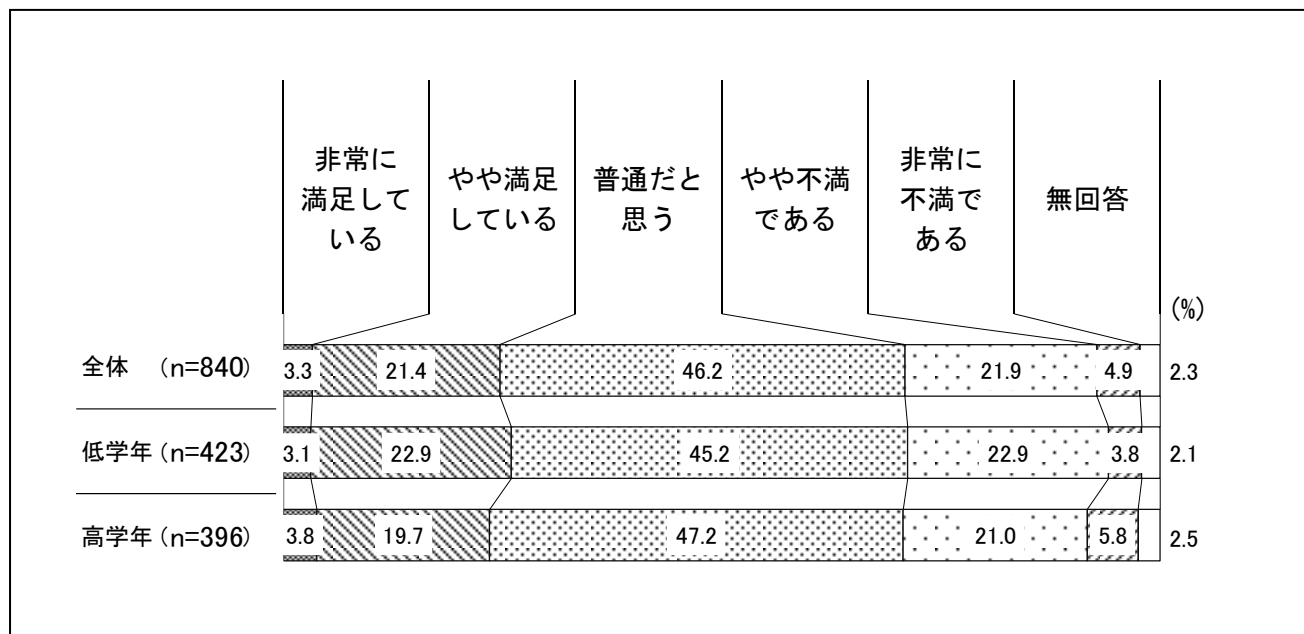


5. 子ども・子育て全般について

(1) 地域の子育ての環境や支援への満足度

問24 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、どのように感じていますか。(〇は1つ)

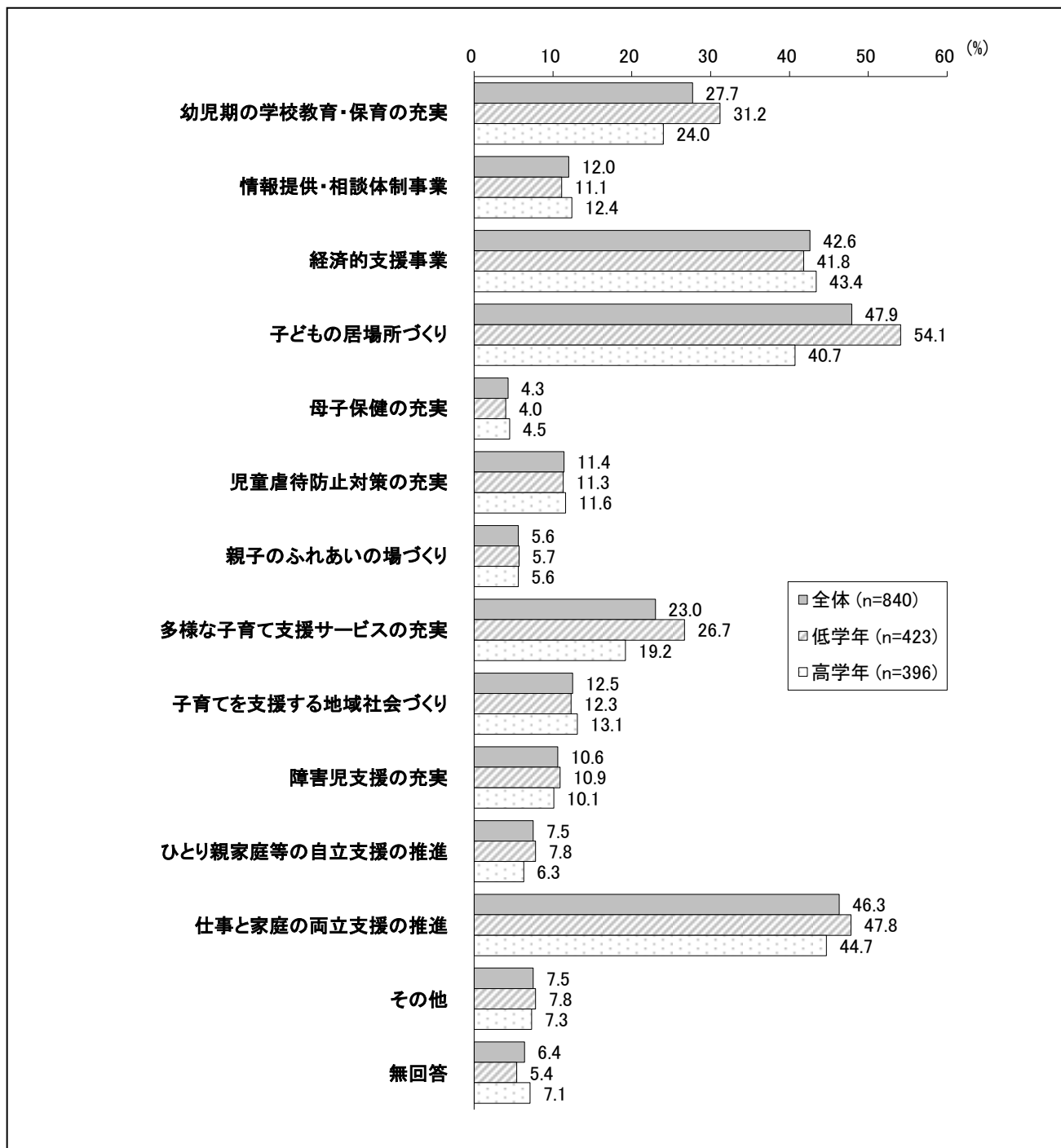
地域における子育ての環境や支援への満足度は、「普通だと思う」が46.2%を占める。また、「満足」と「不満」の対比では、「やや満足している」21.4%と「非常に満足している」3.3%の合計が24.7%で、「やや不満である」21.9%と「非常に不満である」4.9%の合計26.8%と拮抗している。



(2) 子育て支援で充実を希望すること

問25 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。(〇は5つまで)

今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは、「子どもの居場所づくり」47.9%、「仕事と家庭の両立支援の推進」46.3%が5割弱で上位となり、これらに「経済的支援事業」42.6%、「幼児期の学校教育・保育の充実」27.7%が続いている。



第2章 調査結果

(3) 教育・保育の充実など子育ての環境や支援に関する意見

問26 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

子育ての環境や支援に関するご意見として、317人から回答があった。なお、1人で2つ以上の内容を記入している場合もあるため、件数は延べ件数となる。

内 容		件数
学校・放課後について	学校の充実	65
	放課後児童クラブ（学童保育）の充実	48
	放課後子供教室の充実	36
	放課後・長期休暇中の居場所の確保	23
	学校での保護者の役割・負担の軽減	12
交流・遊び場について	公園・広場・施設等遊び場の充実	24
	児童館・公民館・図書館等の充実	7
	安全に遊べる場所の確保	6
	保護者同士や子どもの交流の機会・場の提供	1
	子育て支援センターの充実	1
教育・保育事業について	待機児童の解消・保育所への入園のしやすさ	8
	一時預かりの充実・利便性の向上	7
	病児・病後児保育の充実・利便性の向上	3
	保育所の充実・質の向上	1
	幼稚園・預かり保育の充実	1
	夜間、延長保育の充実・利便性の向上	1
相談について	相談窓口の充実・質の向上	1
その他支援について	経済的支援・教育・保育の無償化について	38
	障害児・発達障害への支援・サポート	22
	安心・安全な地域づくり	13
	医療体制の充実・医療費補助の充実	5
	地域や社会の支援・見守り	3
	ひとり親家庭等への支援	2
	虐待防止対策	2
	学習支援	1
	その他	16
	子育て支援施策全般について	9

主な意見は、次のとおりとなっている。

○学校・放課後について

- ・夏場の教室の暑さは尋常ではありません。子ども達が倒れる前に、一刻も早くエアコンを設置してください。来夏までに設置することを、切に要望いたします。
- ・担任によってかなりの力の差があるように感じます。子どもたちにとっては、毎年が大切な1年間なので、担任による指導力や大人としてのふるまいに、大きな不公平がないような環境にしてほしいです。
- ・小学校でマラソンなどの体力作りは良いと思うのですが、学力向上の為に朝読書の時間や漢字の小テストを朝に行うなども良いと思います。
- ・塾に通わなくても学校の授業だけでしっかり学べる環境。英語は早ければ早い方が良いと思う。
- ・子の個性に合った合理的配慮ができるような教員の体制・仕組みづくりをしてほしい。条例などの形ばかりでなく現場が変わってほしいと思います。
- ・夏休みや冬休み等の長期に学校が休みの際は、4年生以降でも生活クラブ（学童）を利用できると仕事に安心して行けます。
- ・学童保育を増やし、小学校高学年でも入れるようにして欲しい。特に長期休暇は入れるようにして欲しい。
- ・学童の開所時間をもう少し早く、閉所時間をもう少し遅くして欲しい。
- ・子ども達の保育の充実、保護者が安心して預けられる学童を強く願います。
- ・児童クラブ（学童）の費用が近隣の市と比較し高額で、驚かれます。もう少し安価になると利用したい。ほうかごところなどもっと増えるとよい。
- ・ほうかごところを充実させて頂きたい。
- ・ほうかごところ等が、どの学校でもあると良いと思います。児童館も利用させたいですが、家から遠い為、一人で行かせるのは心配で、利用できないのが現状です。夏休みなど、長期休暇期間中、子どもを一人で一日家において仕事に行くのは、心配だし、寂しい思いをさせているのではと、思ってしまう。普段の放課後は、学童保育を利用するまではいかないのに、長期休暇中に利用できる場所があれば、大変助かります。
- ・放課後に子どもが自習できる様なコミュニティーの場所があると安心。一人で家に留守番させていますが、一人だと何をやっているか見えない。同じ様に留守番している子ども同士と一緒にいる場所があったら安心。
- ・パートに出たくても、夏休み・冬休み等長期休みに、子どもを預かってもらえる所が無く大変困った。普段、学童クラブを利用していなくても一時的にその様な時に利用できる様な支援をして欲しい。
- ・共働きなので学校の役員が負担です。平日ベースの会議や平日のパトロール当番を見直してほしいです。
- ・小学校のPTA・育成会の負担が多すぎて、仕事になりません。派遣社員でフルタイムで、仕事の融通もきかない為、他の保護者との関係も作りにくいです。働いている人でも、主婦の方と同じように地域貢献できる環境をのぞみます。

第2章 調査結果

○交流・遊び場について

- ・大きな公園があり、30分行けば川や温泉、山登りができ、都心にもでやすい所沢で子育てができてとても良かったと思っています。
- ・ボール（野球やサッカー）が使える公園が欲しい。
- ・狭山公園に子どもが楽しめる施設をつくってほしい。
- ・児童館のように無料で安全にあそべる場所をふやしてほしい。
- ・近くに児童館など安心してあそばせられる場所がなく不便です。
- ・「こどもと福祉の未来館」が4才未満しか利用出来ないのはとても不満です。「こども」というからにはもう少し幅広い年齢層の子どもが集う場所にして欲しいです。

○教育・保育事業について

- ・保育園が足りなくて本当に困っています。いつになったら入れるのか心が落ちつかないです。なぜ働かないのか聞く前に、保育をなんとかすべきです。子どもを預けられるかわからない人をやとってくれる会社はありません。
- ・共働きが必要になっていく中、安心して子どもを預けられる場所が少なすぎる。親など預け先のない環境（私もそうですが）の場合働く事をあきらめるしかないのが現状です。
- ・働く母親が増える中、病児保育の充実も対応して頂きたい。改善されないと、フルタイムに勤務変更する決心はつかない。
- ・公立の幼稚園を何としても存続してほしいと願っております。

○相談について

- ・保育園と小学校の違いはもちろんありますが（承知していますが）保育園の時のように、子どもの事（生活や性格など）について、何でも相談できる窓口や担当者が学校にあるといいのと思います。勉強以外の子育てに関係することを話せる所が同じ場所であれば、担任の先生と共有できる所もあり、親もあちこち、探す必要もないし、子どもを見守る大人は多い方がまた、いろんな立場の方がいてもいいと思います。

○その他支援について

- ・子どもが高校生になると、支援がなくなってしまう経済的負担が大きくなる。東京都の私学に通っても、少し支援してほしい。いろいろな理由で、他県の学校を選ばざるをえない人もいることを知ってほしい。
- ・子ども手当や、児童手当が一番お金がかかるときになくなってしまふのはつらいです。現在中学3年生の子がいますが高校、大学とたいへんな金額がかかるのでこの先とても不安でしかたありません。

第 3 章 資料

就学前児童用

所沢市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

《ご協力お願い》

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
所沢市では、子育て支援の充実を図るため「所沢市子ども・子育て支援事業計画(平成27～31年度)」に基づき、計画的に各種事業に取り組んでいます。この度、次期計画を策定するにあたり、子育て支援に関するご意見を伺うため、本調査を実施いたします。

この調査は、就学前のお子さんと小学生のお子さんを無作為に選ばせていただき、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市の子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

質問数が多く、ご負担をおかけして誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月 所沢市長 藤本 正人

★本調査の趣旨★

この調査は、子ども・子育て支援新制度のもと、所沢市において、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援をより計画的に進めていくために、市民の皆様の利用状況や利用希望を把握することを目的としております。なお、この調査の回答により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません。

★本調査票について★

○アンケートは封筒の宛名のお子さんやご家庭のことについて、保護者の方がご記入ください。
○回答は、選択肢に○をつけていただく場合と、番号を記入していただく場合、数字や回答を記述していただく場合があります。
○質問は順をおってお答えいただけますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、各問の案内に従ってお進みください。
○日数、時間、時刻等を回答する場合は、口内に数字でご記入ください。
時間、時刻は、(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
○「その他」を選択した場合は、該当欄に具体的項目をご記入ください。
○封筒・アンケート共に、お名前は記入しないでください。

★調査票の返信についてのお願い★

ご回答の終わった調査票につきましては、同封の返信用封筒に入れ、
11月30日(金)までに
切手を貼らずに投函をお願いいたします。

所沢市の子育て支援を検討するための大切な調査です。
ご協力よろしくおねがいします！

★問合せ先★

所沢市 こども未来部 こども政策課

電話 : 04-2998-9415

FAX : 04-2998-9035



所沢市イメージマスコット
「トコロん」

本調査で用いることばの定義

幼稚園	・・・ 学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
保育所	・・・ 児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
認定こども園	・・・ 幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設 （就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
教育	・・・ 問10までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問11以降においては幼児期の幼稚園等における教育の意味で用いています

1. 宛名のお子さんと家族の状況等についてお聞かせください。

問1 宛名のお子さんのお住まいの地区はどこですか。（〇は1つ）

※どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

1 松井	2 富岡	3 小手指	4 山口	5 吾妻	6 柳瀬
7 三ヶ島	8 新所沢	9 新所沢東	10 所沢	11 並木	

問1-1 宛名のお子さんのお住まいの町名をご記入ください。

所沢市 (丁目) 例) 小手指町1丁目、東住吉、金山町 など

問2 宛名のお子さんの生年月を数字でご記入いただき、性別について〇をつけてください。

平成 年 月生まれ 性別 (男の子 ・ 女の子)

問3 宛名のお子さんにきょうだいはいらっしゃいますか。（〇は1つ）

きょうだいがいる場合、宛名のお子さんが何人きょうだいの何番目か数字でご記入ください。また下のきょうだいがいる場合、一番下のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

1 きょうだいがいる	2 きょうだいはいない
↓ <input type="text"/> <input type="text"/> 人きょうだいの <input type="text"/> <input type="text"/> 番目 一番下のお子さんの生年月は、平成 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月	

問4 宛名のお子さんを含めた世帯の人数は何人ですか。また、そのうち、18歳未満の子どもの人数は何人ですか。数字でご記入ください。（単身赴任や一人暮らしのお子さんなど別居している方も含みます）

世帯の人数 人 (そのうち、子どもの人数 人)

問4-1 宛名のお子さんからみたご父母についてお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ）

父親：	1 同居している	2 別居している(単身赴任等)	3 不在(離死別等)
母親：	1 同居している	2 別居している(単身赴任等)	3 不在(離死別等)

問5 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。（〇は1つ）

1 父母ともに	2 主に母親	3 主に父親	4 主に祖父母
5 その他	<input type="text"/>		

問6 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（当てはまるものすべてに○）

- 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
- 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
- 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
- 5 いずれもない →問7へお進みください

問6-1 親族または友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- 1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2 祖父母等の親族の身体的負担が心配である
- 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である
- 4 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる
- 5 友人・知人の身体的負担が心配である
- 6 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が心配である
- 7 負担はかけているが、お互い様の間柄なので、安心して子どもをみてもらえる
- 8 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 9 子どもの教育や発育にとってふさわしいか、少し不安がある
- 10 その他

問7 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

- 1 いる／ある
- 2 いない／ない →問8へお進みください

問7-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

- | | | |
|----------------|---|---------------------|
| 1 配偶者 | 2 宛名のお子さんのきょうだい | 3 祖父母等の親族 |
| 4 友人や知人 | 5 近所の人 | 6 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 7 保健所・保健センター | 8 幼稚園 | 9 保育所 |
| 10 認定こども園 | 11 民生委員・児童委員 | 12 かかりつけの医師 |
| 13 市の子育て関連担当窓口 | 14 その他 <input style="width: 200px; height: 15px;" type="text"/> | |



2. 宛名のお子さんの保護者の方の就労状況についてお聞かせください。

問8 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。父母共に該当する番号をそれぞれ1つずつご記入ください。

- 1 フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない →問10へお進みください
- 6 これまで就労したことがない →問10へお進みください

※以下母親と父親の回答欄がある設問については、それぞれ該当する番号をご記入ください。

※母親、父親がともにいない場合、以下は回答者の状況を母親の欄にご記入ください。

回答欄	母親： <input type="text"/>	父親： <input type="text"/>
	該当する番号をご記入ください。	該当する番号をご記入ください。

問8-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間・残業時間等を含む拘束時間）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

回答欄	母親： 1週当たり <input type="text"/> 日	父親： 1週当たり <input type="text"/> 日
	母親： 1日当たり <input type="text"/> 時間	父親： 1日当たり <input type="text"/> 時間

問8-2 家を出る時刻と帰宅時刻を24時間制でお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

回答欄	母親： 家を出る時刻 <input type="text"/> 時	父親： 家を出る時刻 <input type="text"/> 時
	母親： 帰宅時刻 <input type="text"/> 時	父親： 帰宅時刻 <input type="text"/> 時

問8の母親または父親で、「3. 4.（パート・アルバイト等で就労している）」を選択した方にうかがいます。

問9 フルタイム等への転換希望はありますか。父母それぞれ該当する番号を1つ記入し、「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期どちらかに○をつけてください。

- 1 パート・アルバイト等の就労を続けたい
- 2 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 3 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

回答欄	母親： <input type="text"/>	父親： <input type="text"/>
	該当する番号をご記入ください。	該当する番号をご記入ください。
	※「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期どちらかに○をつけてください。	※「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期どちらかに○をつけてください。
転換見込み	（ 1年以内 ・ 1年以上後 ）	（ 1年以内 ・ 1年以上後 ）

問8の母親または父親で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」を選択した方にうかがいます。

問10 就労したいという希望はありますか。該当する場合は、父母それぞれ回答欄に該当する番号を1つ記入し、該当する口内には数字をご記入ください。

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） →問11へお進みください
- 2 1年より先、一番下の子どもが ■■歳になったころに就労したい →問11へお進みください
- 3 すぐにも、もしくは1年以内に、フルタイムとして就労したい
- 4 すぐにも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい

回答欄	母親： <input type="text"/>	父親： <input type="text"/>
	該当する番号をご記入ください。	該当する番号をご記入ください。
	2の場合 <input type="text"/> <input type="text"/> 歳頃	2の場合 <input type="text"/> <input type="text"/> 歳頃
	4の場合：週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時間	4の場合：週 <input type="text"/> 日 <input type="text"/> 時間

問10の母親または父親で、「3. 4. (すぐにも就労したい)」を選択した方にうかがいます。

問10-1 就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。（回答欄に、父母それぞれ当てはまるものすべてに○）

- 1 就労先はあるが、保育所に入園できないから
- 2 就労先はあるが、子どもを預けられる人がいないから
- 3 自分に適した就労先が見つからないから
- 4 家族・親族が反対するなど、子育てしながら就労する環境や条件が整っていないから
- 5 家族・親族の介護や看護をしており、就労することが難しいから
- 6 子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したいから
- 7 その他

回答欄	母親： <input type="text"/> 1 <input type="text"/> 2 <input type="text"/> 3 <input type="text"/> 4 <input type="text"/> 5 <input type="text"/> 6 <input type="text"/> 7	父親： <input type="text"/> 1 <input type="text"/> 2 <input type="text"/> 3 <input type="text"/> 4 <input type="text"/> 5 <input type="text"/> 6 <input type="text"/> 7
	該当する番号すべてに○をつけてください。	該当する番号すべてに○をつけてください。
	7その他の理由 <input type="text"/>	7その他の理由 <input type="text"/>



問11-2 宛名のお子さんが現在、利用している主な教育・保育の事業（問11-1で◎をつけた事業）の実施場所はどこですか。（〇は1つ）

※市内の場合どの地区に該当するかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

- | | | | | | |
|----------------|-------|--------|-------|----------|------|
| 1 松井 | 2 富岡 | 3 小手指 | 4 山口 | 5 吾妻 | 6 柳瀬 |
| 7 三ヶ島 | 8 新所沢 | 9 新所沢東 | 10 所沢 | 11 並木 | |
| 12 埼玉県内の他市町村（ | | | | 市・町・村） | |
| 13 埼玉県外の他市区町村（ | | | | 市・区・町・村） | |

問11-3 宛名のお子さんが平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。（当てはまるものすべてに〇）

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1 子どもの教育や発達のため | 2 保護者が現在就労しているため |
| 3 保護者が就労予定がある/求職中であるため | 4 保護者が家族・親族などを介護しているため |
| 5 保護者に病気や障害があるため | 6 保護者が学生であるため |
| 7 その他 | |

問11-4 宛名のお子さんが現在の教育・保育事業の施設を選んだ理由は何ですか。（当てはまるものすべてに〇）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1 教育・保育内容が優れているから | 2 教育・保育内容に特色があるから |
| 3 職員の印象がよいから | 4 園庭が広く、遊具が充実しているから |
| 5 施設がきれいだから | 6 子育て支援、相談などが充実しているから |
| 7 預かり保育があるから | 8 通園バスがあるから |
| 9 給食があるから | 10 家が近いから |
| 11 通勤経路上、便利だから | 12 料金が安いから |
| 13 きょうだいがいるから | 14 そこしか空いていなかったから |
| 15 近所で評判がよいから | 16 その他 |

問11で、「2. 利用していない」に〇をつけた方にうかがいます。

問11-5 「定期的な教育・保育の事業」を利用していない理由は何ですか。（当てはまるものすべてに〇）8に〇をつけた方は、該当する□内に数字をご記入ください。

- | |
|---|
| 1 利用する必要がないから（自分が子育てしたいから、子どもが望んでいるから、子どもの教育や発達のため、子どもの母親が父親が就労していないためなど） |
| 2 子どもの祖父母や親戚の人がみているから |
| 3 近所の人や父母の友人・知人がみているから |
| 4 利用したいが、教育・保育の事業に空きがないから |
| 5 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できないから |
| 6 使用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わないから |
| 7 利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がないから |
| 8 子どもがまだ小さいため（ □ □ 歳くらいになったら利用しようと考えている） |
| 9 その他 |

すべての方にうかがいます。

問12 宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（○はそれぞれ当てはまるものすべて）

※選択肢7または9を選んだ方は、従業員枠・地域枠のどちらかに○をつけてください。
 ※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。別紙②「教育・保育事業一覧」で事業の詳細を確認してください。

教育・保育事業	
1 幼稚園	2 幼稚園の預かり保育
3 認可保育所	4 認定こども園
5 小規模保育	6 家庭的保育
7 事業所内保育 → (従業員枠・地域枠) <small>どちらかに○をつけてください</small>	8 居宅訪問型保育
9 企業主導型保育 → (従業員枠・地域枠) <small>どちらかに○をつけてください</small>	10 その他の認可外の保育施設
11 ファミリー・サポート・センター	12 療育機関
13 その他 <input type="text"/>	14 利用の希望はない

問12-1 教育・保育事業を主に利用したい場所はどの地区ですか。（○は1つ）

※市内の場合どの地区に該当するのかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

1 松井	2 富岡	3 小手指	4 山口	5 吾妻	6 柳瀬
7 三ヶ島	8 新所沢	9 新所沢東	10 所沢	11 並木	
12 埼玉県内の他市町村 (<input type="text"/> 市・町・村)					
13 埼玉県外の他市区町村 (<input type="text"/> 市・区・町・村)					

問12で「1.幼稚園」または「2.幼稚園の預かり保育」に○をつけ、かつ「3～13」にも○をつけた方にうかがいます。

問12-2 特に幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を強く希望しますか。（○は1つ）

1 希望する	2 希望しない
--------	---------

※問12-4にお進みください。

問12で「1.幼稚園」「2.幼稚園の預かり保育」以外に○をつけた方にうかがいます。

問12-3 幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）の利用を考えたことがありますか。（○は1つ）

1 ある	2 ない
------	------

問12-4 どのような環境であれば、幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）を利用できるとお考えですか。（当てはまるものすべてに○）

1 幼稚園での預かり保育の時間が延長されれば
2 平日の行事や休園日などで仕事を休む必要がなければ
3 育児休業で2年間以上仕事を休むことができれば
4 収入が増加したら
5 働く必要がなくなれば
6 残業が減らせれば
7 在宅勤務やワーキングスペースでの就業など柔軟な働き方が可能になれば
8 親や親せきとの同居、近居でサポートが受けられれば
9 一時預かりが使いやすくなれば
10 ベビーシッターや保育ママなどの保育サービスが使いやすくなれば
11 育児休業利用後の復帰サポートが充実していれば
12 保育料の負担が少ない、またはなければ
13 その他 <input type="text"/>
14 どのような場合でも幼稚園以外を利用したい



～幼児教育・保育の無償化について～

◆概要

国が進める、誰もが元気に活躍し、安心して暮らすことのできる社会をつくる「人づくり革命」のひとつとして、2019年（平成31年）10月から全面的な実施を目指すとされています。

◆「無償化」の仕組み

- 3～5歳（保育の必要性があると認定されたお子さん）
 - ・幼稚園、認可保育所、認定こども園の費用を無償化（幼稚園は月25,700円まで無償）
 - ・幼稚園の一時預かりは月37,000円まで無償（幼稚園無償化分の月25,700円含む）
 - ・認可外、ベビーシッター、事業所内保育等は月37,000円まで無償
- 3～5歳（上記以外）
 - ・幼稚園、認定こども園の費用を無償化（幼稚園は月25,700円まで無償）
- 0～2歳（住民税非課税世帯の保育の必要性があると認定されたお子さん）
 - ・上記と同様の考え方により、月42,000円まで無償
 - ※0～2歳の住民税非課税世帯以外の方は、これまでどおり費用がかかります。

問13

幼児教育・保育の無償化が実現した場合に、利用を希望する事業をお答えください。（当てはまるものすべてに○）

※選択肢7または9を選んだ方は、従業員枠・地域枠のどちらかに○をつけてください。

教育・保育事業	
1 幼稚園	2 幼稚園の預かり保育
3 認可保育所	4 認定こども園
5 小規模保育	6 家庭的保育
7 事業所内保育 → <small>どちらかに○をつけてください</small> （従業員枠・地域枠）	8 居宅訪問型保育
9 企業主導型保育 → <small>どちらかに○をつけてください</small> （従業員枠・地域枠）	10 その他の認可外の保育施設
11 ファミリー・サポート・センター	12 療育機関
13 その他 	14 利用の希望はない

4. 宛名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてお聞かせください。



所沢市には、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり情報提供を受けたりする場がたくさんあります。保育所や児童館に設置されている「子育て支援センター」のほか、「保育所のあそぼう会」や「図書館のおはなし会」「公民館の子育てサロン」などが地域の子育て支援事業として実施されています。

問14

宛名のお子さんは、「子育て支援センター」やその他の地域の子育て支援事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

1 地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」）	1ヶ月当たり 回
2 こどもと福祉の未来館にある「こども支援センター」	1ヶ月当たり 回
3 その他所沢市で実施している事業（例：あそぼう会、おはなし会、子育てサロン等）	事業名
	1ヶ月当たり 回
4 利用していない	

問15

地域子育て支援拠点事業等について、今は利用していないができれば今後利用したい、または、利用日数を増やしたいと思いませんか。当てはまる番号すべてに○をつけて、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。
※なお、これらの事業は、原則無料ですが、一部の事業では実費負担が発生する場合があります。

1 地域子育て支援拠点事業（「子育て支援センター」）
1ヶ月当たり 回

2 こどもと福祉の未来館にある「こども支援センター」
1ヶ月当たり 回

3 その他所沢市で実施している事業（例：あそぼう会、おはなし会、子育てサロン等）
事業名
1ヶ月当たり 回

4 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問16

下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。また、①～⑧に該当しない地域の子育て支援事業が他に何かありましたら、⑨と⑩の「その他」に事業名をご記入の上、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている		B これまでに利用 したことがある		C 今後利用したい	
①母親（父親）学級、両親学級、育児学級	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②保健センターの情報・相談事業	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育相談センター・教育相談室	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤こども相談センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥幼稚園や保育所の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦とことろっこ子育てサポート事業 （子育てコンシェルジュ）	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧市が発行する子育て支援情報 誌・市のホームページ	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨その他	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩その他	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ

5. 宛名のお子さんの土日や長期休暇中の「定期的」教育・保育事業の利用希望についてお聞かせください。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

問17

宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。回答欄に該当する番号を1つずつご記入ください。また、希望がある場合は、利用したい時間帯を、回答欄にご記入ください。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1 利用する必要はない
2 ほぼ毎週利用したい
3 月に1～2回は利用したい

回答欄

土曜日： 2.または3の場合 時～ 時

日曜日・祝日： 2.または3の場合 時～ 時

問17の土曜日または日曜日・祝日で、「3. 月に1～2回は利用したい」を選択した方にうかがいます。

問17-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

- 1 月に数回仕事が入るため
- 2 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
- 3 家族や親族の介護や手伝いが必要なため
- 4 リフレッシュのため
- 5 その他

現在、「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

問18 宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。（○は1つ）希望がある場合は、利用したい時間帯をご記入ください。

※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。
 利用料（1時間）：私立幼稚園 400円以下 市立幼稚園 実施なし

- 1 利用する必要はない
- 2 ほぼ毎日利用したい 利用したい時間帯 時～ 時
- 3 週に数日は利用したい 利用したい時間帯 時～ 時

問18で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。

問18-1 毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

- 1 週に数回仕事が入るため
- 2 買い物等の用事をまとめて済ませるため
- 3 家族や親族の介護や手伝いが必要なため
- 4 リフレッシュのため
- 5 その他

6. 宛名のお子さんの病気の際の対応についてお聞かせください。（平日の教育・保育事業を利用する方のみ）

平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問11で、1.に○をつけた方）にうかがいます。※利用していらっしゃらない方は、問20にお進みください。

問19 この1年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（○は1つ）

※事業の利用が1年に満たない場合は、入所・入園からの期間でお答えください。

- 1 あった
- 2 なかった →問20へお進みください

問19で、「1. あった」に○をつけた方にうかがいます。

問19-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この1年間に行った対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください。）

1年間の対処方法	日数/年	
1 母親又は父親のうち就労していない方が子どもをみた	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	
2 母親が休んだ	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	
3 父親が休んだ	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	
4 （同居者を含む）親族・知人に子どもをみてもらった	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	
5 病児・病後児の保育を利用した	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	1～3に○を
6 ベビーシッターを利用した	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	つけなかった場合
7 緊急サポートセンターによる病児・病後児の預かりを利用した	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	問19-5へ
8 子どもだけで留守番をさせた	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	お進みください
9 その他 <input style="width: 250px; height: 15px;" type="text"/>	<input style="width: 30px; height: 15px;" type="text"/> 日	

第3章 資料

問19-1で、「1～3」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。

問19-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください。
※なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

病児・病後児保育利用料(日額)：2,000円+実費

- | | | | | |
|---|-------------------------|----------------------|---|----------------|
| 1 | できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった | <input type="text"/> | 日 | →問19-3へお進みください |
| 2 | 利用したいとは思わなかった | →問19-4へお進みください | | |

問19-2で、「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したかった」に○をつけた方にうかがいます。

問19-3 上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(当てはまるものすべてに○)

- | | |
|---|--|
| 1 | 幼稚園・保育所等に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 2 | 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業 |
| 3 | 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業(例：緊急サポートセンター等) |
| 4 | その他 <input type="text"/> |

※問19-5へお進みください

問19-2で、「2. 利用したいと思わなかった」に○をつけた方にうかがいます。

問19-4 そう思われる理由は何ですか。(当てはまるものすべてに○)

- | | | | |
|---|-------------------------------|---|--------------------------|
| 1 | 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安 | 2 | 地域の事業の質に不安がある |
| 3 | 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない | 4 | 利用料がかかる・高い |
| 5 | 利用料がわからない | 6 | 親が仕事を休んで対応する |
| 7 | 子どもが不安になる気持ちを考えて | 8 | その他 <input type="text"/> |

問19-1で、「4～9」のいずれかを選択した方にうかがいます。

問19-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、4～9の日数のうち仕事を休んで看たかった日数についても数字でご記入ください。

- | | | | | |
|---|------------------|----------------------|---|--------------|
| 1 | できれば仕事を休んで看たかった | <input type="text"/> | 日 | →問20へお進みください |
| 2 | 休んで看ることは非常に難しかった | | | |

問19-5で、「2. 休んで看ることは非常に難しかった」に○をつけた方にうかがいます。

問19-6 そう思った理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | |
|---|--------------------------|---|--------------|
| 1 | 子どもの看護を理由に休みがとれなかった | 2 | 自営業なので休めなかった |
| 3 | 休暇日数が足りないので休めなかった | 4 | 仕事が忙しかった |
| 5 | その他 <input type="text"/> | | |

7. 宛名のお子さんの不特定の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてお聞かせください。

問20 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください。

不定期に利用している事業		日数/年	
1	一時預かり 私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	問21へ お進みください
2	幼稚園の預かり保育 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
3	ファミリー・サポート・センター 保育所への送迎や学童保育終了時に一時的に子どもを預かる事業	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
4	夜間養護等事業：トワイライトステイ 児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
5	ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
6	その他 <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日	
7	利用していない	→問20-1へお進みください	

問20で、「7.利用していない」と回答した方にうかがいます。

問20-1 現在利用していない理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

1	特に利用する必要がない
2	利用したい事業が地域にない
3	地域の事業の質に不安がある
4	地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない
5	利用したいときに空きがないなど利用が難しい
6	子どもがまだ小さいから
7	子どもが不安になる気持ちを考えて
8	利用料がかかる・高い
9	利用料がわからない
10	子どもを預かる人がどのような人かわからない
11	自分が事業の対象者になるのかわからない
12	事業の利用方法（手続き等）がわからない
13	その他 <input type="text"/>

問21 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、今後1年間で何日くらい問20の事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください。目的別の日数を口内に数字でご記入ください。
※なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1	利用したい	①私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
		②冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院 等	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
		③不特定の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
		④その他 <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> 日
2	利用する必要はない	→問22へお進みください	

問21で、「1. 利用したい①～④」に○をつけた方にうかがいます。

問21-1 問 21 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(当てはまるものすべてに○)

- 1 保育所での一時預かり
- 2 幼稚園での預かり保育
- 3 ファミリー・サポート・センター
- 4 一時預かり専用施設での一時預かり
- 5 ベビーシッター
- 6 その他

問22 この1年間に、保護者の用事（保護者・家族の病気など）により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください。（預け先が見つからなかった場合も含まれます。）

1 あった	①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	<input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> 泊	「1. あった」に○をつけ、①に○をつけなかった場合、問23へお進みください
	②短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	<input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> 泊	
	③②以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	<input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> 泊	
	④子どもを保護者に同行させた	<input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> 泊	
	⑤子どもだけで留守番をさせた	<input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> 泊	
	⑥その他 <input style="width: 100px; height: 15px;" type="text"/>	<input style="width: 50px; height: 15px;" type="text"/> 泊	
2 なかった	→問23へお進みください		

問22で、「1. あった ①（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問22-1 その場合、親族・知人の負担の大きさや子どもの不安感など、困難度はどの程度でしたか。（○は1つ）

- 1 非常に困難だった
- 2 どちらかというと困難だった
- 3 特に困難ではなかった



問26 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。低学年・高学年それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。1または3に○印をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

低学年(1~3年生)の間	
1 利用したい ・ 利用希望がある場合	<input type="text"/> <input type="text"/> 時~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時
2 利用する必要はない	
高学年(4~6年生)の間	
3 利用したい ・ 利用希望がある場合	<input type="text"/> <input type="text"/> 時~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時
4 利用する必要はない	

問27 宛名のお子さんが通う予定の小学校では、「ほうかごところ等」を実施していますか。(○は1つ)

1 実施している	
2 実施していない	→問27-2へお進みください
3 実施しているかわからない	→問27-2へお進みください

問27で、「1. 実施している」と答えた方にうかがいます。

問27-1 「ほうかごところ等」を利用したいと思いますか。月~金曜日、土曜日、長期休業日の別に当てはまる番号を回答欄に1つずつ記入してください。利用したい場合は、利用したい日数や時間帯を、24時間制で口内にご記入ください。

1 将来的に利用したい	
2 利用する必要はない	
回答欄	月~金曜日 <input type="text"/> : 週に <input type="text"/> 日くらい 利用希望 <input type="text"/> <input type="text"/> 時~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時
	土曜日 <input type="text"/> : 月に <input type="text"/> 日くらい 利用希望 <input type="text"/> <input type="text"/> 時~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時
	夏休みや冬休みなどの長期休業日 <input type="text"/> : 週に <input type="text"/> 日くらい 利用希望 <input type="text"/> <input type="text"/> 時~ <input type="text"/> <input type="text"/> 時

問27で、「2. 実施していない」または「3. 実施しているかわからない」と答えた方にうかがいます。

問27-2 今後「ほうかごところ等」が実施された場合、利用したいと思いますか。(○は1つ)

1 利用したい
2 利用しない
3 どちらともいえない、わからない



9. すべての方に育児休業や短時間勤務制度など仕事と家庭の両立支援制度についてうかがいます。

問28 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父母共に該当する番号をそれぞれ1つずつご記入ください。また、取得しなかった方はその理由を下表から選んで当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1 働いていなかった 2 取得した 3 取得しなかった（取得しなかった理由もお選びください）	
回答欄	母親： <input type="text"/> <small>該当する番号をご記入ください。</small>
	父親： <input type="text"/> <small>該当する番号をご記入ください。</small>

- 【取得しなかった理由】
- | | |
|--|--------------------|
| 1 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった | 2 仕事が忙しかった |
| 3 (産休後に) 仕事に早く復帰したかった | 4 仕事に戻るのが難しそうだった |
| 5 昇給・昇格などが遅れそうだった | 6 収入減となり、経済的に苦しくなる |
| 7 保育所(園)などに預けることができた | 8 配偶者が育児休業制度を利用した |
| 9 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった | |
| 10 子育てや家事に専念するため退職した | |
| 11 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった) | |
| 12 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった | |
| 13 育児休業を取得できることを知らなかった | |
| 14 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した | |
| 15 その他 | |

回答欄	母親： <input type="text"/> 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 <input type="text"/> 10, 11, 12, 13, 14, 15 <small>該当する番号すべてに○をつけてください。</small>	父親： <input type="text"/> 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9 <input type="text"/> 10, 11, 12, 13, 14, 15 <small>該当する番号すべてに○をつけてください。</small>
	15その他の理由 <input type="text"/>	15その他の理由 <input type="text"/>

問28-1 子どもが原則1歳(保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳)になるまで育児休業給付が支給される仕組み(育児休業給付)や、子どもが満3歳になるまでの育児休業等(法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置)期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組み(保険料免除)があります。そのような仕組みをご存じでしたか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた |
| 2 育児休業給付のみ知っていた |
| 3 保険料免除のみ知っていた |
| 4 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった |

問28で「2. 取得した」と回答した方にうかがいます。
 問28で「1. または3.」に○をつけた方は、問29へお進みください。

問28-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号を1つ選んで回答欄にご記入ください。

1 育児休業取得後、職場に復帰した 2 現在も育児休業中である →問28-9へお進みください 3 育児休業中に離職した →問29へお進みください	
回答欄	母親： <input type="text"/> <small>該当する番号をご記入ください。</small>
	父親： <input type="text"/> <small>該当する番号をご記入ください。</small>

第3章 資料

問28-2で、「1.育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問28-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。またはそれ以外でしたか。父母ともに、回答欄に該当する番号を1つご記入ください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

- 1 年度初めの入所に合わせたタイミングだった
- 2 それ以外だった

回答欄 母親： 父親：
該当する番号をご記入ください。 該当する番号をご記入ください。

問28-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内に数字でご記入ください。

回答欄 母親：実際の取得 歳 ヶ月 父親：実際の取得 歳 ヶ月
 母親：希望 歳 ヶ月 父親：希望 歳 ヶ月

問28-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内で数字でご記入ください。

回答欄 母親： 歳 ヶ月 父親： 歳 ヶ月

問28-4で、実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問28-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※回答欄の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 希望する保育所に入るため
- 2 配偶者や家族の希望があったため
- 3 経済的な理由で早く復帰する必要があるため
- 4 人事異動や業務の節目に合わせるため
- 5 その他

回答欄 母親： 父親：
該当する番号すべてに○をつけてください。 該当する番号すべてに○をつけてください。
 5その他の理由 5その他の理由

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※回答欄の当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- 1 希望する保育所に入れなかったため
- 2 自分や子どもなどの体調がよくなかったため
- 3 配偶者や家族の希望があったため
- 4 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
- 5 子どもをみてくれる人がいなかったため
- 6 子どもがまだ望んでいるように感じたため
- 7 その他

回答欄 母親： 父親：
該当する番号すべてに○をつけてください。 該当する番号すべてに○をつけてください。
 7その他の理由 7その他の理由

問28-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つを回答欄にご記入ください。

- 1 短時間勤務制度を利用する必要がなかった
(フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だったなど) →問29へお進みください
- 2 短時間勤務制度を利用した →問29へお進みください
- 3 短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)

回答欄 母親： 父親：
該当する番号をご記入ください。 該当する番号をご記入ください。

問28-7で、「3.短時間勤務制度を利用したかったが、利用しなかった(利用できなかった)」と回答した方にうかがいます。

問28-8 短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由は何ですか。(回答欄の当てはまる番号すべてに○)

- 1 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
- 2 仕事が忙しかった
- 3 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
- 4 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
- 5 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
- 6 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 7 職場に復帰したが、子育てや家事に専念するためや子どもの気持ちを考えて退職した
- 8 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めがなかった)
- 9 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
- 10 その他

回答欄 母親： 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10 父親： 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, 10
該当する番号すべてに○をつけてください。 該当する番号すべてに○をつけてください。
 10その他の理由 10その他の理由

※問29へお進みください

問28-2で、「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問28-9 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つを回答欄にご記入ください。なお、お子さんがすでに1歳を超えている場合、1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、復帰していましたか。

- 1 1歳になるまで育児休業を取得したい(するつもりだった)
- 2 1歳になる前に復帰したい(したかった)

回答欄 母親： 父親：
該当する番号をご記入ください。 該当する番号をご記入ください。

10. 宛名のお子さんの生活やご家庭のことについてうかがいます。

問29 宛名のお子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1ヶ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

- 1 毎日食べる
- 2 食べる方が多い(週4~6日)
- 3 食べない方が多い(週1~3日)
- 4 ほとんど食べない
- 5 全く食べない

第3章 資料

問30 あなたの家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。(A～Fそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	ほぼ毎日 ある	週に 3～4日	週に 1～2日	全くない
A お子さんと身体的なふれあいをしながら、認めたり、励ましたりする	1	2	3	4
B お子さんの気持ちを言葉にする	1	2	3	4
C お子さんの語り掛けに、じっくり耳を傾けて応じる	1	2	3	4
D お子さんと一緒に絵本を見たり、読み聞かせをする	1	2	3	4
E お子さんが興味を持ったことを一緒に調べる	1	2	3	4
F お子さんに家でお手伝いをさせる	1	2	3	4

問31 あなたの家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

1 よくあった 2 ときどきあった 3 なかった

問32 あなたの家庭では、過去1年間の間に、経済的な理由のために以下のA～Iの費用を支払えないことがありましたか。(A～Iそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	あった	なかった	支払う必要がない (該当しない)
A 電話料金	1	2	3
B 電気料金	1	2	3
C ガス料金	1	2	3
D 水道料金	1	2	3
E 家賃	1	2	3
F 住宅ローン	1	2	3
G 税金・国民健康保険料	1	2	3
H 借入金(クレジットカード含む)	1	2	3
I 子どもの教育・保育にかかる費用 (幼稚園・保育所・学校等にかかる費用等)	1	2	3

問33 宛名のお子さんの世帯の、平成29(2017)年の可処分所得(いわゆる手取り年収)はおおよそいくらくらいでしたか。

回答欄 万円

問34 あなたの家庭で受けている公的年金、社会手当などの社会保障給付金はありますか。(あてはまるものすべてに○)

1 児童手当 2 児童扶養手当 3 特別児童扶養手当 4 特別障害者手当
 5 育児休業給付 6 失業給付(雇用保険) 7 傷病手当金 8 生活保護
 9 公的年金(老齢年金) 10 公的年金(遺族年金) 11 公的年金(障害年金)
 12 就学援助 13 その他

問35 あなたの家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。(○は1つ)

1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 普通
 4 ややゆとりがある 5 十分ゆとりがある

11. すべての方に子ども・子育て全般についてうかがいます。

問36 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、どのように感じていますか。
(○は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 非常に満足している | 2 やや満足している |
| 3 普通だと思う | 4 やや不満である |
| 5 非常に不満である | |

問37 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。(○は5つまで)

- | |
|--|
| 1 幼児期の学校教育・保育の充実 (例: 幼稚園、保育所、時間外保育事業) |
| 2 情報提供・相談体制事業 (例: ところっこ子育てサポート事業) |
| 3 経済的支援事業 (例: 特定・教育保育施設等実費徴収助成事業、児童手当、子ども医療費助成事業、就学援助) |
| 4 子どもの居場所づくり (例: 放課後児童クラブ) |
| 5 母子保健の充実 (例: 乳児家庭全戸訪問事業、妊婦健康診査事業) |
| 6 児童虐待防止対策の充実 (例: 養育支援訪問事業その他要保護児童などの支援に関する事業) |
| 7 親子のふれあいの場づくり (例: 地域子育て支援拠点事業) |
| 8 多様な子育て支援サービスの充実 (例: 幼稚園の預かり保育、保育所の一時預かり、病児・病後児保育事業) |
| 9 子育てを支援する地域社会づくり (例: 地域子育て支援拠点事業、子育てサロン) |
| 10 障害児支援の充実 |
| 11 ひとり親家庭等の自立支援の推進 (例: 児童扶養手当、就労支援) |
| 12 仕事と家庭の両立支援の推進 |
| 13 その他 <input type="text"/> |

問38 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

** 以上でアンケート調査は終了です。ありがとうございました。 **



小学生用

所沢市 子ども・子育て支援に関するアンケート調査

《ご協力のお願い》

市民の皆様には、日頃から市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

所沢市では、子育て支援の充実を図るため「所沢市子ども・子育て支援事業計画(平成27～31年度)」に基づき、計画的に各種事業に取り組んでいます。この度、次期計画を策定するにあたり、子育て支援に関するご意見を伺うため、本調査を実施いたします。

この調査は、就学前のお子さんと小学生のお子さんを無作為に選ばせていただき、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。ご回答いただいた調査内容は、市の子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他に漏れたり、他の目的に利用されることは一切ございません。

質問数が多く、ご負担をおかけして誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年11月 所沢市長 藤本 正人

★本調査の趣旨★

この調査は、子ども・子育て支援新制度のもと、所沢市において、幼稚園・保育所・放課後児童クラブなどの教育・保育・子育て支援をより計画的に進めていくために、市民の皆様の利用状況や利用希望を把握することを目的としております。なお、この調査の回答により、施設や事業の利用の可否を決定することはありません。

★本調査票について★

- アンケートは封筒の宛名のお子さんやご家庭のことについて、保護者の方がご記入ください。
- 回答は、選択肢に○をつけていただく場合と、番号を記入していただく場合、数字や回答を記述していただく場合があります。
- 質問は順をおって答えいただけますが、途中、回答の内容により次に進んでいただく質問が異なる場合がありますので、各問の案内に従ってお進みください。
- 日数、時間、時刻等を回答する場合は、口内に数字でご記入ください。
時間、時刻は、(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。
- 「その他」を選択した場合は、該当欄に具体的項目をご記入ください。
- 答えられない質問やお答えになりたくない質問については、お答えいただく必要はありません。
- 封筒・アンケート共に、お名前は記入しないでください。

★調査票の返信についてのお願い★

ご回答の終わった調査票につきましては、同封の返信用封筒に入れ、
12月20日(木)までに 切手を貼らずに投函をお願いいたします。

所沢市の子育て支援を検討するための大切な調査です。
ご協力よろしくおねがいします！

★問合せ先★

所沢市 こども未来部 こども政策課
電話 : 04-2998-9415
FAX : 04-2998-9035



所沢市イメージマスコット
「ところん」

1. 宛名のお子さんと家族の状況等についてお聞かせください。

問1 宛名のお子さんのお住まいの地区はどこですか。(〇は1つ)

※どの地区に該当するかは、別紙①「行政区早見表」で確認してください。

- | | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|------|
| 1 松井 | 2 富岡 | 3 小手指 | 4 山口 | 5 吾妻 | 6 柳瀬 |
| 7 三ヶ島 | 8 新所沢 | 9 新所沢東 | 10 所沢 | 11 並木 | |

問1-1 宛名のお子さんのお住まいの町名をご記入ください。

所沢市 (丁目) 例) 小手指町1丁目、東住吉、金山町 など

問1-2 宛名のお子さんの通われている小学校はどこですか。(〇は1つ) 公立の場合は、小学校名もご記入ください。

- | | |
|-------------------------------|------|
| 1 公立 <input type="text"/> 小学校 | 2 私立 |
|-------------------------------|------|

問2 宛名のお子さんの生年月を数字でご記入いただき、性別について〇をつけてください。

平成 年 月生まれ 性別 (男の子 ・ 女の子)

問3 宛名のお子さんにきょうだいはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

きょうだいがいりっしゃる場合、宛名のお子さんが何人きょうだいの何番目が数字でご記入ください。また下のきょうだいがいる場合、一番下のお子さんの生年月を数字でご記入ください。

- | | |
|--|-------------|
| 1 きょうだいがいる | 2 きょうだいはいない |
| ↳ <input type="text"/> <input type="text"/> 人きょうだいの <input type="text"/> <input type="text"/> 番目
一番下のお子さんの生年月は、平成 <input type="text"/> <input type="text"/> 年 <input type="text"/> <input type="text"/> 月 | |

問4 宛名のお子さんを含めた世帯の人数は何人ですか。また、そのうち、18歳未満の子どもの人数は何人ですか。数字でご記入ください。(単身赴任や一人暮らしのお子さんなど別居している方も含みます)

世帯の人数 人 (そのうち、子どもの人数 人)

問4-1 宛名のお子さんからみたご父母についてお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

- | | | | |
|-----|----------|-----------------|------------|
| 父親: | 1 同居している | 2 別居している(単身赴任等) | 3 不在(離死別等) |
| 母親: | 1 同居している | 2 別居している(単身赴任等) | 3 不在(離死別等) |

問5 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(当てはまるものすべてに〇)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる |
| 2 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる |
| 3 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 4 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |
| 5 いずれもない →問6へお進みください |

問5-1 親族または友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。（当てはまるものすべてに○）

- 1 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる
- 2 祖父母等の親族の身体的負担が心配である
- 3 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が心配である
- 4 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約をあまり気にかけることなく、安心して子どもをみてもらえる
- 5 友人・知人の身体的負担が心配である
- 6 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が心配である
- 7 負担はかけているが、お互い様の間柄なので、安心して子どもをみてもらえる
- 8 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 9 子どもの教育や発育にとってふさわしいか、少し不安がある
- 10 その他

問6 宛名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人はいますか。または、相談できる場所がありますか。（○は1つ）

- 1 いる／ある
- 2 いない／ない →問7へお進みください

問6-1 お子さんの子育てに関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（当てはまるものすべてに○）

- | | | |
|--------------|--|---------------------|
| 1 配偶者 | 2 宛名のお子さんのきょうだい | 3 祖父母等の親族 |
| 4 友人や知人 | 5 近所の人 | 6 子育て支援施設（児童館等）・NPO |
| 7 保健所・保健センター | 8 幼稚園 | 9 保育所 |
| 10 認定こども園 | 11 民生委員・児童委員 | 12 塾 |
| 13 サークル | 14 かかりつけの医師 | 15 市の子育て関連担当窓口 |
| 16 その他 | <input style="width: 500px; height: 15px;" type="text"/> | |

2. 宛名のお子さんの保護者の方の就労状況についてお聞かせください。

問7 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。父母共に該当する番号をそれぞれ1つずつご記入ください。

- 1 フルタイム（週5日・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 2 フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 3 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない
- 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）で就労しているが、産休・育休・介護休業中である
- 5 以前は就労していたが、現在は就労していない →問9へお進みください
- 6 これまで就労したことがない →問9へお進みください

※以下母親と父親の回答欄がある設問については、それぞれ該当する番号をご記入ください。
 ※母親、父親がともにいない場合、以下は回答者の状況を母親の欄にご記入ください。

回答欄	母親： <input type="text"/>	父親： <input type="text"/>
	該当する番号をご記入ください。	該当する番号をご記入ください。

問7-1 1週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（休憩時間・残業時間等を含む拘束時間）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

回答欄	母親：1週当たり <input type="text"/> 日	父親：1週当たり <input type="text"/> 日
	母親：1日当たり <input type="text"/> 時間	父親：1日当たり <input type="text"/> 時間

問7-2 家を出る時刻と帰宅時刻を24時間制でお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 ※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

回答欄	母親：家を出る時刻 <input type="text"/> 時	父親：家を出る時刻 <input type="text"/> 時
	母親：帰宅時刻 <input type="text"/> 時	父親：帰宅時刻 <input type="text"/> 時

問7の母親または父親で、「3. 4.（パート・アルバイト等で就労している）」を選択した方にうかがいます。

問8 フルタイム等への転換希望はありますか。父母それぞれ該当する番号を1つ記入し、「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期どちらかに○をつけてください。

- 1 パート・アルバイト等の就労を続けたい
- 2 フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
- 3 フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
- 4 パート・アルバイト等（「フルタイム」以外）をやめて子育てや家事に専念したい

回答欄	母親： <input type="text"/>	父親： <input type="text"/>
	該当する番号をご記入ください。	該当する番号をご記入ください。
	※「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期どちらかに○をつけてください。	※「2」を選んだ方は、転換できる見込みの時期どちらかに○をつけてください。

転換見込み (1年以内 ・ 1年以上後) (1年以内 ・ 1年以上後)

問7の母親または父親で、「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」を選択した方にうかがいます。

問9 就労したいという希望はありますか。該当する場合は、父母それぞれ回答欄に該当する番号を1つ記入し、該当する口内には数字をご記入ください。

- 1 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない） →問10へお進みください
- 2 1年より先、一番下の子どもが ■■歳になったところに就労したい →問10へお進みください
- 3 すぐにでも、もしくは1年以内に、フルタイムとして就労したい
- 4 すぐにでも、もしくは1年以内にパートタイム、アルバイト等として就労したい

回答欄	母親： <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <small>該当する番号をご記入ください。</small>		父親： <input style="width: 30px; height: 20px;" type="text"/> <small>該当する番号をご記入ください。</small>
	2の場合 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 歳頃		2の場合 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 歳頃
	4の場合： 週 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 時間		4の場合： 週 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 日 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> 時間

問9の母親または父親で、「3. 4. (すぐにでも就労したい)」を選択した方にうかがいます。

問9-1 就労希望があるのに、現在働いていない理由は何ですか。（回答欄に、父母それぞれ当てはまるものをすべてに○）

- 1 就労先はあるが、放課後児童クラブ（学童保育）を利用できないから
- 2 就労先はあるが、子どもを預けられる人がいないから
- 3 自分に適した就労先が見つからないから
- 4 家族・親族が反対するなど、子育てしながら就労する環境や条件が整っていないから
- 5 家族・親族の介護や看護をしており、就労することが難しいから
- 6 子どもがある程度の年齢になるまでは子育てに専念したいから
- 7 その他

回答欄	母親： <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text" value="1 2 3 4 5 6 7"/> <small>該当する番号すべてに○をつけてください。</small>		父親： <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text" value="1 2 3 4 5 6 7"/> <small>該当する番号すべてに○をつけてください。</small>
	7その他の理由 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>		7その他の理由 <input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>



3. 宛名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問10 宛名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。また、過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ週当たり日数を数字でご記入ください。「放課後児童クラブ」の場合には利用している（希望する）時間も24時間制で口内に数字でご記入ください。

場 所	現在の放課後の過ごし方	希望する放課後の過ごし方
1 自宅	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
3 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
4 放課後児童クラブ〔学童保育〕※1 (児童館生活クラブ・児童クラブ)	週に <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで	週に <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時まで
5 児童館 (生活クラブを除く)	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
6 放課後子供教室 (ほかかごところ等)※2	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい
8 その他 (学校の校庭、公民館、公園など)	週に <input type="text"/> 日くらい	週に <input type="text"/> 日くらい



トコロメモ

※1「放課後児童クラブ」…一般的には、学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により
 昼間家庭にいない場合などに、放課後児童支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

- ・児童館生活クラブとは、指定管理者により児童館の一室で実施している放課後児童クラブのこと。
- ・児童クラブとは、指定管理者または民間事業者により児童クラブ（専用施設）で実施している放課後児童クラブのこと。

保育料（月額）：10,000円

※2「放課後子供教室(ほかかごところ及びほかかご広場)」…子どもたちの安全・安心な居場所を確保すること、遊びや学びを通して異年齢の子どもたちとの交流を促進することなどを目的とした、地域住民による取組です。保護者の就労の有無に関わらず、その学校に通う小学生が利用できます。
 (実施日及び実施時間：原則として平日の授業終了後から午後5時頃まで)

問10で、「4. 放課後児童クラブ(学童保育)」を利用していない方と希望しない方にうかがいます。

問10-1 利用していない(希望しない)理由についてもっとも当てはまる番号1つに○をつけてください。

- 1 保護者が就労していないため
- 2 保護者が就労しているが、子どもを預かってくれる人がいるため
- 3 保護者が就労しているが、放課後児童クラブを知らないため
- 4 保護者が就労しているが、近くに放課後児童クラブがないため
- 5 保護者が就労しているが、放課後児童クラブの開設時間が短いため
- 6 保護者が就労しているが、利用料金がかかるため
- 7 保護者が就労しているが、子ども一人でも大丈夫だと思うため
- 8 その他

宛名のお子さんが小学校低学年(1～3年生)の方にうかがいます。
 ※小学校高学年(4～6年生)の方は、問12へお進みください。

問11 今後、小学校高学年(4～6年生)になったら、放課後の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。「放課後児童クラブ(学童保育)」の場合には利用を希望する時間も24時間制で口内に数字でご記入ください。

場 所	希望する放課後の過ごし方
1 自宅	週に <input type="text"/> 日くらい
2 祖父母宅や友人・知人宅	週に <input type="text"/> 日くらい
3 習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週に <input type="text"/> 日くらい
4 放課後児童クラブ〔学童保育〕 (児童館生活クラブ・児童クラブ)	週に <input type="text"/> 日くらい 下校時から <input type="text"/> 時まで
5 児童館 (生活クラブを除く)	週に <input type="text"/> 日くらい
6 放課後子供教室 (ほうかごところ等)	週に <input type="text"/> 日くらい
7 ファミリー・サポート・センター	週に <input type="text"/> 日くらい
8 その他(学校の校庭、公民館、公園など)	週に <input type="text"/> 日くらい

問10または問11で、「4. 放課後児童クラブ(学童保育)」に○をつけた方にうかがいます。

問12 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。低学年・高学年それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。1または3に○をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

低学年(1～3年生)の間	
1 利用したい ・土曜日の利用希望がある場合	<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時
・日曜・祝日の利用希望がある場合	<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時
2 利用する必要はない	
高学年(4～6年生)の間	
3 利用したい ・土曜日の利用希望がある場合	<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時
・日曜・祝日の利用希望がある場合	<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時
4 利用する必要はない	

問13 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の放課後児童クラブ(学童保育)の利用希望はありますか。低学年・高学年それぞれ当てはまる番号に○をつけてください。1または3に○印をつけた方は、利用したい時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

低学年(1～3年生)の間	
1 利用したい ・利用希望がある場合	<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時
2 利用する必要はない	
高学年(4～6年生)の間	
3 利用したい ・利用希望がある場合	<input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時
4 利用する必要はない	

問14 宛名のお子さんが通っている小学校では、「ほうかごところ等」を実施していますか。(○は1つ)

1 実施している	
2 実施していない	→問14-3へお進みください。
3 実施しているかわからない	→問14-3へお進みください。

問14で、「1.実施している」と答えた方にうかがいます。

問14-1 「ほうかごところ等」を利用していますか。月～金曜日、土曜日、長期休業日の別に当てはまる番号を1つずつ回答欄の口内にご記入ください。利用している場合は、利用している日数や時間帯を24時間制で、回答欄の口内にご記入ください。

- 1 利用している
2 利用していない

回答欄	利用状況（1または2）を記入↓	→利用している場合は、日数、時間帯を記入
	月～金曜日 <input type="text"/>	: 週に <input type="text"/> 日くらい利用 <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時
	土曜日 <input type="text"/>	: 月に <input type="text"/> 日くらい利用 <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時
	夏休みや冬休みなどの長期休業日 <input type="text"/>	: 週に <input type="text"/> 日くらい利用 <input type="text"/> 時～ <input type="text"/> 時

問14-1で、「1.利用している」と答えた方にうかがいます。

問14-2 「ほうかごところ等」についての感想・評価をご記入ください。

※問15へお進みください。

問14で、「2.実施していない」または「3.実施しているかわからない」と答えた方にうかがいます。

問14-3 今後「ほうかごところ等」が実施された場合、利用したいと思いますか。（○は1つ）

- 1 利用したい
2 利用しない
3 どちらともいえない、わからない

問14-4 「ほうかごところ等」を利用していない方と今後も利用を希望しない方は、その理由をご記入ください。



4. 宛名のお子さんの生活やご家庭のことについてうかがいます。

問15 宛名のお子さんは、普段、朝食を食べていますか。この1ヶ月を振り返って、最もあてはまる番号を選んでください。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 毎日食べる | 2 食べる方が多い(週4~6日) |
| 3 食べない方が多い(週1~3日) | 4 ほとんど食べない |
| 5 全く食べない | |

問16 あなたのご家庭では、宛名のお子さんと次のようなことをすることがありますか。(A~Fそれぞれについて、あてはまる番号1つに○)

	ほぼ毎日ある	週に3~4日	週に1~2日	全くない
A お子さんができたことや頑張ったことをほめて、一緒に喜ぶ	1	2	3	4
B お子さんの気持ちを言葉にする	1	2	3	4
C お子さんの学校での出来事について、じっくり耳を傾けて応じる	1	2	3	4
D お子さんと将来の夢について話す	1	2	3	4
E お子さんが興味を持ったことを一緒に調べる	1	2	3	4
F お子さんに家でお手伝いをさせる	1	2	3	4

問17 宛名のお子さんが落ち着いて勉強できる環境がありますか。(○は1つ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問18 宛名のお子さんにどの段階までの教育を受けさせたいですか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------|--------|----------------|
| 1 中学校 | 2 高校 | 3 高等専門学校 |
| 4 短期大学 | 5 専門学校 | 6 四年制大学またはそれ以上 |
| 7 まだわからない | 8 その他 | |

問19 あなたのご家庭では、過去1年間の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料または衣類が買えないことがありましたか。(○は1つ)

- | | | |
|---------|-----------|--------|
| 1 よくあった | 2 ときどきあった | 3 なかった |
|---------|-----------|--------|

問20 あなたの家庭では、過去1年間の間に、経済的な理由のために以下のA～Iの費用を支払えないことがありましたか。（A～Iそれぞれについて、あてはまる番号1つに○）

	あった	なかった	支払う必要がない (該当しない)
A 電話料金	1	2	3
B 電気料金	1	2	3
C ガス料金	1	2	3
D 水道料金	1	2	3
E 家賃	1	2	3
F 住宅ローン	1	2	3
G 税金・国民健康保険料	1	2	3
H 借入金（クレジットカード含む）	1	2	3
I 子どもの教育・保育にかかる費用 (幼稚園・保育所・学校等にかかる費用等)	1	2	3

問21 宛名のおおさんの世帯の、平成29（2017）年の可処分所得（いわゆる手取り年収）はおおよそいくらくらいでしたか。

回答欄 万円

問22 あなたのご家庭で受けている公的年金、社会手当などの社会保障給付金はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1 児童手当 2 児童扶養手当 3 特別児童扶養手当 4 特別障害者手当
 5 育児休業給付 6 失業給付（雇用保険） 7 傷病手当金 8 生活保護
 9 公的年金（老齢年金） 10 公的年金（遺族年金） 11 公的年金（障害年金）
 12 就学援助 13 その他

問23 あなたのご家庭の現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか。（○は1つ）

1 大変苦しい 2 やや苦しい 3 普通
 4 ややゆとりがある 5 十分ゆとりがある



5. 全ての方に子ども・子育て全般についてうかがいます。

問24 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度については、どのように感じていますか。(〇は1つ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 非常に満足している | 2 やや満足している |
| 3 普通だと思う | 4 やや不満である |
| 5 非常に不満である | |

問25 今後、子ども・子育て支援で充実を希望することは何ですか。(〇は5つまで)

- | |
|--|
| 1 幼児期の学校教育・保育の充実(例:幼稚園、保育所、時間外保育事業) |
| 2 情報提供・相談体制事業(例:ところっこ子育てサポート事業) |
| 3 経済的支援事業(例:特定・教育保育施設等実費徴収助成事業、児童手当、子ども医療費助成事業、就学援助) |
| 4 子どもの居場所づくり(例:放課後児童クラブ) |
| 5 母子保健の充実(例:乳児家庭全戸訪問事業、妊婦健康診査事業) |
| 6 児童虐待防止対策の充実(例:養育支援訪問事業その他要保護児童などの支援に関する事業) |
| 7 親子のふれあいの場づくり(例:地域子育て支援拠点事業) |
| 8 多様な子育て支援サービスの充実(例:幼稚園の預かり保育、保育所の一時預かり、病児・病後児保育事業) |
| 9 子育てを支援する地域社会づくり(例:地域子育て支援拠点事業、子育てサロン) |
| 10 障害児支援の充実 |
| 11 ひとり親家庭等の自立支援の推進(例:児童扶養手当、就労支援) |
| 12 仕事と家庭の両立支援の推進 |
| 13 その他 <input type="text"/> |

問26 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

** 以上でアンケート調査は終了です。ありがとうございました。 **



平成31年3月

所沢市子ども・子育て支援に関するアンケート調査
報告書

発行 〒359-8501 埼玉県所沢市並木1丁目1番地の1
所沢市 こども未来部 こども政策課
TEL 04-2998-9415